

SYLLABUS

令和5年度
(2023年)

歯科技工士科

学校法人博多学園

博多メデイカル専門学校

歯科技工士科（カリキュラムマップ）

《1年次》

《2年次》

ユニット1	クラスコミュニケーションと歯科技工トレーニング
	④コミュニケーション学 ⑤歯科技工の基本 機器・材料の取り扱い方、歯科技工トレーニング、コミュニケーション
ユニット2	歯科技工に必要な造形方法と基礎知識 ②造形美術概論 物の捉え方、表現の仕方、色彩、立体造形を学ぶ
ユニット3	歯・歯列の形態と口腔の健康 ⑥歯科技工管理学 ⑦歯の解剖学 ⑧乳歯と永久歯の形態学 歯の名称や形態、口の名称や健康、歯の形態回復
ユニット4	歯冠修復治療とクラウンの製作 ⑯クラウン ⑰クラウンとブリッジの製作 クラウンの種類と目的、歯冠修復に伴う技工作業
ユニット5	小児・矯正歯科技工学と歯の組織発生学 ⑳矯正歯科技工学 ㉑小児歯科技工学 ⑩口腔組織発生学 歯・顎・顔面の成長発育、小児治療の特徴、不正咬合と矯正装置
ユニット6	印象材・せっこう・ワックス・レジンの性質 ⑫歯科理工学 無機有機 印象材、石膏、ワックス、レジン、セラミックス
ユニット7	生体歯科技工、欠損歯列への対応 1.ブリッジ 2.有床義歯 概説 3.有床義歯の印象採得に伴う技工操作 4.有床義歯の咬合採得に伴う技工操作 5.咬合器の取り扱い方 6.クラスプ、バー 7.インプラントの概要 ⑨口腔解剖 ⑪顎口腔機能学 ⑭有床義歯工学 総論 ⑮印象採得と咬合採得に伴う技工作業 ⑯クラスプとバーの製作 ⑰ブリッジ ⑱クラウンとブリッジの製作 歯が抜けた時に用いる装置や診療に用いる器具

ユニット8	有床義歯の製作 ⑰有床義歯の製作 ⑱全部床義歯の人工歯排列・歯肉形成 部分入れ歯、総入れ歯の製作、実技評価試験の反復練習
ユニット9	歯科技工士の使命、臨床見学と就職 ①歯科英語 ③情報リテラシー ④コミュニケーション学 ⑤ビジネス能力 ⑥歯科技工管理学 ㉒臨床見学 歯科技工士の役割、作業環境、関係する法律、コミュニケーション コンピュータ、大学病院の見学、インターンシップ、プレゼン作成・発表会
ユニット10	クラウンとブリッジの製作 ⑱クラウンとブリッジの製作 硬質レジン前装ブリッジ、鑲付けブリッジ、実技評価試験の反復練習
ユニット11	臨床歯科技工 ㉓臨床歯科技工 歯科技工実習の応用的な講義と実習
ユニット12	金属材料、装置の仕上げ、作者者の安全性 ⑬歯科理工学 金属・成形・安全性 合金、埋没材、研磨、研削材、歯科技工の安全性
ユニット13	国家試験対策 せっこう彫刻、ワイヤー屈曲、歯の線画、学科試験対策

1. アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)

- ・ 自律した生活を確立し、医療人として地域社会に貢献したいという高い志を持つ人
- ・ 自らの可能性を信じ、忍耐強く努力でき、夢を実現しようとする人
- ・ 穏やかで協調性に富み、仲間と共に新しいことに挑戦しようとする人
- ・ 感謝の「ありがとう」が素直に表出できる人

2. カリキュラムポリシー (教育課程の編成・実施の方針)

- 1) 全教員が一丸となって就職支援を行い、それぞれの学生が希望する就職先に就くことができるよう学外活動で就職活動に関連した学校行事を多く設定します。
- 2) 国家試験全員合格のため、シラバスに行動目標を掲げ知識の定着化を図ります。定期試験では到達すべき項目を出題基準として明確化します。
- 3) 最先端歯科技工や超高齢社会に適した教育を企業と連携し次世代を担う歯科技工士を養成します。デジタル機器を用いた視覚評価で学生の成長段階をサポートします。
- 4) 歯科技工の手法をスライドや動画で表し、細分化・概略評価を通じて苦手部分の理解を促します。質問と練習時間を設け学生がトレーニングする習慣をつくります。

3. ディプロマポリシー (卒業認定・専門士授与に関する方針)

- ・ 専門領域における高度な専門知識と技術態度を習得し社会の発展のために寄与できる力
- ・ 医療チームの一員として、メンバー同士の協働、連携を促進するコミュニケーション力
- ・ 目的意識を常に持ち、問題を前向きに解決しようとする力
- ・ 医療人になろうとする向上心と優しさと思いやりにあふれた人間力

教育課程及び授業内容

1.教育課程

科目名			第1学年				第2学年				1単位の設定時間		単 位 合 計	モ デ ル コ ア レ キ ュ ラ ム	国 試 出 題 数 (予)		
			実施時間		単 位		実施時間		単 位		講 義 演 習	実 験 実 習					
			講義	演習	実験	実習	講義	演習	実験	実習							
基礎分野	科学と 技術の基盤 人間と生活	①歯科英語					36		1			28					
		②*造形美術概論	15	58		1							45				
		③情報リテラシー					24	38	1	1	19	30	6	5	0		
		④コミュニケーション学	32			1						25					
		⑤ビジネス能力					24			1		19					
専門基礎分野	A.歯科技工と 歯科医療	⑥*歯科技工管理学	38		2	0	43	0	2			16		4	3	3	
	B.歯・口腔の 構造と機能	⑦歯の解剖学	20			1						16					
		⑧歯の解剖学 乳歯と永久歯の形態学	30	78	1	2	8	38		1	24	30					
		⑨歯の解剖学 口腔解剖	24			1						19		9	7	15	
		⑩歯の解剖学 口腔組織発生学	20			1						16					
	C.歯科材料・ 歯科技工 機器の特徴 と加工技術	⑪顎口腔機能学	34	38	1	1						28	30				
⑫歯科理工学 無機有機		66	54	3	1						18	45	7	7	14		
専門分野	A.有床義歯 技工学	⑬歯科理工学 金属・成形・安全性					46	60	2	1	18	45					
		⑭*有床義歯技工学 総論	19	12	1							16					
		⑮*有床義歯技工学 印象採得と咬合採得に伴う技工作業	39	62	2	1						16	45				
		⑯*有床義歯技工学 クラスプとバーの製作	42	82	2	2						16	30	19	12	20	
		⑰*有床義歯技工学 有床義歯の製作					70	238	4	6	16	30					
	B.歯冠修復 技工学	⑱有床義歯技工学 総合					20			1		16					
		⑲*歯冠修復技工学 クラウン	26			1						20					
		⑳*歯冠修復技工学 ブリッジ	22			1						16					
		㉑*歯冠修復技工学 クラウンとブリッジの製作	42	225	2	5		90		2	16	36		13	13	18	
	C.矯正歯科 技工学	㉒歯冠修復技工学 総合					40			2		16					
		㉓*矯正歯科技工学	35	80	1	2						28	32	3	2	5	
	D.小児歯科 技工学	㉔*小児歯科技工学	36	80	1	2						28	32	3	2	5	
	歯科技工実習	㉕*歯科技工実習 歯科技工の基本	21	42	1	1	21			1	16	30					
㉖*歯科技工実習 臨床歯科技工						60	104	3	2	16	42						
㉗*歯科技工実習 全部床義歯の人工歯排列・歯肉形成							90		2		36		12	11	0		
㉘*歯科技工実習 臨床見学							68		2		32						
合 計			561	811	23	18	372	726	18	17	482	570	76	62	80		

* 実務経験のある教員による授業科目の単位数 計52時間 「*」の単位数は指導ガイドライン上の単位数62単位の83.8%(52/62)

【専門分野】 歯科技工実習	②⑤歯科技工実習 歯科技工の基本(1年) *実務経験のある教員による授業科目
-------------------------	--

本学期的学習目標(GIO)
歯科技工の基本を身につけるため、作業をする上での基本姿勢、操作、機器・材料の扱い方について理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット1 クラスコミュニケーションと歯科技工トレーニング

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前期	月 金	9:00~9:45	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室、歯科理工検査室、 ポーセレン室
			9:00~10:30	
			9:00~12:10	
			9:45~11:25	
			10:40~11:25	
			10:40~12:10	
			10:40~14:30	
			11:25~12:10	
			13:00~13:45	
			13:00~14:30	
			13:00~16:10	
			13:45~14:30	
			13:45~15:25	
			14:40~15:25	
14:40~16:10				

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工実習	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	矢野 恭平、松山 大樹
成績評価	講義末試験、実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	4月13日	松山 大樹 矢野 恭平	4	実習	1-1	実習① 型に流してみよう GIO:石膏の流し方を身につけるため、「石膏」と「水」の計量および「器具の使用法」を修得する。 国試出題基準:なし	①石膏粉末の量を計測することができる。 ②水の量を計測することができる。 ③ムラが無いように練和することができる。 ④バイブレーターで脱泡し、ゴム棒に石膏を注入することができる。 ⑤硬化した石膏を破折させずに取り出すことができる。 ⑥使用後の器具は水洗いして元の位置に戻ることができる。	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
2	4月14日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	1-2	1章 歯科技工実習を始めるにあたって GIO:技工機の使い方を身につけるため、「基本姿勢」「技工机上における作業域」「椅子の座り方」について理解する。 国試出題基準:なし	①基本的な作業姿勢3つ列挙することができる。 ②基本姿勢I～IIIを行うことができる。 ③通常作業域と最大作業域の違いを理解することができる。 ④作業域を考慮した機器の配置を説明することができる。 ⑤作業域を考慮した材料の配置を説明することができる。 ⑥椅子に座った時の最適な作業姿勢を実践することができる。 ⑦フットレストの使用方法を理解することができる。 ⑧理想的な脚部の角度を上げることができる。 ⑨作業位置と胸の位置の距離を上げることができる。 ⑩作業位置と視点の距離を上げることができる。 ⑪間違った座り方をした時の影響を上げることができる。 ⑫授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ⑬大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	2～6
3	4月14日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	1-3	実習② 基本姿勢を身につけよう GIO:技工機の使い方を身につけるため、「基本姿勢」「技工机上における作業域」「椅子の座り方」について理解する。 国試出題基準:なし	①2～3人のグループで作業姿勢の確認作業に参加することができる。 ②互いに作業姿勢を写真撮影することができる。 ③自分の作業姿勢を自己評価することができる。	2～6
4	4月14日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	1-4	1章 歯科技工実習を始めるにあたって GIO:指使いの原則を身につけるため、「指使いと材料・器具の配置」「技工作業にふさわしい服装と指先」について理解する。 国試出題基準:なし	①指使いの5つの用語を列挙することができる。 ②技工作業を行う際に注意すべき白衣の着用方法を上げることができる。 ③技工作業時に気をつける指先の状態を説明することができる。 ④ワックスパターンを変形させない持ち方を理解することができる。	6～7
5	4月17日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	1-5	実習③ 基本姿勢を身につけよう GIO:指使いの原則を身につけるため、「指使いと材料・器具の配置」「技工作業にふさわしい服装と指先」について理解する。 国試出題基準:なし	①椅子の高さを調節することができる。 ②通常作業域を確保することができる。 ③インストゥルメントを正しく把持することができる。 ④支台歯を手指で固定することができる。 ⑤インストゥルメントでインレーワックスを削ることができる。 ⑥支台歯にインレーワックスを適切な厚みに盛り上げることができる。 ⑦支台歯からワックスパターンを正しい指使いで取り外すことができる	2～6
6	4月15日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	1-6	1章 歯科技工実習を始めるにあたって GIO:歯科医師、歯科衛生士および患者への対応を身につけるため、「歯冠修復物が装着されるまでの流れ」「対応方法」について理解する。 国試出題基準:なし	①歯科医師が口腔機能を回復させるために行う治療や処置を上げることができる。 ②歯冠修復物装着の際の注意事項を3つ列挙することができる。 ③歯冠修復物が装着されるまでの流れを表にまとめることができる。 ④歯科衛生士が行う診療行為を上げることができる。 ⑤歯科技工士法に記載されている「用語の定義」を列挙することができる。 ⑥歯科技工士法に記載されている「業務上の注意事項」を列挙することができる。 ⑦授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ⑧大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	8～11

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
7	4月17日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	1-7	2章 機器・材料の扱い方 GIO:手用器具の持ち方・扱い方を身につけるため、「ワックス形成器」「陶材用筆」について理解する。 国試出題基準:なし	①ワックス形成器の操作方法を実践することができる。 ②ワックスの温度コントロールについてポイントを挙げることができる。 ③陶材用筆の使い方を3つ挙げることができる。 ④彫刻刀の指の使い方を実践することができる。 ⑤彫刻刀切削時の注意点を挙げることができる。 ⑥デザインナイフ切削時の注意点を挙げることができる。 ⑦授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ⑧大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	12~14
8	4月17日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	1-8	2章 機器・材料の扱い方 GIO:手用器具の持ち方・扱い方を身につけるため、「彫刻刀」「デザインナイフ、カッター」について理解する。 国試出題基準:なし	①彫刻刀で切削する素材を挙げることができる。 ②材料を削る際の彫刻刀の正しい持ち方を説明することができる。 ③彫刻刀に付着した切削片の除去方法を挙げることができる。 ④彫刻刀に付着した切削片がワックス表面に与える影響を挙げることができる。 ⑤デザインナイフの替え刃の交換方法を理解することができる。 ⑥怪我をしないデザインナイフの持ち方を理解することができる。 ⑦怪我をしないデザインナイフの動かし方を理解することができる。 ⑧授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ⑨大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	17~19
9	4月17日 4月18日	矢野 恭平 松山 大樹	4	実習	1-8	実習④ ベンギンデコレーション GIO:ワックスの盛り方を身につけるため、「ワックス形成器の扱い方」と「ワックスの温度コントロール」を修得する。 国試出題基準:なし	①ワックス形成器の操作方法を実践することができる。 ②ワックスの温度コントロールについてポイントを挙げることができる。 ③陶材用筆の使い方を3つ挙げることができる。 ④彫刻刀の指の使い方を実践することができる。 ⑤彫刻刀切削時の注意点を挙げることができる。 ⑥デザインナイフ切削時の注意点を挙げることができる。 ⑦授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ⑧大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	
10	4月18日	矢野 恭平 松山 大樹	4	実習	1-10	実習⑤ ナイフの削り方をマスターしよう GIO:彫刻刀とデザインナイフで削り方を身につけたため、「器具の持ち方」や「削り方」を修得する。 国試出題基準:なし	①椅子の高さを調節することができる。 ②通常作業域を確保することができる。 ③正しい基本姿勢で作業を行うことができる。 ④怪我をしないデザインナイフの持ち方を実践することができる。 ⑤怪我をしないデザインナイフの動かし方を実践することができる。 ⑥石膏棒を鉛筆状に形成することができる。 ⑦石膏棒を球体に形成することができる。 ⑧パラフィンワックスの型抜きを行うことができる。 ⑨ナイフ類で指を切らないように注意して作業を行うことができる。 ⑩実習終了後は、器具・材料は元の場所に戻すことができる。	17~19

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
11	4月19日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	1-11	2章 機器・材料の扱い方 GIO:手用器具の持ち方・扱い方を身につけるため、「プライヤー(鉗子)」について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ①プライヤーの構成要素を挙げることができる。 ②プライヤーの種類を4つ列挙することができる。 ③線屈曲用プライヤーの用途を挙げることができる。 ④線屈曲用プライヤーの使用方法を挙げることができる。 ⑤バー屈曲用プライヤーの用途を挙げることができる。 ⑥バー屈曲用プライヤーの使用方法を説明することができる。 ⑦石膏分割用プライヤーの用途を挙げることができる。 ⑧石膏分割用プライヤーの使用方法を説明することができる。 ⑨切断用プライヤーの用途を挙げることができる。 ⑩切断用プライヤーの使用方法を説明することができる。 ⑪プライヤーの持ち方、指の使い方を実践することができる。 ⑫授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ⑬大事な語句をノートに記入しまとめることができる。 	14~17
						国試出題基準:なし		
12	4月19日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	1-12	実習⑥ プライヤーのトレーニング GIO:線の屈曲や切断を身につけるため、「各種プライヤーの持ち方」や「屈曲方法」を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> ①椅子の高さを調節することができる。 ②通常作業域を確保することができる。 ③切断用プライヤーを用いて、ワイヤーを切断することができる。 ④設計図に合わせてワイヤーを屈曲することができる。 ⑤バー屈曲プライヤーを使用して立体屈曲をすることができる。 ⑥石膏分割用プライヤーを用いて、石膏を割ることができる。 ⑦作業後は机上の整理・整頓を行うことができる。 ⑧貸出しされている備品を大切に扱うことができる。 	14~17
						国試出題基準:なし		
13	4月19日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	1-13	2. 機器・材料の扱い方 GIO:マイクロモーターの持ち方・扱い方を身につけるため、「マイクロモーターの構造」「ハンドピースの持ち方」「マイクロモーターの使用上の注意」「アフターケアとメンテナンス」について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ①マイクロモーターの用途を列挙することができる。 ②マイクロモーターの構造を4つ列挙することができる。 ③ハンドピースの構造を2つ列挙することができる。 ④ハンドピースの持ち方を2つ挙げ、特徴を記入することができる。 ⑤技工用エアタービンの特徴を挙げることができる。 ⑥マイクロモーターの使用上の注意を8つ列挙することができる。 ⑦アフターケア・メンテナンスについて5つ列挙することができる。 ⑧授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ⑨大事な語句をノートに記入しまとめることができる。 	19~21
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
14	4月19日	矢野 恭平 松山 大樹	1	実習	1-14	<p>実習⑦ マイクロモーターマスターを目指そう</p> <p>GIO:マイクロモーターの持ち方・扱い方を身につけるため、「マイクロモーターの構造」「ハンドピースの持ち方」「マイクロモーターの使用上の注意」「アフターケアとメンテナンス」について理解する。</p> <p>国試出題基準:なし</p>	<p>①椅子の高さを調節することができる。</p> <p>②通常作業域を確保することができる。</p> <p>③研削用のポイントをハンドピースにセットすることができる。</p> <p>④マイクロモーターの回転数を調節することができる。</p> <p>⑤利き手に合わせて回転方向を調整することができる。</p> <p>⑥フットペダルで回転数の調整をすることができる。</p> <p>⑦ハンドピースをベンクリップ方式で保持し石膏を削ることができる。</p> <p>⑧マイクロモーターの使用上の注意を守って作業することができる。</p> <p>⑨アフターケア・メンテナンスの注意点を守って使用することができる。</p> <p>⑩貸出しされている設備品を大切に扱うことができる。</p>	19~21
15	4月20日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	1-15	<p>2章 機器・材料の扱い方</p> <p>GIO:切削・研削・研磨を身につけるため「切削器具の扱い方」「研削器具の扱い方」「研磨器具の扱い方」について理解する。</p> <p>国試出題基準:なし</p>	<p>①切削器具の材質による種類を2つ挙げ、特徴を記入することができる。</p> <p>②研削器具の種類を2つ挙げ、特徴を記入することができる。</p> <p>③研磨時の一般的な注意事項を6つ列挙することができる。</p> <p>④授業開始は元気な挨拶で始めることができる。</p> <p>⑤大事な語句をノートに記入しまとめることができる。</p>	19~21
16	4月20日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	1-16	<p>実習⑦ 研磨の極意を味わおう (ゲームセンターコイン)</p> <p>GIO:合金の研磨を身につけるため、「用途に応じた器具の選択」と「マイクロモーターの扱い方」を修得する。</p> <p>国試出題基準:なし</p>	<p>①椅子の高さを調節することができる。</p> <p>②通常作業域を確保することができる。</p> <p>③研削・切削・研磨の各ポイントをハンドピースにセットすることができる。</p> <p>④マイクロモーターの回転数を調節することができる。</p> <p>⑤利き手に合わせて回転方向を調整することができる。</p> <p>⑥フットペダルで回転数の調整をすることができる。</p> <p>⑦マイクロモーターの使用上の注意を守って作業することができる。</p> <p>⑧正しい基本姿勢で作業を行うことができる。</p> <p>⑨切削・研削・研磨器具を正しく選択できる。</p> <p>⑩研磨で使用するポイントの順番を理解することができる。</p> <p>⑪粗研磨を行うことができる。</p> <p>⑫中研磨を行うことができる。</p> <p>⑬仕上げ研磨を行うことができる。</p> <p>⑭実習終了後は、機器・器具は元の位置に戻すことができる。</p> <p>⑮貸出しされている設備品を大切に扱うことができる。</p>	19~21

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
17	4月20日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習 講義	1-17	2章 機器・材料の扱い方 GIO:技工用機器を取り扱えるようになるため、「鋳造器」について理解する。	①金属を融解する前に点検、準備する項目を4つ列挙することができる。 ②リングファーンを使用する目的を挙げることができる。 ③横型遠心鋳造機の構造を挙げることができる。 ④鋳造に必要な金属の量を挙げることができる。 ⑤ブローパイプに使用する燃料ガスと助燃材の使い分け方を説明できる。 ⑥トーチヘッドへの点火手順を説明することができる。 ⑦合金の熔融手順を説明することができる。 ⑧合金の熔融方法の種類を列挙することができる。 ⑨授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ⑩大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	25~27
						国試出題基準:なし		
18	4月21日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	1-18	実習⑧ 合金を溶かしてみよう GIO:合金の融解方法を身につけるため、「金属の融解手順」について理解する。	①椅子の高さを調節することができる。 ②通常作業域を確保することができる。 ③ブローパイプで適切な炎を作ることができる。 ④還元炎を認識することができる。 ⑤還元炎で合金を球状に融解することができる。 ⑥火傷しないように注意して作業を行うことができる。 ⑦作業終了後は、ブローパイプの炎を消して元の位置に戻すことができる。	
						国試出題基準:なし		
19	4月21日	矢野 恭平 松山 大樹	1	実習	1-19	実習⑨ 研磨の極意を味わおう (Kメタル球状体) GIO:合金の研磨を身につけるため、「用途に応じた器具の選択」と「マイクロモーターの扱い方」を修得する。	①椅子の高さを調節することができる。 ②通常作業域を確保することができる。 ③マイクロモーターを正しく扱うことができる。 ④正しい基本姿勢で作業を行うことができる。 ⑤切削・研削・研磨器具を正しく選択できる。 ⑥粗研磨を行うことができる。 ⑦研磨を行うことができる。 ⑧仕上げ研磨を行うことができる。 ⑨実習終了後は、機器・器具は元の位置に戻すことができる。	
						国試出題基準:なし		
20	4月21日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	1-20	2章 機器・材料の扱い方 GIO:技工用機器を取り扱えるようになるため、「レーザー溶接機」「マイクロスコープ」について理解する。	①レーザー溶接機の特徴を述べることができる。 ②マイクロスコープ使用時の作業姿勢について述べることができる。 ③授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ④大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	27~34
						国試出題基準:なし		
21	4月21日	矢野 恭平 松山 大樹	1	実習	1-21	実習⑩ ミクロな世界を体験しよう GIO:技工用機器を取り扱えるようになるため、「マイクロスコープ」について理解する。	①椅子の高さを調節することができる。 ②通常作業域を確保することができる。 ③マイクロスコープを正しく扱うことができる。 ④正しい基本姿勢で作業を行うことができる。 ⑤2人で協力して作業することができる。 ⑥実習終了後は、機器・器具は元の位置に戻すことができる。	
						国試出題基準:なし		
22	4月25日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	1-22	2章 機器・材料の扱い方 GIO:技工用機器を取り扱えるようになるため、「光重合器」について理解する。	①光重合器の特徴を述べることができる。 ②光重合器の操作手順を4つ挙げることができる。 ③授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ④大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	34~35
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
23	4月24日	矢野 恭平 松山 大樹	4	実習	1-23	実習⑪ 光重合を体験しよう	①椅子の高さを調節することができる。 ②通常作業域を確保することができる。 ③光重合器を正しく扱うことができる。 ④正しい基本姿勢で作業を行うことができる。 ⑤作業用模型にインストルメントで光重合レジンを盛り上げることができる。 ⑥実習終了後は、機器・器具は元の位置に戻すことができる。	
						GIO:技工用機器を取り扱えるようになるため、「光重合器」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
24	4月25日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	1-24	2章 機器・材料の扱い方	①印象の処理方法を2つ列挙することができる。 ②石膏注入時の注意点を挙げるができる。 ③印象撤去時の注意点を挙げるができる。 ④授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ⑤大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	35~36
						GIO:印象の扱い方を身につけるために、「印象の処理」「石膏の注入」「印象の撤去」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
25	4月26日	矢野 恭平 松山 大樹	3	実習	1-25	実習⑫ 模型をコピーしてみよう	①椅子の高さを調節することができる。 ②通常作業域を確保することができる。 ③印象材を適切な混水比で混ぜ合わせることができる。 ④模型に印象材を圧接し型取りをすることができる。 ⑤印象材の硬化後に印象面に石膏を注入することができる。	
						GIO:印象の扱い方を身につけるために、「印象の処理」「石膏の注入」「印象の撤去」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
26	4月25日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	1-26	2章 機器・材料の扱い方	①模型を保護する方法を2つ列挙することができる。 ②モデルトリマー切削時の注意点を挙げることができる。 ③授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ④大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	37~38
						GIO:模型の扱い方を身につけるために、「模型の保護」「モデルトリマーでの切削」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
27	4月25日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	1-27	実習⑬ モデルトリマーを動かそう	①トリマーで決められた量の石膏をトリミングすることができる。 ②トリマーの台の角度を変えて石膏をトリミングすることができる。 ③トリマー使用後に協力して清掃作業をすることができる。	37~38
						GIO:模型の扱い方を身につけるために、「模型の保護」「モデルトリマーでの切削」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
28	4月26日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	1-28	2章 機器・材料の扱い方	①スチームクリーナーを使用する目的を挙げることができる。 ②スチームクリーナー処理の注意点を挙げることができる。 ③授業開始は元気な挨拶で始めることができる。 ④大事な語句をノートに記入しまとめることができる。	38~39
						GIO:模型の扱い方を身につけるために、「スチームクリーナー」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
29	4月26日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	1-29	実習⑭ スチームクリーナーを動かそう	①模型に付着したワックスを取り除くことができる。 ②模型とスチームクリーナーの距離感を確認することができる。 ③高温の水蒸気による火傷に注意して作業することができる。	38~39
						GIO:模型の扱い方を身につけるために、「スチームクリーナー」について理解する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
30	4月26日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	1-30	2章 機器・材料の扱い方	①気泡の処理をする時の注意点を挙げる ことができる。 ②石膏の継ぎ足しをする時の注意点を 挙げる ことができる。 ③トリミング時(有床)の注意点を 挙げる ことができる。 ④トリミング時(修復)の注意点を 挙げる ことができる。 ⑤授業開始は元気な挨拶で始める ことができる。 ⑥大事な語句をノートに記入し まとめる ことができる。	38~40
						GIO:模型の扱い方を身につける ために、「模型の調整」について 理解する。		
						国試出題基準:なし		
31	4月26日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	1-31	実習⑮ 石膏の追加方法をマスター しよう	①椅子の高さを調節することが できる。 ②通常作業域を確保することが できる。 ③石膏を削除して現れる新鮮面を 認識 することができる。 ④石膏模型に水分を吸水させる ことが できる。 ⑤石膏模型に石膏を追加で足す ことが できる。 ⑥作業後の机上・石膏鑄造室の 清掃を 協力して行うことができる。	38~40
						GIO:模型の扱い方を身につける ために、「模型の調整」について 理解する。		
						国試出題基準:なし		

【基礎分野】 科学と技術の基盤、人間と生活	④コミュニケーション学
---------------------------------	--------------------

本学期的学習目標(GIO)
医療チームの一員として、メンバー内の協同・連携を促進する力を養うために、グループワークや実技を通じてコミュニケーションの基本的知識、技能および態度を理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット1 クラスコミュニケーションと歯科技工トレーニング

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前・後期	火・水	9:00~12:10	博多メディカル専門学校 3階 301教室 基礎実習室
			10:40~14:30	
			13:00~16:10	
教科書・参考書				
配布プリント				

担当者一覧	柴戸 麻里
成績評価	認定評価

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	5月23日	柴戸 麻里	4	演習 (講義)	1-32	1. 漢字の読み書き	①相手の話を正しい姿勢で聞くことができる。 ②一般常識の漢字を読み解くことができる。 ③一般常識の漢字を書きとることができる。	なし
						GIO: 社会人としての一般的基礎知識を身につけるため、漢字の読み方、書き方について理解する。		
						国家試験出題基準: なし		
2	5月30日	柴戸 麻里	4	演習 (講義)	1-33	2. 伝言ゲーム	①適切な言葉遣いで会話することができる。 ②正しい態度で会話することができる。 ③返事や頷きをすることができる。 ④適切な伝達方法を選択することができる。	なし
						GIO: 意思や感情、思考を相手に分かりやすく伝えるために、話し方や聞き方、態度を身に付ける。		
						国家試験出題基準: なし		
3	6月7日	柴戸 麻里	4	演習 (講義)	1-34	3. 早口言葉	①適切な言葉遣いで会話することができる。 ②正しい態度で会話することができる。 ③返事や頷きをすることができる。 ④適切な伝達方法を選択することができる。	なし
						GIO: 意思や感情、思考を相手に分かりやすく伝えるために、話し方や聞き方、態度を身に付ける。		
						国家試験出題基準: なし		
4	6月13日	柴戸 麻里	4	演習 (講義)	1-35	4. グループワーク	①グループワークに積極的に参加することができる。 ②相手の話を頷きながら傾聴することができる。 ③積極的な意見を述べるすることができる。 ④班内で話し合った内容をまとめることができる。	なし
						GIO: 円滑な人間関係を構築するために必要な知識、技能、態度を身に付ける。		
						国家試験出題基準: なし		
5	10月3日	柴戸 麻里	4	演習 (講義)	1-36	5. 他者紹介	①パートナーの自己紹介を頷きながら傾聴することができる。 ②自己紹介の内容をメモすることができる。 ③わかりやすい言葉使いで他己紹介ができる。	なし
						GIO: 円滑な人間関係を構築するために必要な知識、技能、態度を身に付ける。		
						国家試験出題基準: なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
6	10月10日	柴戸 麻里	4	演習 (講義)	1-37	5. 電話対応	①一方通行型のコミュニケーションの特徴を挙げることができる。 ②双方通行型のコミュニケーションの特徴を挙げることができる。 ③電話対応の手順を述べることができる。	なし
						GIO: 社会人としての一般的基礎知識を身につけるため、電話対応における知識・技能を理解する。		
						国家試験出題基準: なし		
7	10月17日	柴戸 麻里	4	演習 (講義)	1-38	7. コミュニケーションスキル (環境設定の重要性、傾聴・承認・質問法のスキル)	①コミュニケーションをとる環境設定の重要性を挙げることができる。 ②「傾聴」のスキルを身につけることができる。 ③「承認」のスキルを身につけることができる。 ④質問の方法を身につけることができる。	なし
						GIO: 円滑な人間関係を構築するために必要な傾聴・承認のスキルや質問の方法を身に付ける。		
						国家試験出題基準: なし		
8	10月24日	柴戸 麻里	4	演習 (講義)	1-39	7. コミュニケーションスキル (環境設定の重要性、傾聴・承認・質問法のスキル)	①コミュニケーションをとる環境設定の重要性を挙げることができる。 ②「傾聴」のスキルを身につけることができる。 ③「承認」のスキルを身につけることができる。 ④質問の方法を身につけることができる。	なし
						GIO: 円滑な人間関係を構築するために必要な傾聴・承認のスキルや質問の方法を身に付ける。		
						国家試験出題基準: なし		

【基礎分野】 科学的思考の基盤、人間と生活	② 造形美術概論 *実務経験のある教員による授業科目
---------------------------------	--------------------------------------

本学期的学習目標(GIO)
歯科技工士に必要な美的感覚(色彩・形態)を養い想像力を培うために、 スケッチや造形等を通じて審美歯科の理論的・学問的背景を理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット2 歯科技工に必要な造形方法と基礎知識

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前・後期	月 土	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室
			9:00~14:30	
			10:40~12:10	
			10:40~16:10	
			13:45~15:25	
			14:40~15:25	
			14:40~16:10	
			15:25~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工造形学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	三村 亘、矢野 恭平、石橋 洋一、松山 大樹
成績評価	実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	4月22日 5月20日	三村 亘	8	実習	2-1	実習① 立方体のスケッチ(鉛筆画)	①造形形態の寸法の比率を正しく表すことができる。 ②光の方向と影を観察することができる。 ③クロスハッチング技法を行うことができる。 ④できるだけ多くのグラデーションを表現することができる。	17~20
						GIO:模型のスケッチを行うため、基本的造形形態のスケッチを通じて、立体感の表現を身に付ける。		
						国試出題基準:なし		
1	4月24日	矢野 恭平 石橋 洋一	1	講義	2-2	1章 美とは	①自然界の美しさの例を挙げることができる。 ②人の顔がもつ固有の美しさについて説明することができる。 ③左右対称性を備えた建造物を挙げることができる。 ④補綴装置を製作する歯科技工士が留意すべきことを挙げることができる。 ⑤人間の歯らしさを表す要素を5つ列挙することができる。 ⑥審美歯科の意義を具体的に述べるることができる。	1~5
						GIO:審美歯科を知るために、「自然界の美しさと人工的な美しさ」や「人間らしい歯とは何か?」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
		矢野 恭平 石橋 洋一	1	講義	2-2	2章 歯の観察に至るまで	①日常生活で使用する五感を列挙することができる。 ②技工作業で重要な五感を挙げることができる。 ③示指の感覚が鋭い理由を説明することができる。 ④視覚情報の伝達についてメリット・デメリットを説明することができる。 ⑤歯科技工作業で使用する光(明るさ)の単位を挙げることができる。 ⑥技工作業に必要な明るさを挙げることができる。 ⑦目の構造について理解することができる。	6~10
						GIO:理論に基づいて歯を観察できるようになるため、「感覚器官と認知」や「見ることのメカニズム」および「対象をどうとらえているか」について身に付ける。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
2	4月26日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	2-3	2章 歯の観察に至るまで GIO:理論に基づいて歯を観察できるようにするため、「感覚器官と認知」や「見ることのメカニズム」および「対象をどうとらえているか」について身に付ける。 国試出題基準:なし	①ヒトの眼が形をとらえる仕組みを理解することができる。 ②技工作業に理想的な机上環境を挙げることができる。 ③対象物と背景色が視覚機能に与える影響を説明することができる。 ④錯視効果を説明することができる。 ⑤人工歯排列をおこなった際に左右対称性を判断する方法を実践することができる。 ⑥幾何学錯視が起こす現象を挙げることができる。 ⑦技工作業に関連する錯視現象を挙げることができる。 ⑧目で見たものが三次元知覚になる仕組みを説明することができる。	11~16
		矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	2-3	2章 歯の形態表現(鉛筆デッサンの準備) GIO:立方体のスケッチを行うため、発色や濃さ・異なる鉛筆・消しゴム・ねり消しゴムなどの使用法を身に付ける。 国試出題基準:なし	①鉛筆デッサンに使用する材料を準備することができる。 ②プラスチック消しゴムを使用した鉛筆線の消し方を修得することができる。 ③ねり消しゴムを使用した鉛筆線の消し方を修得することができる。 ④シェイディングで鉛筆を動かし塗ることができる。 ⑤クロスハッチングで鉛筆を動かし塗ることができる。	17~20
4	5月8日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	2-4	実習用模型の製作 GIO:前歯スケッチと前歯部オブジェの製作を行うため、ゴム枠に石膏を流して、見本の模型を準備する。 国試出題基準:なし	①普通石膏の粉末と水を正確に計量することができる。 ②ムラが無いようにしっかり練和することができる。 ③気泡を注入させない流し方を行うことができる。 ④作業を終えた後に清掃を行うことができる。	
5	6月2日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	2-5	3章 歯の形態表現(鉛筆デッサン) GIO:模型のスケッチを行うため、「白い歯を描くということ」や「形の取り方」について理解する。 国試出題基準:なし	①背景色を理解して模型の観察を行うことができる。 ②プロポーションガイドを用いて形を模倣することができる。 ③ガイドで模倣した基準点を方眼紙に複写することができる。 ④影を強調して歯を白く残すことができる。 ⑤影とバランスを取りながら歯の色や立体感を表現することができる。	21~30
6	6月 3日 6月17日	三村 亘	8	実習	2-6	実習② 模型のスケッチ(鉛筆画) GIO:模型の形状を正確に捉えることができるようになるため、プロポーションガイドを用いた複写を通じて模型観察の方法を認識する。 国試出題基準:なし	①プロポーションガイドを模型に重ねることができる。 ②ガイド位置とマス目を複写することができる。 ③複写した基準から下絵を完成することができる。 ④明度の低いところから順次色を乗せることができる。 ⑤全体のバランスを考えて歯列模型を完成することができる。	21~30
7	6月14日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	2-7	4章 前歯のスケッチから着彩・造形表現 口腔のスケッチを行うため、「口腔の観察と着彩」と「歯を描くということ」について理解する。 国試出題基準:なし	①鏡を使用して歯冠・歯肉・小帯の色を観察することができる。 ②色鉛筆を使用して混色の効果を確認することができる。 ③色鉛筆画の製作手順を理解することができる。	31~34
8	7月 1日 7月15日	三村 亘	8	演習	2-8	実習③ 口腔写真のスケッチ(色鉛筆画) GIO:口腔のスケッチを行うため、「口腔の観察と着彩」と「歯を描くということ」について理解する。 国試出題基準:なし	①鏡を使用して歯冠・歯肉・小帯の色を観察することができる。 ②光の反射部を考慮して着彩することができる。 ③全体のバランスを考慮することができる。 ④個性的な着彩表現を行い仕上げることができる。	31~34
9	7月10日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	2-9	4章 前歯のスケッチから着彩・造形表現 GIO:前歯部のオブジェ製作を行うため、完成までの作業手順や方法について理解する。 国試出題基準:なし	①モチーフに合わせた人工歯排列を理解することができる。 ②パラフィンワックスを使用した歯肉形成を理解することができる。 ③歯肉形成の手順や器具を説明することができる。 ④プラスコの埋没操作を解釈することができる。 ⑤モチーフの形状に倣って人工歯を選択することができる。 ⑥オブジェの製作過程を説明することができる。	34~37

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
10	7月14日 7月18日 7月19日	矢野 恭平 松山 大樹	16	実習	2-10	実習④ 前歯部オブジェの製作 GIO:見本模型の形状を正確かつ精密に複写できるようになるため、人工歯排列や歯肉形成の手法を身に付ける。また、レジン成形の過程を修得する。 国試出題基準:なし	①見本模型の排列状態を忠実に再現することができる。 ②ワックスペンを使用して見本模型の歯肉状態を忠実に再現することができる。 ③プラスチックに正しく埋没することができる。 ④表面処理剤塗布で自然な光沢を表現することができる。 ⑤ワックスペンでの火傷やナイフでの怪我に注意することができる。	34~37
11	8月28日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	2-11	6章 歯科技工と色彩 GIO:審美歯科を理解するために、「色彩の基本」「色をみる」「無彩色と有彩色」「色の分類と表示」「色の見え方」に関する色彩理論を身につける。 国試出題基準:なし	①色彩理論がはじまった経緯を説明することができる。 ②演色性の特徴について説明することができる。 ③自然光と人工光の違いを説明することができる。 ④色評価が必要な場合の光源を3つ列挙することができる。 ⑤有彩色を説明することができる。 ⑥無彩色を説明することができる。 ⑦準無彩色を説明することができる。 ⑧マンセルの色相環の読み方を実践することができる。 ⑩色相の意味を挙げることができる。 ⑪明度の意味を挙げることができる。 ⑫彩度の意味を挙げることができる。 ⑬同時対比の種類を5つ列記することができる。 ⑭色彩理論を理解して作業環境を検討することができる。	48~57
12	8月31日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	2-12	7. 歯科臨床における色彩 GIO:審美歯科を理解するために、「セラミック修復における色の表現」「天然歯の色」「色調選択」「色の見え方」を通じて歯科臨床における色彩を修得する。 国試出題基準:なし	①歯冠色の観察に必要な色の属性を4つ列挙することができる。 ②前歯の色の特徴を列記することができる。 ③臼歯の色の特徴を列記することができる。 ④加齢による色調の変化を列記することができる。 ⑤シェードガイドの種類を3つ列記し特徴を挙げることができる。 ⑥視感比色法による色調選択の特徴を列記することができる。 ⑦機械による測色法の特徴を列記することができる。 ⑧色調選択の照明と場所について説明することができる。 ⑨色調選択時に患者に注意してもらう点を挙げることができる。	58~63
13	9月1日	矢野 恭平 松山 大樹	1	講義	2-13	5章 顔の観察 GIO:解剖学的に均整のとれた自画像を表現するために、顔の観察を通じて表情筋の影響について考察する。また観察の基準点や基準平面を理解する。 国試出題基準:なし	①表情筋の種類を16個列挙することができる。 ②ブランク(卵形態図)と基準点、基準平面を理解することができる。	38~41
14	9月 2日 9月16日	三村 亘	8	実習	2-14	実習⑤ 顔のデッサン GIO:表情筋や骨格を理解するために、自画像のスケッチを通じて解剖学的な均整をとる方法を身に付ける。 国試出題基準:なし	①美術解剖学と歯科学の基準を基にブランクを描くことができる。 ②ブランクから骨格形態を肉付けすることができる。 ③全体的なバランスを考慮することができる。 ④細部の個性表現まで行うことができる。	38~41
15	9月28日	矢野 恭平 松山 大樹	1	講義	2-15	5章 顔の観察(粘土を用いた造形表現) GIO:解剖学的に均整のとれた頭部を粘土造形で表現するために「皮膚の表面性状」「芯材と頭像骨格(製作例)」「注意点と目標」について理解する。 国試出題基準:なし	①芯材から完成までの手順を理解することができる。 ②器具の使用方法について理解することができる。 ③製作の注意点を理解することができる。 ④正確かつ精密な頭像を完成目標にすることができる。	42~47
16	9月30日 10月 7日	三村 亘	8	実習	2-16	実習⑥ 粘土を用いた顔の造形 GIO:表情筋や骨格を理解するために、粘土造形を通じて解剖学的な均整をとる方法を身に付ける。 国試出題基準:なし	①寸法の比率を考慮して骨格を形成することができる。 ②拇指(親指)や示指(ひとさし指)で馴染ませることができる。 ③全体のバランスを考慮することができる。 ④様々な角度から作業することができる。 ⑤技工用インストゥルメントを用いて精密な表現を行うことができる。	42~47

【専門基礎分野】 A. 歯科技工と歯科医療	⑥歯科技工管理学 *実務経験のある教員による授業科目
---------------------------------	--------------------------------------

本学期的学習目標(GIO)
歯の解剖学、顎口腔機能学、有床義歯技工学、歯冠修復技工学、小児歯科技工学、矯正歯科技工学を学ぶため、講義を通して「顔および口腔組織の形態と機能」「歯科疾患の周囲組織の変化」「歯科臨床と歯科技工」「口腔と全身の健康管理」について理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット3 歯・歯列の形態と口腔の健康

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前期	月～金	9:00～10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室
			11:25～13:45	
			10:40～12:10	
			13:00～15:25	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	江頭 毅、大峰 礼子、中村 幸実、山田 誠、矢野 恭平、澤田 圭介、石橋 洋一、松山 大樹
成績評価	講義末試験、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	5月11日	山田 誠	2	講義	3-5	3章 顔および口腔組織の形態と機能 GIO: 顔の形態と機能を知るため、「顔の形態」「顔の機能」について理解する。	①顔のバランスを図で示し、縦と横を数値で分割することができる。 ②人の顔の正面外形を大きく3つに分類することができる。 ③顔の機能の種類を3つ列挙することができる。 ④エステティックライン(E-ライン)を図で表すことができる。	33～34
						国試出題基準: なし		
2	5月18日	江頭 毅	3	講義	3-8	4章 歯科疾患と周囲組織の変化 GIO: 正常な口腔環境を知るために「歯の異常」「歯列不正・咬合の異常」について理解する。	①歯の異常の種類を8つ列挙することができる。 ②過剰歯を写真で判断することができる。 ③円錐歯を写真で判断することができる。 ④埋伏歯を写真で判断することができる。 ⑤先天性欠如歯を写真で判断することができる。 ⑥矮小歯を写真で判断することができる。 ⑦癒合歯を写真で判断することができる。 ⑧エナメル質形成不全歯を写真で判断することができる。 ⑨着色歯および変色歯を写真で判断することができる。 ⑩歯列不正・咬合の異常を8つ列挙することができる。	41～43
						国試出題基準: なし		
4	5月18日	DH専任教員	2	講義	3-16	7章 口腔と全身の健康管理 GIO: 口腔と全身の健康管理を知るために、「歯および口腔の衛生管理」について理解する。	①口腔ケアの種類を2つ列挙することができる。 ②セルフケアの特徴を挙げることができる。 ③プロフェッショナルケアの特徴を挙げることができる。 ④セルフケアによる口腔清掃の種類を3つ列挙することができる。	93～94
						国試出題基準: なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	5月18日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	3-17	3章 顔および口腔組織の形態と機能 GIO:口腔の形態を知るため「歯・歯列の形態と構造」「歯周組織の構造」について理解する。	①口腔を構成する組織を3つ列挙することができる。 ②前歯部にみられる歯の種類を3つ列挙することができる。 ③臼歯部にみられる歯の種類を5つ列挙することができる。 ④歯の図をみて歯冠と歯根および歯頸部の場所を特定することができる。 ⑤歯列の図をみて、接触点の場所を特定することができる。 ⑥歯の断面図をみて、構造物を7つ記入することができる。 ⑦歯周組織を4つ列挙することができる。	34~38
						国試出題基準:なし		
5	5月19日	江頭 毅	3	講義	3-19	4章 歯科疾患と周囲組織の変化 GIO:正常な口腔環境を知るために、「歯および硬組織疾患」「歯髄の疾患」の特徴を理解する。	①齶触の特徴を挙げることができる。 ②浸蝕症の特徴を挙げることができる。 ③摩耗症の特徴を挙げることができる。 ④咬耗症の特徴を挙げることができる。 ⑤歯の破折の特徴を挙げることができる。 ⑥歯髄炎の特徴を挙げることができる。	43~45
						国試出題基準:なし		
7	5月25日	DH専任教員	2	講義	3-23	7章 口腔と全身の健康管理 GIO:口腔と全身の健康管理を知るために、「歯および口腔の衛生管理」について理解する。	①口腔ケアの種類を2つ列挙することができる。 ②セルフケアの特徴を挙げることができる。 ③プロフェッショナルケアの特徴を挙げることができる。 ④セルフケアによる口腔清掃の種類を3つ列挙することができる。	94~96
						国試出題基準:なし		
8	5月26日	江頭 毅	3	講義	3-24	4章 歯科疾患と周囲組織の変化 GIO:正常な口腔環境を知るために、「歯周組織疾患」「顎関節症」「舌および口腔軟組織疾患」「顎骨および顔面の疾患」の種類を理解する。	①歯周組織疾患の種類を3つ列挙することができる。 ②顎関節症の症状を3つ列挙することができる。 ③舌および口腔軟組織疾患の種類を7つ列挙することができる。 ④先天的な口腔軟組織の異常を2つ列挙することができる。 ⑤顎骨および顔面の疾患の種類を3つ列挙することができる。	43~45
						国試出題基準:なし		
10	5月29日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	3-25	3章 顔および口腔組織の形態と機能 GIO:口腔の機能を知るために「咀嚼運動」「嚥下運動」「発音運動」「感覚」「表情と顔貌」について理解する。	①口腔の機能を5つ列挙することができる。 ②咀嚼の動作を挙げることができる。 ③嚥下の動作を挙げることができる。 ④発音障害を与える例を3つ列挙することができる。 ⑤体性感覚を4つ列挙することができる。 ⑥特殊感覚を1つ挙げることができる。	39~40
						国試出題基準:なし		
9	6月1日	大峰 礼子	2	演習	3-28	7章 口腔と全身の健康管理 GIO:口腔と全身の健康管理を知るために、「健康政策」について理解する。	①「歯と口の健康週間」の期間を挙げることができる。 ②8020運動の目的を挙げることができる。 ③保険衛生法規の種類を6つ列挙することができる。	96 100
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
12	6月2日	江頭 毅	3	講義	3-31	4章 歯科疾患と周囲組織の変化 GIO: 正常な口腔環境を知るために、「歯の喪失に伴う周囲組織の変化」「歯科疾患の現状」について理解する。 国試出題基準: なし	①歯の喪失に伴う周囲組織の変化を4つ列挙することができる。 ②歯の喪失時に隣接する歯で起こる変化を2つ列挙することができる。 ③歯の喪失時に対合する歯で起こる変化を1つ挙げることができる。 ④齶蝕が発生しやすい環境を挙げることができる。 ⑤歯肉炎や歯周炎を引き起こす原因を挙げることができる。 ⑥咬合接触部位の変化によって生じる症状を2つ列挙することができる。 ⑦男性の平均寿命が最も長い歯を挙げることができる。 ⑧女性の平均寿命が最も長い歯を挙げることができる。 ⑨男性の平均寿命が最も短い歯を挙げることができる。 ⑩女性の平均寿命が最も短い歯を挙げることができる。 ⑪齶蝕有病者率が増加傾向にある年齢を挙げることができる。 ⑫プロービング後の出血が最も多い年代を挙げることができる。 ⑬歯石の沈着状況率が最も多い年代を挙げることができる。 ⑭少数歯欠損ブリッジの使用状況が最も多い年代を挙げることができる。 ⑮部分床義歯と全部床義歯の装着割合が多くなる年代を挙げることができる。	47~52
11	6月6日	松山 大樹	2	講義	3-33	5章 歯科臨床と歯科技工 GIO: 歯科技工を知るため、「硬組織疾患と歯科技工」「歯の欠損と歯科技工」「歯周疾患と歯科技工」について理解する。 国試出題基準: なし	①硬組織疾患の治療に適用する補綴装置の種類を4つ列挙することができる。 ②インレーの使用材料による分類を3つ挙げることができる。 ③インレーの保険適応されている合金の名称を1つ挙げることができる。 ④クラウンの分類を3つ挙げることができる。 ⑤金属を併用しないクラウンの名称を2つ挙げることができる。 ⑥ラミネートベニアの特徴を説明することができる。 ⑦漂白(ホワイトニング)の特徴について説明することができる。	59~64
	6月6日	矢野 恭平	2	講義	3-34	5章 歯科臨床と歯科技工 GIO: 歯科技工を知るため、「硬組織疾患と歯科技工」「歯の欠損と歯科技工」「歯周疾患と歯科技工」について理解する。 国試出題基準: なし	①歯の欠損に適用する補綴装置の種類を4つ列挙することができる。 ②ブリッジの構成を挙げることができる。 ③支台歯とボンテックを連結する方法を3つ挙げることができる。 ④部分床義歯に使用される金属部品を挙げることができる。 ⑤全部床義歯が顎堤に維持される仕組みを理解することができる。 ⑥インプラントに使用する部品の名称を挙げることができる。 ⑦固定(スプリント)の目的を挙げることができる。 ⑧ナイトガードの目的を挙げることができる。	59~64

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
13	6月7日	澤田 圭介	2	講義	3-35	5章 歯科臨床と歯科技工	①歯科矯正に用いられる装置の種類を3つ 列挙することができる。 ②矯正装置の目的を述べる ことができる。 ③保定装置の目的を述べる ことができる。 ④咬合誘導装置の目的を述 べる ことができる。 ⑤口腔外科疾患の治療後に 適用する装置の種類を2つ 列挙することができる。	64~66
						GIO:歯科技工を知るため、「硬組織疾患と歯科技工」「歯の欠損と歯科技工」「歯周疾患と歯科技工」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
14	6月7日	石橋 洋一	2	講義	3-36	5章 歯科臨床と歯科技工	①オクルーザルスプリントの目的を述べる ことができる。 ②マウスガードの目的を述べる ことができる。 ③マウスガードに使用される 樹脂の種類を挙げる ことができる。 ④マウスガードの種類を3つ 分けることができる。	68~71
						GIO:歯科技工を知るため、「歯列不正と歯科技工」「口腔外科疾患と歯科技工」「顎関節症と歯科技工」「スポーツ歯科と歯科技工」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
16	6月8日	大峰 礼子	2	講義	3-37	7章 口腔と全身の健康管理	①2025年で予測される問題 を2つ挙げる ことができる。 ②地域包括ケアシステムの意 味を述べる ことができる。 ③在宅歯科診療を行う上での 制約を3つ 列挙 することができる。 ④在宅歯科診療で歯科技工士 が行う作業の例を3つ挙げる ことができる。	100 ~ 102
						GIO:口腔と全身の健康管理を知るために、「在宅歯科医療」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
15	6月8日	山田 誠	2	講義	3-51	5章 歯科臨床と歯科技工	①CAD/CAMテクノロジー作業 工程を述 べる ことができる。 ②CAD/CAMテクノロジーの利 点を5つ 列 挙 す る こ と が 可 能 。 ③歯科技工学が法医学と関連 する事項 を3つ 列 挙 す る こ と が 可 能 。	68~71
						GIO:歯科技工を知るため、「歯科技工のデジタル化」「歯科法医学と歯科技工」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
16	6月15日	大峰 礼子	2	講義	3-40	7章 口腔と全身の健康管理	①災害時の歯科医療従事者の 役割を3つ 列 挙 す る こ と が 可 能 。 ②災害時の歯科医療従事者の 役割を表で まとめる こ と が 可 能 。	100 ~ 102
						GIO:口腔と全身の健康管理を知るために、「災害時の歯科医療」について理解する。		
						国試出題基準:なし		

【専門基礎分野】 B.歯・口腔の構造と機能	⑦ 歯 の 解 剖 学
---------------------------------	--------------------

本学期的学習目標(GIO)
歯科技工士に必要な歯や口の構造と機能を身につけるため、講義を通して歯や口腔器官の名称、方向用語、場所等に関する用語を修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット3 歯・歯列の形態と口腔の健康

学年	学期	曜日	時間	教室	
1	前期	月～金	9:00～10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室	
			9:00～11:25		
			13:00～15:25		
教科書・参考書					
著者・編集		書名		版	出版社
全国歯科技工士教育協議会		最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学		第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	森田 健一、矢野 恭平、松山 大樹
成績評価	講義末試験、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	5月9日	森田 健一	2	講義	3-4	1. 歯の概説 GIO: 歯の特徴を知るために「ヒトと他の生物の歯の違い」について理解する。	①歯の断面図から観察される歯の構造物を8つ列挙することができる。 ②歯の断面図から観察される歯周組織を4つ列挙することができる。 ③歯の生物学的特性である硬さについて説明できる。 ④食性の違いが歯の形態に反映されていることを説明できる。 ⑤属性の違い(ヒト・動物・魚類)による歯の萌出様式の違いを説明できる。 ⑥動物の違いによる歯の植立様式の違いを説明できる。 ⑦植立様式の違いを図から判断できる。	2~6
						国家試験出題基準:1-A、1-G		
2	5月16日	森田 健一	2	講義	3-10	1. 歯の概説 GIO: ヒトの歯の特徴を知るために「歯の外形と内形」について理解する。	①解剖歯冠と解剖歯根の場所を特定することができる。 ②臨床歯冠と臨床歯根の場所を特定することができる。 ③解剖歯冠・歯根と臨床歯冠・歯根の違いを述べることができる。 ④切歯の機能を挙げるすることができる。 ⑤犬歯の機能を挙げるすることができる。 ⑥臼歯の機能を挙げるすることができる。 ⑦歯頸線の彎曲を図で示すことができる。 ⑧歯頸線の彎曲の程度を述べることができる。 ⑨基本的な歯根の数を挙げるすることができる。 ⑩歯根の名称を挙げるすることができる。 ⑪歯髓腔を構成するものを2つ列挙することができる。 ⑫歯の断面を図で示し、内形の名称を列記できる。 ⑬根管の種類を2つ列挙することができる。	6~9
						国家試験出題基準:1-B		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	5月23日	森田 健一	2	講義	3-21	<p>1. 歯の概説</p> <p>GIO:乳歯と永久歯を知るために、「歯の種類(歯種)」「歯の分類」「歯の記号と歯式」について理解する。</p> <p>国家試験出題基準:1-C、1-D</p>	<p>①永久歯の本数を挙げることができる。</p> <p>②永久歯の歯種を4つに分類することができる。</p> <p>③乳歯の本数を挙げることができる。</p> <p>④乳歯の歯種を3つに分類することができる。</p> <p>⑤歯を植立部位と機能に分けて分類することができる。</p> <p>⑥歯を存在時期で分類することができる。</p> <p>⑦二生歯性の意味を挙げることができる。</p> <p>⑧第一生歯の意味を挙げることができる。</p> <p>⑨第二生歯の意味を挙げることができる。</p> <p>⑩アルファベットの略号を用いた表記法で歯種を列挙できる。</p> <p>⑪数字を用いた表記法で歯種を列挙できる。</p> <p>⑫Zsigmondys Systemの表記法で歯の位置を特定することができる。</p> <p>⑬FDI Systemの表記法で歯の位置を特定することができる。(令2問4)</p> <p>⑭ヒト(永久歯、乳歯)の歯式を列挙できる。</p>	10~15
4	5月30日	森田 健一	2	講義	3-27	<p>1. 歯の概説</p> <p>GIO:個々の歯の形態を理解するために、歯の鑑別方法を身につける。</p> <p>国家試験出題基準:1-E、1-F</p>	<p>①歯の写真や図、模型をみて方向を表す名称を答えることができる。</p> <p>②歯の写真や図、模型をみてそれぞれの歯面の名称を答えることができる。</p> <p>③歯の写真や図、模型をみて辺縁または縁の場所を判断することができる。</p> <p>④歯の写真や図、模型をみて隅角の場所を判断することができる。</p> <p>⑤歯の写真や図、模型をみて隆起部の場所を6つ挙げることができる。</p> <p>⑥歯の写真や図、模型をみて陥没部の場所を4つ挙げることができる。</p> <p>⑦歯種(切歯、犬歯、臼歯)の機能を覚えて、形を見分けることができる。</p> <p>⑧乳歯と永久歯の違いを覚えて、形を見分けることができる。</p> <p>⑨上下の歯の違いを覚えて、形を見分けることができる。</p> <p>⑩順位の鑑別における同一歯種の共通点を5つ挙げることができる。</p> <p>⑪順位の鑑別における歯の大きさの特徴を挙げることができる。</p> <p>⑫歯の唇(頬)舌側の違いを覚えて、形を見分けることができる。</p> <p>⑬ミュールライターの三表徴で歯の左右側を鑑別することができる。</p>	15~21
5	6月2日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	3-32	<p>7. 歯列・咬合</p> <p>GIO:歯列と咬合を知るために「上下歯列弓の位置関係」「切歯の咬合関係」「歯の植立」について理解する。</p> <p>国家試験出題基準:6-A-a, b, c 6-B 6-C</p>	<p>①年齢と歯列名を分類することができる。</p> <p>②乳歯列弓の形を挙げることができる。</p> <p>③混合歯列弓の特徴を挙げることができる。</p> <p>④永久歯列弓の形を挙げることができる。</p> <p>⑤歯列弓歯数を説明することができる。</p> <p>⑥永久歯列弓の男女の差異を挙げることができる。</p> <p>⑦永久歯列弓の人種の差異を挙げることができる。</p> <p>⑧「ボンウィル三角」を説明することができる。</p> <p>⑨「バルクウィル角」を説明することができる。</p> <p>⑩「スピーの彎曲」を説明することができる。</p> <p>⑪「ウイソンの彎曲」を説明することができる。(令4問14)</p> <p>⑫「モンスンの球面」を説明することができる。</p> <p>⑬接触点の形状を挙げることができる。</p> <p>⑭接触点の役割を挙げることができる。</p> <p>⑮接触点の位置を挙げることができる。</p> <p>⑯鼓形空隙の形状を挙げることができる。</p> <p>⑰鼓形空隙の役割を挙げることができる。</p> <p>⑱鼓形空隙の位置を挙げることができる。</p> <p>⑲歯列の種類を2つ挙げることができる。</p> <p>⑳写真や図をみて發育空隙を特定することができる。</p> <p>㉑写真や図をみて靈長空隙を特定することができる。(令2問11)</p> <p>㉒1歯対2歯の関係を図で示し、正しい接触関係を記入することができる。</p> <p>㉓切歯咬合型の種類を7つ列挙することができる。</p> <p>㉔歯の植立方向を歯種ごとに分類することができる。</p>	102 109

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
6	6月14日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	3-39	1. 歯の概説 GIO:歯の特徴を知るために「ヒトと他の生物の歯の違い」について理解する。 国家試験出題基準:1-A、1-G	①歯の断面図から観察される歯の構造物を4つ列挙することができる。 ②歯の断面図から観察される歯周組織を3つ列挙することができる。 ③歯の生物学的特性である硬さについて説明できる。 ④食性の違いが歯の形態に反映されていることを説明できる。 ⑤属性の違い(ヒト・動物・魚類)による歯の萌出様式の違いを説明できる。 ⑥動物の違いによる歯の植立様式の違いを説明できる。 ⑦植立様式の違いを図から判断できる。	15~21
7	6月16日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	3-41	7. 歯列・咬合 GIO:歯の特徴を知るために「ヒトと他の生物の歯の違い」について理解する。 国家試験出題基準:1-B、1-C	①解剖歯冠と解剖歯根の場所を特定することができる。 ②臨床歯冠と臨床歯根の場所を特定することができる。 ③解剖歯冠・歯根と臨床歯冠・歯根の違いを述べることができる。 ④切歯の機能を挙げることができる。 ⑤犬歯の機能を挙げることができる。 ⑥臼歯の機能を挙げることができる。 ⑦歯頸線の彎曲を図で示すことができる。 ⑧歯頸線の彎曲の程度を述べるができる。 ⑨歯型特徴を挙げることができる。 ⑩基本的な歯根の数を挙げることができる。 ⑪歯根の名称を挙げることができる。 ⑫歯髓腔を構成するものを2つ列挙することができる。 ⑬歯の断面を図で示し、内形の名称を列記できる。 ⑭根管の種類を2つ列挙することができる。 ⑮永久歯の本数を挙げることができる。 ⑯永久歯の歯種を4つに分類することができる。 ⑰乳歯の本数を挙げることができる。 ⑱乳歯の歯種を3つに分類することができる。 ⑲歯を植立部位と機能に分けて分類することができる。 ⑳歯を存在時期で分類することができる。 ㉑二生歯性の意味を挙げることができる。 ㉒第一生歯の意味を挙げることができる。 ㉓第二生歯の意味を挙げることができる。 ㉔アルファベットの略号を用いた表記法で歯種を列挙できる。 ㉕数字を用いた表記法で歯種を列挙できる。 ㉖Zsigmondys Systemの表記法で歯の位置を特定することができる。 ㉗FDI Systemの表記法で歯の位置を特定することができる。(令2問4) ㉘ヒト(永久歯、乳歯)の歯式を列挙できる。	102 109
8	6月23日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	3-42	1. 歯の概説 GIO:個々の歯の形態を理解するために、歯の鑑別方法を身につける。 国家試験出題基準:1-D、1-E、1-F	①歯の写真や図、模型をみて方向を表す名称を答えることができる。 ②歯の写真や図、模型をみてそれぞれの歯面の名称を答えることができる。 ③歯の写真や図、模型をみて辺縁または縁の場所を判断することができる。 ④歯の写真や図、模型をみて隅角の場所を判断することができる。 ⑤歯の写真や図、模型をみて隆起部の場所を6つ挙げることができる。 ⑥歯の写真や図、模型をみて陥没部の場所を4つ挙げることができる。 ⑦歯種(切歯、犬歯、臼歯)の機能を覚えて、形を見分けることができる。 ⑧乳歯と永久歯の違いを覚えて、形を見分けることができる。 ⑨上下の歯の違いを覚えて、形を見分けることができる。 ⑩順位の鑑別における同一歯種の共通点を5つ挙げることができる。 ⑪順位の鑑別における歯の大きさの特徴を挙げることができる。 ⑫歯の唇(頬)舌側の違いを覚えて、形を見分けることができる。 ⑬ミューラライターの三表徴で歯の左右側を鑑別することができる。	15~21

【専門基礎分野】 B. 歯・口腔の構造と機能	⑧歯の解剖学 乳歯と永久歯の形態学
----------------------------------	--------------------------

本学期的学習目標(GIO)
歯の形を造形できるようになるために、演習・実習を通して乳歯と永久歯の形態的特徴や名称、造形手順を理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット3 歯・歯列の形態と口腔の健康

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前期	月 ～ 金	9:00～9:45	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室、歯科理工学検査室
			9:00～10:30	
			9:00～12:10	
			9:00～16:10	
			9:45～13:45	
			10:40～12:10	
			10:40～14:30	
			10:40～16:10	
			13:00～14:30	
			13:45～15:25	
			14:40～16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学 月刊歯科技工別冊 Biological Crown Contour - 生体に調和する歯冠形態 -	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	矢野 恭平、松山 大樹
成績評価	実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	4月27日	松山 大樹	4	実習	3-1	実習① 上顎左側中切歯のデッサン (4.0倍大 1.3倍大) GIO:切歯の造形をワックスアップや石膏彫刻で再現できるようになるために、デッサンを通して「形態的特徴」を理解する。	①見本をみながら切縁の外形を描記することができる。 ②見本をみながら唇側面の外形を描記することができる。 ③見本をみながら舌側面の外形を描記することができる。 ④見本をみながら隣接面の外形を描記することができる。 ⑤見本を見ずに切縁の外形を描記することができる。 ⑥見本を見ずに唇側面の外形を描記することができる。 ⑦見本を見ずに舌側面の外形を描記することができる。 ⑧見本を見ずに隣接面の外形を描記することができる。	23～32
						国試出題基準:2-2-A		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
2	5月8日	矢野 恭平	4	演習	3-2	<p>2章 永久歯の形態</p> <p>GIO:切歯の造形をワックスアップや石膏彫刻で再現できるようになるために、「形態的特徴」を理解する。</p>	<p>①唇側面からみた上顎中切歯の写真をみて名称を8個挙げることができる。</p> <p>②唇側面からみた上顎中切歯の外形を述べることができる。</p> <p>③舌側面からみた上顎中切歯の写真をみて名称を10個挙げることができる。</p> <p>④舌側面からみた上顎中切歯の外形を述べることができる。</p> <p>⑤隣接面からみた上顎中切歯の外形を述べることができる。</p> <p>⑥近心面と遠心面の歯頸線彎曲の程度を説明することができる。</p> <p>⑦切縁からみた上顎中切歯の外形を述べる ことができる。</p> <p>⑧上顎中切歯の歯根の形状を述べる ことができる。</p> <p>⑨上顎側切歯の基本的形態を5項目 挙げることができる。</p> <p>⑩唇側面からみた上顎側切歯の 外形を述べる ことができる。</p> <p>⑪舌側面からみた上顎側切歯の 外形を述 べる ことができる。</p> <p>⑫上顎側切歯の写真をみて斜切痕の場所 を特定 する ことができる。</p> <p>⑬上顎側切歯の写真をみて盲孔の場所を 特定 する ことができる。</p> <p>⑭隣接面からみた上顎側切歯の 外形を述 べる ことができる。</p> <p>⑮上顎側切歯の歯根の形状を述べる こと が 可 能 である。</p> <p>⑯上顎中切歯と上顎側切歯の相違を10 項目 挙 げ る こ と が 可 能 である。</p> <p>⑰下顎中切歯の基本的形態を7項目 挙 げ る こ と が 可 能 である。</p> <p>⑱唇側面からみた下顎中切歯の 外形を述 べる こ と が 可 能 である。</p> <p>⑲舌側面からみた下顎中切歯の 外形を述 べる こ と が 可 能 である。</p> <p>⑳隣接面からみた下顎中切歯の 外形を述 べる こ と が 可 能 である。</p> <p>㉑切縁からみた下顎中切歯の 外形を述 べる こ と が 可 能 である。</p> <p>㉒下顎側切歯の基本的形態4項目を 挙 げ る こ と が 可 能 である。</p> <p>㉓唇側面からみた下顎側切歯の 外形を述 べる こ と が 可 能 である。</p> <p>㉔舌側面からみた下顎側切歯の 外形を述 べる こ と が 可 能 である。</p> <p>㉕隣接面からみた下顎側切歯の 外形を述 べる こ と が 可 能 である。</p> <p>㉖下顎中切歯と下顎側切歯の相違を5 項目 挙 げ る こ と が 可 能 である。</p> <p>㉗切歯の写真または図をみて歯種を 特定 す る こ と が 可 能 である。(令3問4)</p> <p>㉘切歯の石膏彫刻PPTムービーを視 聴し て 手 順 を 理 解 す る。</p>	23~32
						国試出題基準:2-2-A		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	5月 8日 5月 9日 5月10日	松山 大樹	16	実習	3-3	実習② 上顎左側中切歯の 歯型彫刻	①石膏棒に近遠心最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで近遠心最外形の設計通りに削除することができる。 ③石膏棒に唇舌側面最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面最外形の設計通りに削除することができる。 ⑤石膏棒に舌側面縮小のための設計をすることができる。 ⑥デザインナイフで舌側面縮小の設計通りに削除することができる。 ⑦石膏棒に舌側面窩と辺縁隆線を設計することができる。 ⑧エバンス彫刻刀で舌側面窩および辺縁隆線を形成することができる。 ⑨石膏棒に唇側面隆線と唇側面溝を設計することができる。 ⑩黄色のインストゥルメントで唇側面隆線と唇側面溝を形成することができる。 ⑪石膏棒に切縁結節と歯頸線を設計することができる。 ⑫デザインナイフで切縁結節と歯頸線を形成することができる。 ⑬デザインナイフとエバンス彫刻刀で表面をきれいに仕上げることができる。 ⑭上顎中切歯らしい形を表現することができる。 ⑮怪我に気を付けて作業を行うことができる。 ⑯作業を通して石膏彫刻の手順を理解することができる。	23~32
						GIO:石膏彫刻で切歯の形態を再現できるようにするために、「設計」「削除」「器具の扱い方」の手技を修得する。		
4	5月11日	松山 大樹	2	演習	3-6	3章 乳歯の形態	①永久歯と比較した乳歯の大きさについて説明することができる。 ②永久歯と比較した乳歯の歯冠について説明することができる。 ③永久歯と比較した乳歯の歯頸部について説明することができる。 ④永久歯と比較した乳歯の歯根について説明することができる。 ⑤永久歯と比較した乳歯の発生学について説明することができる。 ⑥写真または図をみて上顎乳中切歯を特定することができる。 ⑦写真または図をみて上顎乳側切歯を特定することができる。 ⑧写真または図をみて下顎乳中切歯を特定することができる。 ⑨写真または図をみて下顎乳側切歯を特定することができる。	62~66
						GIO:乳切歯の形態を知るために、「基本的構造」「名称」を理解する。		
5	5月11日 5月12日 5月15日	矢野 恭平	12	実習	3-7	実習③ 上顎左側中切歯の ワックスアップ	①土台をワックスアップすることができる。 ②隣在歯の豊隆に合わせて隣接面接触点を回復することができる。 ③隣在歯の隅角に合わせて切縁隅角を回復することができる。 ④歯肉の形態に調和するように唇舌側面の豊隆を回復することができる。 ⑤対合歯との咬み合わせを考慮しながら舌側面を形成することができる。 ⑥インストゥルメント類を用いて細部形成をすることができる。 ⑦製作手順に沿ってワックスアップを行うことができる。 ⑧ワックスの温度に配慮して部品ごとにワックスアップすることができる。 ⑨火傷に気を付けて作業を行うことができる。 ⑩上顎中切歯らしい形を表現することができる。	23~32
						GIO:ワックスアップで切歯の形態を再現できるようにするために、「盛り方」「器具の扱い方」の手技を修得する。		
						国試出題基準:2-2-A		
						国試出題基準:なし		
						国試出題基準:2-2-A		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
6	5月15日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	3-9	上顎左側中切歯のフィードバック	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。	
						GIO:上顎中切歯の形態を正しく認識するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点を見つける。 国試出題基準:なし		
7	5月16日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	3-9	上顎左側中切歯の手直し	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べることができる。 ③上手いかわからないときは再度質問することができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むことができる。	
						GIO:上顎中切歯の形態を正しく再現するため、教員から伝えられたところを修正する。 国試出題基準:なし		
8	5月16日	矢野 恭平	2	実習	3-11	実習④ 上顎左側犬歯のデッサン(4.0倍大 1.3倍大)	①見本をみながら切縁の外形を描記することができる。 ②見本をみながら唇側面の外形を描記することができる。 ③見本をみながら舌側面の外形を描記することができる。 ④見本をみながら隣接面の外形を描記することができる。 ⑤見本を見ずに切縁の外形を描記することができる。 ⑥見本を見ずに唇側面の外形を描記することができる。 ⑦見本を見ずに舌側面の外形を描記することができる。 ⑧見本を見ずに隣接面の外形を描記することができる。	32~36
						GIO:犬歯をワックスアップや石膏彫刻で再現できるようになるために、デッサンを通して「形態的特徴」を理解する。 国試出題基準:2-2-B		
9	5月16日	松山 大樹	2	演習	3-12	2章 永久歯の形態	①上顎犬歯の基本的形態を4項目挙げる ことができる。 ②唇側面からみた上顎犬歯の写真をみて名称を14個挙げる ことができる。 ③唇側面からみた上顎犬歯の外形を述べる ことができる。 ④舌側面からみた上顎犬歯の写真をみて名称を9個 挙げる ことができる。 ⑤舌側面からみた上顎犬歯の外形を述べる ことができる。 ⑥隣接面からみた上顎犬歯の外形を述べる ことができる。 (令4問5) ⑦近心面と遠心面の歯頸線彎曲の程度を説明 することができる。 ⑧切縁からみた上顎犬歯の外形を述べる ことができる。 ⑨全歯群と比較した歯根の長さを説明する ことができる。 (令2問7) ⑩唇側面からみた下顎犬歯の外形を述べる ことができる。 ⑪舌側面からみた下顎犬歯の外形を述べる ことができる。 ⑫隣接面からみた下顎犬歯の外形を述べる ことができる。 ⑬切縁からみた下顎犬歯の外形を述べる ことができる。 ⑭下顎犬歯の歯根の形状を述べる ことができる。 ⑮上顎犬歯と下顎犬歯の相違を5項目挙げる ことができる。 ⑯犬歯の写真または図をみて歯種を特定 することができる。 ⑰犬歯の石膏彫刻PPTムービーを視聴して 手順を理解する。	32~36
						GIO:犬歯の造形をワックスアップや石膏彫刻で再現できるようになるために、「形態的特徴」を理解する。 国試出題基準:2-2-B		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
10	5月17日	矢野 恭平	1	演習	3-13	3章 乳歯の形態	①永久歯と比較した上顎乳犬歯の歯冠外形について述べるができる。 ②永久歯と比較した上顎乳犬歯の歯根の形状について述べるができる。 ③永久歯と比較した下顎乳犬歯の歯冠外形について述べるができる。 ④永久歯と比較した下顎乳犬歯の歯根の形状について述べるができる。 ⑤写真または図をみて上顎乳犬歯を特定することができる。 ⑥写真または図をみて下顎乳犬歯を特定することができる。	66~38
						GIO:乳犬歯の形態を知るために、「基本的構造」「名称」を理解する。		
						国試出題基準:なし		
11	5月17日	松山 大樹	4	実習	3-14	実習⑤上顎左側第一小白歯のデッサン(4.0倍大 1.3倍大)	①見本をみながら咬合面の外形を描記することができる。 ②見本をみながら頬側面の外形を描記することができる。 ③見本をみながら舌側面の外形を描記することができる。 ④見本をみながら隣接面の外形を描記することができる。 ⑤見本を見ずに咬合面の外形を描記することができる。 ⑥見本を見ずに頬側面の外形を描記することができる。 ⑦見本を見ずに舌側面の外形を描記することができる。 ⑧本を見ずに隣接面の外形を描記することができる。	37~48
						GIO:小白歯の造形をワックスアップや石膏彫刻で再現できるようになるために、デッサンを通して「形態的特徴」を理解する。		
						国試出題基準:2-D		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
12	5月18日	矢野 恭平	1	演習	3-15	2章 永久歯の形態 GIO:小臼歯の造形をワックスアップや石膏彫刻で再現できるようになるために「形態的特徴」を理解する。 国試出題基準:なし	①上顎第一小臼歯の基本的形態を3項目挙げるができる。 ②咬合面からみた上顎第一小臼歯の写真または図をみて名称を19個挙げるができる。 ③上顎第一小臼歯の咬合面外形を述べるができる。 ④上顎第一小臼歯の咬頭の数述べることができる。 ⑤上顎第一小臼歯の咬頭の高低差を数値化して述べるができる。 ⑥上顎第一小臼歯の写真をみて介在結節の場所を特定することができる。 ⑦上顎第一小臼歯の溝の形状を述べることができる。 ⑧頬側面からみた上顎第一小臼歯の外形を述べるができる。 ⑨頬側面からみた上顎第一小臼歯の写真または図をみて名称を6個挙げるができる。 ⑩舌側面からみた上顎第一小臼歯の外形を述べることができる。 ⑪隣接面からみた上顎第一小臼歯の外形を述べるができる。 ⑫上顎第一小臼歯の歯根数を述べるができる。 ⑬上顎第二小臼歯の基本的形態を5項目挙げるができる。 ⑭上顎第二小臼歯の咬合面外形を述べるができる。 ⑮上顎第二小臼歯の咬頭の数述べることができる。 ⑯上顎第二小臼歯の咬頭の高低差を数値化して述べることができる。 ⑰上顎第二小臼歯の溝の形状を述べることができる。 ⑱頬側面からみた上顎第二小臼歯の外形を述べることができる。 ⑲舌側面からみた上顎第二小臼歯の外形を述べることができる。 ⑳隣接面からみた上顎第二小臼歯の外形を述べることができる。 ㉑上顎第二小臼歯の歯根数を述べることができる。 ㉒上顎第一小臼歯と上顎第二小臼歯の相違を6項目挙げるができる。 ㉓上顎小臼歯の写真または図をみて歯種を特定することができる。(令2問5)	37~42

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
13	5月18日	松山 大樹	4	演習	3-15	2、永久歯の形態 GIO:小臼歯の造形をワックスアップや石膏彫刻で再現できるようになるために、「形態的特徴」を理解する。	①咬合面からみた下顎第一小臼歯の写真または図をみて名称を17個挙げるができる。 ②下顎第一小臼歯の咬合面外形を述べることができる。 ③下顎第一小臼歯の咬頭の数述べることができる。 ④下顎第一小臼歯の咬頭の高低差を数値化して述べるができる。(令3問11) ⑥下顎第一小臼歯の溝の走行を述べることができる。 ⑦頬側面からみた下顎第一小臼歯の外形を述べることができる。 ⑧舌側面からみた下顎第一小臼歯の外形を述べることができる。 ⑨隣接面からみた下顎第一小臼歯の外形を述べることができる。 ⑩下顎第一小臼歯の歯根の形状を述べることができる。 ⑪下顎第二小臼歯の咬合面外形を述べることができる。 ⑫下顎第二小臼歯の咬頭の数述べることができる。 ⑬下顎第二小臼歯の咬頭の名称を挙げるができる。(令4問11) ⑭下顎第二小臼歯の写真をみて中心結節の場所を特定することができる。 ⑮頬側面からみた下顎第二小臼歯の外形を述べることができる。 ⑯舌側面からみた下顎第二小臼歯の外形を述べることができる。 ⑰隣接面からみた下顎第二小臼歯の外形を述べることができる。 ⑱下顎第二小臼歯の歯根の形状を述べることができる。 ⑲下顎第一小臼歯と下顎第二小臼歯の相違を10項目挙げるができる。 ⑳下顎小臼歯の写真または図をみて歯種を特定することができる。 ㉑上顎第一小臼歯の石膏彫刻PPTムービーを視聴して手順を理解する。	43~48
						国試出題基準:2-2-C		
14	5月19日	松山 大樹	4	実習	3-18	実習⑥ 下顎右側第一大臼歯のデッサン(4.0倍大 1.3倍大) GIO:大臼歯の造形をワックスアップや石膏彫刻で再現できるようになるために、デッサンを通して「形態的特徴」を理解する。	①見本をみながら咬合面の外形を描記することができる。 ②見本をみながら頬側面の外形を描記することができる。 ③見本をみながら舌側面の外形を描記することができる。 ④見本をみながら隣接面の外形を描記することができる。 ⑤見本を見ずに咬合面の外形を描記することができる。 ⑥見本を見ずに頬側面の外形を描記することができる。 ⑦見本を見ずに舌側面の外形を描記することができる。 ⑧本を見ずに隣接面の外形を描記することができる。	48~61
						国試出題基準:2-2-D		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
15	5月22日	矢野 恭平	4	演習	3-20	2章 永久歯の形態 GIO:大臼歯の造形をワックスアップや石膏彫刻で再現できるようになるために、「形態的特徴」を理解する。	①咬合面からみた上顎第一大臼歯の写真または図をみて名称を28個挙げることができる。 ③上顎第一大臼歯の咬合面外形を述べることができる。 ④上顎第一大臼歯の咬頭の数を述べることができる。 ⑤上顎第一大臼歯の咬頭の高さを順番に述べることができる。 ⑥上顎第一大臼歯の咬頭の大きさを順番に述べることができる。 ⑦上顎第一大臼歯の咬合面の溝を述べることができる。 ⑧上顎第一大臼歯の写真をみて斜走隆線の場所を特定することができる。 ⑨上顎第一大臼歯の写真をみてカラベリー結節の場所を特定することができる。 ⑩頬側面からみた上顎第一大臼歯の外形を述べることができる。 ⑪上顎第一大臼歯の写真をみて根間突起の場所を特定することができる。 ⑫舌側面からみた上顎第一大臼歯の外形を述べることができる。 ⑬隣接面からみた上顎第一大臼歯の外形を述べることができる。 ⑭上顎第一大臼歯の歯根数を述べることができる。 ⑮上顎第一大臼歯の歯根の形状を述べることができる。 ⑯上顎第二大臼歯の咬合面外形を述べることができる。 ⑰頬側面からみた上顎第二大臼歯の外形を述べることができる。 ⑱舌側面からみた上顎第二大臼歯の外形を述べることができる。 ⑲隣接面からみた上顎第二大臼歯の外形を述べることができる。 ⑳上顎第二大臼歯の歯根数を述べることができる。 ㉑上顎大臼歯の後方推移を8項目挙げることができる。 ㉒上顎大臼歯の写真または図をみて歯種を特定することができる。	48~61
						国試出題基準:2-2-D		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
16	5月22日	松山 大樹	4	演習	3-20	2章 永久歯の形態 GIO:大臼歯の造形をワックスアップや石膏彫刻で再現できるようになるために、「形態的特徴」を理解する。	①咬合面からみた下顎第一大臼歯の写真または図をみて名称を30個挙げるができる。 ③下顎第一大臼歯の咬合面外形を述べるができる。 ④下顎第一大臼歯の咬頭の数述べることができる。 ⑤下顎第一大臼歯の咬頭の高さを順番に述べるができる。(令2問6) ⑥下顎第一大臼歯の咬頭の大きさを順番に述べるができる。 ⑦下顎第一大臼歯の咬合面の溝を述べることができる。 ⑧下顎第一大臼歯の写真をみて屈曲隆線の場所を特定することができる。 ⑨下顎第一大臼歯の写真をみてプロトスタイルの場所を特定することができる。 ⑩下顎第一大臼歯の写真をみてドリオピテクス型の場所を特定することができる。(令3問8) ⑪下顎第一大臼歯の写真をみて第六咬頭の場所を特定することができる。 ⑫下顎第一大臼歯の写真をみて第七咬頭の場所を特定することができる。 ⑬頬側面からみた下顎第一大臼歯の外形を述べるができる。 ⑭下顎第一大臼歯の写真をみて根間突起の場所を特定することができる。 ⑮舌側面からみた下顎第一大臼歯の外形を述べることができる。 ⑯隣接面からみた下顎第一大臼歯の外形を述べることができる。 ⑰下顎第一大臼歯の歯根数を述べることができる。 ⑱下顎第二大臼歯の咬合面外形を述べることができる。 ⑲頬側面からみた下顎第二大臼歯の外形を述べることができる。 ⑳舌側面からみた下顎第二大臼歯の外形を述べることができる。 ㉑隣接面からみた下顎第二大臼歯の外形を述べることができる。 ㉒下顎第二大臼歯の歯根数を述べることができる。 ㉓下顎大臼歯の後方推移を8項目挙げるができる。 ㉔下顎大臼歯の写真または図をみて歯種を特定することができる。 ㉕上顎第一小臼歯の石膏彫刻PPTムービーを視聴して手順を理解する。	48~61
						国試出題基準:2-2-D		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
17	5月31日	矢野 恭平	16	実習	3-22	実習⑦ 下顎右側第一大臼歯の形態の歯型彫刻	①近遠心最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで近遠心最外形の設計通りに削除することができる。 ③頬舌側面最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで頬舌側面最外形の設計通りに削除することができる。 ⑤頬舌側面傾斜を設計することができる。 ⑥デザインナイフで頬舌側面傾斜の設計通りに削除することができる。 ⑦頬舌側面縮小を設計することができる。 ⑧デザインナイフで頬舌側面縮小の設計通りに削除することができる。 ⑨辺縁隆線の深さと中心溝の位置を設計することができる。 ⑩デザインナイフで辺縁隆線と中心溝の設計通りに削除することができる。 ⑪咬頭傾斜角と咬頭展開角を設計することができる。 ⑫デザインナイフで咬頭傾斜角と咬頭展開角を削除することができる。 ⑬咬合面隆線と副溝の位置を設計することができる。 ⑭デザインナイフで咬合面隆線と副溝を形成することができる。 ⑮歯頸線の位置を設計することができる。 ⑯デザインナイフで歯頸線を形成することができる。 ⑰デザインナイフとエバンス彫刻刀で表面をきれいに仕上げることができる。 ⑱上顎第一大臼歯らしい形を表現することができる。 ⑲怪我に気を付けて作業を行うことができる。 ⑳作業を通して石膏彫刻の手順を理解することができる。	48~61
						GIO:石膏彫刻で臼歯の形態を再現できるようになるために、「設計」「削除」「器具の扱い方」の手技を修得する。		
国試出題基準:2-2-D								
18	5月29日 5月31日	松山 大樹	16	実習	3-26	実習⑧ 下顎右側第一大臼歯の形態のワックスアップ	①土台をワックスアップすることができる。 ②隣在歯の豊隆に合わせて隣接面接触点を回復することができる。 ③隣在歯の咬頭や対合歯に合わせて咬頭および咬合縁を回復することができる。 ④歯肉の形態に調和するように頬舌側面の豊隆を回復することができる。 ⑤対合歯との咬み合わせを考慮しながら咬合面を形成することができる。 ⑥インストゥルメント類を用いて細部形成することができる。 ⑦製作手順に沿ってワックスアップを行うことができる。 ⑧ワックスの温度に配慮して部品ごとにワックスアップすることができる。 ⑨火傷に気を付けて作業を行うことができる。 ⑩下顎第一大臼歯らしい形を表現することができる。	48~61
						GIO:ワックスアップで臼歯の形態を再現できるようになるために、「盛り方」「器具の扱い方」の手技を修得する。		
国試出題基準:2-2-D								

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
19	6月2日	矢野 恭平	2	演習	3-29	3章 乳歯の形態	①上顎第一乳臼歯の咬頭数を述べることができる。 ②上顎第一乳臼歯の咬合面外形を述べることができる。 ③上顎第一乳臼歯の歯根数を述べることができる。 ④上顎第二乳臼歯の咬頭数を述べることができる。 ⑤上顎第二乳臼歯の咬合面外形を述べることができる。 ⑥上顎第二乳臼歯の歯根数を述べることができる。 ⑦下顎第一乳臼歯の咬頭数を述べることができる。 ⑧下顎第一乳臼歯の咬合面外形を述べることができる。 ⑨下顎第一乳臼歯の歯根数を述べることができる。 ⑩下顎第一乳臼歯の写真をみて遠心トリゴニード隆線を特定することができる。 ⑪下顎第一乳臼歯の写真をみてトリゴニード切痕を特定することができる。 ⑫下顎第二乳臼歯の咬頭数を述べることができる。 ⑬下顎第二乳臼歯の咬合面外形を述べることができる。 ⑭下顎第二乳臼歯の歯根数を述べることができる。 ⑮写真または図をみて上顎第一乳臼歯を特定することができる。 ⑯写真または図をみて上顎第二乳臼歯を特定することができる。 ⑰写真または図をみて下顎第一乳臼歯を特定することができる。 ⑱写真または図をみて下顎第二乳臼歯を特定することができる。	68~71
						GIO:乳臼歯の形態を再現できるようにするため、「基本的構造」「名称」を理解する。		
						国試出題基準:なし		
20	6月5日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	3-30	下顎右側第一大臼歯のフィードバック	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。	
						GIO:下顎第一大臼歯の形態を正しく認識するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点をみつける。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
21	6月5日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	3-30	下顎右側第一大臼歯の手直し	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べることができる。 ③上手くいかないときは再度質問することができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むことができる。	
						GIO:下顎第一大臼歯の形態を正しく再現するため、教員から伝えられたところを修正する。		
						国試出題基準:なし		

【専門分野】 B. 歯冠修復治療における歯科技工(歯冠修復技工学)	⑱ 歯冠修復技工学 クラウン *実務経験のある教員による授業科目
---	--

本学期的学習目標(GIO)
クラウン製作を通じて単独歯の修復物を供給する歯科技工士になるため、歯の形態や機能、調和、審美性についての名称や特徴、また製作方法について修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット4 歯冠修復治療とクラウンの製作、ユニット7 生体歯科技工、欠損歯列への対応

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前・後期	月 火 土	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室
			10:40~13:45	
			11:25~14:30	
			13:00~14:30	
			13:00~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	矢野 恭平、松山 大樹
成績評価	実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	6月9日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	4-1	1章 歯冠修復技工学の概要 GIO: 歯冠修復による補綴治療を知るために、「歯冠修復技工学の意義と目的」と「臨床的価値」について理解する。 国試出題基準: 1-A	① 歯冠修復技工学を学ぶ意義を挙げることができる。 ② 歯冠修復技工学を学ぶ臨床的価値を挙げることができる。 ③ 歯冠修復物が回復する機能を5つ列挙することができる。 ④ 歯冠修復物が回復する審美性について挙げることができる。 ⑤ 口腔衛生の管理について挙げることができる。 ⑥ 口腔衛生の管理に適した歯冠修復物の形態を挙げることができる。	1~3

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
2	6月9日	矢野 恭平 松山 大樹	3	講義	4-2	2章 クラウンの概要と種類	<ul style="list-style-type: none"> ① 部分被覆冠の種類を9つ列挙することができる。 ② 全部被覆冠の種類を3つ列挙することができる。 ③ プリッジの支台装置に用いられる歯冠修復物を挙げる事ができる。 ④ インレーとアンレーの違いを挙げる事ができる。 ⑤ 3/4クラウンと7/8クラウンの違いを挙げる事ができる。 ⑥ プロキシマルハーフクラウンの特徴を挙げる事ができる。(令4問65) ⑦ ビンレッジの維持について説明することができる。 ⑧ ラミネートベニアの接着方法を挙げる事ができる。 ⑨ 全部金属冠の特徴を挙げる事ができる。 ⑩ 全部金属冠に使用される合金を挙げる事ができる。 ⑪ 前装冠の種類を2つ挙げる事ができる。 ⑫ ジャケットクラウンの特徴を挙げる事ができる。 ⑬ ジャケットクラウンの種類を2つ挙げる事ができる。 ⑭ CAD/CAMシステムで製作する補綴装置の種類を2つ挙げる事ができる。 ⑮ 図や写真をみて歯冠修復物の名称を特定することができる。 ⑯ 継続歯の特徴を挙げる事ができる。 	5~10
						GIO:クラウンの分類を知るために、「クラウンの概要」「部分被覆冠」「全部被覆冠」「継続歯」について理解する。		
						国試出題基準:2-B,C,D		
3	7月7日	矢野 恭平 松山 大樹	4	講義	4-21	4章 クラウンとブリッジの具備要件	<ul style="list-style-type: none"> ① 切歯の形態的特徴を挙げる事ができる。 ② アンテリアガイダンスの部位を図で示すことができる。 ③ 犬歯の形態的特徴を挙げる事ができる。 ④ 小白歯の形態的特徴を挙げる事ができる。 ⑤ 大白歯の形態的特徴を挙げる事ができる。 ⑥ 歯冠修復物の大白歯咬合面に付与する形態を挙げる事ができる。 ⑦ 隣接面接触点の意義を列挙することができる。 ⑧ 隣接面接触点の場所とサイズを挙げる事ができる。 ⑨ 隣接面接触点の位置を図で示すことができる。 ⑩ 隣接面接触点のサイズを図で示すことができる。 ⑪ 隣接面接触点が弱い場合に生じる悪影響を挙げる事ができる。 ⑫ 隣接面接触点の強さを検査する方法を挙げる事ができる。 ⑬ 象牙質が露出した支台歯のリスクを挙げる事ができる。 ⑭ 辺縁部の不適合が惹起する項目を挙げる事ができる。(令3問66) ⑮ 歯冠修復物の辺縁はどこに設定すべきか説明することができる。 ⑯ 生物学的幅径を図で示し適切な辺縁部の適合を挙げる事ができる。 ⑰ エマーゼンスプロファイルが示すエリアを説明することができる。(令3問70) ⑱ 「咀嚼された食物の流れ」を図で示すことができる。 ⑲ オーバーカントゥアが歯周組織に与える影響を3つ列挙することができる。(令4問62) ⑳ アンダーカントゥアが歯周組織に与える影響を3つ列挙することができる。 ㉑ 歯冠修復物の表面が粗造であった場合に起こる悪影響を挙げる事ができる。 ㉒ 歯冠修復物を装着後に清掃が必要な部位を挙げる事ができる。 ㉓ 歯冠修復物装着後の予後不良の原因を挙げる事ができる。 ㉔ 咀嚼機能回復のために必要な要件を7つ列挙することができる。 ㉕ 発音機能・発声機能に関与する組織を挙げる事ができる。 	17~27
						GIO:歯列における歯の役割を知るために、「生物学的要件」について理解する。		
						国試出題基準:4-A		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
4	8月21日	松山 大樹 矢野 恭平	3	講義	4-38	6章 歯冠修復と部分被覆冠 GIO:部分被覆冠の種類を分類するために、「インレー、アンレー」「窩洞の形態と構成要素」を理解する。	①インレーの用途を説明することができる。 ②インレーとアンレーの違いを説明することができる。 ③インレー・アンレーの特徴を5つ挙げることができる。 ④メタルインレーのスプルー線植立位置を説明することができる。 ⑤コンポジットインレーの製作に使用する器具を挙げることができる。 ⑥コンポジットレジンインレーの製作方法を説明することができる。 ⑦ポーセレンインレーを製作する方法を説明することができる。 ⑧インレー・アンレーの種類を3つ挙げ特徴を表にまとめることができる。 ⑨「歯面の数による分類」を2種挙げ特徴を表にまとめることができる。 ⑩「窩洞の形態による分類」を2種挙げ特徴を表にまとめることができる。 ⑪「ブラックの分類」を6つ列挙することができる。 ⑫図や写真をみてブラックの分類を識別することができる。 ⑬「窩洞の構成要素」を図で示し名称を記入することができる。	115 ～ 121
						国試出題基準:6-A		
5	8月21日 8月22日	松山 大樹 矢野 恭平	4	講義	4-39	6章 歯冠修復と部分被覆冠 GIO:部分被覆冠の種類を分類するために、「3/4クラウン、4/5クラウン、7/8クラウン」「プロキシマルハーフクラウン」「ピンレッジ」「ラミネートベニア」について理解する。	①3/4、4/5、7/8クラウンの離脱防止のために付与するものを2つ挙げることができる。 ②3/4クラウンが用いられる歯を挙げることができる。 ③4/5クラウンが用いられる歯を挙げることができる。 ④7/8クラウンが用いられる歯を挙げることができる。 ④支台歯の形態からテーパーとグループを特性することができる。 ⑤プロキシマルハーフクラウンの特徴を挙げることができる。(令4問65) ⑥ピンレッジの特徴を挙げることができる。 ⑦ピンレッジの支台歯形態に形成される構造を説明することができる。 ⑧ラミネートベニアに使用される材料を挙げることができる。 ⑨ラミネートベニア修復で削除する歯質を挙げることができる。 ⑩ラミネートベニア修復の接着工程をチャートに表すことができる。(令2問54)(令3問54) ⑪ラミネートベニアの適応症を挙げることができる。 ⑫ラミネートベニアの禁忌症を挙げることができる。 ⑬ラミネートベニア修復の利点を6つ挙げることができる。 ⑭ラミネートベニア修復の欠点を5つ挙げることができる。 ⑮耐火埋没法によるラミネートベニアの製作工程を挙げることができる。 ⑯ラミネートベニアの製作上の注意点を挙げることができる。	121 ～ 128
						国試出題基準:6-B,C,D,E		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
6	8月24日	松山 大樹 矢野 恭平	6	講義 演習	4-42	7章 全部被覆冠	<ul style="list-style-type: none"> ① 全部金属冠が満たすべき要件を10種挙げる事ができる。 ② 全部金属冠の支台歯に付与するテーパーと形態を挙げる事ができる。 ③ 全部金属冠の軸面に付与する補助的保持形態を挙げる事ができる。 ④ 前装冠の種類、特徴、適応用途を表にまとめる事ができる。 ⑤ 前装冠の支台歯形成とマージンの形態について挙げる事ができる。 ⑥ パーシャルベイク型とフルベイク型を図で示す事ができる。 ⑦ レジン前装冠の製作手順を列挙することができる。(令3問53)(令3問61)(令3問65) ⑧ レジン前装冠の利点を5つ挙げる事ができる。 ⑨ レジン前装冠の欠点を4つ挙げる事ができる。 ⑩ 前装スペースの窓開けで注意することを挙げる事ができる。(令2問67) ⑪ 陶材焼付金属冠の製作手順を列挙することができる。(令2問64)(令和問70) ⑫ 陶材焼付金属冠の利点を4つ挙げる事ができる。(令4問56) ⑬ 陶材焼付金属冠の欠点を5つ挙げる事ができる。 ⑭ 陶材焼付金属冠のメタルフレームの具備形態を図で示す事ができる。 ⑮ アルミナサンドブラストの目的を挙げる事ができる。 ⑯ デイギヤッシングの目的を挙げる事ができる。(令4問57) ⑰ コンデンスの効果を述べる事ができる。 ⑱ ステイニングとつや出しの目的を挙げる事ができる。 	129 140
						GIO:全部被覆冠を製作できるようになるために「全部金属冠」「前装冠」について理解する。		
7	8月30日	松山 大樹 矢野 恭平	2	講義	4-46	7章 全部被覆冠	<ul style="list-style-type: none"> ① ジャケットクラウンの種類、特徴、適応用途を表にまとめる事ができる。 ② ジャケットクラウンの支台歯形態を挙げる事ができる。 ③ 硬質レジンジャケットクラウンの適応症を6つ挙げる事ができる。 ④ 硬質レジンジャケットクラウンの禁忌症を4つ挙げる事ができる。 ⑤ 硬質レジンレジンジャケットクラウンの製作手順を列挙することができる。(令3問56) ⑥ 機械切削加工法によるジャケットクラウンの製作法を列挙することができる。(令4問54) ⑦ ポーセレンジャケットクラウンの特徴を挙げる事ができる。 ⑧ オールセラミッククラウンの定義を説明することができる。 ⑨ オールセラミッククラウンの材質を説明することができる。 ⑩ オールセラミッククラウンの製作方法を挙げる事ができる。 	140 146
						GIO:全部被覆冠を製作できるようになるために「ジャケットクラウン」について理解する。		
8	8月30日	松山 大樹 矢野 恭平	2	講義	4-47	10章 CAD/CAMシステム	<ul style="list-style-type: none"> ① CAD/CAMシステムを構成する機器を4つ挙げる事ができる。 ② CAD/CAMシステムを使用した歯科技工物製作の流れを説明することができる。 ③ CADからCAMにデータ送信する際に使用するソフトの名称を挙げる事ができる。 ④ CAMソフトから加工装置に送信する際に使用するデータの名称を挙げる事ができる。 ⑤ CAD/CAMシステムの利点を5つ挙げる事ができる。(令3問62) ⑥ CAD/CAMシステムの欠点を2つ挙げる事ができる。 ⑦ CAD/CAMシステムで使用される材料を表にすることができる。(令2問61)(令3問58)(令4問69) 	172 175
						GIO:CAD/CAMシステムで歯を製作できるようになるために「構成」「利点と欠点」「使用される材料」を理解する。		
						国試出題基準:7-A,B		
						国試出題基準:7-C		
						国試出題基準:10-A,B,C		

【専門分野】 B. 歯冠修復治療における歯科技工(歯冠修復技工学)	②1 歯冠修復技工学 クラウンとブリッジの製作 *実務経験のある教員による授業科目
---	---

本学期的学習目標(GIO)
単独歯の歯冠修復と欠損歯列への対応ができるようになるため、テンポラリークラウン、インレー、前装冠、CAD/CAMシステムの名称や特徴および機能、また製作方法について修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット4 歯冠修復治療とクラウンの製作、 ユニット7 生体歯科技工、欠損歯列への対応

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前・後期	月 火 水 木 金	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室、基礎実習室 歯科理工学検査室、ポーセレン室、 6Fコンピュータ室
			9:00~12:10	
			9:00~14:30	
			9:00~16:10	
			10:40~12:10	
			10:40~13:45	
			10:40~14:30	
			10:40~15:25	
			10:40~16:10	
			13:00~14:30	
			13:00~16:10	
			13:45~14:30	
			14:40~15:25	
			14:40~16:10	
15:25~16:10				

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 月刊歯科技工別冊 Biological Crown Contour - 生体に調和する歯冠形態 -	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	矢野 恭平、松山 大樹
成績評価	実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	6月9日	矢野 恭平 松山 大樹	1	講義	4-3	5章 クラウンとブリッジの製作 GIO:クラウン製作の製作過程を知るようになるため、「臨床ステップの概要」「歯科技工所が担う作業」「歯科診療所との連携」について理解する。 国試出題基準:5-A	①歯科技工所が担う製作過程を述べることができる。 ②歯科診療所が担う製作過程を述べることができる。 ③歯科技工所で製作する歯冠修復物を7つ列挙することができる。 ④製作する歯冠修復物の使用目的を述べることができる。 ⑤歯科技工所と歯科診療所の連携が起こる場面を9つ列挙することができる。	41~43

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
2	6月9日 6月12日	矢野 恭平 松山 大樹	4	講義 演習	4-4	5章 クラウンとブリッジの製作 GIO:個人トレーの製作ができるようになるため、「印象採得」「研究用模型」「印象用トレー」について理解する。 国試出題基準: 5-B、5-C-a、5-D-a、5-D-b	①可逆性印象材の種類を2つ列挙することができる。 ②不可逆性印象材の種類を3つ列挙することができる。 ③ハイドロコロイド印象材の種類を2つ列挙することができる。 ④ゴム質印象材の種類を2つ列挙することができる。 ⑤アルジネート印象材の特徴を述べることができる。(令和4問55) ⑥寒天印象材の特徴を述べることができる。 ⑦シリコンゴム印象材の特徴を述べることができる。 ⑧ポリエーテルゴム印象材の特徴を述べることができる。 ⑨模型材の注入時に注意すべき点を5つ列挙することができる。 ⑩研究用模型を製作する目的を4つ列挙することができる。 ⑪印象用トレーを使用する目的を3つ列挙することができる。 ⑫印象用トレーの種類を3つ列挙することができる。 ⑬既製トレーの特徴を4つ列挙することができる。 ⑭個人トレーの特徴を挙げるができる。 ⑮個歯トレーの特徴を挙げるができる。 ⑯個人トレー製作の流れを挙げるができる。	41~51
3	6月12日 6月13日	矢野 恭平 松山 大樹	7	実習	4-5	症例① 上顎研究用模型の製作 GIO:個人トレーの製作ができるようになるため、「作業用模型の製作法」、「器具の使用法」を身につける。 国試出題基準:5-H-d	①硬質石膏粉末の重量を正しく計量することができる。 ②メスシリンダーで水量を正しく計量することができる。 ③ラバーボウルと石膏スパチュラで石膏を練和することができる。 ④シリコン型枠に界面活性剤を吹き付けることができる。 ⑤バイブレータの振動を利用して混入した気泡を除去し型枠に注入することができる。 ⑥石膏硬化後に歯冠部を破折させずに型枠から模型を外すことができる。 ⑦トリマーを使用して台付け部の厚みを確保し削除することができる。	44~45

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
4	6月10日 6月13日	矢野 恭平 松山 大樹	7	実習	4-6	症例② 上顎個人トレーの製作 GIO:個人トレーの製作ができるようになるため、「個人トレーの製作方法」を身につける。	①模型上にトレーの外形線を設定することができる。 ②歯肉唇頬移行部のアンダーカットをパラフィンワックスで埋めることができる。 ③パラフィンワックスで均一な厚みのスペーサーを設置することができる。 ④歯冠部にストッパーのための小孔を形成することができる。 ⑤常温重合レジンの粉を計量することができる。 ⑥プラスチックボウルで常温重合レジンの粉と液を練和し餅状を作ることができる。 ⑦常温重合レジンをトレーフォーマーで成形し2mmの厚さにすることができる。 ⑧常温重合レジンを均一な厚みで模型に圧接することができる。 ⑨常温重合レジンの硬化後に模型を壊さずに外すことができる。 ⑩余剰部分をバー、ポイントで形態修正することができる。 ⑪トレーの把持部を唇側に設置することができる。	50~51
						国試出題基準:5-H-d		
5	6月15日	矢野 恭平 松山 大樹	1	実習	4-7	症例③ 前歯部支台築造(メタルコア)の製作 GIO:支台築造体の製作ができるようになるため、「作業用模型の製作法」「器具の使用方法」を身につける。	①硬質石膏の重量を正しく計量することができる。 ②メスシリンダーで水量を正しく計量することができる。 ③ラバーボウルと石膏スパチュラで石膏を練和することができる。 ④シリコン型枠に界面活性剤を吹き付けることができる。 ⑤パイプレータの振動を利用して混入した気泡を除去し型枠に注入することができる。	44~45
						国試出題基準:5-H-d		
6	6月15日 6月16日	矢野 恭平 松山 大樹	4	講義 演習	4-8	5.クラウンとブリッジの製作 GIO:支台築造体の製作ができるようになるため、「目的と意義」「種類と使用材料」「製作法」について理解する。	①支台築造の使用目的を2つ列挙することができる。 ②支台築造の種類と使用する材料を表にまとめることができる。 ③前歯部支台築造の利点を5つ列挙することができる。 ④前歯部支台築造に使用される材料を4つ列挙することができる。 ⑤支台歯の図や写真をみてフェルールを特定することができる。 ⑥支台歯の図や写真をみて製作する歯冠修復物を特定することができる。 ⑦ポスト孔の図や写真をみて構造を述べることができる。 ⑧ポスト部の維持に使用する根管を述べることができる。 ⑨間接法による分割メタルコアの製作工程を挙げる。 ⑩間接法による前歯部メタルコアの製作工程を挙げる。 ⑪間接法による臼歯部メタルコアの製作工程を挙げる。 ⑫間接法によるファイバー補強レジコアの製作工程を挙げる。(令4問61)	52~57
						国試出題基準:5-E-a、5-E-b、5-E-c		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
7	6月16日	矢野 恭平 松山 大樹	6	実習	4-9	症例③ 前歯部支台築造(メタルコア)の製作 GIO:支台築造体の製作ができるようになるため、「ワックスアップでの形態回復」についての手技を身につける。 国試出題基準:5-E-c	①ポスト部に適切な量の分離材を塗布することができる。 ②ポスト部に気泡を混入させないワックス操作をすることができる。 ③ワックスパターンを破折させずにポスト部から引き抜くことができる。 ④歯冠形態をインレーワックスで回復することができる。 ⑤歯冠形態を印象採得しシリコンコアを製作することができる。 ⑥インストゥルメントで支台歯の形に形成することができる。 ⑦シリコンコアで歯冠修復物に必要なクリアランスを確認することができる。	55 83~86
8	6月19日	矢野 恭平 松山 大樹	5	実習	4-9	症例③ 前歯部支台築造(メタルコア)の製作 GIO:支台築造体の製作ができるようになるため、「埋没」「铸造」「合金の融解」「研磨」の手技を身につける。 国試出題基準:5-E-a,b,c	①ワックスパターンにスプルー線を植立することができる。 ②ワックスパターンを円錐台に植立することができる。 ③埋没材を流し込み鋳型を製作することができる。 ④ブローパイプで金属を融解することができる。 ⑤遠心鋳造機で合金を鋳造することができる。 ⑥鋳型から鋳造体を割り出すことができる。 ⑦鋳造体の内面にサンドブラスト処理することができる。 ⑧カッティングディスクでスプルー線を切断することができる。 ⑨鋳造体と支台歯の適合を確認することができる。 ⑩カーボランダムポイントでメタルコアの形態修正をすることができる。 ⑪シリコンポイントでメタルコアの中研磨を行うことができる。	55 87~89
9	6月19日	松山 大樹 矢野 恭平	1	実習	4-10	症例④ 臼歯部支台築造(メタルコア)の製作 GIO:支台築造体の製作ができるようになるため、「作業用模型の製作法」「器具の使用法」を身につける。 国試出題基準:5-H-d	①硬質石膏の重量を正しく計量することができる。 ②メスシリンダーで水量を正しく計量することができる。 ③ラバーボウルと石膏スパチュラで石膏を練和することができる。 ④シリコン型枠に界面活性剤を吹き付けることができる。 ⑤バイブレータの振動を利用して混入した気泡を除去し型枠に注入することができる。	44~45
10	6月20日 6月21日	松山 大樹 矢野 恭平	4	実習	4-11	症例⑤ 前歯部プロビジョナルレストレーション(既製樹脂冠)の製作 GIO:プロビジョナルレストレーションの製作ができるようになるため、「既製樹脂冠を用いた製作法」の手技を身につける。 国試出題基準:5-F-a,b,c	①支台歯にパラフィンワックスでスペーサーを付与することができる。 ②既製樹脂冠の歯頸部を削除し長さを調整することができる。 ③既製樹脂冠の内面に常温重合レジンをし込み歯型に圧接することができる。 ④余剰なレジンカーボランダムポイントで削除し辺縁を適合させることができる。 ⑤シリコンポイントでテンポラリークラウンの中研磨を行うことができる。 ⑥ブラシ、パフでテンポラリークラウンの仕上げ研磨を行うことができる。	59~61

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
13	6月20日	矢野 恭平 松山 大樹	3	講義 演習	4-14	5章 クラウンとブリッジの製作	<ul style="list-style-type: none"> ①テンポラリークラウン・ブリッジの目的を8つ列挙することができる。 ②テンポラリークラウンに使用される材料を5つ列挙することができる。 ③テンポラリークラウン・ブリッジの要件を6つ列挙することができる。 ④既製樹脂冠を使用して製作する手順を列挙することができる。 ⑤既製樹脂冠を用いる製作法の特徴を挙げることができる。 ⑥常温重合レジンをを用いる製作法の特徴を挙げることができる。 ⑦既製人工歯を用いる製作法の特徴を挙げることができる。 	59~62
						GIO: プロビジョナルレストレーションの製作ができるようになるために、「意義と目的」「種類と使用材料」「要件」「製作法」を理解する。		
国試出題基準:5-F-a,b,c								
14	6月26日 6月27日 6月28日	矢野 恭平 松山 大樹	10	実習	4-15	症例⑦ 前歯部プロビジョナルレストレーション(研究用模型の印象)の製作	<ul style="list-style-type: none"> ①歯冠形態をラボシリコンで印象採得シリコンコアを製作することができる。 ②シリコンコアの印象内に筆積み法で常温重合レジンを流し込むことができる。 ③シリコン印象を歯型に圧接することができる。 ④常温重合レジンの硬化後に支台歯を破折させずに硬化体を取り外すことができる。 ⑤余剰なレジンをカーボランダムポイントで削除し辺縁を適合させることができる。 ⑥カーボランダムポイントで歯冠の形態修正ができる。 ⑦シリコンポイントでテンポラリークラウンの中研磨を行うことができる。 ⑧ブラシ、バフでテンポラリークラウンの仕上げ研磨を行うことができる。 	61
						GIO: テンポラリークラウンの製作ができるようになるため、シリコンコアの採得方法、レジンの流し込みを身につける。		
国試出題基準:5-F-a,b,c								
15	6月28日 6月29日	松山 大樹 矢野 恭平	4	講義	4-16	5章 クラウンとブリッジの製作	<ul style="list-style-type: none"> ①色調選択に使用される器具を挙げることができる。 ②色調選択時の注意点を挙げることができる。 ③色調選択の手順を11項目列挙することができる。 ④色調選択時に注意すべき項目を挙げることができる。 ⑤作業用模型の構成を3つ列挙することができる。 ⑥作業用模型の要件を5つ列挙することができる。 ⑦作業用模型の利点を5つ列挙することができる。 ⑧作業用模型の欠点を3つ列挙することができる。 ⑨作業用模型の種類を3つ列挙することができる。 ⑩歯型固着式模型で製作できる歯冠修復物を挙げることができる。 ⑪副歯型式模型の特徴を列挙することができる。 ⑫歯型可撤式模型の製作に使用される器具を3つ列挙することができる。 	64~67
						GIO: 色調選択や作業用模型の製作ができるようになるため、「色調選択」と作業用模型の「意義と目的」「構成」「要件」「特徴」「種類」について理解する。		
国試出題基準: 5-G-a, 5-H-a, 5-H-b, 5-H-c, 5-H-d								

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
16	6月29日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	4-17	5章 クラウンとブリッジの製作 GIO:歯型可撤式模型の製作ができるようになるため、「製作手順」、「使用する器具」「歯型の辺縁形態」について理解する。 国試出題基準:5-H-e	①歯型可撤式模型の製作手順を挙げることができる。 ②製作に使用する器具を挙げることができる。 ③歯型のトリミングに使用する器具を挙げることができる。 ④辺縁形態の種類を6つ列挙することができる。 ⑤図や写真をみてショルダーレスタイプの名称を挙げることができる。 ⑥図や写真をみてショルダータイプの名称を挙げることができる。(令4問64) ⑦ショルダーレスタイプの特徴を挙げることができる。 ⑧ショルダータイプの特徴を挙げることができる。	65~67
17	6月30日 7月 3日 7月 4日 7月 5日 7月 6日	松山 大樹 矢野 恭平	30	実習	4-18	症例⑧ 作業用模型の製作 GIO:ダウエルピンを用いた歯型可撤式模型の製作ができるようになるため、「製作手順」「歯型のトリミング」の手技を修得する。 国試出題基準:5-H-a,b,c,d,e	①硬質石膏の重量を正しく計量することができる。 ②メスシリンダーで水量を正しく計量することができる。 ③ラバーボウルと石膏スパチュラで石膏を練和することができる。 ④シリコン型枠に界面活性剤を吹き付けることができる。 ⑤バイブレータの振動を利用して混入した気泡を除去し型枠に注入することができる。 ⑥トリマーの仕組みを理解し操作することができる。 ⑦トリマーで作業用模型の基底面を適切な厚みに削ることができる。 ⑧センタートリマーの仕組みを理解し操作することができる。 ⑨センタートリマーで上顎の口蓋部、下顎舌側部の余剰部分を削除することができる。 ⑩ダウエルピン植立位置を決めることができる。 ⑪回転防止溝を形成する位置を決めることができる。 ⑫ダウエルピンを植立する孔を形成することができる。 ⑬接着剤を使用してダウエルピンを植立することができる。 ⑭孔から溢れた接着材をナイフで取り除くことができる。 ⑮タングステンカーバイドバー(小)を使用して回転防止溝を形成することができる。 ⑯フォーマーを使用して台付けをすることができる。 ⑰台付け部と石膏の移行部をタングステンカーバイドバー(大)で形成することができる。 ⑱石膏ノギリで歯型を分割することができる。 ⑲バー、ナイフで歯型の辺縁をトリミングしフィニッシュラインを出すことができる。 ⑳フィニッシュラインを赤鉛筆でマークすることができる。 ㉑硬化剤を薄く塗布しフィニッシュラインを保護することができる。	68~70

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
18	7月6日	松山 大樹 矢野 恭平	2	演習	4-19	5章 クラウンとブリッジの製作 GIO: 作業用模型を咬合器に装着できるようになるため、「咬合平面版を用いた咬合器装着」「フェイスボウによる咬合装着」「咬合器に模型装着するときの注意点」を理解する。 国試出題基準:5-I	①咬合採得の目的を挙げることができる。 ②咬合採得に使用される材料を4つ列挙することができる。 ③咬合器の構成を2つ列挙することができる。 ④咬合器の種類と特徴を表にまとめることができる。 ⑤咬合平面版の使用目的を挙げることができる。 ⑥平均値咬合器に作業用模型を装着する手順を挙げることができる。 ⑦咬合位の種類を表にまとめることができる。 ⑧上弓へ作業用模型を装着するときの指標を挙げることができる。 ⑨下弓へ咬合器を装着するときの注意点を挙げることができる。 ⑩調節性咬合器に作業用模型を装着する方法を挙げることができる。 ⑪調節性咬合器に模型を装着する場合の注意点を6つ挙げることができる。	71~75
19	7月7日	松山 大樹 矢野 恭平	4	実習	4-20	症例⑨ 全部金属冠の製作(咬合器装着) GIO: 作業用模型を咬合器に装着できるようになるため、「咬合平面版を用いた咬合器装着」の手法を身につける。 国試出題基準:5-I	①作業用模型の基底面のポイントでアンダーカットを形成することができる。 ②左右中切歯の midpoint を咬合平面版の基準点に合わせるすることができる。 ③作業用模型をユーティリティワックスで咬合平面版に固定することができる。 ④普通石膏を使用して上弓に作業用模型を装着することができる。 ⑤上下顎模型を咬み合わせスティッキーワックスで固定することができる。 ⑥普通石膏を使用して下弓に作業用模型を装着することができる。	72~74
20	7月10日	松山 大樹 矢野 恭平	2	講義	4-22	5章 クラウンとブリッジの製作 GIO: 前装冠やクラウンの製作ができるようになるため、「クラウンに与える咬合」を理解する。 国試出題基準:5-J-a	①前歯部クラウンに付与する被蓋を挙げることができる。 ②アンテリアガイドランスを図で示し場所を特定することができる。 ③前装冠のフィニッシュラインを図で示し場所を特定することができる。 ④フィニッシュラインの位置が原因で起こる不具合を挙げることができる。 ⑤前歯部クラウンの咬合様式を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑥臼歯部クラウンの咬合様式を図で示し特徴を挙げることができる。	75~77
21	7月10日	松山 大樹 矢野 恭平	4	講義	4-23	5章 クラウンとブリッジの製作 GIO: 全部金属冠や前装冠のワックスアップができるようになるため、「ワックスパターン形成」を理解する。 国試出題基準:5-J-a	①ロストワックス法の特徴を挙げることができる。 ②分離材の種類を列挙することができる。 ③分離材を使用する際の注意点を2つ列挙することができる。 ④ワックスアップの方法を表で示し特徴をまとめることができる。(令3間67) ⑤ワックスアップ時の注意点を部位ごとに表に示し特徴をまとめることができる。 ⑥エマーゼンスプロファイルの部位を図に示し特定することができる。 ⑦窓開け時の前装部の厚み、形態を図に示すことができる。	77~83

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
22	7月11日	矢野 恭平 松山 大樹	6	実習	4-24	症例⑨ 全部金属冠の製作 (ワックスアップ1回目)	①支台歯にワックス分離剤を塗布することができる。 ②支台歯にインレーワックスでワックスコーティングをすることができる。 ③インレーワックスで咬頭を植立することができる。 ④インレーワックスで頬舌側の豊隆を盛り上げることができる。 ⑤インレーワックスで咬合面隆線を盛り上げることができる。 ⑥ワックス表面をインストルメントで滑沢に仕上げることができる。	79~81
						GIO:全部金属冠の製作ができるようになるために、「分離剤の塗布」「ワックスパターン形成」の手技を身につける。		
						国試出題基準:5-J-a		
23	7月12日	矢野 恭平 松山 大樹	4	実習	4-25	症例⑨ 全部金属冠の製作 (ワックスアップ2回目)	①支台歯にワックス分離剤を塗布することができる。 ②支台歯にインレーワックスでワックスコーティングをすることができる。 ③インレーワックスで咬頭を植立することができる。 ④インレーワックスで頬舌側の豊隆を盛り上げることができる。 ⑤インレーワックスで咬合面隆線を盛り上げることができる。 ⑥ワックス表面をインストルメントで滑沢に仕上げることができる。	79~81
						GIO:全部金属冠の製作ができるようになるために、「分離剤の塗布」「ワックスパターン形成」の手技を身につける。		
						国試出題基準:5-J-a		
24	7月12日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	4-26	症例⑨ 全部金属冠の製作 (ワックスアップ3回目)	①支台歯にワックス分離剤を塗布することができる。 ②支台歯にインレーワックスでワックスコーティングをすることができる。 ③インレーワックスで咬頭を植立することができる。 ④インレーワックスで頬舌側の豊隆を盛り上げることができる。 ⑤インレーワックスで咬合面隆線を盛り上げることができる。 ⑥ワックス表面をインストルメントで滑沢に仕上げることができる。	79~81
						GIO:全部金属冠の製作ができるようになるために、「分離剤の塗布」「ワックスパターン形成」の手技を身につける		
						国試出題基準:5-J-a		
25	7月12日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	4-27	症例⑨ 全部金属冠の製作 (ワックスアップ4回目)	①支台歯にワックス分離剤を塗布することができる。 ②支台歯にインレーワックスでワックスコーティングをすることができる。 ③インレーワックスで咬頭を植立することができる。 ④インレーワックスで頬舌側の豊隆を盛り上げることができる。 ⑤インレーワックスで咬合面隆線を盛り上げることができる。 ⑥ワックス表面をインストルメントで滑沢に仕上げることができる。	79~81
						GIO:全部金属冠の製作ができるようになるために、「分離剤の塗布」「ワックスパターン形成」の手技を身につける。		
						国試出題基準:5-J-a		
26	7月13日	矢野 恭平 松山 大樹	4	実習	4-28	症例⑨ 全部金属冠の製作 (ワックスアップ5回目)	①支台歯にワックス分離剤を塗布することができる。 ②支台歯にインレーワックスでワックスコーティングをすることができる。 ③インレーワックスで咬頭を植立することができる。 ④インレーワックスで頬舌側の豊隆を盛り上げることができる。 ⑤インレーワックスで咬合面隆線を盛り上げることができる。 ⑥ワックス表面をインストルメントで滑沢に仕上げることができる。	79~81
						GIO:全部金属冠の製作ができるようになるために、「分離剤の塗布」「ワックスパターン形成」の手技を身につける。		
						国試出題基準:5-J-a		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
27	7月13日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	4-29	5章 クラウンとブリッジの製作 GIO: 鑄型の製作ができるようになるため、「埋没の前準備」、「スプルーの植立」、「埋没方法」を理解する。 国試出題基準:5-L	①ワックスパターンの最終チェック項目を挙げることができる。 ②リムーバルノブを付与する場所を挙げることができる。 ③リムーバルノブを付与する目的を挙げることができる。 ④スプルーとは何か説明することができる。 ⑤スプルー線に使用される材料を挙げることができる。 ⑥スプルー線植立時の注意点を4つ列挙することができる。 ⑦エアイベントを付与する目的を挙げることができる。 ⑧エアイベントを付与すべき埋没材を挙げることができる。 ⑨エアイベントの種類を挙げることができる。 ⑩界面活性剤の効果を挙げることができる。(令3問63) ⑪リングライナーを鑄造リング内に裏装する目的を説明することができる。 ⑫埋没方法を表で示し特徴をまとめることができる。	83~87
28	7月13日	矢野 恭平 松山 大樹	1	実習	4-30	症例⑨ 全部金属冠の製作(埋没) GIO: 鑄型の製作ができるようになるため、「ワックスパターンの辺縁封鎖」「スプルーング」「円錐台への植立および埋没材」の取り扱いを身につける。 国試出題基準:5-L	①ワックスパターンの辺縁を封鎖することができる。 ②レディキャストイングワックスでスプルーイングを行うことができる。 ③ワックスパターンにスプルー線を植立することができる。 ④ワックスパターンを円錐台に植立することができる。 ⑤埋没材を流し込み鑄型を製作することができる。	84
29	7月14日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	4-31	5章 クラウンとブリッジの製作 GIO: 歯科精密鑄造ができるようになるため、「鑄造方法」「金属の融解方法」「鑄造時の金属の取扱い」「鑄造体の清掃」について理解する。 国試出題基準:5-M-a	①合金を鑄造する方法を3つ列挙することができる。 ②合金の融解方法を4つ列挙することができる。 ③合金の融解方法を表で示し特徴をまとめることができる。 ④鑄造合金を取り扱う際の注意点を4つ列挙することができる。 ⑤鑄造体を清掃手順を挙げることができる。(令4問63)	87~90
30	7月14日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	4-32	症例⑨ 全部金属冠の製作(鑄造) GIO: 鑄造作業ができるようになるため、「遠心鑄造」「ブローパイプ」「サンドブラスター」の操作および鑄造体の処理方法を身につける 国試出題基準:5-M-a	①ブローパイプで金属を融解することができる。 ②遠心鑄造機の機構を理解し使用することができる。 ③鑄造体の内面にサンドブラスト処理することができる。 ④カッティングディスクでスプルー線を切断することができる。	88~89

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
31	7月19日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	4-33	5章 クラウンとブリッジの製作	①連結法の種類を表で示し特徴をまとめることができる。 ②ワンピースキャスト法の欠点を挙げるができる。 ③鑲付け法が使用される症例を説明することができる。 ④鑲材の所要性質を6つ列挙することができる。 ⑤鑲付け時の注意点を7つ列挙することができる。 ⑥鑲付け間隙を説明することができる。 ⑦フラックスの効果を挙げるができる。(令4問67) ⑧アンチフラックスの効果を挙げるができる。 ⑨アンチフラックスに使用される材料を挙げるができる。 ⑩埋没用ブロックの取扱い方法を挙げるができる。 ⑪鑲付け時に使用する炎について説明することができる。 ⑫陶材焼付金属冠の前鑲付け法の特徴を挙げるができる。 ⑬後鑲付け法が使用される症例を説明することができる。 ⑭後鑲付け法で使用する鑲材の融解温度を挙げるができる。(令3問57) ⑮溶接法を2つ列挙することができる。 ⑯レーザー溶接法と鑲付け法の違いを4つ列挙することができる。	90~93
						GIO:ブリッジの連結ができるようになるため、「ワンピースキャスト法」「ろう付け法」「溶接法」「鑄接法」を理解する。		
						国試出題基準:5-N-a,b,c		
32	7月20日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	4-34	5章 クラウンとブリッジの製作	①歯冠修復物の調整部位を表で示し特徴をまとめることができる。 ②隣接面を調整する目的を挙げることができる。 ③咬合面の調整に使用する道具を挙げるができる。 ④咬合面の調整部位を挙げることができる	93~95
						GIO:口腔内に適合するクラウンを製作するため、「外面・内面・辺縁部・隣接面・咬合面」の調整法を理解する。		
						国試出題基準:5-O		
33	7月20日	矢野 恭平 松山 大樹	5	実習	4-35	症例⑨ 全部金属冠の製作(調整)	①マイクロスコープで鑄造体内面を観察することができる。 ②鑄造体内面に付着した気泡を切削器具で取り除くことができる。 ③鑄造体辺縁をマージンラインに適合させることができる。 ④研磨器具を使用して隣接面の強さを調整することができる。 ⑤研磨器具を使用して咬合の高さを調整することができる。 ⑥全体的なキズを粗研磨することができる。	94
						GIO:口腔内に適合するクラウンを製作するため、「外面・内面・辺縁部・隣接面・咬合面」調整法を身につける。		
						国試出題基準:5-O		
34	7月20日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	4-36	5章 クラウンとブリッジの製作	①研磨の意義と目的を4つ列挙することができる。 ②研磨に使用する材料を10個列挙することができる。(令3問69) ③研磨粒子の違いによる研磨能率の影響を5つ列挙することができる。 ④研磨の方法を2つ列挙することができる。 ⑤研磨工程を表で示し使用する器具と特徴をまとめることができる。	96 ~ 100
						GIO:クラウンの研磨ができるようになるため、「意義と目的」「研磨器具と材料」「研磨材と研磨能率の関係」「研磨の方法」について理解する。		
						国試出題基準:5-P-a,b		
35	7月21日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	4-37	症例⑨ 全部金属冠の製作(研磨)	①シリコンポイントを使用して中研磨することができる。 ②ブラシを使用して溝を研磨することができる。 ③バフを使用して全体的に仕上げるができる。	98
						GIO:全部金属冠の製作ができるようになるために、「中研磨」「仕上げ研磨」の手技を身につける。		
						国試出題基準:5-P-a,b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
36	8月22日	松山 大樹 矢野 恭平	6	実習	4-40	症例⑩ II級インレーの製作 (ワックスアップ～铸造)	①支台歯にワックス分離剤を塗布することができる。 ②支台歯にインレーワックスでワックスコーティングをすることができる。 ③窩洞にワックスを流し込むことができる。 ④インレーワックスで歯冠形態を回復することができる。 ⑤インレーワックスで隣接面接触点を回復することができる。 ⑥インレーワックスで咬合面隆線を盛り上げることができる。 ⑦ワックス表面を滑沢に仕上げることができる。 ⑧ワックスパターンにスプルー線を植立することができる。 ⑨ワックスパターンを円錐台に植立することができる。 ⑩埋没材を流し込み鋳型を製作することができる。 ⑪ブローパイプで金属を融解することができる。 ⑫遠心鋳造機を使用して合金を鋳造することができる。	78～88
						GIO:II級インレーを製作するため、「ワックスアップ」「スプルー植立」「埋没」「铸造」の手技を身につける。		
						国試出題基準:5-K-a,b 5-L 5-M-a		
37	8月23日	松山 大樹 矢野 恭平	6	実習	4-40	症例⑩ II級インレーの製作 (ワックスアップ～铸造)	①鋳型から鋳造体を割り出すことができる。 ②鋳造体の内面にサンドブラスト処理をすることができる。 ③カッティングディスクでスプルー線を切断することができる。 ④鋳造体と支台歯の適合を確認することができる。 ⑤咬合紙を使用して隣接面接触点を調整することができる。 ⑥咬合紙で咬合面の調整をすることができる。 ⑦ポイントを使用して小窩裂溝の形成ができる。 ⑧シリコーンポイントでインレーの中研磨を行うことができる。 ⑨ブラシ、パフでインレーの仕上げ研磨を行うことができる。 ⑩超音波洗浄器で鋳造体の清掃を行うことができる。	89～90
						GIO:II級インレーを製作するため、「調整」「研磨」の手技を身につける。		
						国試出題基準:5-M-a 5-O 5-P-a,b		
38	8月22日 8月23日	松山 大樹 矢野 恭平	3	講義	4-41	5.クラウンとブリッジの製作	①歯冠修復物を口腔内に試適する目的を挙げることができる。 ②歯冠修復物を口腔内にセットするときに確認する項目を6つ列挙することができる。 ③歯冠修復物を口腔内に仮着する目的を挙げることができる。 ④歯冠修復物を口腔内に仮着するとき確認する項目を6つ列挙することができる。 ⑤歯冠修復物を口腔内に仮着した時の注意点を6つ列挙することができる。 ⑥歯冠修復物を口腔内に合着する手順を挙げることができる。 ⑦合着材に使用される材料を4つ列挙することができる。 ⑧前装部の形態でレジンで回復できる部位を図で示すことができる。 ⑨前装部に使用される維持形態を2つ挙げることができる。 ⑩前装部に使用される接着処理を挙げることができる。 ⑪前装部に使用されるレジンを表で示し特徴をまとめることができる。 ⑫二層築盛を図で示し特定することができる。	100 106
						GIO:歯科診療所に納入されたクラウンの取り扱いを知るため、試適の目的、口腔内での検査項目、合着作業に使用される合着剤の種類と特徴を理解する。		
						国試出題基準:5-Q		
39	8月22日 8月23日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	4-43	症例⑪ レジン前装冠の製作(咬合器装着)	①対合歯列模型の基底部にアンダーカットをバーで形成することができる。 ②咬合器の上弓、下弓にマウンティングプレートを設定することができる。 ③スティッキーワックスまたはビンディングワイヤーで上下顎模型を固定することができる。 ④作業用模型を咬合器上の理想的な位置に付着することができる。	71～72
						GIO:作業用模型を咬合器に装着できるようにするため、「マウンティングプレート」の使用法「作業用模型の固定」「マウント用石膏の練和方法および咬合器への付着位置」を身につける。		
						国試出題基準:5-I		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
40	8月25日	松山 大樹 矢野 恭平	6	実習	4-43	症例① レジン前装冠の製作 (ワックスアップ～埋没) GIO:レジン前装冠を製作できるようになるため、「歯冠形態の回復」「シリコンコア」「窓開け」「スプルーイングの部位および埋没材」の手技を身につける。 国試出題基準:5-R-a,b 5-L	①インレーワックスで歯冠形態を回復することができる。 ②歯冠形態をシリコンで印象採得することができる。 ③シリコンコアで前装スペースを確認し窓開けすることができる。 ④窓開け部が適切な厚みになるようにメジャリングデバイスで測りながら削ることができる。 ⑤リテンションピースで機械的維持を付与することができる。 ⑥レディキャストイングワックスでスプルーイングを行うことができる。 ⑦ワックスパターンにスプルー線を植立することができる。 ⑧ワックスパターンを円錐台に植立することができる。 ⑨真空練和器で埋没材を練和して埋没することができる。 ⑩使用後の真空練和器のカップは埋没材硬化前に清掃することができる。	132 ~ 137
41	8月28日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	4-43	症例① レジン前装冠の製作 (铸造～調整) GIO:レジン前装冠を製作できるようになるため、「サンドブラスト」「メタルフレームの調整」の手技を身につける。 国試出題基準:5-M-a 5-O	①ブローパイプで金属を融解することができる。 ②遠心铸造機で合金を铸造することができる。 ③铸型から铸造体を割り出すことができる。 ④铸造体の内面にサンドブラスト処理することができる。 ⑤カッティングディスクでスプルー線を切断することができる。 ⑥铸造体と支台歯の適合を確認することができる。 ⑦咬合紙を使用して隣接面接触点を調整することができる。 ⑧前装部の辺縁をポイントで調整することができる。 ⑨前装部にアルミナブラスト処理を施し微小維持を付与することができる。 ⑩咬合紙を使用して隣接面接触点を調整することができる。 ⑪前装部の辺縁をポイントで調整することができる。 ⑫前装部にアルミナブラスト処理を施し微小維持を付与することができる。	132 ~ 136
42	8月29日	株式会社 松風	2	実習	4-43	症例① レジン前装冠の製作 (レジン築盛) 企業連携授業 GIO:レジン前装冠を製作できるようになるため、「レジン築盛」の手技を身につける 国試出題基準:5-L	①前装部に金属接着用プライマーを塗布することができる。 ②前装部にオパークレジン塗布することができる。 ③前装部にデンティンレジン色レジン塗布することができる。 ④前装部にエナメル色レジン塗布することができる。 ⑤前装部のレジンカーボナダムポイントで形態修正することができる。 ⑥シリコンポイントで前装部の中研磨をすることができる。 ⑦ブラシ、パフで前装冠の仕上げ研磨を行うことができる。 ⑧超音波洗浄機で铸造体の清掃を行うことができる。	132 ~ 136

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
43	8月30日	松山 大樹 矢野 恭平	2	演習	4-44	5章 クラウンとブリッジの製作 GIO:陶材焼付金属冠の特徴を知るため、陶材の「種類」「築盛方法」「コンデンスの意義」「焼成」を理解する。 国試出題基準:5-S-a,b,c,d	①焼成温度による陶材の種類を3つ列挙することができる。 ②陶材の種類を表で示し特徴をまとめることができる。 ③陶材築盛を行うときの注意点を3つ列挙することができる。 ④陶材の二層築盛を図で示し場所を特定することができる。 ⑤陶材の三層築盛を図で示し場所を特定することができる。 ⑥陶材築盛に使用する陶材の種類を6つ列挙することができる。 ⑦コンデンスの目的を3つ列挙することができる。 ⑧コンデンスの方法を3つ列挙することができる。 ⑨陶材の種類による焼成温度の違いを表で示し特徴を挙げることができる。 ⑩真空焼成をする陶材の種類を挙げることができる。(令3問55) ⑪大気焼成をする陶材の種類を挙げることができる。	106 ~ 111
44	8月30日	松山 大樹 矢野 恭平	2	講義	4-45	5章 クラウンとブリッジの製作 GIO:クラウンが適合不良になる理由を知るため、「歯科診療所や歯科技工所の工程で生じる適合不良」「クラウンの咬合が高くなる原因」を理解する。 国試出題基準:5-T	①歯科診療サイドでクラウンが適合不良になる原因を3つ列挙することができる。 ②歯科技工サイドでクラウンが適合不良になる原因を6つ列挙することができる。 ③製作過程でクラウンが適合不良になる原因を3つ列挙することができる。 ④歯科診療サイドでクラウンの咬合が高くなる原因を3つ列挙することができる。 ⑤歯科技工サイドでクラウンの咬合が高くなる原因を7つ挙げることができる。	111 ~ 114
45	10月17日 10月18日 10月31日	松山 大樹 矢野 恭平	10	実習	4-48	会社見学 GIO:歯科技工士の業務を理解するために、現場の雰囲気や業務を見学する。 国試出題基準:なし	①班毎に分かれて見学することができる。 ②身だしなみを整えて見学することができる。 ③笑顔・挨拶・良い返事を実践することができる。 ④体調管理を整えて見学することができる。 ⑤担当者に確認をとって質問することができる。 ⑥学んだ事や分からない事をメモすることができる。 ⑦聞きながら話を聴くことができる。	
46	10月17日 10月18日 10月31日 11月3日 11月4日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	4-48	日本歯科技工学会参加 GIO:歯科技工に関する見聞を広めるために日本歯科技工学会に参加する。 国試出題基準:	①身だしなみを整えて見学することができる。 ②笑顔・挨拶・良い返事を実践することができる。 ③体調管理を整えて見学することができる。 ④学んだ事や分からない事をメモすることができる。 ⑤聞きながら話を聴くことができる。	
47	11月7日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-1-3	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作(ワンピースキャスト法) GIO:実習前準備として「作業用模型」の咬合器装着の手技を身につける。 国試出題基準:	①作業用模型を咬合器に付着する前に模型に不備がないか確認することができる。 ②咬合器付着に使用する普通石膏の硬さを調節することができる。 ③咬合平面板を使用して上顎模型を咬合器に付着することができる。	154 ~ 158

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
48	11月7日	矢野 恭平 松山 大樹	4	実習	7-1-9	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作(ワンピースキャスト法)	①作業用模型を咬合器に付着する前に模型に不備がないか確認することができる。 ②咬合器付着に使用する普通石膏の硬さを調節することができる。 ③上下顎模型の咬み合わせをずらさないようにスティッキーワックスやワイヤーで固定することができる。 ④インサイザルピンが浮いていないか確認しながら装着することができる。 ⑤模型の位置がズれていないか確認しながら装着することができる。	154 ~ 158
						GIO:実習前準備として「作業用模型」の咬合器装着の手技を身につける。		
						国試出題基準:		
49	11月10日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-9	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作(ワンピースキャスト法)	①支台歯にワックス分離剤を塗布することができる。 ②支台歯にインレーワックスでワックスコーピングを製作することができる。 ③隣在歯や対合歯を参考にしながら下顎右側第一小臼歯の形態をワックスアップすることができる。 ④反対側や対合歯を参考にしながら下顎右側第二大臼歯の形態をワックスアップすることができる。	154 ~ 158
						GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作できるようになるため、「ワックスアップ」の手技を身につける。		
						国試出題基準:		
50	11月13日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-11	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作(ワンピースキャスト法)	①反対側や対合歯を参考にして下顎右側第二大臼歯の形態をワックスアップすることができる。 ②研磨分を考慮して欠損部の作業用模型を調整することができる。 ③ポンティック部の形態をワックスで回復することができる。 ④咬頭・豊隆・溝の位置の確認しながら全体のバランスを整えることができる。	154 ~ 158
						GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作できるようになるため、「ワックスアップ」「ポンティックのワックスアップ」の手技を身につける。		
						国試出題基準:		
51	11月13日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-12	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作(ワンピースキャスト法)	①ポンティック部の基底部を形成することができる。(令3問56) ②咬頭・豊隆・溝の位置の確認しながら全体のバランスを整えることができる。 ③ポンティックの位置がズレないようにワックスを流して支台装置とポンティックを連結することができる。	154 ~ 158
						GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作できるようになるため、「ワックスアップ」「ポンティックのワックスアップ」の手技を身につける。		
						国試出題基準:		
52	11月13日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-13	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作(ワンピースキャスト法)	①ポンティックの頬側面に窓開けをすることができる。 ②窓開け部のワックスの厚みにムラがないかメジャーリングデバイスで測りながら削ることができる。 ③前装部に維持装置を付与することができる。	154 ~ 158
						GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作できるようになるため、「窓開け」の手技を身につける。		
						国試出題基準:		
53	11月13日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-14	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作(ワンピースキャスト法)	①ワックスで辺縁部の修正をすることができる。 ②支台装置とポンティック部を連結することができる。	154 ~ 158
						GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作できるようになるため、「辺縁部の調整」「連結」の手技を身につける。		
						国試出題基準:		
54	11月14日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-16	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作(ワンピースキャスト法)	①プラスチックブルーでスブルーイングをすることができる。 ②埋没材を練和し埋没することができる。	154 ~ 158
						GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作できるようになるため、「スブルー植立」「埋没」の手技を身につける。		
						国試出題基準:		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
55	11月14日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-18	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作 (ワンピースキャスト法) GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作 できるようになるため、「金属の融解」 「铸造」の手技を身につける。 国試出題基準:	①適切な炎を調整し金属を融解する ことができる。 ②適切なタイミングで铸造する ことができる。 ③铸造体を割り出すことができる。 ④铸造体にサンドブラスト処理を 施すことができる。	154 ~ 158
56	11月15日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-19	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作 (ワンピースキャスト法) GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作 できるようになるため、「スプ ルー線切断」「適合確認」「接 触点調整」の手技を身につける 国試出題基準:	①铸造体のスプルー線を切断する ことができる。 ②適合状態を確認する ことができる。 ③咬合紙を使用し隣接面接 触点の調整を することができる。	154 ~ 158
57	11月17日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-20	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作 (ワンピースキャスト法) GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作 できるようになるため、「接 触点調整」「ポンティックの 調整」の手技を身につける。 国試出題基準:	①咬合紙を使用し咬合面接 触点を調整する ことができる。 ②咬合紙を使用してポン ティック部基底面を 調整することができる。	154 ~ 158
58	11月17日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-21	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作 (ワンピースキャスト法) GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作 できるようになるため、「連 結部調整」「研磨」の手 技を身につける。 国試出題基準:	①連結部の大きさ・形 態をディスクで削除 し調整する ことができる。 ②連結部をシリコン ホイールで研磨 することができる。 ③シリコンポイント で中研磨する ことができる。	154 ~ 158
59	11月17日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-22	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作 (ワンピースキャスト法) GIO:下顎臼歯部ブリッジが製作 できるようになるため、「連 結部調整」「研磨」の手 技を身につける。 国試出題基準:	①連結部の大きさ・形 態をディスクで削除 し調整する ことができる。 ②連結部をシリコン ホイールで研磨 することができる。 ③シリコンポイント で中研磨する ことができる。 ④ブラシで溝や連 結部を研磨する ことができる。 ⑤バフで仕上げ 研磨する ことができる。	154 ~ 158
60	11月20日	松山 大樹 矢野 恭平	2	実習	7-1-24	症例① 下顎臼歯部ブリッジの製作 (ワンピースキャスト法) GIO:臼歯部ブリッジの形 態を正しく再現す るため、教員から 伝えられたところ を修正する。 国試出題基準:10-A、B、C	①教員の道具の扱 い方を参考に修 正を試みる ことができる。 ②修正前と修正 後の違いを簡 単に述べる ことができる。 ③上手くいか ないときは再 度質問する ことができる。 ④向き不向き より前向き に取り組む ことができる。	154 ~ 158

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
61	2月26日	松山 大樹 矢野 恭平	4	実習	4-49	症例⑫ 上顎小白歯CAD/CAM クラウン(企業連携授業)	①正しい混水比で硬質石膏を練和することができる。 ②ゴム棒に石膏を注入することができる。 ③気泡を混入させない流し方を行うことができる。 ④トリマーで作業用模型の基底面を適切な厚みに削ることができる。 ⑤上顎の口蓋部、下顎舌側部の余剰部分を削除することができる。 ⑥ダウエルピン植立位置を決めることができる。 ⑦回転防止溝を形成する位置を決めることができる。 ⑧ダウエルピンを植立する孔を形成することができる。 ⑨接着剤を使用してダウエルピンを植立することができる。 ⑩ポイントを使用して回転防止溝を形成することができる。 ⑪型棒を使用して台付けをすることができる。 ⑫台付け部と石膏の移行部をポイントで形成することができる。 ⑬石膏ノコギリで歯型を歯列から分割することができる。 ⑭ポイントで歯型の辺縁を削除することができる。	68~70
						GIO:ダウエルピンを用いた歯型可撤式模型の製作ができるようになるため、「製作手順」「歯型のトリミング」の手技を修得する。		
62	2月27日	大榮歯科産業 デジタルプロセス エンビスタジャパン	8	実習	4-49	症例⑫ 上顎小白歯CAD/CAM クラウン(企業連携授業)	①スキャナーに模型をセットし歯列することができる。 ②咬合状態をデジタルデータに変換することができる。 ③デジタル画像で支台歯にセメントスペースを設定することができる。 ④デジタル画像で歯冠形態をマウスで設計することができる。 ⑤デジタル画像で隣接面接触点を調整することができる。 ⑥デジタル画像で咬合面接触点を調整することができる。 ⑦デジタル画像でスブルーイングを行うことができる。 ⑧CADシステムを構成をする機器の特徴を挙げることができる。 ⑨CADシステムの流れを列挙することができる。 ⑩スキャナーに模型をセットし歯列の形態をデジタルデータに変換することができる。 ⑪CAMシステムに材料をセットすることができる。 ⑫CADデータをCAMシステムに送り切削加工の指示をすることができる。	68~70
						CADシステムを操作できるようになるため、CADシステムの構成要素、スキャニングの流れを身につける。		
63	2月28日	大榮歯科産業 デジタルプロセス エンビスタジャパン	8	実習	4-49	症例⑫ 上顎小白歯CAD/CAM クラウン(企業連携授業)	①シリコンポイントでCAD/CAMクラウンの中研磨を行うことができる。 ②ブラシ、パフでCAD/CAMクラウンの仕上げ研磨を行うことができる。	172 ~ 175
						GIO:CADシステムを操作できるようになるため、「CADシステムの構成要素」「スキャニングの流れ」を身につける。		

【専門分野】 C. 矯正歯科技工学	⑳矯正歯科技工学 *実務経験のある教員による授業科目
-----------------------------	--------------------------------------

本学期的学習目標(GIO)
歯科技工士に必要な矯正歯科治療と矯正歯科技工領域の知識と技術を身につけるため、講義と演習または実習を通して矯正歯科治療の流れや咬合異常、矯正歯科技工に使用する機器類、装置の名称、手順を理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット5 小児・矯正歯科技工学と歯の組織発生学

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前・後期	月 金	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室
			9:00~12:10	
			9:00~16:10	
			10:40~12:10	
			13:00~15:25	
			13:00~16:10	
			14:40~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	村田 直久、矢野 恭平、澤田 圭介
成績評価	講義末試験、実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	9月4日	矢野 恭平 澤田 圭介	1	演習	5-4	5章 矯正歯科技工用器具と器械、材料 GIO:矯正歯科技工に用いる器械や器具及び材料の扱い方を身につけるために、名称および用途を理解する。	①矯正歯科技工に用いる器械を4つ挙げることができる。 ②矯正歯科技工に用いる器具を7つ挙げることができる。 ③矯正歯科技工に用いる材料を4つ挙げることができる。 ④ヤングのプライヤーでの屈曲に適した矯正用線の太さを挙げることができる。(令4問72) ⑤Angleのプライヤーでの屈曲に適した矯正用線の太さを挙げることができる。 ⑥三叉プライヤーの用途を挙げることができる。 ⑦構成咬合器を用いて製作される矯正装置を2つ挙げることができる。 ⑧ミニトーチの用途を挙げることができる。 ⑨スポットウェルダージを用いて仮着または溶接するものを挙げることができる。 ⑩加圧重合器の用途を挙げることができる。 ⑪加圧重合器を使用する目的を挙げることができる。 ⑫矯正用線に使用される材料を挙げることができる。	25~28
						国試出題基準: 2-A 2-B-a,b,c,d,e		
2	9月4日	矢野 恭平 澤田 圭介	1	演習	5-5	6章 矯正歯科技工の手技 GIO:矯正用線の屈曲を身につけるため、線屈曲の一般的原則や屈曲時の注意点を理解する。	①線屈曲の一般的原則を6つ列挙することができる。 ②鋭角な屈曲をするときの注意点を挙げることができる。 ③鈍角な屈曲をするときの注意点を挙げることができる。 ④ループ状に屈曲するときの注意点を挙げることができる。	29~33
						国試出題基準: 3-A-a,b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	9月4日	矢野 恭平 澤田 圭介	2	実習	5-6	症例① 平面屈曲トレーニング	①屈曲に必要な器具を準備できる。 ②必要な長さのワイヤーを予測できる。 ③チャートに合わせて屈曲に最適なプライヤーを選択できる。 ④ワイヤー屈曲に適した力でワイヤーを把持することができる。 ⑤ワイヤー不適合の箇所を修正できる。	29~33
						GIO: 平面屈曲を行うため、矯正用プライヤーを用いた手法を身につける。		
						国試出題基準: 3-A-a, b		
4	9月5日	矢野 恭平 澤田 圭介	4	実習	5-7	症例① 平面屈曲トレーニング	①屈曲に必要な器具を準備できる。 ②必要な長さのワイヤーを予測できる。 ③チャートに合わせて屈曲に最適なプライヤーを選択できる。 ④ワイヤー屈曲に適した力でワイヤーを把持することができる。 ⑤ワイヤー不適合の箇所を修正できる。	29~33
						GIO: 平面屈曲を行うため、矯正用プライヤーを用いた手法を身につける。		
						国試出題基準: 3-A-a, b		
5	9月5日	矢野 恭平 澤田 圭介	2	実習	5-8	症例① 平面屈曲トレーニング	①矯正用線屈曲時の正しい姿勢で作業できる。 ②矯正用線の直径の違いで適切なプライヤーを選択できる。 ③設計線に合わせて鋭角屈曲と緩やかな屈曲の手技の違いを説明できる。 ④屈曲手技の注意点を守った屈曲ができる。	29~33
						GIO: 平面屈曲を行うため、矯正用プライヤーを用いた手法を身につける。		
						国試出題基準: 3-A-a, b		
6	9月6日	矢野 恭平 澤田 圭介	4	実習	5-9	症例② 立体的屈曲	①適切な長さのワイヤーを予測できる。 ②平面屈曲を応用した立体屈曲を行うことができる。 ③唇側側の歯頸部に合わせて立体的な屈曲ができる。 ④不適合箇所の修正方法を説明できる。	29~33
						GIO: 立体的な屈曲を行うため、矯正用プライヤーを用いた手法を身につける。		
						国試出題基準: なし		
7	9月13日	澤田 圭介 矢野 恭平	1	演習	5-17	6章 矯正歯科技工学の手技	①矯正歯科技工で用いられるレジンの種類を1つ挙げることができる。 ②矯正用レジンの使用法を5つ列挙することができる。 ③筆積み法の特徴を挙げることができる。 ④ふりかけ法の特徴を挙げることができる。 ⑤混合法の特徴を挙げることができる。 ⑥スプレッド法の特徴を挙げることができる。 ⑦モールド法の特徴を挙げることができる。	37~38
						GIO: 矯正用レジンの使用法を身につけるため、種類と特徴を理解する。		
						国試出題基準: なし		
8	9月25日	澤田 圭介 矢野 恭平	2	実習	5-26	実習用模型の製作	①必要分の石膏を計量することができる。 ②必要分の水を計量することができる。 ③石膏と水を均一に練和することができる。 ④気泡を入れないように石膏を注入することができる。 ⑤使用した後の片付け・清掃ができる。	
						GIO: 舌側弧線装置とホーラーの保定装置の製作を行うため、ゴム枠に石膏を流して、模型を準備する。		
						国試出題基準: なし		
9	9月26日	澤田 圭介 矢野 恭平	2	演習	5-28	6章 矯正歯科技工学の手技	①自在鑲付け法の利点を2つ挙げることができる。 ②自在鑲付け法の欠点を1つ挙げることができる。 ③自在鑲付けの一般的原則を6つ列挙することができる。 ④自在鑲付け法の手順を述べることができる。(今3問72) ⑤自在鑲付けの注意点を挙げることができる。	33~36
						GIO: 自在鑲付け法を身につけるため、利点・欠点や一般的原則および手順を理解する。		
						国試出題基準: 3-B-a, b		
10	9月26日	澤田 圭介 矢野 恭平	4	実習	5-29	症例③ 自在鑲付けトレーニング	①自在鑲付けに必要な器具を準備できる。 ②ミニトーチの火炎を調節できる。 ③適切な量の鑲を盛ることができる。 ④チャートに合わせた角度で鑲付けすることができる。 ⑤還元炎で鑲付けすることができる。 ⑥火傷に気を付けながら作業を行うことができる。 ⑦鑲付け完了の可否を確認できる。	33~36
						G I O: 自在鑲付けを行うため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準: 3-B-a, b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
11	9月27日	澤田 圭介 矢野 恭平	2	演習	5-33	7章 矯正用口腔模型の製作 GIO: 矯正用口腔模型を知るため、模型の種類や特徴および製作手順と注意点について理解する。	①矯正用口腔模型の種類を3つ列挙することができる。 ②3つの矯正用口腔模型を写真を見て判別することができる。 ③平行模型上で平行に作られている面を挙げることができる。 ④平行模型の正中となるランドマークを挙げることができる。 ⑤平行模型を用いた矯正診断の際に併用する写真を挙げることができる。 ⑥顎態模型を考案した人物を挙げることができる。 ⑦顎態模型に再現される3平面を挙げることができる。(令4問75) ⑧顎態模型を用いて把握できることを2つ挙げることができる。 ⑨セットアップモデルの用途を2つ挙げることができる。 ⑩診断用セットアップモデルの用途を挙げることができる。 ⑪セットアップモデルを用いて製作する矯正装置を2つ挙げることができる。(令3問71) ⑫平行模型の製作手順を述べることができる。 ⑬平行模型の製作上の注意点を述べることができる。 ⑭セットアップモデルの製作手順を述べることができる。	39~45
						国試出題基準: 4-A-a, b, c 4-B-a, b	⑮セットアップモデルの製作上の注意点を述べることができる。	
12	9月27日 10月2日	矢野 恭平 澤田 圭介	8	実習	5-34	症例④ 平行模型 GIO: 平行模型を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。	①上下顎の印象採得ができる。 ②気泡を入れないように石膏を注入することができる。 ③高さや傾きに気をつけながら台付けすることができる。 ④基底面の厚みに気をつけながらトリミングすることができる。 ⑤上下顎の基底面が平行になるようにトリミングすることができる。 ⑥後縁の長さをトリミングして調整することができる。 ⑦各部のトリミングを行うことができる。 ⑧歯肉頬移行部をトリミングで調整することができる。 ⑨作業後のトリマーを清掃することができる。 ⑩ソーピングを行い、模型を滑沢に仕上げることができる。	40~43
						国試出題基準: 4-B-a		
13	9月27日 10月2日	矢野 恭平 澤田 圭介	8	実習	5-35	症例⑤ セットアップモデル(上顎歯列のみ) GIO: セットアップモデルを製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。	①寒天印象材を用いて平行模型を複印象することができる。 ②気泡を入れないように石膏を注入することができる。 ③長軸方向線を記入することができる。 ④唇頬側面のコアを採得することができる。 ⑤根尖相当部で分割することができる。	44~45
						国試出題基準: 4-B-b		
14	10月5日	村田 直久	2	講義	5-37	1章 矯正歯科治療とは GIO: 矯正歯科治療を知るため、意義・目的について理解する。	①矯正歯科治療の目的を挙げることができる。 ②不正咬合による分類を2つ挙げることができる。 ③生理的障害を5つ挙げることができる。 ④心理的障害を説明することができる。	1~3
						国試出題基準: 1-A-a		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
15	10月4日	澤田 圭介 矢野 恭平	4	実習	5-40	症例⑤ セットアップモデル (上顎歯列のみ) GIO:セットアップモデルを製作できるようにするため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。	①歯の分割・トリミングに必要な器具を準備できる。 ②各歯について歯軸の線を記入する(傾きの把握のため) ③再排列の目安とするためシリコンコアを採得する。 ④各歯ごとに分割することができる。 ⑤各歯のサイズに応じた使用ポイントを選択できる。 ⑥余剰部をトリミングすることができる。 ⑦糸鋸を正しく使用することができる。	44~45
						国試出題基準:4-A-c		
16	10月4日 10月6日	矢野 恭平 澤田 圭介	4	実習	5-41	症例⑤ セットアップモデル (上顎歯列のみ) GIO:セットアップモデルを製作できるようにするため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。	①トリミングした歯をコアに対して正確に戻すことができる。 ②トリミングした箇所にはパラフィンワックスを流すことができる。 ③パラフィンワックスの余剰部を除去できる。 ④不足した箇所にはパラフィンワックスを盛り足すことができる。 ⑤パラフィンワックスを滑らかに調整仕上げすることができる。 ⑥余剰パラフィンワックスや模型の汚れを取り除くことができる。	44~45
						国試出題基準:4-A-c		
17	10月12日	村田 直久	2	講義	5-43	3章 正常咬合と不正咬合(咬合異常) GIO:正常咬合と不正咬合を知るため、正常咬合の要素や種類および個々の歯の位置異常の特徴について理解する。	①正常咬合の要素を6つ列挙することができる。 ②正常咬合の6つの要素を説明することができる。 ③正常咬合の種類を5つ列挙することができる。 ④5つの正常咬合を説明することができる。 ⑤個々の歯の位置異常を6つ列挙することができる。 ⑥6つの位置異常について写真から区別することができる。 ⑦6つの位置異常について説明することができる。	4~9
						国試出題基準:1-B-a, b 1-C-a		
18	10月10日	澤田 圭介 矢野 恭平	2	演習	5-45	自在鑲付け・平衡模型・ セットアップモデル GIO:自在鑲付け・平衡模型・セットアップモデルの試適された修正箇所について修正する手技を身につける。	①指摘された修正箇所の修正方法を説明することができる。 ②指摘された修正箇所の原因を説明することができる。 ③次回同じ作業を行うときの注意点をノートにまとめることができる。	33~45
						国試出題基準:3-B-a, b 4-A-a, c		
19	10月10日	澤田 圭介 矢野 恭平	2	演習	5-45	自在鑲付け・平衡模型・ セットアップモデル GIO:自在鑲付け・平衡模型・セットアップモデルの試適された修正箇所について修正する手技を身につける。	①指摘された修正箇所を修正することができる。 ②提出期限を守り、修正して提出することができる。 ③次回同じ作業を行うときの注意点をノートにまとめることができる。	33~45
						国試出題基準:3-B-a, b 4-A-a, c		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
20	10月11日	澤田 圭介 矢野 恭平	1	講義	5-46	8章 矯正装置の必要条件と分類 GIO: 矯正装置の必要条件と分類を知るため、基本的な条件や所要条件、装置の分類を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 動的矯正装置の基本的な条件を3つ列挙することができる。 ② 保定装置の基本的な条件を2つ列挙することができる。 ③ 口腔内で使用される矯正装置の所要条件を8つ列挙することができる。 ④ 矯正力の働き方による分類を2つ列挙することができる。 ⑤ 装置の特徴から機械的・機能的矯正力に分類することができる。 ⑥ 固定源の場所による分類を3つ列挙することができる。(令2問71) ⑦ 各矯正装置について固定限の場所から3つに分類することができる。 ⑧ 各矯正装置について固定式か可撤式を分類することができる。 	46~48
						国試出題基準: 5-A-a, b 5-B-a, b, c		
21	10月11日	澤田 圭介 矢野 恭平	2	演習	5-47	9章 矯正装置の製作法(動的矯正装置) GIO: 舌側弧線装置が製作できるようになるために、目的や構成要素、使用材料・器具、製作手順、注意点を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 舌側弧線装置を写真で判断することができる。 ② 舌側弧線装置の目的と構成要素を表にすることができる。(令4問78) ③ 舌側弧線装置の使用材料と器具を表にすることができる。 ④ 舌側弧線装置の製作手順を述べることができる。(令2問74)(令3問75) ⑤ 舌側弧線装置の製作上の注意点を述べるすることができる。 ⑥ 補助弾線の種類を4つ列挙することができる。 ⑦ 補助弾線の作用方向を説明することができる。 ⑧ 補助弾線の鑲付け角度を説明することができる。 ⑨ 図を見て4つの補助弾線を区別することができる。 ⑩ 舌側弧線装置の応用法を5つ列挙することができる。 	50~55
						国試出題基準: 6-A-a, b, c, d, e		
22	10月19日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義	5-49	4章 矯正歯科治療の進め方 GIO: 矯正歯科治療の進め方を知るため、矯正歯科治療と歯科技工の関わりについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 歯列弓の形態の異常を4つ列挙することができる。 ② 4つの歯列弓の形態の異常を写真から区別できる。 ③ 4つの歯列弓の形態の異常について説明することができる。 ④ 上下の歯列弓の対向関係の異常を3つ列挙することができる。 ⑤ 交叉咬合の特徴を説明することができる。 ⑥ 開咬の特徴を説明することができる。(令3問73) ⑦ 過蓋咬合の特徴について説明することができる。 ⑧ アンクルI級不正咬合の特徴を述べることができる。 ⑨ アンクルII級1類不正咬合の特徴を述べることができる。 ⑩ アンクルII級2類不正咬合の特徴を述べることができる。 ⑪ アンクルIII級不正咬合の特徴を述べることができる。 ⑫ 写真からアンクルの分類を答えることができる。(令2問75) 	14~16
						国試出題基準: 1-D-a, b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
23	10月11日		4	実習	5-51	症例⑥ 舌側弧線装置 (上顎歯列のみ)	①大白歯の適切な位置にバンドを装着することができる。 ②口腔内を想定した模型をアルジネート印象材を用いて印象採得することができる。 ③維持バンドを印象面の適切な位置に戻すことができる。 ④接着剤を用いて印象面と維持バンドを固定できる。 ⑤維持バンド鑲付け部の内面にワックスを流すことができる。 ⑥気泡を入れないように石膏を注入することができる。 ⑦模型と維持バンドの位置にズレがないか確認することができる。 ⑧ワックスを流膿することができる。 ⑨維持バンドと維持管を鑲付けすることができる。 ⑩歯頸部付近に維持管を鑲付けすることができる。	50~55
						GIO:舌側弧線装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:6-A-b,c,d		
24	10月18日	矢野 恭平 澤田 圭介	4	実習	5-52	症例⑥ 舌側弧線装置 (上顎歯列のみ)	①ヤングのプライヤーを用いて脚部を屈曲することができる。 ②維持管から歯頸部へ約45°の角度で屈曲することができる。 ③脚部が第二小臼歯歯頸部に一点で接触させることができる。 ④脚部を口蓋に沿わせて屈曲することができる。 ⑤0.9mm矯正用線を用いて主線を屈曲することができる。	50~55
						GIO:舌側弧線装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:6-A-b,c,d		
25	10月16日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	実習	5-53	症例⑥ 舌側弧線装置 (上顎歯列のみ)	①ヤングのプライヤーを用いて脚部を屈曲することができる。 ②維持管から歯頸部へ約45°の角度で屈曲することができる。 ③脚部が第二小臼歯歯頸部に一点で接触させることができる。 ④脚部を口蓋に沿わせて屈曲することができる。 ⑤0.9mm矯正用線を用いて主線を屈曲することができる。	50~55
						GIO:舌側弧線装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:6-A-b,c,d		
26	10月26日	村田 直久	2	講義	5-55	4章 矯正歯科治療の進め方	①歯科診療所と歯科技工所のフローチャートを見て、矯正歯科治療と歯科技工の関わりの流れを矢印でつなぐことができる。 ②矯正治療の流れを診断から保定まで順番に説明することができる。 ③矯正用口腔模型に用いる模型を挙げることができる。	14~16
						GIO:矯正歯科治療の進め方を知るため、矯正歯科治療と歯科技工の関わりについて理解する。		
						国試出題基準:1-D-a,b		
27	10月17日 10月20日	澤田 圭介 矢野 恭平	4	実習	5-56	症例⑥ 舌側弧線装置 (上顎歯列のみ)	①主線と脚部の先端は接触させることができる。 ②鑲付け部直下の石膏をラウンドバー・彫刻刀で削除することができる。 ③模型上で主線と脚部を鑲付けすることができる。 ④主線に補助弾線を自在鑲付けすることができる。	50~55
						GIO:舌側弧線装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:6-A-b,c,d		
28	10月20日	澤田 圭介 矢野 恭平	4	実習	5-57	症例⑥ 舌側弧線装置 (上顎歯列のみ)	①適切な粗研磨ができる。 ②適切な中研磨ができる。 ③適切な仕上げ研磨ができる。 ④模型に適合させて提出することができる。	50~55
						GIO:舌側弧線装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:6-A-b,c,d		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
29	10月21日	矢野 恭平 澤田 圭介	4	実習	5-58	症例⑦ ホーレーの保定装置	①床外形線を記入することができる。 ②接歯唇側線の外形線を記入することができる。 ③単純鉤の外形線を記入することができる。 ④絆創膏を用いてリリーフすることができる。	76~81
						GIO:ホーレーの保定装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:7-A-b,c,d		
30	10月23日	矢野 恭平 澤田 圭介	4	実習	5-59	症例⑦ ホーレーの保定装置	①0.9mm矯正用線を用いて接歯唇側線を屈曲することができる。 ②唇側線を歯冠長1/2~1/3切縁寄りに沿わせることができる。 ③粘膜面に接触させないようにループを屈曲することができる。	76~81
						GIO:舌側弧線装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:7-A-b,c,d		
31	11月23日	矢野 恭平 澤田 圭介	2	実習	5-60	症例⑦ ホーレーの保定装置	①単純鉤を歯頸部に沿わせて屈曲することができる。 ②脚部の先端に維持を作ることができる。 ③尖鉤の位置をアンダーカットに入れることができる。	76~81
						GIO:ホーレーの保定装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:7-A-b,c,d		
32	10月24日	矢野 恭平 澤田 圭介	4	演習 実習	5-61	症例⑦ ホーレーの保定装置	①作業用模型にレジン分離剤を塗布することができる。 ②接歯唇側線と維持装置をワックスで固定することができる。 ③床縁部にワックスでブロックアウトすることができる。 ④ふりかけ法でレジンを築盛することができる。 ⑤加圧重合器を用いてレジンを重合することができる。 ⑥適切な器具を用いて研磨することができる。	76~81
						GIO:舌側弧線装置・ホーレーの保定装置を製作できるようになるため、指摘された修正箇所を修正する手技を身につける。		
						国試出題基準:7-A-b,c,d		
33	11月2日	村田 直久	3	講義	5-62	9章 矯正装置の製作法(動的矯正装置)	①顎間固定装置を写真で判断することができる。 ②顎間固定装置の目的と構成要素を表にすることができる。 ③アクチバートルを写真で判断することができる。 ④アクチバートルの目的と構成要素を表にすることができる。 ⑤バイオネーターを写真で判断することができる。 ⑥顎内固定を説明することができる。 ⑦顎間固定を説明することができる。 ⑧顎外固定を説明することができる。 ⑨最適矯正力について説明することができる。 ⑩固定源の意味を述べることができる。	55~67
						GIO:動的矯正装置が製作できるようになるために、装置の目的や構成要素、使用材料・器具、製作手順、注意点を理解する。		
						6-C-a,b 6-D-a,b 国試出題基準: 6-E-a,b,c,d 6-F-a,b		
34	10月25日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	演習	5-63	舌側弧線装置・ホーレーの保定装置	①指摘された修正箇所の修正方法を説明することができる。 ②指摘された修正箇所の原因を説明することができる。 ③次回同じ作業を行うときの注意点をノートにまとめることができる。	76~81
						GIO:舌側弧線装置・ホーレーの保定装置を製作できるようになるため、指摘された修正箇所を修正する手技を身につける。		
						国試出題基準:7-A-b,c,d		
35	10月25日	矢野 恭平 澤田 圭介	2	実習	5-63	舌側弧線装置・ホーレーの保定装置	①指摘された修正箇所を修正することができる。 ②提出期限を守り、修正して提出することができる。 ③次回同じ作業を行うときの注意点をノートにまとめることができる。	76~81
						GIO:舌側弧線装置・ホーレーの保定装置を製作できるようになるため、指摘された修正箇所を修正する手技を身につける。		
						国試出題基準:7-A-b,c,d		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
36	11月9日	村田 直久	2	講義	5-67	<p>9章 矯正装置の製作法(動的矯正装置) GIO:動的矯正装置が製作できるようになるために、装置の目的や構成要素、使用材料・器具、製作手順、注意点を理解する。</p>	<p>①顎間固定装置を写真で判断することができる。 ②顎間固定装置の目的と構成要素を表にすることができる。 ③アクチハートルを写真で判断することができる。 ④アクチハートルの目的と構成要素を表にすることができる。(令3問74)(令4問71) ⑤バイオネーターを写真で判断することができる。 ⑥バイオネーターの目的と構成要素を表にすることができる。(令4問74) ⑦バイオネーターの使用材料と器具を表にすることができる。 ⑧バイオネーターの製作法と製作上の注意点を述べることができる。 ⑨咬合挙上板を写真で判断することができる。 ⑩咬合挙上板の目的と構成要素を表にすることができる。 ⑪咬合挙上板の使用材料と器具を表にすることができる。 ⑫咬合挙上板の製作法と製作上の注意点を述べることができる。 ⑬咬合斜面板を写真で判断することができる。 ⑭咬合斜面板の目的と構成要素を表にすることができる。 ⑮可撤式拡大装置を写真で判断することができる。 ⑯可撤式拡大装置の目的と構成要素を表にすることができる。 ⑰可撤式拡大装置の使用材料と器具を表にすることができる。 ⑱可撤式拡大装置の製作法と製作上の注意点を述べることができる。 ⑲固定式拡大装置を写真で判断することができる。 ⑳固定式拡大装置の目的と構成要素を表にすることができる。 ㉑固定式拡大装置の使用材料と器具を表にすることができる。 ㉒固定式拡大装置の製作法と製作上の注意点を述べることができる。</p>	62~67
						<p>6-C-a, b 6-D-a, b 6-E-a, b, c, d 6-F-a, b 6-G-a, b 6-H-a, b 6-H-a, b 6-I-a, b 6-J-a, b 6-K-a, b,</p> <p>国試出題基準:</p>		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
37	11月16日	村田 直久	1	講義	5-65	<p>9章 矯正装置の製作法(動的矯正装置)</p> <p>GIO:動的矯正装置が製作できるようになるために、装置の目的や構成要素、使用材料・器具、製作手順、注意点を理解する。</p> <p>6-L-a, b 6-M-a, b 6-N-a, b 国試出題基準: 6-B-a, b 6-O-a, b 6-P-a, b 6-Q-a, b</p>	<p>①ヘッドギアを写真で判断することができる。</p> <p>②ヘッドギアの目的と構成要素を表にすることができる。</p> <p>③オトガイ帽装置を写真で判断することができる。</p> <p>④オトガイ帽装置の目的と構成要素を表にすることができる。</p> <p>⑤上顎前方牽引装置を写真で判断することができる。</p> <p>⑥上顎前方牽引装置の目的と構成要素を表にすることができる。</p> <p>⑦ナンスのホールディングアーチを写真で判断することができる。</p> <p>⑧ナンスのホールディングアーチの目的と構成要素を表にすることができる。</p> <p>⑨リップバンパーを写真で判断することができる。</p> <p>⑩リップバンパーの目的と構成要素を表にすることができる。(令2問72)</p> <p>⑪マルチブラケット装置の種類を2つ挙げることができる。</p> <p>⑫マルチブラケット装置の目的を説明することができる。(令2問73)</p> <p>⑬図をみてマルチブラケット装置を判別することができる。</p> <p>⑭フレネルの装置を写真で判断することができる。</p> <p>⑮フレネルの装置の目的を述べることができる。</p> <p>⑯フレネルの装置製作に用いる咬合器を挙げることができる。</p>	60~62
39	11月30日	村田 直久	1	講義	5-71	<p>9章 矯正装置の製作法(動的矯正装置)</p> <p>GIO:動的矯正装置が製作できるようになるために、装置の目的や構成要素、使用材料・器具、製作手順、注意点を理解する。</p> <p>国試出題基準: 7-A-a, b, c, d</p>	<p>①ホーレーの保定装置を写真で判断することができる。</p> <p>②ホーレーの保定装置の目的と構成要素を表にすることができる。</p> <p>③ホーレーの保定装置の使用材料と器具を表にすることができる。</p> <p>④ホーレーの保定装置の製作法と製作上の注意点を述べることができる。</p>	76~81
39	12月7日	村田 直久	2	講義	5-73	<p>10章 保定装置(静的矯正装置)</p> <p>GIO:静的矯正装置が製作できるようになるために、装置の目的や構成要素、使用材料・器具、製作手順、注意点を理解する。</p> <p>7-B-a, b 7-C-a, b 7-D-a, b, c, d 7-E-a, b</p>	<p>①ラップアラウンドリテーナーを写真で判断することができる。</p> <p>②ラップアラウンドリテーナーの目的と構成要素を表にすることができる。</p> <p>③トゥースポジションナーを写真で判断することができる。</p> <p>④トゥースポジションナーの目的と構成要素を表にすることができる。</p> <p>⑤マウスピース型カスタムメイド矯正歯科装置を写真で判断することができる。</p> <p>⑥マウスピース型カスタムメイド矯正歯科装置の目的を述べることができる。</p> <p>⑦スプリングリテーナーを写真で判断することができる。</p> <p>⑧スプリングリテーナーの目的と構成要素を表にすることができる。</p> <p>⑨スプリングリテーナーの使用材料と器具を表にすることができる。</p> <p>⑩下顎犬歯間リテーナーを写真で判断することができる。</p> <p>⑪下顎犬歯間リテーナーの目的と構成要素を表にすることができる。</p>	81~84

【専門分野】 D. 小児歯科治療における歯科技工(小児歯科技工学)	②4小児歯科技工学 *実務経験のある教員による授業科目
---	---------------------------------------

本学期的学習目標(GIO)
歯科技工士に必要な小児歯科治療と小児歯科技工領域の知識と技術を身につけるため、講義と演習または実習を通して小児歯科治療の流れや小児の歯列の変化、小児歯科技工に使用する機器類、装置の名称、手順を理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット5 小児・矯正歯科技工と歯の組織発生学

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前・後期	月 ～ 金	9:00～10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室
			9:00～12:10	
			9:00～14:30	
			9:00～15:25	
			9:00～16:10	
			10:40～12:10	
			10:40～14:30	
			10:40～16:10	
			13:00～14:30	
			13:00～16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	國武 哲治、三谷 寧、大浦 清範、矢野 恭平、澤田 圭介
成績評価	講義末試験、実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	9月1日	矢野 恭平 澤田 圭介	4	実習	5-1	実習用模型の製作 GIO:クラウンループ保隙装置、ディスタルシュー保隙装置、ナンスのホールディングアーチ、可撤保隙装置の製作を行うため、ゴム枠に石膏を流して、模型を準備する。 国試出題基準:なし	①型枠に必要な量の石膏・水を計量することができる。 ②石膏と水を均一に練和することができる。 ③型枠に気泡を入れないように石膏を注入することができる。 ④パイプレーターを正しく使用することができる。 ⑤型枠から模型を壊さずに取り出すことができる。 ⑥模型に付着した気泡をデザインナイフで除去することができる。 ⑦石膏トリマーを使用して模型基底面を平行に整えることができる。 ⑧作業後に汚れた箇所は清掃し、環境を整えることができる。	
2	8月31日	國武 哲治	2	講義	5-2	1章 小児歯科技工学概説 GIO:小児の特徴を知るために、小児歯科技工学の目的および乳歯列期の特徴を理解する。 国試出題基準:1-A	①小児歯科技工学の目的を挙げることができる。 ②無歯期から永久歯列期までの過程を挙げることができる。 ③乳歯列期の齲蝕の特徴を挙げることができる。 ④ジャケットクラウンを写真から判別できる。 ⑤既製金属冠を写真から判別できる。 ⑥既成金属冠の材料を3種類挙げることができる。(令3問78) ⑦乳歯列期の欠損の特徴を挙げることができる。 ⑧乳歯列期にみられる不正咬合を2つ挙げることができる。 ⑨乳歯列期の不正咬合の特徴を挙げることができる。	1~3

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	9月4日	澤田 圭介	1	講義	5-3	8章 咬合誘導装置に用いる維持装置 G I O:咬合誘導装置に用いる維持装置が製作できるようになるために、装置の名称や特徴、製作手順、注意点を理解する。 7-A-a, b 7-B-a, b 国試出題基準: 7-C-a, b 7-D-a, b 7-E-a, b	①Adams(アダムス)のクラスプの名称と特徴を表にすることができる。 ②Adams(アダムス)のクラスプの製作法と製作上の注意点を挙げるることができる。 ③Schwarz(シュワルツ)のクラスプの名称と特徴を表にすることができる。 ④Schwarz(シュワルツ)のクラスプの製作法と製作上の注意点を挙げるることができる。(令2問77) ⑤唇側線の名称と特徴を表にすることができる。 ⑥唇側線の製作法と製作上の注意点を挙げるることができる。 ⑦単純鉤の名称と特徴を表にすることができる。 ⑧単純鉤の製作法と製作上の注意点を挙げるることができる。 ⑨ボールクラスプの名称と特徴を表にすることができる。(令3問77) ⑩ボールクラスプの製作法と製作上の注意点を挙げるることができる。 ⑪製作に必要なプライヤーの名称を挙げるることができる。 ⑫プライヤーの写真を見て名称を挙げるることができる。	72~80
4	9月5日	矢野 恭平	2	講義	5-10	5章 保隙装置 G I O:クラウンループ保隙装置が製作できるようになるために、装置の目的や構成要素、使用材料・器具の名称を理解する。 4-A 国試出題基準: 4-B 4-C-a, b, c, d	①保隙装置の必要条件を8つ列挙することができる。 ②保隙装置の種類を2つ列挙することができる。 ③固定保隙装置の利点・欠点を説明することができる。 ④可撤保隙装置の利点・欠点を説明することができる。 ⑤クラウンループ保隙装置を写真で判断することができる。 ⑥クラウンループ保隙装置の目的と構成要素を表にすることができる。 ⑦クラウンループ保隙装置の使用材料と器具を表にすることができる。 ⑧クラウンループの製作手順を説明することができる。 ⑨クラウンループ製作の注意点を説明することができる。	40~42
5	9月7日	矢野 恭平 澤田 圭介	4	実習	5-11	症例① クラウンループ G I O:クラウンループ保隙装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。 国試出題基準: 4-C-d	①口腔内を想定した模型に乳歯冠を装着することができる。 ②口腔内を想定した模型をアルジネート印象材を用いて印象採得することができる。 ③乳歯冠を印象面の適切な位置に戻すことができる。 ④乳歯冠鑲付け部の内面にワックスを流すことができる。 ⑤気泡を入れないように石膏を注入することができる。 ⑥内面にワックスを盛る理由を説明できる。	41~42

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
6	9月7日	國武 哲治	2	講義	5-12	1章 小児歯科技工学概説	<ul style="list-style-type: none"> ①混合歯列期に最も齲蝕になりやすい歯を挙げることができる。 ②混合歯列期の齲蝕の特徴を挙げることができる。 ③混合歯列期の齲蝕予防法を説明できる。 ④シーラントを施す部位を挙げることができる。 ⑤側方歯群の乳歯の早期喪失が第一大臼歯に与える影響を述べることができる。 ⑥混合歯列期における不正咬合の種類を3つ列挙することができる。 	3~7
						GIO:小児の特徴を知るために、混合歯列期の特徴を理解する。		
7	9月7日	矢野 恭平 澤田 圭介	4	実習	5-11	症例① クラウンループ	<ul style="list-style-type: none"> ①リリースする箇所を明示することができる。 ②絆創膏でリリースすることができる。 ③ループ部の外形線を記入することができる。 ④正しい使用方法でニッパーによるワイヤー切断ができる。 ⑤ヤングのプライヤーを用いてループを屈曲することができる。 ⑥ループの自由端を石膏で固定することができる。 ⑦ループと乳歯冠をワックスで固定できる。 ⑧ろう付けに適切な炎に調節することができる。 ⑨ループと乳歯冠をろう付けすることができる。 	43~45
						GIO:クラウンループ保険装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
8	9月8日	三谷 寧 大浦 清範 矢野 恭平 澤田 圭介	4	講義	5-13	6章 スペースリゲーター	<ul style="list-style-type: none"> ①スペースリゲーターの目的を述べることができる。 ②拡大ネジを応用したスペースリゲーターを写真で判断することができる。 ③拡大ネジを応用したスペースリゲーターの目的と構成要素を表にすることができる。 ④拡大ネジを応用したスペースリゲーターの使用材料と器具を表にすることができる。 ⑤拡大ネジを応用したスペースリゲーターの製法と製作上の注意点を挙げることができる。 ⑥アダムのスプリングを応用したスペースリゲーターを写真で判断することができる。 ⑦アダムのスプリングを応用したスペースリゲーターの目的と構成要素を表にすることができる。 ⑧アダムのスプリングを応用したスペースリゲーターの使用材料と器具を表にすることができる。 ⑨アダムのスプリングを応用したスペースリゲーターの製法と製作上の注意点を挙げることができる。(令2問79) 	61~68
						GIO:スペースリゲーターが製作できるようになるために、装置の目的や構成要素、使用材料・器具、製作手順、注意点を理解する。		
9	9月8日	矢野 恭平 澤田 圭介	2	実習	5-14	症例① クラウンループ	<ul style="list-style-type: none"> ①ろう付け後の形態を修正することができる。 ②段階に応じた研磨器具を用いて研磨面を滑沢に仕上げることができる。 ③ループ部の形態を模型に適合するように微調整することができる。 ④研磨時に汚れた模型をスチームクリーナーで洗浄することができる。 	43~45
						GIO:クラウンループ保険装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
10	9月11日	矢野 恭平	2	演習	5-14	5章 保険装置	<ul style="list-style-type: none"> ①ディスタルシュー保険装置を写真で判断することができる。 ②ディスタルシュー保険装置の目的と構成要素を表にすることができる。(令3問78) ③ディスタルシュー保険装置の使用材料と器具を表にすることができる。 ④ディスタルシュー保険装置の製法と製作上の注意点を挙げることができる。 ⑤ディスタルシュー保険装置の製作手順を説明することができる。 ⑥ディスタルシュー保険装置製作時の注意点を説明することができる。 	46~50
						GIO:ディスタルシュー保険装置の製作方法を身につけるため、目的や構成要素、使用材料・器具、製作手順、注意点を理解する。		
						国試出題基準:2-E		
						国試出題基準:4-C-d		
						5-A 国試出題基準:5-B 5-C		
						国試出題基準:4-C-d		
						国試出題基準:4-E-a, b, c, d		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
11	9月11日	澤田 圭介 矢野 恭平	4	実習	5-15	症例② デイスタルシュー GIO: デイスタルシュー保険装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。	①口腔内を想定した模型に乳歯冠の余剰部を削除して装着することができる。 ②口腔内を想定した模型をアルジネート印象材を用いて印象採得することができる。 ③乳歯冠を印象面の適切な位置に戻すことができる。 ④乳歯冠鑲付け部の内面にワックスを築盛することができる。 ⑤乳歯冠内面にワックスを築盛する理由を説明することができる。 ⑥気泡を入れないように石膏を注入することができる。	47~49
						国試出題基準: 4-E-d		
12	9月12日	澤田 圭介 矢野 恭平	6	実習	5-15	症例② デイスタルシュー GIO: デイスタルシュー保険装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。	①シューの長さ計測と作業用模型を鋸で切り込むことができる。(令2問80) ②第二乳臼歯と歯肉部を削除することができる。 ③模型垂直部の調整ができる。 ④シューを適切な形態に加工することができる。 ⑤シューと乳歯冠をワックスで固定できる。 ⑥シュー遠心部と作業用模型を石膏で固定できる。 ⑦シューと乳歯冠をろう付けすることができる。 ⑧段階に応じて適切な研磨器具を選択することができる。 ⑨滑沢な研磨を行うことができる。 ⑩研磨時に汚れた模型をスチームクリーナーで洗浄することができる。	49~50
						国試出題基準: 4-E-d		
13	9月13日	澤田 圭介 矢野 恭平	2	演習	5-16	デイスタルシュー GIO: デイスタルシュー保険装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②適切な修正を行うための方法を述べることができる。 ③不明な点について質問することができる。	
						国試出題基準: 4-E		
14	9月13日	澤田 圭介 矢野 恭平	2	実習	5-16	デイスタルシュー GIO: デイスタルシュー保険装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。	①修正部位を確認することができる。 ②教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ③次回同じ作業を行うときのため、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。 ④指摘された部位の修正を行うことができる。	
						国試出題基準: 4-E		
15	9月13日	澤田 圭介	2	演習	5-18	5章 保険装置 GIO: リンガルアーチ、ナンスのホールディングアーチの製作方法を身につけるため、目的や構成要素、使用材料・器具、製作手順、注意点を理解する。	①リングルアーチを写真で判断することができる。 ②リングルアーチの目的と構成要素を表にすることができる。 ③リングルアーチの使用材料と器具を表にすることができる。 ④リングルアーチの製作法と製作上の注意点を挙げる。 ⑤ナンスのホールディングアーチを写真で判断することができる。 ⑥ナンスのホールディングアーチの目的と構成要素を表にすることができる。 ⑦ナンスのホールディングアーチの使用材料と器具を表にすることができる。 ⑧ナンスのホールディングアーチの製作法と製作上の注意点を挙げる。	54~55
						国試出題基準: 4-F-a,b,c,d G-a, b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
16	9月13日 9月14日 9月15日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	10	実習	5-19	症例③ Nanceのホールディングアーチ GIO:Nanceのホールディングアーチを製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。	①作業用模型に維持バンドを装着することができる。 ②アルジネート印象材を用いて印象採得することができる。 ③維持バンドを印象面の適切な位置に戻すことができる。 ④維持バンドろう付け部の内面にワックスを流すことができる。 ⑤維持バンド内面にワックスを築盛する理由を説明することができる。 ⑥気泡を入れないように石膏を注入することができる。 ⑦リリースする箇所を明示することができる。 ⑧絆創膏でリリースすることができる。 ⑧外形線を記入することができる。 ⑨主線の屈曲に適したプライヤーを選択することができる。 ⑩設計線に沿って主線を屈曲することができる。 ⑪維持バンドと主線をろう付けできる。 ⑩常温重合レジンでバラタルボタンを形成できる。 ⑪材質に適した研磨器具を使い分けすることができる。	43~45
						国試出題基準: 4-G-a, b		
17	9月14日	國武 哲治	2	講義	5-20	2章 歯・顎・顔面の成長発育 GIO:歯・顎・顔面の成長発育を知るため、ヘルマンの歯齢の特徴を理解する。	①成長発育段階について歯の萌出状態から分類することができる。 ②ロビンスが報告した図をみて新生児の頭長と成人を比較することができる。 ③スキャモンの発育曲線で表される項目を4つ示し、特徴を挙げることができる。 ④生理的年齢の評価に使用される項目を5つ列挙することができる。 ⑤ヘルマンの歯齢を表にすることができる。 ⑥2生歯性について説明することができる。 ⑦乳歯の萌出時期と順序を説明することができる。 ⑧乳歯の萌出順序を表にまとめることができる。 ⑨乳歯の萌出時期を表にまとめることができる。 ⑩永久歯の萌出順序を表にまとめることができる。 ⑪永久歯に萌出時期を表にまとめることができる。 ⑫乳歯の一般的特徴について説明することができる。 ⑬乳歯の形態的特徴にちて説明することができる。 ⑭顎間空隙の出現部位を明示することができる。 ⑮顎間空隙の出現する時期を説明することができる。 ⑯出生時の上下顎歯槽提の対向関係を説明することができる。 ⑰乳歯列期上下顎の形態を答えることができる。 ⑱生理的歯間空隙について3つ答えることができる。 ⑲乳歯列の図を見て名称を答えることができる。 ⑳空隙の出現部位を答えることができる。 ㉑ターミナルプレーンの意味を説明することができる。 ㉒ターミナルプレーンの型別出現頻度を表から答えることができる。 ㉓第一大臼歯の萌出方向を説明することができる。(令4問80) ㉔みにくいあひるの子の時代について説明することができる。(令3問76) ㉕側方歯群交換期にみられるリーウエイススペースを説明することができる。 ㉖模式図からリーウエイススペースを示すことができる。(令2問76)	7~33
						2-A-c 2-B 国試出題基準: 2-C 2-D 2-E		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
18	9月15日	大浦 清範 矢野 恭平 澤田 圭介	4	実習	5-21	症例⑤ スペースリテーナー (バイオブロック) GIO: バイオブロックの目的を理解するために、装置の作用を解釈できる。 国試出題基準: なし	①装置の構成を5つ列挙できる。 ②床の外形線を記入することができる。 ③模型の調整を行うことができる。 ④クリブの形態に矯正用線を屈曲することができる。 ⑤形状に合わせた方法でプライヤーを使用できる。	
19	9月20日	矢野 恭平	2	演習	5-22	5章 保険装置 GIO: 可撤保険装置の製作方法を身につけるため、目的や構成要素、使用材料・器具、製作手順、注意点を理解する。 国試出題基準: 4-H	①可撤保険装置を写真で判断することができる。 ②可撤保険装置の目的と構成要素を表にすることができる。 ③可撤保険装置の使用材料と器具を表にすることができる。 ④可撤保険装置の製作法と製作上の注意点を挙げる事ができる。(令3問80)	56~60
20	9月19日	澤田 圭介 矢野 恭平	6	実習	5-23	症例④ 可撤保険装置(小児義歯) GIO: 可撤保険装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。 国試出題基準: 4-H	①上顎の作業用模型を咬合器装着できる。 ②屈曲に必要な器具を準備できる。 ③単純鉤の設計ができる。 ④単純鉤の屈曲ができる。 ⑤唇側線の設計ができる。 ⑥オクルーザルレストの設計ができる。 ⑦オクルーザルレストを屈曲できる。 ⑧維持装置の鉤尖を相応しい形態に研磨調整できる。	56~60
21	9月20日	澤田 圭介 矢野 恭平	8	実習	5-23	症例④ 可撤保険装置(小児義歯) GIO: 可撤保険装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。 国試出題基準: 4-H	⑨乳前歯人工歯を排列できる。 ⑩唇側線の屈曲ができる。 ⑪臼歯人工歯を排列することができる。 ⑫歯肉形成を行うことができる。 ⑬シリコンコア採得を行うことができる。 ⑭シリコンコア採得後、余剰部の削除ができる。	56~60
22	9月22日	澤田 圭介 矢野 恭平	2	実習	5-23	症例④ 可撤保険装置(小児義歯) GIO: 可撤保険装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。 国試出題基準: 4-H	⑥流蠟することができる。 ⑦適切な箇所にレジン分離剤を塗布できる。 ⑧筆積み法でレジン床を製作することができる。 ⑩レジン床の適切な厚みを見極めることができる。	56~60
23	9月26日	澤田 圭介 矢野 恭平	4	実習	5-23	症例④ 可撤保険装置(小児義歯) GIO: 可撤保険装置を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。 国試出題基準: 4-H	⑧筆積み法でレジン床を製作することができる。 ⑩レジン床の適切な厚みを見極めることができる。 ⑪レジン研磨に適したポイントを順番に選択できる。 ⑫レジン研磨に適した保護具を選択できる。 ⑬レジン研磨に適したエンジン回転数を判断できる。 ⑭研磨工程に適した器具(エンジン・レーズ)を選択できる。 ⑮滑沢な仕上げ研磨を完了できる。	56~60
24	9月21日	國武 哲治	2	講義	5-24	2章 歯・顎・顔面の成長発育 GIO: 歯・顎・顔面の成長発育を知るため、上顎骨と下顎骨の成長発育について理解する。 国試出題基準: なし	①脳頭蓋と顔面頭蓋の比率を挙げる事ができる。 ②上顎と下顎の成長を説明することができる。 ③上顎骨の成長に最も多く関与する縫合部を4つ列挙することができる。 ④上顎骨の成長を図で示すことができる。 ⑤下顎骨の成長発育部位を3つ列挙することができる。 ⑥下顎骨の成長を図で示すことができる。	11~14

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
25	9月25日	矢野 恭平 澤田 圭介	2	演習	5-25	症例③ Nanceのホールディングアーチ	①指摘された修正箇所の修正方法を説明することができる。 ②指摘された修正箇所の原因を説明することができる。 ③次回同じ作業を行うときの注意点をノートにまとめることができる。	
						GIO:Nanceのホールディングアーチを製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:4-H		
26	9月25日	矢野 恭平 澤田 圭介	2	演習	5-25	症例③ Nanceのホールディングアーチ	①指摘された修正箇所を修正することができる。 ②提出期限を守り、修正して提出することができる。 ③次回同じ作業を行うときの注意点をノートにまとめることができる。	
						GIO:Nanceのホールディングアーチを製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:4-H		
27	9月22日	大浦 清範 澤田 圭介 矢野 恭平	4	実習	5-31	症例⑤ スペースリゲーター (バイオブロック)	①クリブの必要条件を説明できる。 ②クリブの形態にワイヤーを屈曲できる。 ③クレセントの必要条件を説明できる。 ④クレセントの形態にワイヤーを屈曲できる。 ⑤ワイヤー屈曲を行う環境を準備できる。 ⑥ワイヤー屈曲に適した道具の選択ができる。 ⑦屈曲する形態に適したプライヤーを選択できる。 ⑧設計線に沿った屈曲ができる。	
						GIO:バイオブロックの構成要素であるクリブとクレセントを製作するために、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:なし		
28	9月29日	大浦 清範 澤田 圭介 矢野 恭平	4	実習	5-38	症例⑤ スペースリゲーター (バイオブロック)	①クリブとクレセントの仮着・ロウ着の手順を説明できる。 ②仮着器の使用方法を説明できる。 ③仮着器を操作できる。 ④クリブとクレセントを仮着できる。 ⑤仮着されたワイヤーをロウ着する準備ができる。 ⑥アンチフラックスの効果について説明できる。 ⑦フラックスの効果について説明できる。 ⑧ロウ着に適切な炎を識別できる。 ⑨ロウ着に適切な炎を調節できる。 ⑩適量のロウでロウ着することができる。 ⑪ロウ着の可否を測定できる。	
						GIO:バイオブロックの維持装置を製作するために、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:なし		
29	10月6日	大浦 清範 澤田 圭介 矢野 恭平	4	実習	5-44	症例⑤ スペースリゲーター (バイオブロック)	①カテナリーワイヤーの目的を説明できる。 ②カテナリーワイヤー屈曲に必要な器具を準備できる。 ③設計線に沿った屈曲が行える。 ④拡大ネジ埋没のための模型調整を説明できる。 ⑤床後縁部をボクシングする必要性を説明できる。 ⑥レジン築盛の注意点を3つ挙げることができる。 ⑦レジン築盛法を5種類列挙できる。 ⑧ふりかけ法による築盛の注意点を説明できる。 ⑨加圧重合器を使用する利点を説明できる。 ⑩所要のレジン厚みをmm数で答えることができる。 ⑪適切な厚みのレジン築盛ができる。	
						バイオブロックの構成要素カテナリーワイヤーと床を製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:なし		
30	10月21日	大浦 清範 澤田 圭介 矢野 恭平	6	実習	5-50	症例⑤ スペースリゲーター (バイオブロック)	①レジン研磨に必要な環境を準備できる。 ②拡大ネジ可動のため床に分割線を記入できる。 ③糸ノコの使用方法を説明できる。 ④線に沿ってレジン床をノコ入れできる。 ⑤床を形態修正する研磨ポイントを選択できる。 ⑥床の厚みに留意して研磨ができる。	
						GIO:バイオブロックを製作できるようになるため、製作手順や製作過程においての手技を身につける。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
31	11月1日	矢野 恭平	2	講義	5-64	3章 小児の歯冠修復 GIO:小児の歯冠修復を知るために、小児期歯冠修復の目的や種類を理解する。 国試出題基準: 3-A 3-B-a, b, c	①小児期の歯冠修復の目的を挙げることができる。 ②乳歯の修復法を2つ列挙することができる。 ③成形修復の特徴を挙げることができる。 ④インレーの種類を2つ列挙することができる。 ⑤乳歯用既製金属冠の利点を5つ列挙することができる。 ⑥乳歯用既製金属冠の材料を3種類挙げることができる。(令2問78) ⑦小児の歯冠修復の種類と特徴を関連付けて説明することができる。	34~37
32	11月1日	矢野 恭平	2	講義	5-65	7章 口腔習癖除去装置 GIO:小児期にみられる口腔習癖を知るために、口腔習癖の種類や装置の種類、構成要素を理解する。 国試出題基準: 6-A 6-B-a, b	①咬合誘導の概念を説明することができる。 ②咬合誘導装置の目的を説明することができる。 ③咬合誘導装置の種類を3つ列挙することができる。 ④口腔習癖の種類を5つ列挙することができる。 ⑤口腔習癖除去装置の種類を2つ列挙することができる。(令3問79) ⑥固定式舌癖除去装置の構成要素を3つ列挙することができる。 ⑦可撤式舌癖除去装置の構成要素を3つ列挙することができる。	38~39, 67~71
33	11月30日	國武 哲治	2	講義	5-70	2章 歯・顎・顔面の成長発育 GIO:歯・顎・顔面の成長発育を知るため、歯の萌出や乳歯の形態的特徴および無歯期にみられる特徴を理解する。 国試出題基準: 2-A 2-B 2-C	①乳歯の萌出時期と順序を表にすることができる。 ②永久歯の萌出時期と順序を表にすることができる。 ③乳歯歯冠部の一般的特徴を8つ列挙することができる。 ④乳歯歯根部の一般的特徴を4つ列挙することができる。 ⑤乳歯歯髄の一般的特徴を3つ列挙することができる。 ⑥乳歯の形態的特徴を表にすることができる。 ⑦上下顎歯槽堤の対向関係を説明することができる。 ⑧顎間空隙について説明することができる。 ⑨顎間空隙がみられる時期を挙げることができる。	15~23
34	12月7日	國武 哲治	2	講義	5-72	2章 歯・顎・顔面の成長発育 GIO:歯・顎・顔面の成長発育を知るため、乳歯列期にみられる特徴を理解する。 国試出題基準:2-D	①上下顎乳歯列の形態を挙げることができる。 ②霊長空隙の特徴を挙げることができる。 ③発育空隙の特徴を挙げることができる。 ④有隙型歯列弓と閉鎖型歯列弓の違いを挙げることができる。 ⑤図をみて、オーバージェットとオーバーバイトの場所を特定できる。 ⑥ターミナルプレーンの特徴を挙げることができる。 ⑦ターミナルプレーンの種類を3つ列挙することができる。 ⑧ターミナルプレーンの基準を説明することができる。(令4問77)	23~27

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
35	12月14日	國武 哲治	3	講義	5-74	2章 歯・顎・顔面の成長発育 GIO:歯・顎・顔面の成長発育を知るため、混合歯列期にみられる特徴を理解する。 国試出題基準:2-E	①垂直型の第一大臼歯の咬合状態を挙げることができる。 ②近心階段型の第一大臼歯の咬合状態を挙げることができる。 ③遠心階段型の第一大臼歯の咬合状態を挙げることができる。 ④エスカレーター式交換の特徴を挙げることができる。 ⑤エレベーター式交換の特徴を挙げることができる。 ⑥リーウェイスペースの特徴を挙げることができる。 ⑦上顎片側にみられるリーウェイスペースを挙げることができる。 ⑧下顎片側にみられるリーウェイスペースを挙げることができる。	27~33

【専門基礎分野】 歯・口腔の構造と機能	⑩歯の解剖学 口腔組織発生学
-------------------------------	-----------------------

本学期的学習目標(GIO)
ヒトの生体に関する知識を身につけるため、口腔の成り立ちから発育そして歯や歯周組織の加齢変化について修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット5 小児・矯正歯科技工学と歯の組織発生学

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前・後期	火・水・木	9:00～10:40	博多メディカル専門学校 3階 301教室

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	國武 哲治、矢野 恭平、澤田 圭介、
成績評価	講義末試験、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	9月26日	矢野 恭平 澤田 圭介	2	講義	5-27	6章 歯の異常 GIO: 正常な口腔環境を知るために「歯数過剰」「歯数不足」「大きさの異常」について理解する。	①上顎切歯部の過剰歯の名称と特徴を表にまとめることができる。 ②大白歯部の過剰歯の名称と特徴を表にまとめることができる。 ③歯数不足の名称と特徴を表にまとめることができる。(令2問9) ④大きさの異常が起こる要因を挙げることができる。 ⑤大きさの異常について名称と特徴を表にまとめることができる。	92~94
						国試出題基準:5-A		
2	9月28日	國武 哲治	2	講義	5-30	4章 歯の発生 GIO: 歯や口腔の成り立ちを知るために「細胞と組織の発生と構造」を理解する。	①「細胞」の定義を挙げることができる。 ②「組織」の定義を挙げることができる。 ③「器官」の定義を挙げることができる。 ④胚葉名と形成される器官名を表にすることができる。 ⑤歯を形成する胚葉を2つ挙げることができる。	73~74
						国試出題基準:なし		
3	9月27日	矢野 恭平 澤田 圭介	2	講義	5-32	6章 歯の異常 GIO: 正常な口腔環境を知るために「歯冠の異常」「歯根の異常」について理解する。	①「円錐歯」を図で示し特徴を挙げることができる。 ②「円筒歯」を図で示し特徴を挙げることができる。 ③「盲孔」を図で示し特徴を挙げることができる。 ④「斜切痕」を図で示し特徴を挙げることができる。(令4問13) ⑤「中心結節」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑥「カラベリー結節」を図で示し特徴を挙げることができる。(令3問5) ⑦「斜走隆線」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑧「屈曲隆線」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑨「プロトスタイリッド」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑩「白傍結節」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑪「白後結節」を図で示し特徴を挙げることができる。(令2問10) ⑫「エナメル橋」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑬「遠心トリゴニッド隆線」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑭「トリゴニッド切痕」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑮「過剰根」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑯「癒合根」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑰「樞状根」を図で示し特徴を挙げることができる。 ⑱「台状根」を図で示し特徴を挙げることができる。	94~98
						国試出題基準:5-B		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
4	10月5日	國武 哲治	2	講義	5-36	4章 歯の発生	①歯胚の形成段階を3つ列挙することができる。 ②帽状期を図で示し構造物を5つ挙げることができる。 ③エナメル器から形成される組織を一つ挙げることができる。 ④歯乳頭から形成される組織を二つ挙げることができる。 ⑤歯小囊から形成される組織を三つ挙げることができる。 ⑥歯根を形成する細胞を挙げることができる。	74~77
						G I O:歯や口腔の成り立ちを知るために「歯冠の発生」「歯根の発生」を理解する。		
						国試出題基準:3-A-a,b		
5	10月4日	矢野 恭平 澤田 圭介	2	講義	5-39	6章 歯の異常	①色調異常の原因を8つ列挙することができる。 ②歯の萌出時期異常の種類を5つ列挙することができる。 ③歯の位置異常の種類を7つ列挙することができる。 ④歯列弓異常の種類を4つ列挙することができる。	98 ~ 101
						G I O:正常な口腔環境を知るために「歯の色調異常」「萌出異常」「歯列弓異常」について理解する。		
						国試出題基準:5-C		
6	10月12日	國武 哲治	2	講義	5-42	4章 歯の発生	①萌出運動のメカニズムを述べることができる。 ②乳歯根の吸収と代生歯との交換を簡単に説明することができる。 ③脱落時の乳歯の形態的特徴を述べることができる。	77
						G I O:歯や口腔の成り立ちを知るために「歯の萌出と脱落」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
7	10月19日	國武 哲治	2	講義	5-48	5.歯と歯周組織	①硬組織を3つ挙げることができる。 ②エナメル質の重量比とモース硬度を表にすることができる。 ③「エナメル質にみられる構造物」を6つ挙げることができる。 ④「エナメル小柱」の特徴をあげることができる。 ⑤「横紋」の特徴を挙げることができる。 ⑥「レッチウス条」の特徴を挙げることができる。(令4問6) ⑦「新産線」の特徴を挙げることができる。 ⑧「ハンター・シュレーゲル条」の特徴を挙げることができる。 ⑨象牙質の重量比とモース硬度を表にすることができる。 ⑩「象牙質にみられる構造物」を7つあげることができる。 ⑪「象牙細管」の特徴を挙げることができる。 ⑫「象牙質の成長線」を2つ挙げることができる。(令2問8) ⑬管周象牙質と管間象牙質の違いを述べることができる。 ⑭「球間象牙質」の特徴を挙げることができる。 ⑮「トームスの顆粒層」の特徴を挙げることができる。	79~83
						G I O:歯の基本的な構造を知るために「エナメル質」「象牙質」「セメント質」の成分や構造物および特徴を理解する。		
						国試出題基準:4-A-a,b		
8	10月26日	國武 哲治	2	講義	5-54	5章 歯と歯周組織	①セメント質の重量比とモース硬度を表にすることができる。 ②「セメント質にみられる構造物」を2つ挙げることができる。 ③「セメント-エナメル境」周辺のセメント質の厚さを表にすることができる。 ④「原生セメント質」の特徴を挙げることができる。 ⑤「第二セメント質」の特徴を挙げることができる。 ⑥「細胞緻密層」の特徴を挙げることができる。 ⑦「細胞希薄層」の特徴を挙げることができる。	83~84
						G I O:歯の基本的な構造を知るために「セメント質」「歯髄」の成分や構造物および特徴を理解する。		
						国試出題基準:4-A-c,d		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
9	11月9日	國武 哲治	2	講義	5-66	5章 歯と歯周組織	①「歯周組織」を4つ挙げるができる。 ②「歯根膜」の役割と幅および特徴を表にすることができる。 ③「シャープリー繊維」の役割と特徴を挙げるができる。(令3問7) ④歯根膜にみられる組織を挙げるができる。 ⑤「固有歯槽骨」の特徴を挙げるができる。 ⑥「支持歯槽骨」の特徴を挙げるができる。 ⑦「歯肉の構造」を図で示し構造物の名称を挙げるができる。 ⑧歯肉上皮の部位ごとの名称を挙げることができる。 ⑨内縁上皮の種類を挙げることができる。(令3問12) ⑩外縁上皮の範囲と特徴を挙げるができる。 ⑪上皮付着とエナメル質の接着様式を挙げるができる。 ⑫上皮付着とエナメル質の結合様式を挙げるができる。 ⑬歯肉縁の形を挙げることができる。 ⑭歯間乳頭の部位を特定することができる。 ⑮コルの部位を特定することができる。(令4問7) ⑯歯肉線維の5つの線維群の特徴を挙げることができる。 ⑰歯肉縁の進行によって起こる歯肉の変化を挙げるができる。	85~90
						GIO:歯周組織の基本的な構造を知るため「歯根膜」「歯槽骨」「歯肉」の成分や構造物および特徴を理解する。		
10	11月16日	國武 哲治	2	講義	5-68	5章 歯と歯周組織	①「歯の加齢現象」を5つ列挙することができる。 ②「歯周組織の加齢現象」を4つ列挙することができる。	90~91
						年齢とともに変化する歯や歯周組織を知るために、「歯の加齢現象」「歯周組織の加齢現象」を理解する。		
						国試出題基準:4-B-a、b、c		
						国試出題基準:4-C		

【専門基礎分野】

C. 歯科材料・歯科技工機器の特徴と加工技術

⑫歯科理工学 無機有機

本学期的学習目標(GIO)

歯科技工士に必要な歯科医療で使用される材料および機械・器具を身につけるために、講義と実習を通して名称や性質および取り扱い方を修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)

ユニット6 印象材・せつこう・ワックス・レジンの性質

学年	学期	曜日	時間	教室
1	前・後期	木 土	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室、歯科理工学検査室
			9:00~12:10	
			9:00~14:30	
			9:00~16:10	
			10:40~12:10	
			13:00~14:30	
			13:00~15:25	
			13:00~16:10	

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科理工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧

中川 雅晴、山田 誠、澤田 圭介

成績評価

講義末試験、レポート、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	9月14日	山田 誠 澤田 圭介	1	講義	6-1	1章 歯科技工と歯科理工学 GIO:歯科技工と歯科理工学の関わりを知るために「歯科理工学の意義と目的」「歯科材料の果たす役割」「歯科用装置の製作過程」「歯科技工の安全性と環境」について理解する。 国試出題基準:なし	①歯科理工学の意義(4つ)を解釈することができる。 ②歯科理工学の目的(3つ)を解釈することができる。 ③歯科用装置の製作過程をみて解釈することができる。 ④歯科技工の安全性と環境について留意することができる。	1~3
2	9月21日	中川 雅晴	2	講義	6-2	2章 歯科材料の性質 GIO:歯科材料の学習を進めていくために「物質の構造」について理解する。 国試出題基準:なし	①一次結合の種類を3つ挙げることができる。 ②二次結合の種類を2つ挙げることができる。 ③結合の強さに順位をつけることができる。 ④物質の三態を挙げることができる。 ⑤融解の意味を説明することができる。 ⑥凝固の意味を説明することができる。 ⑦結晶状態と非晶質状態の原子配列を図で示すことができる。 ⑧結晶粒と結晶粒界を図で示し、名称を記入することができる。 ⑨モノマーとポリマーの特徴を表にまとめることができる。 ⑩高分子材料の特徴を挙げることができる。 ⑪セラミック材料の特徴を挙げることができる。 ⑫金属材料の特徴を挙げることができる。 ⑬材料の特性を表にまとめることができる。	4~5

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	9月21日	中川 雅晴 山田 誠	2	演習	6-2	2章 歯科材料の性質	①応力の意味を説明することができる。 ②公式を使って応力の値を求めることができる。 ③ひずみの意味を説明することができる。 ④公式を使ってひずみの値を求めることができる。 ⑤弾性変形と塑性変形の意味を説明することができる。 ⑥弾性変形と塑性変形の例を挙げることができる。 ⑦応力-ひずみ曲線を図で示し、名称を記入することができる。(令2問19)(令3問29)(令4問25) ⑧比例限の状態を説明することができる。 ⑨弾性限の状態を説明することができる。 ⑩耐力の意味を説明することができる。 ⑪強さを表す単位を挙げることができる。 ⑫ダイヤモンドテスト法の特徴を挙げることができる。 ⑬レジリエンスの意味を説明することができる。 ⑭靱性と脆性の意味を説明することができる。 ⑮脆性材料の例を挙げることができる。	7~11
						GIO:歯科材料の学習を進めていくために「機械的性質」について理解する。		
4	9月28日	中川 雅晴	2	講義	6-3	2章 歯科材料の性質	①展性と延性の意味を説明することができる。 ②展性と延性が高い金属元素を挙げることができる。 ③曲げ試験を受けた試験体に加わる力の種類を説明することができる。 ④疲労の意味を説明することができる。 ⑤衝撃強さの意味と試験方法の名称を挙げることができる。 ⑥クリープの意味を説明することができる。 ⑦粘弾性の意味を説明することができる。	11~14
						GIO:歯科材料の学習を進めていくために「機械的性質」について理解する。		
5	9月28日	中川 雅晴 山田 誠	2	講義	6-3	2章 歯科材料の性質	①圧痕法による硬さ試験法の名称を4つ挙げることができる。 ②圧痕法による硬さ試験法に用いられる圧子の特徴を挙げることができる。(令4問23) ③歯質を基準にビッカース硬度の大小を比較することができる。 ④引っかき法による硬さ試験法の名称と特徴を挙げることができる。 ⑤反発法による硬さ試験法の名称と特徴を挙げることができる。	14~17
						GIO:歯科材料の学習を進めていくために「機械的性質」について理解する。		
6	10月5日	中川 雅晴	4	講義	6-4	2章 歯科材料の性質	①密度の意味を説明することができる。 ②比重の意味を説明することができる。 ③歯科材料の熱膨張係数の大小を比較することができる。(令4問29) ④熱伝導率の意味と材料の大小を説明することができる。(令3問27) ⑤歯科における熱膨張率の問題例を挙げることができる。 ⑥熱可塑性の意味を説明することができる。 ⑦比熱の意味を説明することができる。 ⑧蒸発熱と融解熱の意味を説明することができる。 ⑨歯科における光の屈折と反射の例を挙げることができる。	17~20
						GIO:歯科材料の学習を進めていくために「物理的性質」について理解する。		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
7	10月12日	中川 雅晴	4	講義	6-5	2章 歯科材料の性質 GIO:歯科材料の学習を進めていくために「化学的性質」について理解する 国試出題基準:1-C-a, b	①腐食現象を簡単に説明することができる。 ②イオン化傾向を順番に挙げることができる。 ③腐食に影響する因子を3つ挙げ、特徴を表にまとめることができる。 ④腐食を抑制する因子を3つ挙げ、特徴を表にまとめることができる。(令3問23) ⑤変色に影響する因子を挙げることができる。 ⑥溶解性の意味を説明することができる。(令2問20) ⑦吸水性の意味を説明することができる。 ⑧接着における結合の種類を2つ挙げることができる。(令2問21) ⑨破壊の種類を図で示し、名称を記入することができる。 ⑩ぬれの意味を説明することができる。(令2問21) ⑪ぬれが強くなる条件を説明することができる。 ⑫接着面の表面処理方法を表にまとめることができる。	20~25
8	10月19日	中川 雅晴	2	講義	6-6	2章 歯科材料の性質 GIO:歯科材料の学習を進めていくために「生物学的性質」について理解する。 国試出題基準:1-D	①歯科材料の生物学的な所要性質を表にまとめることができる。 ②生体安全性の評価を解釈することができる。 ③生体反応の影響を受ける材料の例をあげることができる。 ④医薬品医療機器等法上の医療機器分類を表にまとめることができる。	25~27
9	10月26日	中川 雅晴	2	講義	6-7	3章 印象と模型製作 GIO:印象材の性質を知るために「印象材の分類」「印象材の種類」「印象材の一般的性質」について理解する。 国試出題基準: 2-A 2-B 2-C-a, b, c	①印象材の所要性質を表にまとめることができる。 ②印象材の分類を表にまとめることができる。 ③弾性と非弾性の意味を挙げることができる。 ④ハイドロコロイド印象材とゴム質印象材の違いを説明することができる。 ⑤可逆性と不可逆性の意味を挙げることができる。 ⑥寒天印象材の成分と役割および性質を表にまとめることができる。 ⑦アルジネート印象材の成分と役割および性質を表にまとめることができる。 ⑧シリコンゴム印象材を2つに大別し成分と役割および性質をまとめることができる。(令2問22)(令4問31) ⑨ポリエーテルゴム印象材の特徴を挙げることができる。 ⑩ポリサルファイドゴム印象材の特徴を挙げることができる。	28~38

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
10	10月27日	中川 雅晴	2	講義	6-7	3章 印象と模型製作 GIO:印象材の性質を知るために「印象材の分類」「印象材の種類」「印象材の一般的性質」について理解する。 国試出題基準: 2-A 2-B 2-C-a, b, c	①印象用石膏の特徴を挙げることができる。 ②モデリングコンパウンドの特徴を挙げることができる。 ③酸化亜鉛ユージノール印象材の特徴を挙げることができる。 ④印象用ワックスの特徴を挙げることができる。 ⑤機能印象材の特徴を挙げることができる。 ⑥個人トレーの目的と印象材の厚みについて説明することができる。 ⑦ハイドロコロイド印象材の寸法変化の種類と特徴を表にまとめることができる。(令3問19) ⑧ハイドロコロイド印象材の保管方法を説明することができる。 ⑨弾性ひずみと永久ひずみの意味を挙げることができる。 ⑩永久ひずみを小さくする印象の撤去方法を説明することができる。	28~38
11	10月26日	山田 誠 澤田 圭介	4	実験	6-8	実験J 弾性印象材の弾性比較 GIO:印象材の性質を考察するために、弾性印象材の弾性比較試験を計測し、硬化体の性質について理解する。 国試出題基準:2-C-b, c	①試験条件に応じて試験体の準備を行うことができる。 ②弾性比較試験機の操作方法を解釈することができる。 ③弾性ひずみと永久ひずみを求めて表にまとめることができる。 ④印象撤去の方法を考察することができる。 ⑤印象の保管方法を考察することができる。 ⑥石膏注入時に気泡を混入させない工夫を述べることができる。 ⑦石膏を印象材に注入したときの模型面への影響を表にまとめることができる。 ⑧ハイドロコロイド印象材の固定操作に用いる液と方法を挙げることができる。	
12	10月27日	山田 誠 澤田 圭介	4	実験	6-9	実験J 弾性印象材の弾性比較 GIO:印象材の性質を考察するために、弾性印象材の弾性比較試験を計測し、硬化体の性質について理解する。 国試出題基準:2-C-b, c	①試験条件に応じて試験体の準備を行うことができる。 ②弾性比較試験機の操作方法を解釈することができる。 ③弾性ひずみと永久ひずみを求めて表にまとめることができる。 ④印象撤去の方法を考察することができる。 ⑤印象の保管方法を考察することができる。 ⑥石膏注入時に気泡を混入させない工夫を述べることができる。 ⑦石膏を印象材に注入したときの模型面への影響を表にまとめることができる。 ⑧ハイドロコロイド印象材の固定操作に用いる液と方法を挙げることができる。	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
13	11月2日	中川 雅晴	3	講義	6-10	3章 印象と模型製作 GIO:模型材の性質を知るために「印象材と模型材との関係」「石膏の種類」「石膏の一般的性質(硬化反応)」について理解する。	①印象の消毒方法を挙げることができる。(令4問31) ②消毒と模型材の関連を挙げることができる。 ③印象材の固定操作について説明することができる。 ④模型材の種類を挙げることができる。 ⑤模型材の所要性質を6つ挙げることができる。 ⑥石膏を化学式で記入することができる。 ⑦石膏の製造方法と名称を表にまとめることができる。 ⑧石膏のタイプと性質を表にまとめることができる。(令3問21)(令4問32) ⑨石膏の名称を3つ挙げ、特徴と混水比を表にまとめることができる。 ⑩硬化反応を化学式で記入することができる。 ⑪半水石膏の溶解と二水塩の成長を説明することができる。	38~44
						国試出題基準:3-A		
14	11月9日	中川 雅晴 山田 誠	4	演習	6-11	3章 印象と模型製作 GIO:模型材の性質を知るために「混水比」「硬化時間」について理解する。	①石膏粉末と水を計量する器具・機器の名称を挙げることができる。 ②混水比を計算することができる。 ③理論的な石膏の混水比を挙げることができる。 ④混水比と流動性の関連を説明することができる。 ⑤手練和と機械練和器の違いについて挙げることができる。 ⑥混水比を小さくしたときに硬化時間が短くなる理由を挙げることができる。 ⑦練和条件と二水塩の成長の関連を説明することができる。 ⑧温度と半水塩の溶解度の関連を説明することができる。 ⑨硬化促進剤の名称を挙げることができる。 ⑩硬化促進剤の濃度を挙げることができる。 ⑪硬化遅延剤の名称を挙げることができる。 ⑫硬化遅延剤の濃度をあげることができる。 ⑬石膏粉末の正しい保存環境を挙げることができる。 ⑭大気中で風化した石膏がどんな状態か説明することができる。	44~47
						国試出題基準:3-B-a, b, c, d		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
15	11月16日	中川 雅晴 山田 誠	4	演習	6-12	3章 印象と模型製作	<ul style="list-style-type: none"> ①硬化膨張を二水石膏の成長で説明することができる。 ②混水比を小さくしたときに硬化膨張が大きくなる理由を挙げることができる。 ③練和条件と硬化膨張の関連を説明することができる。(令2問23) ④温度と硬化膨張の関連を説明することができる。 ⑤添加物質と硬化膨張の関連を説明することができる。 ⑥吸水膨張の意味を挙げることができる。 ⑦吸水膨張の現象を説明することができる。 ⑧圧縮強さに影響する因子を6つ挙げることができる。 ⑨混水比を大きくすると強さが低下する理由を挙げることができる。 ⑩乾燥時間と圧縮強さの関連を説明することができる。 ⑪添加物質と圧縮強さの関連を説明することができる。 	47~50
						GIO:模型材の性質を知るために「硬化膨張」「吸水膨張」「圧縮強さ」について理解する。		
						国試出題基準:3-B-c, d		
16	11月30日	中川 雅晴	4	講義	6-13	4章 原型製作	<ul style="list-style-type: none"> ①歯科用ワックスの種類と用途を表にまとめることができる。(令2問24)(令3問25) ②インレーワックスの直接法用と間接法用の違いを挙げることができる。 ③インレーワックスの特徴を挙げることができる。 ④レディキャストインレーワックスの特徴を挙げることができる。 ⑤シートワックスの特徴を挙げることができる。 ⑥パラフィンワックスの特徴を挙げることができる。 ⑦ユーティリティワックスの特徴を挙げることができる。 ⑧スティッキーワックスの特徴を挙げることができる。 ⑨歯科用ワックス成分の原料と特徴および組成を表にまとめることができる。 ⑩歯科用ワックスの所要性質を5つ挙げることができる。 ⑪ワックスの軟化温度について説明することができる。 ⑫熱膨張係数を用いて熱膨張率を計算することができる。 ⑬収縮率の目安を挙げることができる。 ⑭フローの意味を説明することができる。(令4問22) 	51~56
						GIO:原型材料の性質を知るために「種類と用途」「組成」「性質」について理解する。		
						国試出題基準:4-A 4-B 4-C		
17	12月1日	山田 誠 澤田 圭介	4	実験	6-14	実験C せっこうの顕微鏡観察	<ul style="list-style-type: none"> ①半水塩の結晶をスケッチすることができる。 ②二水塩の結晶をスケッチすることができる。 ③二水塩の結晶観察を通じて模型表面の性状を考察することができる。 ④二水塩の結晶観察を通じて吸水を考察することができる。 ⑤二水塩の結晶観察を通じて硬化を考察することができる。 ⑥二水塩の結晶観察を通じて硬化膨張を考察することができる。 ⑦二水塩の結晶観察を通じて圧縮強さを考察することができる。 	
						GIO:模型材の性質を考察するために、半水塩と二水塩を顕微鏡で観察し、針状結晶の成長や硬化体の性質について理解する。		
						国試出題基準:3-B		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
18	12月7日	中川 雅晴 山田 誠	2	演習	6-15	4章 原型製作	①応力緩和の意味を説明することができる。 ②ワックスパターンの変形原因を3つ挙げることができる。 ③内部応力の解放に伴う変形を最小にする方法を説明することができる。 ④レジン系パターン材料の用途を挙げることができる。 ⑤レジン系パターン材料の特徴を挙げることができる。	57~58
						GIO:原型材の性質を知るために「内部応力と変形」「ワックス以外の原型材料」について理解する。		
						国試出題基準:4-C		
19	12月7日 12月8日	山田 誠 澤田 圭介	6	実験	6-16	実験B せっこうの硬化膨張	①硬化膨張測定装置の仕組みを解釈することができる。 ②ダイヤルゲージのメモリを読み取ることができる。 ③硬化膨張に影響する因子を表にまとめることができる。 ④混水比と硬化膨張の関連を説明することができる。 ⑤咬合器装着に適した硬化膨張を考察することができる。 ⑥研究用模型に適した硬化膨張を考察することができる。 ⑦作業用模型に適した硬化膨張を考察することができる。 ⑧義歯の埋没に適した硬化膨張を考察することができる。 ⑨硬化膨張率の目安を挙げることができる。 ⑩吸水膨張率の目安を挙げることができる。	
						GIO:模型材の性質を考察するために、硬化膨張率を計測し、硬化膨張に影響する因子や用途との関連について理解する。		
						国試出題基準:3-B-c		
20	12月1日	山田 誠 澤田 圭介	4	実験	6-17	実験A せっこうの硬化時間の温度上昇と硬化時間	①硬化時間の計測に用いる実験機器の名称を挙げることができる。 ②硬化時間に影響する因子を表にまとめることができる。 ③混水比を変化させたときに変化する性質を挙げることができる。 ④硬化時間調節材の影響を表にまとめることができる。 ⑤咬合器装着に適した石膏を考察することができる。 ⑥研究用模型に適した石膏を考察することができる。 ⑦作業用模型に適した石膏を考察することができる。 ⑧義歯の埋没に適した石膏を考察することができる。 ⑨初期硬化時間と硬化終結時間の目安を挙げることができる。 ⑩硬化時の発熱温度の目安を挙げることができる。	
						GIO:模型材の性質を考察するために、石膏の硬化時間を計測し硬化時間に影響する因子と硬化体の性質について理解する。		
						国試出題基準:3-B-b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
21	12月14日	中川 雅晴	4	講義	6-18	5章 レジン成形 GIO:レジン成形を知るために「義歯床用レジンの分類」「所要性質」「加熱重合レジンの一般的な性質」について理解する。 5-A-a 5-B-a 国試出題基準: 5-B-b 5-C-a 5-C-b	①義歯床用レジンの分類を表にまとめることができる。 ②レジンの所要性質を7つ挙げることができる。 ③加熱重合レジンの液体の主成分を挙げることができる。 ④加熱重合レジンの粉末の主成分を挙げることができる。 ⑤重合禁止剤の名称を挙げることができる。 ⑥重合開始剤の名称を挙げることができる。 ⑦架橋性モノマーの名称を挙げることができる。 ⑧常温重合レジンの重合促進剤の名称を挙げることができる。 ⑨液体と粉末の混和比を挙げることができる。 ⑩過酸化ベンゾイルが活性化する温度を挙げることができる。 ⑪ラジカル発生から重合開始までを説明することができる。 ⑫加熱重合レジンの物理的性質を表にまとめることができる。 ⑬加熱重合レジンの機械的性質を表にまとめることができる。 ⑭理論的な重合収縮を説明することができる。 ⑮熱収縮を説明することができる。 ⑯残留モノマーが引き起こす悪影響を挙げることができる。 ⑰残留モノマーを少なくする方法を挙げることができる。 ⑱内部気泡の原因と対策を表にまとめることができる。 ⑲吸水性と保管の関連を説明することができる。 ⑳加熱重合レジンと常温重合レジンの特徴の違いについて説明することができる。(令2問25)	59~63
22	1月11日 1月12日	山田 誠 澤田 圭介	8	実験	6-19	実験G ワックスパターンの応力開放 GIO:原型材料の性質を考察するために、読み取り顕微鏡でワックスの浮き上り量を計測し、残留応力と応力緩和について理解する。 国試出題基準: 4-C	①できるだけ低い温度でワックスを融解することができる。 ②表層の凝固膜を見極めて圧接することができる。 ③読み取り顕微鏡の目盛りを読み取ることができる。 ④浮き上り量から収縮率を計算することができる。 ⑤インレー・クラウンのワックスアップに適した融解方法を考察することができる。 ⑥変形を最小にする方法を考察することができる。	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
23	1月11日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	演習	6-20	5章 レジン成形	①図で示された加熱重合レジンの製作過程を解釈することができる。 ②埋没作業において選択する石膏の種類を挙げることができる。 ③流蠟の温度と時間を挙げることができる。 ④レジン分離剤の成分と化学反応を挙げることができる。 ⑤レジンの混和に使用する器具の名称を挙げることができる。 ⑥填入に最適なレジンの状態を挙げることができる。 ⑦糸引き状とゴム状で填入してはいけない理由を挙げることができる。 ⑧混液比を多くする方法の欠点を挙げることができる。 ⑨レジン填入の工程を説明することができる。 ⑩湿式重合の加熱温度と時間を説明することができる。 ⑪重合時の急激な加熱で起きる失敗を説明することができる。 ⑫未重合の残留モノマーを減らす重合条件を考察することができる。 ⑬低温長時間重合法の特徴を挙げることができる。 ⑭乾式重合法の欠点を挙げることができる。 ⑮重合後の取り出しにおける注意点を説明することができる。 ⑯図で示されたシリコンコアによる蝕義歯の埋没とその内部を解釈することができる。 ⑰常温重合レジンの埋没に用いる材料を3種類挙げることができる。 ⑱常温重合レジンの粉末と液体の混合比の目安を挙げることができる。 ⑲常温重合レジンの残留モノマーと内部気泡を少なくする方法を挙げることができる。 ⑳流し込み成形法による義歯製作過程を説明することができる。(令3問30)	63~70
						国試出題基準:5-E-a, b		
24	1月18日	中川 雅晴	4	講義	6-21	5章 レジン成形	①その他のレジンの重合方法や特徴を表にまとめることができる。 ②圧縮法の特徴を挙げることができる。 ③流し込み法の特徴を挙げることができる。 ④加圧注入法の特徴を挙げることができる。 ⑤射出成型法の特徴を挙げることができる。 ⑥圧縮成型法の特徴を挙げることができる。 ⑦CAD/CAM成形法の特徴を挙げることができる。 ⑧義歯床用レジンの填入・成形法を表にまとめることができる。 ⑨各種人工歯の名称と特徴を表にまとめることができる。	70~75
						5-D-a 国試出題基準:5-E-c, d 5-H 5-I		
25	1月19日	山田 誠 澤田 圭介	4	実験	6-22	実験K 最適混合比と餅状化時間	①モノマーにポリマーを最密充填することができる。 ②混合比と性質の関連を考察することができる。 ③ポリマーの溶解と固化について説明することができる。 ④混合レジンの状態変化を観察することができる。 ⑤義歯製作に適した混合レジンの保管について季節別に考察することができる。	
						GIO:加熱重合レジンの成形を考察するために、最密充填を通じて最適混合比について理解する。また、混合レジンの状態変化についても調べる。 国試出題基準:5-B-b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
26	1月25日	中川 雅晴	4	講義	6-23	5章 レジン成形 GIO:レジン成形を知るために「硬質義歯裏装材」「軟質義歯裏装材」「歯冠用硬質レジン」「その他のレジン」について理解する。 国試出題基準:5-G-a~c	①硬質義歯裏装材の名称を2つ挙げることができる。 ②軟質義歯裏装材の名称を2つ挙げることができる。 ③歯冠用硬質レジンの基本組成を4つ挙げるができる。(令3問22) ④ファイラーの意味を説明することができる。 ⑤マトリックスの意味を説明することができる。 ⑥焼付用陶材と比較した硬質レジンの特性を表にまとめることができる。 ⑦可視光線重合器の光源と波長の関連を挙げるができる。 ⑧硬質レジンと金属との結合を機械的維持と化学的接着に分けて説明できる。(令4問30) ⑨メタルフレームの処理方法を挙げるができる。 ⑩マウスガード用レジンの特徴を挙げるができる。 ⑪トレー用レジンの特徴を挙げるができる。 ⑫テンポラリークラウン用レジンの特徴を挙げるができる。	76~83
27	1月26日	山田 誠 澤田 圭介	4	実験	6-24	実験L ワックスパターンの製作と埋没 GIO:加熱重合レジンの重合体を考察するために、温度測定用とたわみ試験用の試験片の原型製作を通じてフラスコ埋没の方法を理解する。 国試出題基準:5-E-a	①指示された寸法通りにパラフィンワックスを切断することができる。 ②変形させずに複数のワックスを溶着することができる。 ③試験体の中央に熱電対を取り付けることができる。 ④フラスコ埋没の工程を表にまとめることができる。 ⑤レジン分離剤の効果が期待できる塗布を行うことができる。 ⑥フラスコに過不足なく石膏を用いて埋没することができる。	
28	2月1日	中川 雅晴	4	講義	6-25	6章 セラミック成形 GIO:セラミック成形を知るために「歯科用セラミックス」「長石系陶材」について理解する。 国試出題基準: 6-A-a 6-B-a, b, c, d	①歯冠用セラミックスの用途を4つ挙げるができる。 ②セラミックスが優れている点と劣っている点を表にまとめることができる。 ③歯冠用セラミックスを焼成温度別に分類することができる。 ④歯冠用セラミックスを成分別に分類することができる。 ⑤陶材粉末を使用目的別に分類することができる。 ⑥歯冠用セラミックスを製法別に分類することができる。 ⑦光学的性質を挙げることができる。 ⑧機械的性質を挙げることができる。 ⑨セラミックスの強化法を5つ挙げ、特徴を表にまとめることができる。 ⑩長石系陶材の成分の名称と役割および割合を表にまとめることができる。 ⑪陶材粉末の練和方法を挙げることができる。 ⑫陶材の築成方法を2つ挙げ、特徴を表にまとめることができる。 ⑬焼成収縮率の目安を挙げることができる。 ⑭コンデンスの効果を3つ挙げることができる。 ⑮コンデンスの方法を3つ挙げることができる。	84~92

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
29	2月2日	山田 誠 澤田 圭介	4	実験	6-26	<p>実験N レジン重合時の温度変化</p> <p>GIO:加熱重合レジンの重合体を考察するために、重合時の温度上昇や最高発熱温度を計測し重合過程について理解する。</p> <p>国試出題基準:5-E-a</p>	<p>①熱電対の位置を変えることなく流蠟と填入作業を行うことができる。</p> <p>②前回求めた混合比でレジンの準備を行うことができる。</p> <p>③前回求めた餅状化時間に取り出して填入することができる。</p> <p>④2ステップ法の重合温度を測定することができる。</p> <p>⑤1ステップ法の重合温度を測定することができる。</p> <p>⑥最高発熱温度とモノマーの沸点の関連を考察することができる。</p> <p>⑦重合後の正しい冷却法を挙げることができる。</p>	
30	2月8日	中川 雅晴	4	講義	6-27	<p>6章 セラミック成形</p> <p>GIO:セラミック成形を知るために「焼成」「金属焼付用陶材」について理解する。</p> <p>国試出題基準: 6-B-a, b, c, d 6-C-a</p>	<p>①陶材の焼成炉の特徴を挙げることができる。</p> <p>②大気焼成と真空焼成の特徴を挙げることができる。</p> <p>③陶材内部の気泡が存在したときに起こる現象を2つ挙げることができる。</p> <p>④陶材の焼成過程を段階ごとに区分して説明することができる。</p> <p>⑤艶出し焼成の目的と方法を挙げることができる。</p> <p>⑥焼成過程における注意点を表にまとめることができる。</p> <p>⑦冷却時の表面欠陥の発生を図で示すことができる。</p> <p>⑧焼成回数について説明することができる。</p> <p>⑨焼成収縮の目安を挙げることができる。</p> <p>⑩金属焼付用陶材の結合様式を4つ挙げ特徴を表にまとめることができる。</p> <p>⑪陶材と金属の結合に影響する因子を4つ挙げ特徴を表にまとめることができる。</p> <p>⑫陶材と非貴金属の結合の特徴を挙げることができる。</p> <p>⑬陶材焼付用合金の所要性質を6つ挙げることができる。</p>	92 ～ 100
31	2月9日	山田 誠 澤田 圭介	4	実験	6-28	<p>実験N たわみ試験</p> <p>GIO:加熱重合レジンの重合体を考察するために、たわみ試験で3.5kg時と5.0kgのたわみを測定し重合体の物性について理解する。</p> <p>国試出題基準:5-B-a,b</p>	<p>①破折や変形なしにフラスコから試験体を取り出すことができる。</p> <p>②定められた寸法に加工・研磨することができる。</p> <p>③定荷重たわみ試験機の日盛りを読むことができる。</p> <p>④義歯を長期間使用できる物性について考察することができる。</p> <p>⑤内部気泡を作らないレジン重合方法を考察することができる。</p>	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
32	2月15日	中川 雅晴	2	講義	6-29	6章 セラミック成形	①加熱加圧型セラミックスの成分を挙げることができる。 ②加熱加圧型セラミックスの成形法を挙げることができる。(令2問26)(令3問24) ③ジルコニアの性質を表にまとめることができる。(令2問27) ④ジルコニア製品の比較を表にまとめることができる。 ⑤ジルコニアの成形方法を挙げることができる。 ⑥焼成で製作するセラミックスの名称を挙げることができる。 ⑦ロストワックス法で製作するセラミックスの名称を挙げることができる。 ⑧機械加工で製作するセラミックスの名称を挙げることができる。	100 105
						GIO:セラミック成形を知るために「加熱加圧型セラミックス」「ジルコニア」「その他のセラミックス」について理解する。 国試出題基準: 6-D-a, b, c 6-E-a, b, c		
33	2月16日 3月 1日	山田 誠 澤田 圭介	8	実験	6-30	実験T 陶材の焼成収縮	①陶材粉末に液を加えて練和することができる。 ②金型内部に気泡を混入させないように流し込むことができる。 ③コンデンスにより水分を除去することができる。 ④金型から外して焼成することができる。 ⑤ノギスで計測をして体積を求めることができる。 ⑥補綴材料としてセラミックスが優れている点と劣っている点を考察することができる。	
						GIO:セラミックスを考察するために、長石系陶材の焼成収縮量を計測し、陶材の焼成過程と焼成体の性質について理解する。 国試出題基準:6-B		

【専門基礎分野】 歯・口腔の構造と機能	⑨歯の解剖学 口腔解剖
-------------------------------	--------------------

本学期的学習目標(GIO)
歯科技工士に必要な口腔と顎顔面の領域の知識を身につけるため、講義を通して「頭蓋の骨」「口腔周囲の筋」「口腔」の名称や位置および機能を理解する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット7 生体歯科技工、欠損歯列への対応

学年	学期	曜日	時間	教室
1	後期	水	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室
			9:00~12:10	
			10:40~12:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学 顎口腔機能学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	坂本 文比古、矢野 恭平、松山 大樹
成績評価	講義末試験、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	11月1日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	7-4-2	8章 頭蓋の骨(脳頭蓋骨)	①脳頭蓋骨の名称を10種類挙げるができる。 ②頭蓋骨の図や写真をみて脳頭蓋骨の場所を特定することができる。 ③側頭骨の場所を特定できる。 ④側頭骨にみられる名称を13個特定できる。 ⑤側頭骨を区分する3つの名称を列挙できる。 ⑥蝶形骨の場所を特定できる。 ⑦蝶形骨を構成する4つの部分の名称を列挙できる。 ⑧蝶形骨を構成する4つの部分の場所を特定できる。 ⑨大翼にみられる孔を3つ挙げるができる。 ⑩鼻骨の場所を特定できる。	112 120
						GIO:口腔周囲の顔面筋や咀嚼筋の付着部となる骨を知るために、顔面頭蓋骨の種類と名称を理解する。		
2	11月8日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	7-4-3	8章 頭蓋の骨(顔面頭蓋骨)	①上顎骨にみられる4つの突起を挙げるができる。 ②頭蓋骨の図や写真をみて頬骨の場所を特定することができる。 ③頭蓋骨の図や写真をみて上顎洞の場所を特定することができる。(令4問10) ④下顎骨を図で示し外面にみられる名称を9個特定することができる。(令2問13) ⑤下顎骨を図で示し内面にみられる名称を10個特定することができる。 ⑥頭蓋骨の図や写真をみて口蓋骨の場所を特定することができる。 ⑦口蓋骨にみられる3つの突起を挙げることができる。 ⑧頭蓋骨の図や写真をみて舌骨の場所を特定することができる。 ⑨舌骨の特徴を説明することができる。(令2問12)	120 126
						GIO:口腔周囲の顔面筋や咀嚼筋の付着部となる骨を知るために、顔面頭蓋骨の種類と名称を理解する。		
						国試出題基準:7-A-d,e,g		
						国試出題基準:7-A-a,b,c,f,h		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	11月15日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	7-4-4	8章 頭蓋の骨(頭蓋の全景)	頭蓋の骨(頭蓋の全景)については学習の範囲を超えているため授業はしない。 ①頬骨の場所を特定できる。 ②頬骨にある2つの突起の名称を挙げることができる。 ③鼻骨の場所を特定できる。 ④舌骨の場所を特定できる。 ⑤舌骨を構成する場所の名称を答えることができる。	127 ~ 134
						GIO:頭蓋の全景を知るために、全景の種類、場所を理解する。		
国試出題基準:7-A-f,g,h								
4	11月15日	坂本 文比古	2	講義	7-3-4	11章 口腔	①口腔前庭を図で示し、名称を記入することができる。(令3問10) ②固有口腔を図で示し、名称を記入することができる。 ③口腔の図や写真をみて、口腔粘膜の場所を特定することができる。	148 ~ 150
						GIO:有床義歯の解剖学的ランドマークを知るために、「口腔前庭」「固有口腔」に存在する器官の位置や名称を理解する。		
国試出題基準:9-A-a,b,c								
5	11月22日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	7-4-5	1章 顎口腔系の形態(顎口腔機能学)	①咀嚼筋種類を挙げることができる。 ②顔面部の筋を挙げることができる。 ③下顎の開口・舌運動・口腔底の挙上に関与する筋を挙げることができる。 ④開口時に舌骨を固定する筋を挙げることができる。 ⑤4大咀嚼筋の起始点と停止点を挙げることができる。(令3問6) ⑥咬筋の特徴を挙げることができる。 ⑦側頭筋の特徴を挙げることができる。 ⑧内側翼突筋の特徴を挙げることができる。 ⑨外側翼突筋の特徴を挙げることができる。	5~8
						GIO:顎口腔系を構成する筋をしるために、咀嚼筋の機能について理解する。		
国試出題基準:10-B-a,b								
6	11月22日	坂本 文比古	2	講義	7-3-5	11章 口腔	①硬口蓋の定義を挙げることができる。 ②軟口蓋の定義を挙げることができる。 ③口蓋を図で示し、名称を記入することができる。 ④大唾液腺の名称を3つ挙げることができる。(令3問9) ⑤小唾液腺の名称を4つ挙げることができる。 ④耳下腺の開口部位を挙げることができる。 ⑤顎下腺の開口部位を挙げることができる。 ⑥舌下腺の開口部位を挙げることができる。 ⑦小唾液腺の開口部位を挙げることができる。 ⑧大唾液腺と小唾液腺を表にまとめることができる。	151, 152
						GIO:有床義歯の解剖学的ランドマークを知るために、「口腔前庭」「固有口腔」に存在する器官の位置や名称を理解する。		
国試出題基準:9-C-a,b								
7	11月29日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	7-4-6	9章 口腔周囲の筋	①浅頭筋の種類を3つあげることができる。 ②眼輪筋の場所を特定することができる。 ③眼輪筋の機能を挙げることができる。 ④口輪筋の場所を特定することができる。 ⑤口輪筋の機能を挙げることができる。 ⑥頬筋の場所を特定することができる。 ⑦頬筋の機能を挙げることができる。 ⑧口角モダイオラスを構成する筋を列挙できる。(令4問9) ⑨口角モダイオラスと総義歯の維持・安定に関して説明することができる。	136 ~ 138
						GIO:顎顔面の浅頭筋のうち口腔周囲に関する筋を知るために、口輪筋と頬筋の名称や場所および機能を理解する。		
国試出題基準:8-A,B								

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
8	11月29日	坂本 文比古	2	講義	7-3-10	11章 口腔 GIO:舌の構造や働きを知るために、各部位の名称や意味を理解する。	①有郭乳頭の特徴を挙げることができる。 ②葉状乳頭の特徴を挙げることができる。 ③茸状乳頭の特徴を挙げることができる。 ④糸状乳頭の特徴を挙げることができる。 ⑤舌を図で示し、舌乳頭の場所を記入することができる。 ⑥成人期に味蕾がみられる舌乳頭を2つ列挙することができる。 ⑦幼児期に味蕾がみられる舌乳頭を1つ列挙することができる。 ⑧味蕾がない舌乳頭を1つ列挙することができる。 ⑨外舌筋の名称と働きを表にまとめることができる。 ⑩内舌筋の名称と働きを表にまとめることができる。(令3問13)	154 ~ 157
						国試出題基準:9-D-a,b,c		
9	12月6日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	7-4-7	9章 口腔周囲の筋 GIO:下顎の閉口運動を知るために「咬筋」「側頭筋」「内側翼突筋」「外側翼突筋」の機能を理解する。	①咀嚼筋の名称と起始点および停止点を表に挙げることができる。 ②咬筋の場所を特定することができる。 ③側頭筋の場所を特定することができる。(令3問6) ④咬筋の機能を挙げることができる。 ⑤側頭筋の機能を挙げることができる。 ⑥4つの筋について起始と停止の部分を列挙できる。	138 ~ 140
						国試出題基準:10-B-a,b		
10	12月6日	坂本 文比古	2	講義	7-3-14	11章 口腔 GIO:嚥下を理解するために、咽頭と喉頭の構造と役割を理解する。	①咽頭の構造を表にまとめることができる。 ②咽頭の役割を挙げることができる。 ③喉頭の構造を表にまとめることができる。 ④咽頭の役割を挙げることができる。	157、 158
						国試出題基準:なし		
11	12月13日	矢野 恭平 松山 大樹	4	講義	7-4-14	9章 口腔周囲の筋 GIO:顎顔面の浅頭筋のうち口腔周囲に関する筋を知るために、口輪筋と頬筋の名称や場所および機能を理解する。	①内側翼突筋の場所を特定することができる。 ②内側翼突筋の機能を挙げることができる。 ③外側翼突筋の機能を挙げることができる。 ④外側翼突筋の場所を特定することができる。 ⑤咀嚼筋の名称と場所および機能を表にすることができる。 ⑥舌骨上筋群の名称と場所および機能を表にすることができる。 ⑦舌骨下筋群の名称と場所および機能を表にすることができる。	140 ~ 143
						国試出題基準:10-B-a,b		

【専門基礎分野】 B. 歯・口腔の構造と機能	⑪顎口腔機能学
----------------------------------	----------------

本学期的学習目標(GIO)
歯科技工士に必要な「咀嚼」「発音」「嚥下」に関する知識を身につけるため、講義と演習および実習を通して「顎口腔系の形態と機能」「下顎位」「下顎運動」「歯の接触様式」「咬合器」名称や特徴について理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット7 生体歯科技工、欠損歯列への対応(1ブリッジ 4有床義歯の咬合採得に伴う技工操作 5咬合器の取り扱い方)

学年	学期	曜日	時間	教室
1	後期	月 土	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室
			9:00~12:10	
			9:00~16:10	
			9:00~16:10	
			10:30~16:10	
			13:00~14:30	
			13:00~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学 口腔・顎顔面解剖学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	石橋 洋一、山田 誠
成績評価	講義末試験、実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	11月7日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	7-1-4	5章 歯の接触様式 GIO:歯の形態と機能を知るため、「機能咬頭と非機能咬頭」「被害」の名称や場所を修得する。 国試出題基準:10-A-a,b,c	①機能咬頭の特徴を挙げることができる。 ②非機能咬頭の特徴を挙げることができる。 ③オーバージェットを図で示し場所を特定することができる。 ④オーバーバイトを図で示し場所を特定することができる。 ⑤理想的な咬合の特徴を挙げることができる。 ⑥前歯部の被蓋と密接に関係する項目を列挙することができる。	35~36
2	11月8日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	7-1-8	5章 歯の接触様式 GIO:咬頭嵌合位における咬合接触を知るため、「カスプトウフォッサ」「カスプトゥリッジ」の特徴を図で理解する。 国試出題基準:14-B-a,b,c	①カスプトウフォッサの咬合様式で各咬頭がかみ込む部位を挙げることができる。 ②カスプトウフォッサの咬合様式の特徴を挙げることができる。 ③図をみて「カスプトウフォッサ」の咬合接触点を記入することができる。 ④カスプトゥリッジの咬合様式で各咬頭がかみ込む部位を挙げることができる。 ⑤カスプトウフォッサの咬合様式の特徴を挙げることができる。 ⑥図をみて「カスプトゥリッジ」の咬合接触点を記入することができる。 ⑦矢状面観で咬合接触する傾斜面を挙げることができる。 ⑧前頭面観で咬合接触する傾斜面を挙げることができる。 ⑨ABCコンタクトが失われた場合の変化を説明することができる。 ⑩図をみて「ABCコンタクト」の咬合接触点を記入することができる。	36~38

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	11月10日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	7-1-10	5章 歯の接触様式	①偏心位における咬合様式を挙げることができる。 ②犬歯誘導咬合の特徴を挙げることができる。(令3問18) ③犬歯誘導咬合時の犬歯の役割を列挙することができる。 ④咬合性外傷が起こる原因を挙げることができる。 ⑤犬歯誘導時のガイドの種類を2つ挙げることができる。 ⑥D型のガイドが顎関節の負荷になる要因を説明することができる。 ⑦グループファンクションの特徴を挙げることができる。 ⑧グループファンクションの咬合接触部位を図示することができる。 ⑨両側性平衡咬合の特徴を挙げることができる。 ⑩両側性平衡咬合で咬合接触する傾斜面を挙げることができる。 ⑪モノプレーンオクルージョンの特徴をあげることができる。 ⑫バランシングランプを付与する部位を挙げることができる。 ⑬モノプレーンオクルージョンの人工歯排列に使用する人工歯の特徴を挙げることができる。 ⑭リングライズドオクルージョンで咬合接触する傾斜面を挙げることができる。	38~45
						GIO: 偏心位における咬合接触を知るため、「犬歯誘導咬合」「グループファンクション」「両側性平衡咬合」「その他の咬合様式」の特徴を図で理解する。		
4	11月14日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	7-1-17	5章 歯の接触様式	①咬合干渉の種類を2つ挙げることができる。 ②早期接触の特徴を挙げることができる。 ③早期接触の原因を挙げることができる。 ④咬合平面の異常の原因を挙げることができる。 ⑤下顎運動制御の異常が発現する原因を挙げることができる。 ⑥咬頭干渉が起こる原因を挙げることができる。	45~46
						GIO: 咬合干渉を知るために、「咬頭嵌合位の咬合干渉」「偏心位の咬合干渉」の特徴を図で理解する。		
5	10月25日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	7-4-1	1章 顎口腔系の携帯	①顎口腔系が担う項目を挙げることができる。 ②乳歯列の特徴を挙げることができる。 ③永久歯列の特徴を挙げることができる。 ④二次元的に観察される彎曲を挙げることができる。 ⑤三次元的に観察される球面を挙げることができる。 ⑥スピーの彎曲の特徴を挙げることができる。(令2問17) ⑦ウィルソンの彎曲の特徴を挙げることができる。(令4問14) ⑧モンソンの球面の特徴を挙げることができる。 ⑨アンチモンソンカーブの特徴を挙げることができる。 ⑩頭蓋・上顎部を構成する骨を4つ列挙することができる。 ⑪下顎部を構成する骨を2つ列挙することができる。	1~4
						GIO: 顎口腔系の形態を知るために、「天然歯列にみられる特徴」や「上下顎を構成する骨の名称」を修得する。		
						国試出題基準: 14-C-a,b,c		
						国試出題基準: なし		
						国試出題基準: 14-A-a,b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
6	1月17日	石橋 洋一 山田 誠	2	講義	7-5-1	2章 顎口腔系の機能 GIO: 顎口腔の機能を知るために、顎口腔系の「機能」「形態の維持」「下顎運動の分析に関係する基準点・基準面」について理解する。	①「咀嚼」の意味を挙げることができる。 ②「嚥下」の意味を挙げることができる。 ③「発音」の意味を挙げることができる。 ④「顎口腔系を構成するもの」を列記することができる。 ⑤歯の喪失を放置したときに起こる現象を挙げることができる。 ⑥切歯点の場所を特定することができる。 ⑦切歯点を基準点とする平面を挙げることができる。 ⑧切歯点を測定点とする図形を挙げることができる。 ⑨図をみて切歯点の場所を特定することができる。 ⑩顎頭点を用いられる場面を列挙することができる。 ⑪左右の顎頭点を結んだ線と軌跡の名称を挙げることができる。 ⑫図を見て顎頭点の場所を特定することができる。 ⑬図を見て顎頭間軸の場所を特定することができる。 ⑭図を見て矢状面を特定することができる。 ⑮図を見て水平面を特定することができる。 ⑯図を見て前頭面を特定することができる。	13~15
						国試出題基準: 11-A-a,b,c,d 11-B-a,b,c,d		
7	1月17日	石橋 洋一 山田 誠	2	講義	7-5-1	2章 顎口腔系の機能 GIO: 顎口腔の機能を知るために、「咬合に関する評価」について理解する。	①「咬合に関する平面」の定義を挙げることができる。 ②咬合平面の定義を挙げることができる。(令3問16) ③図を見て咬合平面の場所を特定することができる。 ④フランクフルト平面の定義を挙げることができる。 ⑤図を見てフランクフルト平面の場所を特定することができる。 ⑥カンベル平面の定義を挙げることができる。(令4問17) ⑦図を見てカンベル平面の場所を特定することができる。 ⑧「HIP平面」の定義を挙げることができる。(令2問14) ⑨図を見てHIP平面の場所を特定することができる。 ⑩「ボンウィル三角」の定義を挙げることができる。 ⑪図を見てボンウィル三角の場所を特定することができる。 ⑫「バルクウィル角」の定義を挙げることができる。 ⑬図を見てバルクウィル角の場所を特定することができる。	16~18
						国試出題基準: 11-B-a,b,c,d,e,f		
8	1月18日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	7-5-2	症例① 咬合に関する平面に確認 GIO: 下顎運動を3次元認識するために、アルクスディグマIIを用いて下顎運動を理解する。	①下顎運動を咬合器上で再現できる。 ②アルクスディグマIIで再現される下顎運動を説明できる。 ③咬合器と生体で表現できる下顎運動の違いを説明できる。	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
9	1月18日	石橋 洋一 山田 誠	2	講義	7-5-3	3章 下顎位 GIO:下顎位を知るために、「咬頭嵌合位」「中心位」「下顎安静位」「偏心咬合位」について理解する。	①「咬頭嵌合位」の定義を挙げることができる。 ②「中心咬合位」の定義を挙げることができる。 ③「顎頭安定位」の定義を挙げることができる。 ④「筋肉位」の定義を挙げることができる。 ⑤「中心位」の定義を挙げることができる。 ⑥「下顎安静位」の定義を挙げることができる。 ⑦安静空隙の定義を定義を挙げることができる。 ⑧「偏心咬合位」の定義を挙げることができる。 ⑨前方咬合位の定義を挙げることができる。 ⑩矢状顎路について説明することができる。 ⑪矢状顎路傾斜角について説明することができる。	19~22
						国試出題基準: 12-A 12-B 12-C-a 12-D-a,b,c	⑫後方咬合位について説明することができる。 ⑬側方咬合位について説明することができる。	
10	1月19日 1月20日 1月22日 1月25日	石橋 洋一 山田 誠	10	実習	7-5-4	症例① 半調節性咬合器の使用手順と調整 GIO:半調節性咬合器で歯科技工を行うことができるようになるために、咬合器装着一連の流れを修得する。 国試出題基準:なし	①既存トレーを用いて研究模型の準備を行うことができる。 ②適量な石膏の量を計測することができる。 ③石膏の混水比を測ることができる。 ④気泡を入れないように、トレーへ石膏を注入することができる。 ⑤かみ合わせに影響のない箇所突起を除去することができる。	
11	1月25日 1月26日	石橋 洋一 山田 誠	4	演習	7-5-5	4章 下顎運動 GIO:下顎運動を知るため、「下顎運動の種類」「下顎の基本運動」「下顎の限界運動」「下顎の機能運動」について理解する。	①下顎運動の種類を5つ列挙することができる。 ②前後運動の特徴を挙げることができる。 ③側方運動の特徴を挙げることができる。 ④作業側と平衡側の違いを述べることができる。 ⑤ベネット運動の特徴を挙げることができる。 ⑥側方顎路角(ベネット角)の特徴を挙げることができる。 ⑦サイドシフトについて説明することができる。 ⑧イミディエイトサイドシフトについて説明することができる。 ⑨プログレッシブサイドシフトについて説明することができる。 ⑩開閉口運動の種類を挙げることができる。 ⑪習慣性開閉口運動で診断する項目を挙げることができる。 ⑫Posseltの図形を図で示し下顎位を記入することができる。(令2問16)(令4問18) ⑬Posseltの図形のサイズを挙げることができる。 ⑭ゴシックアーチを図で示し下顎位を記入することができる。(令3問14) ⑮矢状面における限界運動路を図で示し下顎位を記入することができる。 ⑯前頭面における限界運動路を図で示し下顎位を記入することができる。 ⑰水平面における限界運動路を図で示し下顎位を記入することができる。	23~33
						国試出題基準: 13-A 13-B-a,b,c 13-C-a,b 13-D-a		
12	1月29日	石橋 洋一 山田 誠	2	講義	7-5-6	4章 下顎運動 GIO:下顎運動を知るため、「咀嚼時の下顎運動」「嚥下時の下顎運動」「発音時の下顎運動」理解する。 国試出題基準:10-C-a,b,c,d,e	①咀嚼サイクルの特徴を4つ挙げることができる。 ②咀嚼周期の図をみて名称を3つ記入することができる。 ③嚥下時の咀嚼運動の特徴を挙げることができる。 ④嚥下時の下顎位を挙げることができる。 ⑤発音時の下顎位を挙げることができる。 ⑥発音位が用いられる症例を説明することができる。 ⑦発音時の構音状態を観察する方法を説明することができる。	30~33
13	1月29日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	7-5-7	症例① 下顎運動の確認 GIO:下顎運動を3次元認識するために、アルクスディグマIIを用いて下顎運動を理解する。	①下顎運動を咬合器上で再現できる。 ②アルクスディグマIIで再現される下顎運動を説明できる。 ③咬合器と生体で表現できる下顎運動の違いを説明できる。	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
14	1月29日	石橋 洋一 山田 誠	2	講義	7-5-8	1章 顎口腔系の形態 10章 顎関節 GIO:下顎運動を知るため、「顎関節」「下顎の運動」「その他の軟組織」「顎口腔系の神経支配」について理解する。 国試出題基準:10-C-a,b,c,d,e	①顎関節の基本構造を図で示し、名称を記入することができる。 ②顎関節を構成する組織を列挙することができる。 ③顎関節の存在する靭帯を3つ列挙することができる。 ④顎関節の靭帯の特徴について挙げることができる。 ⑤顎口腔系を構成する軟組織を挙げるすることができる。 ⑥顎口腔系を支配する神経を列挙することができる。 ⑦三叉神経から分岐する神経を挙げるすることができる。 ⑧眼神経が支配する部位を挙げるができる。 ⑨上顎神経が支配する部位を挙げるができる。 ⑩下顎神経が支配する部位を挙げるができる。 ⑪顔面神経が支配する部位を挙げるができる。 ⑫舌咽神経が支配する部位を挙げるができる。 ⑬舌下神経が支配する部位を挙げるができる。 ⑭顎関節の靭帯の機能を挙げるができる。 ⑮開閉口運動時の顎関節の動きを挙げるができる。 ⑯前後運動時の顎関節の動きを挙げるができる。 ⑰側方運動時の下顎頭の動きを説明することができる。	9~11 144 ~ 146
15	1月30日 1月31日	石橋 洋一 山田 誠	16	実習	7-5-9	症例① 半調節性咬合器の使用 手順と調整 GIO:咬合採得に伴う技工作業を知るために「フェイスボウトランスファー」の目的や基準点および一連の流れを理解する。 国試出題基準:なし	①フェイスボウを正しく扱うことができる。 ②フェイスボウを用いて上顎模型を装着することができる。 ③チェックバイト用のワックスを2つ準備することができる。 ④咬頭嵌合位のチェックバイトを採得することができる。 ⑤前方咬合位のチェックバイトを採得することができる。 ⑥チェックバイトを用いて下顎模型を装着することができる。 ⑦使い終わったフェイスボウを清掃して元の位置に戻すことができる。	51~52
16	2月1日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	7-5-10	6章 咬合器 GIO:咬合器を取り扱えるようになるために、「咬合器の使用目的」「機構と分類」について理解する。 国試出題基準:15-A 15-B-a,b	①咬合器の使用目的を挙げるができる。 ②解剖学的咬合器の種類を3つ列挙することができる。 ③アルコン型の形状を図で示すことができる。 ④コンダイラー型の形状を図で示すことができる。 ⑤ボックス型の形状を図で示すことができる。 ⑥スロット型の形状を図で示すことができる。 ⑦平均値咬合器を写真で判断することができる。 ⑧平均値咬合器の特徴を説明することができる。(令2問18) ⑨半調節性咬合器を写真で判断することができる。 ⑩半調節性咬合器の特徴を説明することができる。(令2問15) ⑪全調節性咬合器の特徴を説明することができる。 ⑫非解剖学的咬合器の種類を2つ列挙することができる。(令3問17) ⑬咬合器の分類を表にまとめることができる。 ⑭咬合器各部の名称を挙げることができる。 ⑮咬合器に付属する部品の名称を挙げるができる。 ⑯咬合器各部の使用目的を説明することができる。(令4問15)	47~50

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
17	2月1日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	7-5-11	6章 咬合器	①フェイスボウトランスファーの目的を挙げることができる。 ②フェイスボウトランスファーの前方基準点を2つ挙げることができる。 ③フェイスボウトランスファーの後方基準点を2つ挙げることができる。 ④平均的顎頭点の場所を挙げることができる。 ⑤蝶番点の場所を挙げることができる。 ⑥フェイスボウトランスファーを記録する手順を列挙することができる。	51~62
						GIO:咬合器を取り扱えるようになるために、「チェックバイト法」について理解する。		
						国試出題基準:15-E-a		
18	2月2日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	7-5-12	6章 咬合器	①チェックバイト法による測定法について説明することができる。 ②チェックバイト法に使用する材料を2つ挙げることができる。 ③前方咬合位のチェックバイトで調節する角度を挙げることができる。 ④側方咬合位のチェックバイトで調節する角度を挙げることができる。	53
						GIO:GIO:咬合器を取り扱えるようになるために、「咬合採得」について理解する。		
						国試出題基準:15-E-a		
19	2月3日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	7-5-13	6章 咬合器	①上顎模型の咬合器装着で使用する器具を2つあげることができる。 ②下顎模型の咬合器装着時に留意する点を2つあげることができる。 ③切歯指導釘の調節方法について説明することができる。 ④矢状顎路傾斜角の特徴について説明することができる。 ⑤前方チェックバイト記録による矢状顎路傾斜角の調節方法を順番に述べることができる。 ⑥側方顎路角(ベネット角)の特徴について説明することができる。 ⑦側方チェックバイト記録による側方顎路角の調節方法を順番に述べることができる。 ⑧矢状切歯路傾斜角の調節方法について説明することができる。 ⑨側方切歯路傾斜角の調節について説明することができる。 ⑩全調節性咬合器のバントグラフの役割を挙げることができる。 ⑪フィッシャー角のなす角度について説明することができる。	54~63
						GIO:咬合器を取り扱えるようになるために、「模型の咬合器装着」「半調節性咬合器の調節」について理解する。		
						国試出題基準:15-C 15-D 15-F		
20	2月3日 2月5日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	7-5-14	症例① 半調節性咬合器の使用手順と調整	①前方チェックバイト用のワックスバイトを製作することができる。 ②前方チェックバイトに模型を咬ませることができる。 ③顎路調節機構を用いて左右側の矢状顎路角を調節することができる。 ④左右側の矢状顎路角の数値を読み取ることができる。	
						GIO:半調節性咬合器で歯科技工を行うことができるようになるために、「咬合器の調節」を修得する。		
						国試出題基準:なし		
21	2月5日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	7-5-15	7章 咬合検査と顎機能障害	①咬合検査の方法を列挙することができる。 ②咬合紙検査法の特徴を挙げることができる。 ③デンタルプレスケール検査法の特徴を挙げることができる。 ④T-スキャン検査法の特徴を挙げることができる。 ⑤顎機能障害の種類を挙げることができる。 ⑥スタビライゼーションスプリントの特徴を挙げることができる。 ⑦リラクセーションスプリントの特徴を挙げることができる。 ⑧リポジショニングスプリントの特徴を挙げることができる。 ⑨ピボットスプリントの特徴を挙げることができる。	65~70
						GIO:咬合検査と顎機能障害を知るために「咬合検査」「顎機能障害」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
22	2月6日	石橋 洋一 山田 誠	4	演習	7-5-16	症例① 半調節性咬合器の使用手順と調整	①常温重合レジンを用いて上下顎の歯の軌道に沿ったインサイザルテーブルを製作することができる。	
						GIO:半調節性咬合器で歯科技工を行うことができるようになるために、インサイザルテーブルの製作法を修得する。		
						国試出題基準:なし		

【専門分野】 A. 有床義歯補綴治療における歯科技工(有床義歯技工学)	⑭有床義歯技工学 総論 *実務経験のある教員による授業科目
---	---

本学期的学習目標(GIO)
歯科技工士に必要な有床義歯技工学の知識と技術を身に付けるため、講義と実習を通して有床義歯の特性や分類、構成要素の名称や機能、製作順序について理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット7 生体歯科技工、欠損歯列への対応

学年	学期	曜日	時間	教室
1	後期	月	9:00~12:10	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室、歯科理工学検査室
		火	10:40~16:10	
		水	13:00~14:30	
		金	14:40~15:25	
		土	14:40~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	内野 公一、矢野 恭平、松山 大樹
成績評価	講義末試験、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	10月20日	内野 公一	2	講義	7-2-1	1章 有床義歯技工学概論 GIO:有床義歯による補綴治療を知るために、有床義歯の「意義と目的」「種類」について理解する。 国試出題基準:なし	①有床義歯技工学を学ぶ意義を挙げることができる。 ②有床義歯技工学の目的を挙げることができる。 ③有床義歯で回復する口腔の機能を3つ挙げることができる。 ④全部床義歯の歴史を表にまとめることができる。 ⑤木床全部床義歯が生まれた時代を挙げることができる。 ⑥部分床義歯の適応症例の名称を2つ挙げることができる。 ⑦ブリッジと部分床義歯の比較について表にすることができる。	3~6
2	10月27日	内野 公一	2	講義	7-2-2	3章 全部床義歯の特性 GIO:全部床義歯の特性を知るために、全部床義歯の「構成要素」「種類」について理解する。 国試出題基準:2-A 2-B-b	①全部床義歯の構成要素を2つ挙げることができる。 ②前歯部人工歯に求められる要素を1つ挙げることができる。 ③臼歯部人工歯に求められる要素を2つ挙げることができる。 ④義歯床を図で示し、名称を記入することができる。 ⑤義歯床の各部の名称が果たす役割を表にまとめることができる。 ⑥義歯の維持に大切な部分の名称を挙げることができる。 ⑦全部床義歯の使用目的による分類を5つ挙げ説明することができる。	19~21

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	11月10日	内野 公一	2	演習	7-2-3	3章 全部床義歯の特性 GIO:口腔内に装着された全部床義歯が機能を発揮するために、「義歯の維持」「義歯の安定」「義歯の支持」について理解する。	①義歯の維持がよいと表現する時の状態を説明することができる。 ②物理的維持を3つ挙げることができる。 ③接着力が大きくなる条件を説明することができる。 ④粘着力が働いている状態を例に挙げることができる。 ⑤吸着力を高めるために重要な操作を挙げることができる。 ⑥解剖学的維持を左右する因子を2つ挙げることができる。 ⑦リリーフの目的を挙げることができる。 ⑧義歯の安定がよいと表現されるときの状態を説明することができる。 ⑨義歯の安定を図るための配慮を挙げることができる。 ⑩義歯の支持で支えている力の名称を2つ挙げることができる。 ⑪3つの支持様式の名称を挙げることができる。	21~23
						国試出題基準:2-C		
5	11月17日	内野 公一	2	講義	7-2-4	10章 部分床義歯の特性 GIO:部分床義歯の特性を知るために、「部分床義歯の構成要素」について理解する。	①部分床義歯の構成要素を4つ挙げることができる。 ②支台装置の役割を挙げることができる。 ③支台装置が設置される歯の名称を挙げることができる。 ④支台装置の種類を2つ挙げることができる。 ⑤連結子の役割を挙げることができる。 ⑥連結子の種類を2つ挙げることができる。 ⑦義歯床の役割を挙げることができる。 ⑧人工歯の役割を挙げることができる。 ⑨部分床義歯を図で示し、4つの構成要素を記入することができる。	104 ~ 105
						国試出題基準:8-A		
4	11月20日 11月21日 11月22日	矢野 恭平 松山 大樹	10	実習	7-2-5	実習① 欠損模型の製作 GIO:有床義歯の実習に用いる模型を製作するため、ゴム枠に石膏を流して模型を準備する。	①石膏粉末を計量することができる。 ②練和水を計量することができる。 ③石膏と水を均一に練和することができる。 ④気泡を入れないようにゴム枠へ注入することができる。 ⑤基底面を平らにトリミングすることができる。	
						国試出題基準:なし		
6	11月22日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-2-6	実習① 欠損模型の製作 GIO:残存歯および欠損の形を知るために、欠損模型を製作する。	①残存歯と欠損部位を間違えずにマークすることができる。 ②欠損前と欠損後の咬合状態を解釈することができる。 ③ケネディーの分類とアイヒナーの分類を表にまとめることができる。	
						国試出題基準:8-A-a, b		
7	11月24日	内野 公一	2	講義	7-2-7	10章 部分床義歯の特性 GIO:残存歯および欠損の形を知るために、「ケネディーの分類」について理解する。	①ケネディーが分類を作った時代を挙げることができる。 ②ケネディーの分類で表されるものを解釈することができる。(令3問40) ③ケネディーI級を図で示すことができる。 ④ケネディーII級を図で示すことができる。 ⑤ケネディーIII級を図で示すことができる。 ⑥ケネディーIV級を図で示すことができる。 ⑦類型が表す意味を説明することができる。	105 ~ 106
						国試出題基準:8-B-a		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
8	12月1日	内野 公一	2	講義	7-2-8	10章 部分床義歯の特性	①咬合圧の支持様式の名称を3つ挙げる ことができる。(令2問45) ②歯根膜負担の意味を挙げる ことができる。 ③歯根膜粘膜負担の意味を 挙げる ことができる。 ④粘膜負担の意味を挙げる ことができる。 ⑤3つの支持様式を図で表 現することができる。	107
						GIO:残存歯および欠損の形を知るために、「咬合圧の支持様式による分類」について理解する。		
						国試出題基準:8-B-b		
9	12月 8日 12月15日	内野 公一	3	講義	7-2-9	10章 部分床義歯の特性	①アイヒナーが分類を作った時代を挙げる ことができる。 ②アイヒナーの分類が重視する歯の名称を 挙げる ことができる。 ③アイヒナーのA型を図で示し、咬合支持の 状態を説明することができる。 ④アイヒナーのB型を図で示し、咬合支持の 状態を説明することができる。 ⑤アイヒナーのC型を図で示し、咬合支持の 状態を説明することができる。(令3問46)(令4問34) ⑥最終義歯の意味を挙げる ことができる。 ⑦即時義歯の意味を挙げる ことができる。(令4問43) ⑧治療用義歯の意味を 挙げる ことができる。 (令2問34) ⑨移行義歯の意味を挙げる ことができる。	107 110
						GIO:残存歯および欠損の形を知るために、「咬合支持域による分類」「義歯の目的別による分類」を修得する。		
						国試出題基準:8-B-b, c		
10	12月16日	矢野 恭平	4	講義	7-2-10	4章 全部床義歯の製作順序 11章 部分床義歯の製作順序	①歯科医師との連携に欠かせない事を2つ 挙げる ことができる。 ②歯科技工所で行う作業を13個挙げる こと ができる。 ③全部床義歯の製作過程チャートをみて解 釈 することができる。 ④歯科診療所から歯科技工所に渡される作 業を 挙げる ことができる。 ⑤歯科技工所から歯科診療所に渡す作業 を 挙げる ことができる。	24~27 111 113
						GIO:全部床義歯の製作順序を知るために「歯科診療所と歯科技工所における作業の関連」を理解する。		
						国試出題基準:なし		

【専門分野】 A. 有床義歯補綴治療における歯科技工(有床義歯技工学)	⑮有床義歯技工学 印象採得と咬合採得に伴う技工作業 *実務経験のある教員による授業科目
---	---

本学期的学習目標(GIO)
有床義歯で欠損歯列の対応ができるようになるため、講義と演習および実習を通して有床義歯の印象採得と咬合採得に伴う技工作業、個人トレーや作業用模型および咬合床の製作順序、咬合器装着の手順について理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット7 生体歯科技工、欠損歯列への対応

学年	学期	曜日	時間	教室
1	後期	月 土	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室
			10:40~11:25	
			10:40~12:10	
			10:40~14:30	
			10:40~16:10	
			13:00~13:45	
			13:00~14:30	
			13:45~16:10	
			14:40~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	坂本 文比古、矢野 恭平、石橋 洋一、松山 大樹
成績評価	実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	10月25日	坂本 文比古	2	講義	7-3-1	5章 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業 GIO:全部床義歯の印象採得に伴う技工作業を知るため、無歯顎の「解剖学的ランドマーク」「対向関係」の名称を理解する。 国試出題基準:1-C-c	①無歯顎の模型をみて、顎堤の場所を特定することができる。 ②無歯顎の模型をみて、顎堤弓の場所を特定することができる。 ③無歯顎の模型をみて、歯槽頂の場所を特定することができる。 ④上顎無歯顎の写真をみて、11個の解剖学的ランドマークを列記することができる。(令2問35)(令3問36、問47) ⑤下顎無歯顎の写真をみて、8個の解剖学的ランドマークを列記することができる。(令2問35) ⑥矢状面からみた上下顎顎堤の対向関係を3つ列挙することができる。 ⑦前歯部の上下顎顎堤の対向関係を3つ列挙することができる。	28~32

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
2	11月1日	坂本 文比古	2	講義	7-3-2	5章 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業	①印象の目的による分類を2つ列挙することができる。 ②粘膜への印象圧の負荷による分類を3つ列挙することができる。 ③印象方法による分類を2つ列挙することができる。 ④概形印象から製作される模型を挙げることができる。 ⑤精密印象から製作される模型を挙げることができる。 ⑥図や写真をみて、ボクシングを判断することができる。 ⑦ボクシングの目的を挙げるすることができる。 ⑧作業用模型に用いる石膏の種類を2つ列挙することができる。 ⑨作業用模型基底面に必要な厚みを挙げるすることができる。	32~34 38~40
						GIO: 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業を知るため、「無歯顎印象の種類」や「研究用模型」、「作業用模型の製作」について理解する。		
						国試出題基準:3-A		
3	11月8日	坂本 文比古	2	講義	7-3-3	5章 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業	①ボクシングの目的を挙げるすることができる。 ②ボクシング製作時の注意点を挙げるができる。 ③石膏注入時の注意点を挙げるができる。 ④作業用模型の仕上げ時の注意点を挙げるができる。	38~40
						GIO: 作業用模型が製作できるようになるために、ボクシングの「目的」や「注意点」、「石膏注入時や作業用模型の仕上げ時の注意点」について理解する。		
						国試出題基準:3-C		
4	11月24日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	7-3-6	5章 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業	①個人トレーの製作手順を順番に挙げるができる。(令3問39) ②製作上の注意点を挙げることができる。(令2問38)(令問33,41) ③リリーフの目的を挙げるができる。 ④リリーフ部位を8つ列挙することができる。 ⑤スペーサーの目的を挙げることができる。	34~37
						GIO: 無歯顎の上下顎個人トレーが製作できるようになるために、「製作手順」や「製作上の注意点」、リリーフやスペーサーの「目的」と「リリーフ部位」について理解する。		
						国試出題基準:3-B		
5	11月27日 11月29日	矢野 恭平 松山 大樹	10	実習	7-3-7	症例1 上下顎個人トレー製作(無歯顎)	①個人トレーの外形線を記入することができる。 ②リリーフすることができる。 ③ブロックアウトすることができる。 ④スペーサーすることができる。 ⑤常温重合レジンと液を適量で混和できる。 ⑥常温重合レジンと液を均一な厚みで圧接できる。 ⑦柄・フィンガーレストを設置できる。(令2問38) ⑧トレーを形態修正することができる。 ⑨トレーを研磨することができる。	34~37
						GIO: 上下顎個人トレーを製作できるようになるため、「製作手順」や「製作過程」においての手技を身につける。		
						国試出題基準:3-B		
6	11月29日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	7-3-8	5章 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業	①ボクシングの目的を挙げることができる。 ②ボクシング製作時の注意点を挙げるができる。 ③石膏注入時の注意点を挙げることができる。 ④作業用模型の仕上げ時の注意点を挙げることができる。	38~40
						GIO: 作業用模型が製作できるようになるために、ボクシングの「目的」「注意点」、「石膏注入時や作業用模型の仕上げ時の注意点」について理解する。		
						国試出題基準:3-C		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
7	11月28日 11月29日 12月2日	矢野 恭平 松山 大樹	10	実習	7-3-9	症例1 上下顎個人トレー製作 (無歯顎)	①シリコーンゴム印象材を用いて精密印象採得することができる。 ②印象辺縁部下方にユーティリティワックスを巻くことができる。 ③パラフィンワックスで口腔底部を形成することができる。 ④パラフィンワックスで印象辺縁部の外側を巻くことができる。 ⑤気泡を混入しないように石膏を注入することができる。 ⑥模型基底部を修正することができる。 ⑦辺縁部を修正することができる。	38~40
						GIO:作業用模型を製作できるようになるため、「製作手順」や「製作過程」においての手技を身につける。		
						国試出題基準:3-C		
8	12月1日 12月4日	矢野 恭平 松山 大樹	3	講義	7-3-11	13章 部分床義歯の印象採得に伴う技工作業	①部分床義歯の印象採得の特徴を2つ列挙することができる。 ②部分床義歯の印象法を2つ列挙することができる。 ③印象の分類を表にすることができる。 ④歯根膜負担義歯の印象法を挙げることができる。 ⑤粘膜負担義歯の印象法を挙げることができる。 ⑥歯根膜粘膜負担義歯の印象法を挙げることができる。 ⑦研究用模型の製作手順を順番に挙げることができる。(令2問50) ⑧個人トレーの特徴を4つ列挙することができる。	158 ~ 161
						GIO:部分床義歯の印象採得に伴う技工作業を知るため、「印象の分類」や「支持様式による印象の違い」、「研究用模型の製作」について理解する。		
						国試出題基準:10-A		
9	12月5日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	7-3-12	13章 部分床義歯の印象採得に伴う技工作業	①個人トレーの製作手順を順番に挙げることができる。 ②個人トレー製作上の注意点を挙げることができる。	161 ~ 163
						GIO:上下顎個人トレーが製作できるようになるために、「製作手順」や「製作上の注意点」について理解する。		
						国試出題基準:10-A		
10	12月4日 12月5日	矢野 恭平 松山 大樹	8	実習	7-3-13	症例1 上下顎個人トレー製作 (無歯顎)	①個人トレーの外形線を記入することができる。 ②リリースすることができる。 ③ブロックアウトすることができる。 ④スペーサーを付与することができる。 ⑤ストッパーを設置することができる。 ⑥常温重合レジンと液を適量で混和できる。 ⑦常温重合レジンを均一な厚みで圧接できる。 ⑧柄・フィンガーレストを設置できる。 ⑨トレーを形態修正することができる。 ⑩トレーを研磨することができる。	158 ~ 165
						GIO:上下顎個人トレーを製作できるようになるため、「製作手順」や「製作過程」においての手技を身につける。		
						国試出題基準:10-A		
11	12月6日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	7-3-15	症例1 上下顎個人トレー製作 (無歯顎)	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。	
						GIO:個人トレーの形態を正しく認識するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点をみつける。		
						国試出題基準:10-B		
12	12月6日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-3-15	症例1 上下顎個人トレー製作 (無歯顎)	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べることができる。 ③上手いかわからないときは再度質問することができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むことができる。	
						GIO:個人トレーの形態を正しく再現するため、教員から伝えられたところを修正する。		
						国試出題基準:10-B		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
13	12月8日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	7-3-16	13章 部分床義歯の印象採得に伴う技工作業 GIO:作業用模型が製作できるようになるために、「ボクシング製作時」や「石膏注入時および作業用模型仕上げ時の注意点」、「オルタードキャスト法の目的・方法」について理解する。 国試出題基準:10-B	①作業用模型の製作手順を順番に挙げることができる。(令4問37) ②ボクシング製作時の注意点を挙げることができる。 ③石膏注入時の注意点を挙げることができる。 ④作業用模型の仕上げ時の注意点を挙げることができる。 ⑤オルタードキャスト法の目的を挙げることができる。 ⑥オルタードキャスト法の方法を順番に挙げることができる。	163 ~ 167
14	12月11日	矢野 恭平 松山 大樹	2	講義	7-4-9	6章 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業 GIO:上下顎咬合床が製作できるようになるために、「床外形線と基準線の記入」や「リリーフの場所」「ポストダムの設定場所」について理解する。 国試出題基準:4-A-b, c, d	①床外形線の記入箇所を挙げることができる。 ②咬合床の目的を挙げることができる。 ③上顎正中線の基準箇所を3つ列挙することができる。 ④下顎正中線の基準箇所を3つ列挙することができる。 ⑤上顎歯槽頂線の基準点を5つ列挙することができる。 ⑥下顎歯槽頂線の基準点を5つ列挙することができる。 ⑦レトロモラーパッド部の基準線の位置を挙げることができる。 ⑧リリーフする場所を挙げることができる。(令3問50) ⑨リリーフの目的を挙げることができる。 ⑩ポストダムの設定場所を挙げることができる。 ⑪ポストダムの目的を挙げることができる。	41~44
15	12月11日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-4-10	6章 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業 GIO:上下顎咬合床が製作できるようになるために、「床外形線と基準線の記入」や「リリーフの場所」および「ポストダムの設定場所」について理解する。 国試出題基準:4-A-b, c, d	①床外形線の記入箇所を挙げることができる。 ②上顎正中線の基準箇所を3つ列挙することができる。 ③下顎正中線の基準箇所を3つ列挙することができる。 ④上顎歯槽頂線の基準点を5つ列挙することができる。 ⑤下顎歯槽頂線の基準点を5つ列挙することができる。 ⑥レトロモラーパッド部の基準線の位置を挙げることができる。 ⑦リリーフする場所を挙げることができる。(令3問50) ⑧ポストダムの設定場所を挙げることができる。	41~44
16	12月11日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-4-11	症例2 上下顎咬合床の製作(無歯顎) GIO:上下顎咬合床を製作できるようになるため、「製作手順」や「製作過程」においての手技を身につける。 国試出題基準:4-A-e	①床外形線を記入することができる。 ②リリーフすることができる。 ③ブロックアウトすることができる。	41~44
17	12月12日	矢野 恭平 松山 大樹	1	講義	7-4-12	6章 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業 GIO:全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業を知るため、「咬合床の製作」について理解する。 国試出題基準:4-A-e, f	①写真や模型をみて、基礎床の場所を特定することができる。 ②写真や模型をみて、咬合堤の場所を特定することができる。 ③咬合床の図に、咬合堤の幅を数値で記入することができる。 ④咬合床の図に、咬合堤の高さを数値で記入することができる。 ⑤咬合床の図に、咬合堤の位置を数値で記入することができる。 ⑥咬合採得の基準平面を挙げることができる。 ⑦標準線の図をみて、名称を5つ列記することができる。(令2問39)	44~47
18	12月12日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-4-13	症例2 上下顎咬合床の製作(無歯顎) GIO:上下顎咬合床を製作できるようになるため、「製作手順」や「製作過程」においての手技を身につける。 国試出題基準:4-A-e	①常温重合レジンで作業用模型に圧接することができる。 ②設計からはみ出した箇所を形態修正することができる。 ③均等な厚みに形態修正することができる。	44

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
19	12月12日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-4-15	6章 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業	①基礎床製作時の注意点を挙げるができる。 ②咬合堤製作時の注意点を挙げるができる。	44~47
						GIO:全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業を知るため、「咬合床の製作」について理解する。		
						国試出題基準:4-A-e		
20	12月12日	矢野 恭平 松山 大樹	4	実習	7-4-16	症例2 上下顎咬合床の製作(無歯顎)	①咬合堤を標準的な高さに合わせることができる。 ②咬合堤を標準的な幅に合わせることができる。 ③咬合堤を標準的な位置に合わせることができる。 ④咬合堤と基礎床をパラフィンワックスで連結することができる。	44~45
						GIO:上下顎咬合床を製作できるようになるため、「製作手順」や「製作過程」においての手技を身につける。		
						国試出題基準:4-A-e		
21	12月13日	矢野 恭平 松山 大樹	4	実習	7-4-17	症例2 上下顎咬合床の製作(無歯顎)	①咬合堤と基礎床をワックスで移行的にできる。 ②ワックス内の気泡を除去することができる。 ③咬合堤の高さ・幅・位置を再確認することができる。	44~45
						GIO:上下顎咬合床を製作できるようになるため、「製作手順」や「製作過程」においての手技を身につける。		
						国試出題基準:4-A-e		
22	1月9日	石橋 洋一	2	講義	7-4-18	6章 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業	①全部床義歯に用いられる咬合器の種類を2つ列挙することができる。 ②写真や咬合器をみて、平均値咬合器を判断することができる。 ③写真や咬合器をみて、半調節性咬合器を判断することができる。 ④平均値咬合器で上顎模型装着に使用する器具を挙げるができる。 ⑤調節性咬合器の上顎模型装着に使用する器具を挙げるができる。 ⑥スプリットキャスト法の目的を挙げるができる。(令2問43) ⑦下顎作業用模型の装着時の注意点を挙げるができる。	49~51
						GIO:全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業を知るため、「作業用模型の咬合器装着」について理解する。		
						国試出題基準:4-B-a, b		
23	1月9日	石橋 洋一	2	演習	7-4-19	6章 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業	①咬合平面板を用いた咬合器装着の注意点を挙げるができる。 ②フェイスボウを用いた咬合器装着の注意点を挙げることができる。 ③スプリットキャスト法による咬合器装着の注意点を挙げることができる。 ④下顎作業用模型の装着時の注意点を挙げるができる。	49~51
						GIO:咬合平面板を用いた半調節性咬合器へ模型装着ができるようになるため、「作業用模型の咬合器装着の注意点」について理解する。		
						国試出題基準:4-B-a, b		
24	1月9日 1月10日	石橋 洋一	4	実習	7-4-20	症例2 上下顎咬合床の製作(無歯顎)咬合器装着	①咬合器の付属品を準備することができる。 ②咬合平面板を用いて上顎模型を装着することができる。 ③スティッキーワックスを用いて上下顎模型を仮着できる。 ④下顎模型を装着することができる。(令3問34)	49~51
						GIO:咬合平面板を用いた半調節性咬合器へ模型装着ができるようになるため、「製作手順」や「製作過程」においての手技を身につける。		
						国試出題基準:4-B-a, b		
25	1月10日	石橋 洋一	2	講義 演習	7-4-21	6章 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業	①チェックバト法の目的を挙げるができる。 ②写真や図をみて、矢状顎路角の場所を特定することができる。 ③写真や図をみて、側方顎路角の場所を特定することができる。 ④写真や図をみて、矢状切歯路傾斜角の場所を特定することができる。 ⑤写真や図をみて、上下顎前歯部の水平被蓋の場所を特定することができる。 ⑥写真や図をみて、上下顎前歯部の垂直被蓋の場所を特定することができる。	52~53
						GIO:全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業を知るため、「咬合器の調節」について理解する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
26	1月10日	石橋 洋一	2	講義 演習	7-4-22	6章 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業	①ゴシックアーチ描記法の目的を挙げることができる。 ②ゴシックアーチ描記法の方法を2つ列挙することができる。 ③ゴシックアーチ描記法の手順を順番に挙げることができる。 ④描記されたゴシックアーチの軌道を読み取ることができる。	53~55
						GIO:全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業を知るため、ゴシックアーチ描記法の「目的」「方法」「手順」について理解する。		
						国試出題基準:4-B-c		
27	1月12日	石橋 洋一	2	演習	7-4-23	14章 部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業	①咬合床の目的を挙げることができる。 ②基礎床製作時の注意点を挙げることができる。 ③咬合堤製作時の注意点を挙げることができる。(令2問51) ④咬合堤の幅について説明することができる。 ⑤咬合堤の高さについて説明することができる。	168 170
						GIO:上下顎咬合床の製作ができるようになるため、「咬合床の目的」「基礎床」、「咬合堤製作時の注意点」について理解する。		
						国試出題基準:11-A		
28	1月12日	石橋 洋一	2	演習	7-4-24	14章 部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業	①咬合平面板で作業用模型を装着する方法の手順を順番に挙げることができる。 ②フェイスボウで作業用模型を装着する方法の手順を順番に挙げることができる。 ③半調節性咬合器の顆路調整の方法を挙げることができる。 ④偏心咬合位の記録箇所を3つ挙げることができる。 ⑤チェックバイトにより決定される顆路角の種類を2つ列挙することができる。	170 172
						GIO:咬合平面板を用いた平均値咬合器へ模型装着ができるようになるため、「咬合器装着の手順」や「チェックバイト法による顆路調整」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
29	1月15日 1月16日	石橋 洋一	10	実習	7-4-25	症例3 上下顎咬合床の製作 (アイヒナーB4)	①床外形線を記入することができる。 ②リリースすることができる。 ③ブロックアウトすることができる。 ④常温重合レジンで作業用模型に圧接することができる。 ⑤基礎床を形態修正することができる。 ⑥咬合堤を標準的な高さに合わせるができる。 ⑦咬合堤を標準的な幅に合わせるができる。 ⑧咬合堤を標準的な位置に合わせるができる。 ⑨咬合堤と基礎床をパラフィンワックスで連結することができる。 ⑩咬合堤と基礎床をワックスで移行的にできる。 ⑪ワックス内の気泡を除去することができる。 ⑫咬合堤の高さ・幅・位置を再確認することができる。	168 170
						GIO:上下顎咬合床の製作をできるようにするため、「製作手順」や「製作過程」においての手技を身につける。		
						国試出題基準:11-A		
30	1月16日	石橋 洋一	4	実習	7-4-26	症例3 上下顎咬合床の製作 (アイヒナーB4)咬合器装着	①咬合器の付属品を準備することができる。 ②咬合平面板を用いて上顎模型を装着することができる。 ③スティッキーワックスを用いて上下顎模型を仮着できる。 ④下顎模型を装着することができる。	170 172
						GIO:咬合平面板を用いた平均値咬合器へ模型装着をできるようにするため、「製作手順」や「製作過程」においての手技を身につける。		
						国試出題基準:なし		
31	1月17日	石橋 洋一	2	演習	7-4-27	症例2,3 上下咬合床(無歯顎・有歯顎)	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。	
						GIO:上下咬合床の形態を正しく認識するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点をみつける。		
						国試出題基準:		
32	1月17日	石橋 洋一	2	実習	7-4-27	症例2,3 上下咬合床(無歯顎・有歯顎)	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べることができる。 ③上手いかわらないときは再度質問することができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むことができる。	
						GIO:上下咬合床の形態を正しく再現するため、教員から伝えられたところを修正する。		
						国試出題基準:		

【専門分野】 A. 有床義歯補綴治療における歯科技工(有床義歯技工学)	⑩有床義歯技工学 クラスプとバーの製作 *実務経験のある教員による授業科目
---	---

本学期的学習目標(GIO)
有床義歯で欠損歯列の対応ができるようになるため、講義と演習および実習を通して部分床義歯の構成要素の名称や機能、クラスプやバーの製作順序について理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット7 生体歯科技工、欠損歯列への対応

学年	学期	曜日	時間	教室
1	後期	月 土	9:00~9:45	博多メディカル専門学校 3階 301教室、 基礎実習室
			9:00~10:30	
			9:00~12:10	
			9:00~13:45	
			9:00~14:30	
			9:00~16:10	
			10:40~12:10	
			10:40~14:30	
			10:40~15:25	
			13:00~14:30	
			13:00~15:25	
			13:00~16:10	
			13:45~15:25	
			14:40~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工造形学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	矢野 恭平、松山 大樹
成績評価	講義末試験、実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	1月31日 2月1日	矢野 恭平 松山 大樹	3	講義	7-6-1	12章 部分床義歯の構成要素 GIO:部分床義歯の構成要素を知るため、クラスプの「各部位の名称」「ニアゾーンとファーゾーン」「クラスプの機能」を理解する。 国試出題基準:9-A-b	①支台装置の種類を2つ列挙することができる。 ②クラスプを図で示し、各部位の名称を6つ記入することができる。 ③クラスプの図を見て、ニアゾーンとファーゾーンの場所を特定することができる。(令2問46) ④クラスプの機能を3つ列挙することができる。 ⑤維持の働きを挙げることができる。(令3問38) ⑥把持の働きを挙げることができる。 ⑦支持の働きを挙げることができる。	115 ~ 119
2	2月1日	矢野 恭平 松山 大樹	3	講義	7-6-2	12章 部分床義歯の構成要素 GIO:部分床義歯の構成要素を知るため、「鉤腕の数」「製作法」「形態」による分類を理解する。 国試出題基準:9-A-b	①鉤腕の数による分類を3つ列挙することができる。 ②クラスプの製作法による分類を2つ列挙することができる。 ③铸造鉤の長所と短所を表にすることができる。 ④線鉤の長所と短所を表にすることができる。 ⑤線鉤の製作法の種類を2つ列挙することができる。 ⑥形態による分類を2つ列挙することができる。 ⑦環状鉤の長所と短所を表にすることができる。 ⑧パークラスプの長所と短所を表にすることができる。	120 ~ 124

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	2月2日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-3	12章 部分床義歯の構成要素	①環状鉤の種類を8つ列挙することができる。 ②模型や写真をみて、レスト付き二腕鉤を判断することができる。 ③レスト付き二腕鉤のアンダーカット量を挙げることができる。 ④模型や写真をみて、双子鉤を判断することができる。 ⑤双子鉤のアンダーカット量を挙げることができる。	124 ～ 125
						GIO:クラスプを製作できるようになるために、「レスト付き二腕鉤」「双子鉤」を理解する。		
						国試出題基準:9-A-b		
4	2月2日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-3	12章 部分床義歯の構成要素	①模型や写真をみて、リングクラスプを判断することができる。 ②リングクラスプのアンダーカット量を挙げることができる。 ③リングクラスプの特徴を説明できる。 (令2問47)(令3問41)(令4問39) ④模型や写真をみて、ハーフアンドハーフクラスプを判断することができる。 ⑤ハーフアンドハーフクラスプのアンダーカット量を挙げることができる。 ⑥ハーフアンドハーフクラスプの特徴を説明できる。 ⑦模型や写真をみて、バックアクションクラスプを判断することができる。 ⑧バックアクションクラスプのアンダーカット量を挙げることができる。 ⑨バックアクションクラスプの特徴を説明できる。	125 ～ 126
						GIO:クラスプを製作できるようになるために、「リングクラスプ」「ハーフアンドハーフクラスプ」「バックアクションクラスプ」を理解する。		
						国試出題基準:9-A-b		
5	2月2日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-3	12章 部分床義歯の構成要素	①模型や写真をみて、リバースバックアクションクラスプを判断することができる。 ②リバースバックアクションクラスプのアンダーカット量を挙げることができる。 ③リバースバックアクションクラスプの特徴を説明できる。 ④模型や写真をみて、ヘアピンクラスプを判断することができる。 ⑤ヘアピンクラスプのアンダーカット量を挙げることができる。 ⑥模型や写真をみて、延長腕鉤を判断することができる。 ⑦延長腕鉤のアンダーカット量を挙げることができる。	127 ～ 128
						GIO:クラスプを製作できるようになるために、「リバースバックアクションクラスプ」「ヘアピンクラスプ」「延長腕鉤」を理解する。		
						国試出題基準:9-A-b		
6	2月3日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-4	12章 部分床義歯の構成要素	①パークラスプの種類を2つ列挙することができる。 ②模型や写真をみて、ローチクラスプを判断することができる。 ③ローチクラスプのアンダーカット量を挙げることができる。 ④ローチクラスプの維持腕の機能を上げることができる。(令4問35)	128
						GIO:クラスプを製作できるようになるために、「パークラスプ」を理解する。		
						国試出題基準:9-A-b		
7	2月3日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-4	12章 部分床義歯の構成要素	①模型や写真をみて、RPIクラスプを判断することができる。 ②RPIクラスプのアンダーカット量を上げることができる。 ④ガイドプレーンの機能を説明することができる。(令3問51)	129 ～ 130
						GIO:クラスプを製作できるようになるために、「パークラスプ」を理解する。		
						国試出題基準:9-A-b		
8	2月8日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-4	12章 部分床義歯の構成要素	①模型や写真をみて、連続鉤を判断することができる。 ②模型や写真をみて、隣接面へ応用するクラスプを判断することができる。 ③模型や写真をみて、コンビネーションクラスプを判断することができる。 ④鋳造鉤に用いる合金の種類を5つ列挙することができる。 ⑤線鉤に用いる材料を3つ列挙することができる。 ⑥クラスプの維持力に影響を及ぼす因子を8つ列挙することができる。	131 ～ 133
						GIO:クラスプが製作できるようになるために、「その他のクラスプ」「クラスプ用材料」「クラスプの維持力に影響を及ぼす因子」を理解する。		
						国試出題基準:8-A		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
9	2月5日 2月6日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-5	12章 部分床義歯の構成要素	①レストの目的を6つ列挙することができる。 ②レストの種類を3つ列挙することができる。 ③模型や写真をみて、レストシートを判断することができる。	133 ～ 137
						GIO:クラスプが製作できるようになるために、レストの「目的」「種類」「レストシート」を理解する。		
						国試出題基準:9-B		
10	2月5日 2月6日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-5	12章 部分床義歯の構成要素	①アタッチメントの構造を2つ列挙することができる。 ②アタッチメントの構造と役割を関連づけることができる。(令2問48) ③アタッチメントの分類を2つ列挙することができる。 ④設置位置および形態による分類を4つ列挙することができる。 ⑤アタッチメントの利点を6つ列挙することができる。 ⑥アタッチメントの欠点を6つ列挙することができる。 ⑦磁性アタッチメントの特徴を挙げることができる。	137 ～ 142
						GIO:クラスプが製作できるようになるために、アタッチメントの「分類」「利点・欠点」を理解する。		
						国試出題基準:9-D		
11	2月5日 2月6日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-5	12章 部分床義歯の構成要素	①コースステレスコープ義歯の構造を挙げることができる。 ②コースステレスコープ義歯の利点を6つ列挙することができる。 ③コースステレスコープ義歯の欠点を4つ列挙することができる。	142 ～ 146
						GIO:補助支台装置が製作できるようになるために、「目的」や「種類」について理解する。		
						国試出題基準:9-E		
12	2月5日 2月6日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-5	12章 部分床義歯の構成要素	①補助支台装置の目的を挙げることができる。 ②補助支台装置の種類を2つ列挙することができる。	146
						GIO:補助支台装置が製作できるようになるために、「目的」や「種類」について理解する。		
						国試出題基準:10-B		
13	2月6日	矢野 恭平 松山 大樹	1	講義	7-6-6	12章 部分床義歯の構成要素	①義歯床の役割を4つ列挙することができる。 ②義歯床用材料を2つ列挙することができる。 ③歯根膜負担義歯の床外形線の場所を述べる。 ④粘膜負担および歯根膜粘膜負担義歯の床外形線の場所を述べる。 ⑤床外形線とサバイラインによる着脱方向の影響について述べる。 ⑥上下顎残存歯歯頸部の床縁の設置を述べる。 ⑦コルベン状の形態を図示することができる。 ⑧義歯床の厚さを挙げることができる。 ⑨図をみて、緩衝腔の場所を特定することができる。 ⑩人工歯の役割を挙げることができる。	154 ～ 157
						GIO:クラスプが製作できるようになるために、連続鉤や隣接面へ応用するクラスプの形態およびコンビネーションクラスプの形態、鑄造鉤や線鉤に用いる合金や材料について理解する。		
						国試出題基準:13-ABCD		
14	2月6日		2	講義	7-6-7	15章 クラスプの製作	①模型や写真をみて、ガイドプレンの場所を特定することができる。 ②模型や写真をみて、レストシートの場所を特定することができる。 ③サバイヤーの使用目的を7つ列挙することができる。 ④サバイヤーの構造を5つ列挙することができる。 ⑤サバイヤーの付属品の名称と、その使用目的を表にすることができる。 ⑥サバイヤーの種類を2つ列挙することができる。	173 ～ 176
						GIO:サバイヤーが扱えるようになるため、「支台歯の前処置」「サバイヤーの構造と使用方法」について理解する。		
						国試出題基準:9-A		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
15	2月6日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-7	15章 クラスプの製作	①予備測定と本測定の違いを挙げることができる。 ②サベイングの手順を挙げることができる。 ③着脱方向の決定に使用する付属品を挙げることができる。 ④等高点の描記に使用する付属品を挙げることができる。 ⑤サベイラインの描記に使用する付属品を挙げることができる。 ⑥鉤尖の位置決定に使用する付属品を挙げることができる。	176 ～ 178
						GIO:サベヤーが扱えるようになるために、「サベイングの手順」や「付属品の名称」について理解する。		
						国試出題基準:9-A		
16	2月6日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-7	15章 クラスプの製作	①鑄造鉤の製作法を2つ列挙することができる。 ②歯を図に示し、鑄造鉤の鉤外形線を記入することができる。 ③ブロックアウトに使用する材料を2つ列挙することができる。 ④リリースの目的を挙げることができる。	179
						GIO:鑄造鉤が製作できるようになるために、「製作方法」「鉤外形線」について理解する。		
						国試出題基準:9-A		
17	2月6日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	7-6-8	15章 クラスプの製作	①耐火模型の製作手順を順番に挙げることができる。 ②表面処理の目的を3つ列挙することができる。 ③表面処理の方法を2つ列挙することができる。 ④表面処理の作業工程を順番に挙げることができる。 ⑤ワックスパターンの形成方法を2つ列挙することができる。 ⑥耐火模型の埋没手順を順番に挙げることができる。	180 ～ 183
						GIO:間接法によるクラスプの製作ができるようになるために、「耐火模型の製作」「表面処理」「ワックスパターン形成」「埋没および鑄造」について理解する。		
						国試出題基準:9-A		
18	2月7日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	7-6-8	15章 クラスプの製作	①研磨の目的を3つ列挙することができる。 ②研磨の方法を2つ列挙することができる。 ③電解研磨の特徴を挙げることができる。 ④機械研磨の手順を順番に挙げることができる。 ⑤クラスプの適合状態で検査する箇所を2つ挙げることができる。 ⑥直接法の製作手順を順番に挙げることができる。	184 ～ 186
						GIO:クラスプの研磨ができるようになるために、研磨の「目的」「方法」「機械研磨の手順」について理解する。		
						国試出題基準:9-A		
19	2月7日	矢野 恭平 松山 大樹	4	実習	7-6-9	症例① 鑄造鉤の製作 (AヒナーBI下顎)	①サベイングで鉤尖の位置決定を行うことができる。 ②鉤外形線を記入することができる。 ③ワックスでブロックアウトすることができる。 ④ワックスでリリースすることができる。	176 ～ 178
						GIO:鑄造鉤が製作できるようになるため、「サベイング操作」「ブロックアウト」「リリース」の手技を身につける。		
						国試出題基準:9-A-a		
20	2月8日 2月9日	矢野 恭平 松山 大樹	6	実習	7-6-9	症例① 鑄造鉤の製作 (AヒナーBI下顎)	①隙間なくボクシングすることができる。 ②シリコーン印象材で複印象採得することができる。 ③印象材に耐火模型材を注入することができる。 ④ワックスパス法で模型の表面処理をすることができる。	179 ～ 181
						GIO:鑄造鉤が製作できるようになるため、「ボクシング」「複印象」「表面処理」の手技を身につける。		
						国試出題基準:9-A-a		
21	2月13日	矢野 恭平 松山 大樹	6	実習	7-6-9	症例① 鑄造鉤の製作 (AヒナーBI下顎)	①外形線を記入することができる。 ②既製パターンを用いてワックスアップすることができる。 ③耐火模型をトリミングすることができる。 ④スプルー線を植立することができる。 ⑤型ごと埋没法で埋没することができる。	181 ～ 183
						GIO:鑄造鉤が製作できるようになるため、「既製パターンを用いたワックスアップ」「耐火模型のトリミング」「型ごと埋没」の手技を身につける。		
						国試出題基準:9-A-a		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
22	2月13日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-6-9	症例① 铸造鉤の製作 (アイヒナー-BI下顎) GIO:铸造鉤が製作できるようになるため、「合金の融解」「铸造」「割り出し」の手技を身につける。 国試出題基準:9-A-a	①ブローパイプで合金を融解することができる。 ②遠心铸造機で铸造することができる。 ③鋳型から鋳造体を割り出すことができる。	182 ~ 183
22	2月14日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-6-9	症例① 铸造鉤の製作 (アイヒナー-BI下顎) GIO:铸造鉤が製作できるようになるため、「適合」「形態修正」「研磨」の手技を身につける。 国試出題基準:9-A-a	①マイクロスコープを用いて鋳造体と鉤歯の適合を確認することができる。 ②シリコンポイントを用いて内面を研磨することができる。 ③カーボラダムポイントを用いて外面を形態修正することができる。 ④シリコンポイントを用いて外面を中研磨することができる。 ⑤ブラシとハフを用いて仕上げ研磨することができる。	184 ~ 185
23	2月14日	矢野 恭平 松山 大樹	1	講義	7-6-10	15章 クラスプの製作 GIO:クラスプの製作を知るため、「線鉤の外形線」「屈曲の原則」について理解する。 国試出題基準:9-A-c	①線鉤の製作法を2つ列挙することができる。 ②歯を図に示し、線鉤の鉤外形線を記入することができる。 ③屈曲の原則を5つ列挙することができる。	187
24	2月14日	矢野 恭平 松山 大樹	3	演習	7-6-10	15章 クラスプの製作 GIO:線鉤が製作できるようになるために、レストの製作法の種類や1線法、2線法による作業手順を理解する。 国試出題基準:9-A-c	①線鉤の製作法を2つ列挙することができる。 ②歯を図に示し、線鉤の鉤外形線を記入することができる。 ③屈曲の原則を5つ列挙することができる。	187 ~ 193
25	2月15日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-6-11	症例② 線鉤の製作 (アイヒナー-B1上顎) GIO:線鉤が製作できるようになるため、「サベイング操作」「ブロックアウト」「リリーフ」の手技を身につける。 国試出題基準:9-A-c	①サベイングで鉤尖の位置決定を行うことができる。 ②鉤外形線を記入することができる。 ③石膏でブロックアウトすることができる。 ④絆創膏でリリーフすることができる。	186 ~ 193
26	2月15日 2月16日 2月17日	矢野 恭平 松山 大樹	8	実習	7-6-11	症例② 線鉤の製作 (アイヒナー-B1上顎) GIO:線鉤が製作できるようになるため、「線屈曲」の手技を身につける。 国試出題基準:9-A-c	①コンビネーションクラスプ唇側鉤を屈曲することができる。 ②1線鉤で線鉤を屈曲することができる。	186 ~ 193
27	2月19日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-6-11	症例② 線鉤の製作 (アイヒナー-B1上顎) GIO:線鉤が製作できるようになるため、「直接法」「スプルー植立」「埋没」の手技を身につける。 国試出題基準:9-A-c	①コンビネーションクラスプ舌側鉤をワックスアップすることができる。 ②鋳造レストをワックスアップすることができる。 ③スプルー線を植立することができる。 ④埋没することができる。	186 ~ 193
28	2月19日	矢野 恭平 松山 大樹	4	実習	7-6-11	症例② 線鉤の製作 (アイヒナー-B1上顎) GIO:铸造鉤が製作できるようになるため、「合金の融解」「铸造」「割り出し」「適合調整」の手技を身につける。 国試出題基準:9-A-c	①ブローパイプで合金を融解することができる。 ②鋳造することができる。 ③鋳型から鋳造体を割り出すことができる。 ④鋳造体と鉤歯の適合を確認することができる。 ⑤線鉤と鋳造鉤を鑢付けすることができる。 ⑥適切な研磨を行うことができる。	186 ~ 193
29	2月20日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-6-12	症例③ クラスプの製作 (アイヒナー-B4上下顎) GIO:クラスプが製作できるようになるため、「サベイング操作」「ブロックアウト」「リリーフ」の手技を身につける。 国試出題基準:9-A-c	①サベイングで鉤尖の位置決定を行うことができる。 ②鉤外形線を記入することができる。 ③石膏でブロックアウトすることができる。 ④ワックスでリリーフすることができる。 ⑤コンビネーションクラスプ唇側鉤を屈曲することができる。	186 ~ 193

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
30	2月20日 2月21日	矢野 恭平 松山 大樹	8	実習	7-6-12	症例③ クラスプの製作 (アヒナー-B4上下顎) GIO:クラスプが製作できるようになるため、「パターンレジン築盛」「3Dプリンタで製作したクラスプの形態修正」の手技を身につける。	①コンビネーションのレスト付舌側鉤をパターンレジンで築盛することができる。 ②3Dプリンタで製作したバックアクションクラスプを形態修正することができる。 ③3Dプリンタで製作したエーカースクラスプを形態修正することができる。 ④3Dプリンタで製作したリバースバックアクションクラスプを形態修正することができる。	185 ～ 186
						国試出題基準:9-A-c		
31	2月20日 2月21日	矢野 恭平 松山 大樹	8	実習	7-6-12	症例③ クラスプの製作 (アヒナー-B4上下顎) GIO:クラスプが製作できるようになるため、「スプルー植立」「埋没」「铸造」の手技を身につける。	①硬化したパターンレジンを形態修正することができる。 ②スプルー線を植立することができる。 ③埋没することができる。 ④ブローパイプで合金を融解することができる。 ⑤铸造することができる。	185 ～ 186
						国試出題基準:9-A-c		
32	2月26日 2月29日	矢野 恭平 松山 大樹	7	実習	7-6-12	症例③ クラスプの製作 (アヒナー-B4上下顎) GIO:クラスプが製作できるようになるため、「適合調整」「研磨」の手技を身につける。	①鋳型から鋳造体を割り出すことができる。 ②鋳造体と鉤歯の適合を確認することができる。 ③適切な研磨を行うことができる。	185 ～ 186
						国試出題基準:9-A-c		
33	2月29日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	7-6-13	症例①② 鋳造鉤、線鉤の製作 GIO:鋳造鉤・線鉤の形態を正しく認識するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点をみつける。	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。	
						国試出題基準:9-A-c		
34	3月1日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-6-13	症例①② 鋳造鉤、線鉤の製作 GIO:鋳造鉤・線鉤の形態を正しく再現するため、教員から伝えられたところを修正する。	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べることができる。 ③上手い/かたいときは再度質問することができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むことができる。	
						国試出題基準:9-A-c		
35	3月2日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-14	12章 部分床義歯の構成要素 GIO:連結子が製作できるようになるために、連結子の「必要条件」「目的」「利点と欠点」について理解する。	①連結子の必要条件を5つ列挙することができる。 ②連結子の目的を6つ列挙することができる。 ③連結子の利点を4つ列挙することができる。 ④連結子の欠点を1つ挙げるすることができる。	147 ～ 148
						国試出題基準:10-A		
36	3月2日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-14	12章 部分床義歯の構成要素 GIO:上顎大連結子が製作できるようになるために、「連結子の分類」について理解する。	①上顎大連結子の種類を3つ列挙することができる。 ②パラタルバーの種類を6つ列挙することができる。 ③パラタルバーの種類と、その特徴を表にすることができる。 ④パラタルストラップの特徴を挙げることができる。(令2問49) ⑤パラタルプレートの特徴を挙げることができる。	148 ～ 150
						国試出題基準:10-A		
37	3月2日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-6-14	12章 部分床義歯の構成要素 GIO:下顎大連結子が製作できるようになるために、「連結子の分類」について理解する。	①下顎大連結子の種類を4つ列挙することができる。 ②リングルバーの禁忌症例を4つ列挙することができる。 ③リングルプレートの特徴を表にすることができる。 ④ケネディバーの特徴を表にすることができる。 ⑤外側バーの特徴を表にすることができる。(令4問47) ⑥小連結子の種類を3つ列挙することができる。 ⑦リングルプレートとリングルバーの利点欠点をまとめることができる(令3問35)	151 ～ 154
						国試出題基準:10-A		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
38	3月4日	矢野 恭平 松山 大樹	3	演習	7-6-15	16章 バーの製作	①リリーフに使用する材料を挙げることができる。 ②パターンの形成に使用するレジンの種類を2つ列挙することができる。 ③パターンを模型から撤去するときの注意点を挙げることができる。 ④鋳造体のバリを除去する研磨器具を2つ列挙することができる。 ⑤レジン維持部の研磨時の注意点を挙げることができる。	194 ～ 197
						GIO:鋳造バーの製作を知るため、「バーの外形線と作業用模型のリリーフ」「パターンの形成」「スプルー線の植立と埋没」「鋳造と研磨」「支台装置とバーとの関係」について理解する。		
39	3月4日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	7-6-15	16章 バーの製作	①バー屈曲に用いる鉗子の種類を3つ列挙することができる。 ②縦曲げの屈曲方法を挙げることができる。 ③横曲げの屈曲方法を挙げることができる。 ④バー屈曲部に行うリリーフの使用材料を挙げることができる。 ⑤参照用ワックスパターンの種類を2つ列挙することができる。 ⑥三次元的なひねりの形態を付与する場所を挙げることができる。 ⑦レジン維持部の研磨時の注意点を挙げることができる。	197 ～ 200
						GIO:屈曲バーの製作を知るため、「屈曲用鉗子の使い方」「バーの外形線と作業用模型のリリーフ」「参照用ワックスパターンの準備」「屈曲」「研磨と完成」「支台装置とバーとの位置関係」について理解する。		
40	3月5日 3月6日	矢野 恭平 松山 大樹	5	実習	7-6-16	症例④ 鋳造バーの製作 (アヒナー-B4上顎)	①鋳造バーとクラスプの外形線を記入することができる。 ②ワックスでリリーフすることができる。 ③バーとクラスプをパターンレジンで築盛することができる。 ④硬化したパターンレジン形態修正することができる。 ⑤スプルー線を植立することができる。 ⑥リン酸塩系埋没材で埋没することができる。	194 ～ 197
						GIO:鋳造バーが製作できるようになるため、「外形線」「リリーフ」「パターン形成」「スプルー植立」「埋没」の手法を身につける。		
41	3月5日 3月6日	矢野 恭平 松山 大樹	7	実習	7-6-16	症例④ 鋳造バーの製作 (アヒナー-B4上顎)	①高周波鋳造機で鋳造することができる。 ②鋳型から鋳造体を割り出すことができる。 ③鋳造体と模型の適合を確認することができる。 ④適切な研磨を行うことができる。	194 ～ 197
						GIO:鋳造バーが製作できるようになるため、「高周波鋳造」「割り出し」「研磨」の手法を身につける。		
42	3月6日 3月7日	矢野 恭平 松山 大樹	5	実習	7-6-17	症例⑤ 屈曲バーの製作 (アヒナー-B4下顎)	①屈曲バーとクラスプの外形線を記入することができる。 ②絆創膏でリリーフすることができる。 ③参照用パターンを外形線の位置に圧接することができる。 ④バーを屈曲することができる。 ⑤維持を形成することができる。	194 ～ 197
						GIO:屈曲バーが製作できるようになるため、「外形線」「リリーフ」「参照用ワックスパターン」「屈曲」の手法を身につける。		
43	3月7日	矢野 恭平 松山 大樹	2	演習	7-6-18	症例④⑤ 鋳造バー、屈曲バーの製作	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。	
						GIO:鋳造バー、屈曲バーの形態を正しく認識するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点を見つける。		
44	3月7日	矢野 恭平 松山 大樹	2	実習	7-6-18	症例④⑤ 鋳造バー、屈曲バーの製作	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べる。 ③上手いかわからないときは再度質問することができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むことができる。	
						GIO:鋳造バー、屈曲バーの形態を正しく認識するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点を見つける。		
						国試出題基準:10-A		
						国試出題基準:10-A		
						国試出題基準:10-A-c		
						国試出題基準:10-A-c		
						国試出題基準:10-A-c		
						国試出題基準:10-A		
						国試出題基準:10-A-c		

【専門分野】 B. 歯冠修復治療における歯科技工(歯冠修復技工学)	⑳歯冠修復技工学 ブリッジ *実務経験のある教員による授業科目
---	---

本学期的学習目標(GIO)
ブリッジ製作を通じて欠損歯列への対応ができる歯科技工士になるため、支台装置やポンティックの名称や特徴および機能、また製作方法について修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット7 生体歯科技工、欠損歯列への対応

学年	学期	曜日	時間	教室
1	後期	月・火・水	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 301教室、基礎実習室
			9:00~11:25	
			9:00~13:45	
			13:00~13:45	
			13:45~14:30	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	高橋 良、矢野 恭平、石橋 洋一、松山 大樹
成績評価	講義末試験、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	10月31日	高橋 良	3	講義	7-1-1	3章 ブリッジの概要と種類 GIO:ブリッジの概要と種類を知るために、「概要」「特徴」「構成要素」「種類」について理解する。	①ブリッジの構成要素を図で示し名称を記入することができる。 ②ブリッジの利点と欠点を表にまとめることができる。(令2問53)(令4問53) ③支台装置に適用できるクラウンを5つ挙げることができる。 ④ポンティックの基底面形態を9つ挙げることができる。 ⑤連結部の役割と配慮すべき事項を挙げることができる。 ⑥固定性ブリッジの種類を2つ挙げることができる。 ⑦半固定性ブリッジの特徴をあげることができる。(令4問68) ⑧可撤性ブリッジの特徴を挙げることができる。	11~15
						国試出題基準:3-A、3-B、3-C、3-D		
2	11月7日	高橋 良	2	講義	7-1-2	4章 クラウンとブリッジの具備要件 GIO:ブリッジの構造力学的要件を知るために、「材料学的要件」「力学的安定性」「維持力」について理解する。	①一般的な咬合力と咀嚼力を表にまとめることができる。 ②耐摩耗性の特徴を挙げることができる。 ③熱膨張係数が異なる場合に起こる現象を2つ挙げることができる。 ④成形性の特徴を挙げることができる。 ⑤アンテの法則の意味を挙げることができる。(令3問60) ⑥デュシャンジュの指数を挙げることができる。 ⑦歯冠修復物の維持力の要素を3つ挙げることができる。 ⑧機械的維持力について意味を挙げることができる。 ⑨化学的維持力について意味を挙げることができる。	27~33
						国試出題基準:4-B		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	11月8日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-1-6	8章 ブリッジ	①ワンピースキャスト法のブリッジ製作手順を 列挙することができる。 ②ワンピースキャストブリッジの製作上の注意 点を表にまとめることができる。	154 ～ 158
						GIO:ワンピースキャスト法による 白歯部全部金属ブリッジを製 作できるようになるために「製 作手順」「製作上の注意点」につ いて理解する。		
						国試出題基準:8-D		
4	11月8日	矢野 恭平 松山 大樹	1	演習	7-1-7	8章 ブリッジ	①陶材焼付金属ブリッジの製作手順を列挙 することができる。 ②陶材焼付金属ブリッジの製作上の注意 点を表にまとめることができる。	158 ～ 161
						GIO:陶材焼付金属ブリッジの 製作方法を知るために「製作手 順」「製作上の注意点」について 理解する。		
						国試出題基準:8-D		
5	11月14日	高橋 良	2	講義	7-1-15	4章 クラウンとブリッジの具備要件	①生体安全性を簡単に説明することができる。 ②ガルバニー腐食が発生しやすい場所を4 つ挙げる ③ガルバニー腐食を簡単に説明する ことができる。 ④歯冠修復物が色調変化を起こす原因を 挙げる ⑤唾液の化学的性質を挙げる ⑥腐食が起こす問題点を5つ挙げる ⑦金属アレルギーを起こりやすい金属を5つ 列挙 ⑧金属アレルギーが起こりにくい金属を2つ 列挙	33～36
						GIO:ブリッジの化学的要件を 理解するために、「生体安全性」 「ガルバニー電流」「耐変色性」 「耐食性」「アレルギー反応」を理 解する。		
						国試出題基準:4-C-a		
6	11月21日	高橋 良	2	講義	7-1-23	4章 クラウンとブリッジの具備要件	①歯の審美性を回復するための要件を5つ 挙げる ②審美的材料の歴史を表にまとめる ③男女の歯に付与する形を表にまとめる ④加齢に伴う歯の形態変化を挙げる ⑤ブラクトライアングルを図で示し場所を 特定 ⑥上下顎前歯部の被蓋関係を図で示し場 所を特定 ⑦E-ラインを図で示し場所を特定 ⑧顔貌に調和した微笑線を図で示す ⑨歯にみられる色調を表にまとめる ⑩歯の色を判断する客観的指標を2つ 挙げる ⑪心理的要件を簡単に説明	36～40
						GIO:ブリッジの審美的要件を 理解するために「材料学的要件」 「形態」「排列」「色調」「心理的 要件」について理解する。		
						国試出題基準:4-D		
7	11月20日	松山 大樹 矢野 恭平	2	演習	7-1-24	症例① 下顎白歯部ブリッジの製作 (ワンピースキャスト法)	①修正部位の指示を受けメモを取 ②修正部位を確認 ③教員による手直しの際に道具の扱 ④分からないことを質問 ⑤次回同じ作業を行うときのため、 コツやツボのノウハウを文字やイラ ストでまとめる	154 ～ 158
						GIO:白歯ブリッジの形態を正しく 認識するため、教員から作品の チェックと修正方法を聞き修正 点を見つける。		
						国試出題基準:		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
8	11月28日	高橋 良	2	講義	7-1-25	4章 クラウンとブリッジの具備要件 GIO:ブリッジを製作できるようになるために「支台装置」「ポンティックの種類と形態」について理解する。 国試出題基準:8-A、8-B-ab	①ブリッジの支台装置に使用されるクラウンを列挙することができる。 ②ブリッジの支台装置に使用できないクラウンを列挙することができる。 ③ポンティックの要件を6つ列挙することができる。 ④咬合力の負担を軽減するポンティックの形態を挙げることができる。 ⑤材質の違いによるポンティックの名称を4つ列挙することができる。 ⑥材質の違いによるポンティックの特徴を挙げることができる。 ⑦ポンティックの基底部形態による分類を9つ列挙することができる。 ⑧自浄作用の有無に基づくポンティックの分類を表にまとめることができる。 ⑨固定性ブリッジによる補綴部位と主に適応されるポンティックの種類および基底部の形態を表にまとめることができる。	147 ~ 152
9	12月5日	高橋 良	2	講義	7-1-26	8章 ブリッジ GIO:ブリッジを製作できるようになるために連結法の「種類」「適応用途」「要件」「連結部を含む歯列に与える咬合」について理解する。 国試出題基準:8-C-a.b	①ブリッジの連結法による分類を3つ挙げることができる。 ②ワンピースキャスト法の適応範囲を挙げることができる。(令3問59) ③鑲付け法に使用する鑲材の特徴を挙げることができる。 ④鑲付け法が有効な症例を挙げることができる。 ⑤陶材焼付金ブリッジの鑲付け法の特徴を挙げることができる。 ⑥半固定性連結に使用するアタッチメントの名称を挙げることができる。 ⑦キーアンドキーウェイを付与するための技工作業を挙げることができる。 ⑧半固定性連結を応用する症例を挙げることができる。(令4問68) ⑨可撤性連結に使用するアタッチメントを挙げることができる。 ⑩可撤性連結を付与するための技工作業を挙げることができる。 ⑪可撤性連結を応用する症例を挙げることができる。(令3問64) ⑫連結部の要件を3つ挙げることができる。 ⑬前歯部ブリッジに付与するアンテリアガイダンスを説明することができる。 ⑭前歯部ブリッジに付与する犬歯誘導咬合を説明することができる。 ⑮臼歯部ブリッジの支台歯の負担軽減する方法を5つ挙げることができる。 ⑯前歯部ブリッジの形態回復で参考にするものを挙げることができる。 ⑰前歯部ブリッジの形態回復で審美性を向上させる方法を挙げることができる。 ⑱多数歯欠損の症例でアンテリアガイダンスが不明な場合の対処方法を説明することができる。	152 ~ 154
10	3月11日	松山 大樹 石橋 洋一	5	講義	7-7-1	9章 インプラント GIO:インプラントを知るために「概要」「インプラントと生体」「治療の流れと歯科技工」「種類」「インプラントの咬合」「上部構造製作上の注意点」について理解する。 国試出題基準:9-A・B・C・E・F	①オッセオインテグレーションの意味を挙げることができる。 ②インプラント修復を図で示し、構成要素を3つ記入することができる。 ③インプラント体に用いられるチタンの表面処理を挙げることができる。 ④インプラント体が埋入されて骨結合を得るまでの過程を説明することができる。 ⑤手術用のサージカルガイドプレートの使用目的を挙げることができる。(令3問59)(令4問60) ⑥インプラントの治療計画の立案に使用する器具を挙げることができる。 ⑦フィクスチャーの形状による分類を4つ挙げ、特徴を記入することができる。 ⑧埋入部位による分類を4つ挙げ、特徴を記入することができる。 ⑨埋入手術の回数による分類を表にまとめることができる。 ⑩上部構造の固定方法を3つ挙げ、特徴を記入することができる。(令3問60) ⑪インプラントの咬合について注意点を挙げることができる。 ⑫上部構造製作技工の注意点を5つ挙げることができる。	165 ~ 171

【専門分野】 A. 有床義歯補綴治療における歯科技工(有床義歯技工学)	⑰有床義歯技工学 有床義歯の製作 *実務経験のある教員による授業科目
---	--

本学期的学習目標(GIO)
有床義歯で欠損歯列の対応ができるようになるため、講義と演習および実習を通して全部床義歯、部分床義歯の構成要素や機能、人工歯排列法、歯肉形成、削合、レジン重合法について理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット8 有床義歯の製作

学年	学期	曜日	時間	教室
2	前後期	月 土	9:00~9:45	博多メディカル専門学校 3階 302教室、 歯科技工実習室
			9:00~10:30	
			9:00~11:25	
			10:40~12:10	
			11:25~12:10	
			11:25~14:30	
			13:00~14:30	
			13:45~14:30	
			13:00~15:25	
			14:40~16:10	
15:25~16:10				

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	山田 誠、矢野 恭平、澤田 圭介、石橋 洋一
成績評価	講義末試験、実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	4月8日	石橋 洋一	1	講義	8-1	7章 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 GIO: 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を知るために、人工歯の「種類」と「選択方法」を理解する。 国試出題基準: 5-A-a, b 5-B	①人工歯の種類を材質別に4つに分類することができる。 ②前歯部人工歯の選択方法を2つ列挙することができる。 ③臼歯部人工歯の選択方法を4つ列挙することができる。	56~60
2	4月8日	石橋 洋一	1	演習	8-2	7章 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 GIO: 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を知るために、「前歯部人工歯の排列」を理解する。 国試出題基準: 5-C-a, b, c, d	①上顎前歯部唇側面の位置についてリップサポートの観点から述べることができる。 ②上顎中切歯唇側の位置を切歯乳頭から特定することができる。 ③上顎前歯部人工歯の切縁の位置について上顎法と下顎法の違いを説明することができる。 ④微笑線と排列の関連について述べることができる。 ⑤上顎前歯部の個性的排列のポイントを4つ挙げるすることができる。 ⑥個性排列において男性的か女性的、力強いかわいらしい感じを作る方法を述べることができる。 ⑦下顎前歯部の排列において優先しなければならぬ点を2つ述べることができる。	60~65

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	4月10日	石橋 洋一 山田 誠	5	実習	8-3	<p>症例① 前歯部人工歯排列と歯肉形成(上顎法)</p> <p>GIO:全部床義歯の製作を理解するため、前歯部だけの排列実習を行う。実習前準備として「作業用模型の製作」と「咬合器装着」を修得する。排列位置や手技に注意して「上顎中切歯」の排列を修得する。</p> <p>国試出題基準:5-C-a, b, c, d</p>	<p>【模型製作と咬合器装着】</p> <p>①石膏を型枠に注入し気泡がない作業用模型を製作することができる。</p> <p>②教員が準備した咬合堤を自分の模型に付着することができる。</p> <p>③咬合器と模型の位置関係に注意して正しい位置に咬合器装着することができる。</p> <p>④咬合器装着に必要な石膏分量を過不足なく用意することができる。</p> <p>⑤作業終了後に汚したところがないか点検し清掃することができる。</p> <p>⑥使用した器具を洗浄し元の位置に返納することができる。</p> <p>【上顎中切歯の排列】</p> <p>⑦正面観において切縁位置を咬合平面と同じ高さで排列することができる。</p> <p>⑧正面観において歯冠軸を87°程度にして、なおかつ左右対称にすることができる。</p> <p>⑨左右中切歯の接触点と正中線を一致させることができる。</p> <p>⑩側面観において咬合平面とのなす角度を80°で排列することができる。</p> <p>⑪切縁観において正中線と切縁のなす角度を90°で排列することができる。</p>	60~63
4	4月10日 4月11日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-4	<p>症例① 前歯部人工歯排列と歯肉形成(上顎法)</p> <p>GIO:全部床義歯の製作を理解するため、前歯部だけの排列実習を行う。排列位置や手技に注意して「上顎側切歯」の排列を修得する。</p> <p>国試出題基準:5-C-a, b, c, d</p>	<p>【上顎側切歯の排列】</p> <p>①正面観において切縁位置を咬合平面から0.5mm上方に排列することができる。</p> <p>②正面観において歯冠軸を82°程度にして、なおかつ左右対称にすることができる。</p> <p>③中切歯の遠心接触点と側切歯の近心接触点を一致させることができる。</p> <p>④側面観において咬合平面とのなす角度を82°で排列することができる。</p> <p>⑤切縁観において歯列弓の放物線を考慮した位置に排列することができる。</p>	60~63
5	4月12日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-5	<p>症例① 前歯部人工歯排列と歯肉形成(上顎法)</p> <p>GIO:全部床義歯の製作を理解するため、前歯部だけの排列実習を行う。排列位置や手技に注意して「上顎犬歯」と「下顎中切歯」の排列を修得する。</p> <p>国試出題基準:5-C-a, b, c, d</p>	<p>【上顎犬歯の排列】</p> <p>①正面観において切縁位置を咬合平面から1.0mm上方に排列することができる。</p> <p>②正面観において歯冠軸を82°程度にして、なおかつ左右対称にすることができる。</p> <p>③側切歯の遠心接触点と犬歯の近心接触点を一致させることができる。</p> <p>④側面観において咬合平面とのなす角度を90°で排列することができる。</p> <p>⑤切縁観において歯列弓の放物線を考慮した位置に排列することができる。</p> <p>【下顎中切歯の排列】</p> <p>⑥正面観において歯冠軸を90°程度にして、なおかつ左右対称にすることができる。</p> <p>⑦左右中切歯の接触点と正中線を一致させることができる。</p> <p>⑧側面観において咬合平面とのなす角度を79°で排列することができる。</p> <p>⑨切縁観において正中線と切縁のなす角度を90°で排列することができる。</p> <p>⑩オーバージェットとオーバーバイトを付与することができる。</p> <p>⑪咬頭嵌合位において上顎前歯と接触させないで排列できているか確認することができる。</p>	60~63

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
6	4月12日	石橋 洋一 山田 誠	3	実習	8-6	症例① 前歯部人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【下顎側切歯の排列】 ①正面観において歯冠軸を90°程度にして、 なおかつ左右対称にすることができる。 ②中切歯の遠心接触点と側切歯の近心接 触点を一致させることができる。 ③側面観において咬合平面とのなす角度を 80°で排列することができる。 ④切縁観において歯列弓の放物線を考慮し た位置に排列することができる。 ⑤オーバージェットとオーバーバイトを付与す ることができる。 ⑥咬頭嵌合位において上顎前歯と接触させな いで排列できているか確認することができる。 【下顎犬歯の排列】 ⑦正面観において歯冠軸を90°程度にして、 なおかつ左右対称にすることができる。 ⑧側切歯の遠心接触点と犬歯の近心接 触点を一致させることができる。 ⑨側面観において咬合平面とのなす角度を 90°で排列することができる。 ⑩咬合面観において歯列弓の放物線を考 慮した位置に排列することができる。 ⑪オーバージェットとオーバーバイトを付与す ることができる。 ⑫咬頭嵌合位において上顎前歯と接触させな いで排列できているか確認することができる。 ⑬スマイリングラインの調和と左右対称のバ ランスをとることができる。	60~63
						GIO:全部床義歯の製作を理解す るため、前歯部だけの排列実習 を行う。排列位置や手技に注 意して「下顎側切歯」と「下顎犬歯」 の排列を修得する。		
7	4月13日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-7	症例① 前歯部人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【歯肉形成】 ①歯肉の厚みが足りない部位を確認し、適 切な量のワックスを盛ることができる。 ②(唇側)天然歯の歯肉を模倣した歯槽部 の豊隆や歯肉縁および歯間乳頭を仕上げ ることができる。 ③(舌側)発音を考慮して自然に近い形態に 形成することができる。	76~79
						GIO:全部床義歯の製作を理解す るため、前歯部だけの排列実習を 行う。咀嚼、発音、審美性および舌 感に注意した「歯肉形成」の手技を 修得する。		
8	4月13日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	8-8	症例① 前歯部人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	①修正部位の指示を受けメモを取ることが できる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に 注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コツやツボ のノウハウを文字やイラストでまとめること ができる。	
						GIO:前歯部人工歯排列と歯肉形 成の形態を正しく認識するため、教 員から作品のチェックと修正方法を 聴き修正点を見つける。		
9	4月13日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-8	症例① 前歯部人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試 みる可以尝试。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べること ができる。 ③上手くないときは再度質問すること ができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むこと ができる。	
						GIO:前歯部人工歯排列と歯肉形 成の形態を正しく認識するため、教 員から作品のチェックと修正方法 を聴き修正点を見つける。		
10	4月14日	石橋 洋一	1	講義	8-9	7章 全部床義歯の人工歯排列と 歯肉形成	【頬舌の排列位置】 ①歯槽頂間線法則について述べること ができる。 ②高齢無歯顎患者が多く占める現代での歯 槽頂間線の考え方を述べること ができる。 ③ニュートラルゾーンについて述べる ことができる。 ④天然歯があった位置とパウンドラインの 関係について述べること ができる。(今5問42) ⑤図7-22歯槽頂間線の法則と義歯の安定 との関係を理解することができる。 ⑥ニュートラルゾーンに関わる筋の種 類を3つ挙げる ことができる。 ⑦ニュートラルゾーンの別名を挙 げることができる。 【垂直的排列位置】 ⑧仮想咬合平面とレトロモラーパッドの 関係を理解することができる。 ⑨レトロモラーパッド以外に参考にする 要素を2つ挙げる ことができる。	65~67
						GIO:全部床義歯の歯肉形成を知 るため、臼歯部人工歯排列の頬 舌的排列位置と垂直的排列位置 を理解する。		
						国試出題基準:5-C-a, b		
						国試出題基準:5-E-a, b, c		
						国試出題基準:5-C-a, b, c, d 5-E-a, b, c		
						国試出題基準:5-E-a, b, c		
						国試出題基準:5-D-a, b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
11	4月14日	石橋 洋一	1	講義	8-10	7章 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 GIO:全部床義歯の人工歯排列を知るために、臼歯部人工歯の排列の「上顎法による排列」と「下顎法による排列」を理解する。 国試出題基準:5-D-a, b	【上顎法による排列】 ①上顎法と呼ばれる理由を述べることができる。 ②上顎法で重視している項目を挙げることができる。 ③テンチの間隙を設定する部位と理由および間隙の量を挙げることができる。 ④下顎咬合堤の平面から人工歯の咬頭に間隙をつくる数値を挙げることができる。 ⑤上顎法で排列する歯の順番を説明することができる。 【下顎法による排列】 ⑥下顎法と呼ばれる理由を述べることができる。 ⑦下顎法で重視している項目を挙げることができる。 ⑧テンチの間隙を設定する部位と理由および間隙の量を挙げることができる。 ⑨上顎咬合堤の平面から人工歯の咬頭に間隙をつくる数値を挙げることができる。 ⑩下顎法で排列する歯の順番を説明することができる。	68~72
12	4月14日 4月17日	石橋 洋一 山田 誠	6	実習	8-11	症例② 臼歯部人工歯排列と歯肉形成(上顎法) GIO:全部床義歯の製作を理解するため、臼歯部だけの排列実習を行う。実習前準備として「作業用模型の製作」と「咬合器装着」を修得する。排列位置や手技に注意して「上顎第一小臼歯」と「上顎第二小臼歯」の排列を修得する。 国試出題基準:5-D-a, b	【模型製作と咬合器装着】 ①石膏を型枠に注入し気泡がない作業用模型を製作することができる。 ②教員が準備した咬合堤を自分の模型に付着することができる。 ③咬合器と模型の位置関係に注意して正しい位置に咬合器装着することができる。 ④咬合器装着に必要な石膏分量を過不足なく用意することができる。 ⑤作業終了後に汚したところがないか点検し清掃することができる。 ⑥使用した器具を洗浄し元の位置に返納することができる。 【上顎第一小臼歯の排列】 ⑦正面観において頬側の豊隆を犬歯に調和させることができる。 ⑧正面観において頬側咬頭と舌側咬頭を同じ高さに揃えることができる。 ⑨犬歯の遠心接触点と第一小臼歯の近心接触点を一致させることができる。 ⑩側面観において咬合平面とのなす角度を90°で排列することができる。 ⑪咬合面観において歯列弓の幅が狭くならないように排列することができる。 【上顎第二小臼歯の排列】 ⑫正面観において頬側の豊隆を第一小臼歯に調和させることができる。 ⑬正面観において頬側咬頭と舌側咬頭を同じ高さに揃えることができる。 ⑭第一小臼歯の遠心接触点と第二小臼歯の近心接触点を一致させることができる。 ⑮側面観において咬合平面とのなす角度を90°で排列することができる。 ⑯咬合面間において第一小臼歯と第二小臼歯の中心溝を一致させることができる。	38~40 68~69
13	4月18日	石橋 洋一 山田 誠	3	実習	8-12	症例② 臼歯部人工歯排列と歯肉形成(上顎法) GIO:全部床義歯の製作を理解するため、臼歯部だけの排列実習を行う。排列位置や手技に注意して「上顎第一大臼歯」の排列を修得する。 国試出題基準:5-D-a, b	【上顎第一大臼歯の排列】 ①正面観において頬側の豊隆を第二小臼歯に調和させることができる。 ②正面観において近心舌側咬頭を咬合平面と同じ高さに揃えることができる。 ③正面観において咬合平面に対して側方調節弯曲を付与することができる。 ④第二小臼歯の遠心接触点と第一大臼歯の近心接触点を一致させることができる。 ⑤側面観において咬合平面に対して20°の前後調節弯曲を付与することができる。 ⑥咬合面間において小臼歯の中心溝と第一大臼歯の中心溝を調和させることができる。	68~69

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
14	4月19日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-13	症例② 臼歯部人工歯排列と 歯肉形成(上顎法) GIO:全部床義歯の製作を理解する ため、臼歯部だけの排列実習を 行う。排列位置や手技に注意して 「下顎第二小臼歯」の排列を修得 する。 国試出題基準:5-D-a, b, c, d, e, f	【上顎第二大臼歯の排列】 ①正面観において頬側の豊隆を第一大 臼歯に調和させることができる。 ②正面観において第一大臼歯の流れを みて咬合平面から挙上させることが できる。 ③正面観において咬合平面に対して 側方調節彎曲を付与することができる。 ④第一大臼歯の遠心接触点と第二大 臼歯の近心接触点を一致させること ができる。 ⑤側面観において咬合平面に対して 20°の前後調節彎曲を付与するこ とができる。 ⑥咬合面間において第一大臼歯の 中心溝と第二大臼歯の中心溝を調 和させることができる。 【下顎第一大臼歯の排列】 ⑦側面観において上顎大白歯の近 心頬側咬頭を下顎大白歯の頬側溝 に一致させることができる。 ⑧上下第一大臼歯を咬頭対窩の関 係で緊密に咬合させることができ る。 ⑨咬合接触が再現できない場合は 早期接触部位を削合して排列する ことができる。	68~69
15	4月20日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-14	症例② 臼歯部人工歯排列と 歯肉形成(上顎法) GIO:全部床義歯の製作を理解する ため、臼歯部だけの排列実習を 行う。排列位置や手技に注意し て「下顎第二小臼歯」の排列を 修得する。 国試出題基準:5-D-a, b, c, d, e, f	【下顎第二小臼歯の排列】 ①側面観において歯冠軸がほぼ垂 直になるように排列することがで きる。 ②上顎第二小臼歯の舌側咬頭を下 顎第二小臼歯に咬合させることが できる。 ③下顎第二小臼歯の頬側咬頭を上 顎第二小臼歯に咬合させることが できる。 ④下顎第一大臼歯の近心接触点と 第二小臼歯の遠心接触点を一致さ せることができる。 ⑤正面観において頬側の豊隆を下 顎犬歯と下顎大白歯に調和させる ことができる。	68~69
16	4月22日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-15	症例② 臼歯部人工歯排列と 歯肉形成(上顎法) GIO:全部床義歯の製作を理解する ため、臼歯部だけの排列実習を 行う。排列位置や手技に注意し て「下顎第一小臼歯」と「下顎第 二大白歯」の排列を修得する。 国試出題基準:5-D-a, b, c, d	【下顎第一小臼歯の排列】 ①側面観において歯冠軸がほぼ垂 直になるように排列することがで きる。 ②上顎第一小臼歯の舌側咬頭は下 顎第一小臼歯に咬合させないこと を理解することができる。 ③下顎第一小臼歯の頬側咬頭を上 顎第一小臼歯に咬合させることが できる。 ④下顎第二小臼歯の近心接触点と 第一小臼歯の遠心接触点を一致さ せることができる。 ⑤正面観において頬側の豊隆を下 顎犬歯と下顎小臼歯大白歯に調 和させることができる。 【下顎第二大臼歯の排列】 ⑥側面観において上顎大白歯の近 心頬側咬頭を下顎大白歯の頬側溝 に一致させることができる。 ⑦上下第二大臼歯を咬頭対窩の関 係で緊密に咬合させることができ る。 ⑧咬合接触が再現できない場合は 早期接触部位を削合して排列する ことができる。	68~69
17	4月22日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-16	症例② 臼歯部人工歯排列と 歯肉形成(上顎法) GIO:全部床義歯の製作を理解する ため、臼歯部だけの排列実習を 行う。咀嚼、発音、審美性およ び舌感に注意した「歯肉形成」の 手技を修得する。 国試出題基準:5-E-a, b, c	【歯肉形成】 ①歯肉の厚みが足りない部位を確 認し、適切な量のワックスを盛る ことができる。 ②(頬側)歯槽部の陥没を回復し清 掃性を考慮した形態に上げること ができる。 ③(舌側)舌房を考慮して滑らかな 形態に上げることができる。	76~79
18	4月24日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	8-17	症例② 臼歯部人工歯排列と 歯肉形成(上顎法) GIO:臼歯部人工歯排列と歯肉形 成の形態を正しく認識するため、 教員から作品のチェックと修正方 法を聞き修正点を見つける。 国試出題基準:5-C-a, b, c, d	①修正部位の指示を受けメモを取 ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の 扱い方に注目し模倣することがで きる。 ④分からないことを質問すること ができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため 、コツやツボのノウハウを文字や イラストでまとめることができる。	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
19	4月25日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-17	症例② 臼歯部人工歯排列と 歯肉形成(上顎法) GIO:臼歯部人工歯排列と歯肉形 成の形態を正しく再現するため、教 員から伝えられたところを修正する。 国試出題基準:5-E-a, b, c	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試 みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べること ができる。 ③上手くいかないときは再度質問すること ができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むこと ができる。	
20	4月26日	石橋 洋一	1	講義	8-18	7章 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 GIO:全部床義歯の人工歯排列の 歯肉形成を知るため、「咬合平衡 の種類」と「クリステンセン現象 のメカニズム」を理解する。 国試出題基準:5-D-e	【咬合平衡の種類】 ①咬合平衡の種類を3つ列挙し特徴を挙げ ることができる。(令2問40) ②両側性咬合平衡の目的と咬合状態を説 明することができる。 ③片側性咬合平衡の目的と咬合状態を説 明することができる。 【クリステンセン現象のメカニズム】 ④図7-49クリステンセン現象を図で示し矢状 と側方の特徴を挙げることができる。 ⑤前後の調節彎曲の特徴を挙げることが できる ⑥側方的調節彎曲の特徴を挙げることが できる。	72~73
21	4月26日	石橋 洋一	1	講義	8-19	7章 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 GIO:全部床義歯の人工歯排列の 歯肉形成を知るため、「全部床義 歯に付与する咬合様式」を理解 する。 国試出題基準:5-D-f	①全部床義歯に与える咬合様式を4つ列 挙することができる。 ②フルバランスドオクルージョンの特徴を述 べるることができる。 ③図7-50フルバランスドオクルージョンと同 じ図を描き咬合小面を特定することが できる。 ④リングライズドオクルージョンの特徴を述 べるることができる。 ⑤図7-51リングライズドオクルージョンと同 じ図を描き咬合接触点を特定すること ができる。 ⑥交叉咬合排列の特徴を述べること ができる。 ⑦ミューラー法とギージー法の目的と排 列方法を2種挙げて、特徴を説明 することができる。 ⑧モノプレーンオクルージョンの特徴を説 明することができる。 ⑨モノプレーンオクルージョンの目的と咬 合の状態を説明することができる。	73~76
22	4月26日	石橋 洋一	2	講義 演習	8-20	7章 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 GIO:全部床義歯の人工歯排列の 歯肉形成を知るため、「唇側の歯 肉形成」、「頬側の歯肉形成」、「舌 側の歯肉形成」、「口蓋部の歯 肉形成」、「床縁の形成」、「ろう 義歯の試適」を理解する。 国試出題基準:5-E-a, b, c	【歯肉形成】 ①唇側の歯肉形成で重要な点を挙げるこ とができる。 ②頬側の歯肉形成で重要な点を挙げるこ とができる。 ③舌側の歯肉形成で重要な点を挙げるこ とができる。 ④S字状隆起を図示し場所を特定すること ができる。(令2問41)(令3問43) ⑤口蓋ヒダの目的と不適切な付与で起こ ることを挙げることができる。 ⑥床縁に付与するコルベン状を図で示し場 所を特定することができる。 【ろう義歯の試適】 ⑦ろう義歯の点検項目を5つ列挙すること ができる。 ⑧パトグラムを利用して口蓋部の形態修正 部位を認識することができる。	76~79

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
23	4月27日 5月 8日	石橋 洋一 山田 誠	6	実習	8-21	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【模型製作】 ①石膏を型枠に注入し気泡がない作業用模型を製作することができる。 【咬合堤製作】 ②常温重合レジンを用いて基礎床を製作することができる。 ③パラフィンワックスで標準的な咬合堤を製作することができる。 【咬合器装着】 ④咬合器と模型の位置関係に注意して正しい位置に咬合器装着することができる。 ⑤咬合器装着に必要な石膏分量を過不足なく用意することができる。 ⑥作業終了後に汚したところがないか点検し清掃することができる。 ⑦使用した器具を洗浄し元の位置に返納することができる。 【上顎前歯部の排列】 ①症例1を参考に上顎中切歯・上顎側切歯・上顎犬歯の人工歯排列を行うことができる。 ②上顎前歯を排列した後、審美性を意識して排列の修正を行うことができる。	38~40 60~64
						GIO:全部床義歯の人工歯排列の 歯肉形成を知るため、蠟義歯の 点検項目、パラトグラムの利用 方法を理解する。		
						国試出題基準:5-E-c		
24	5月9日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-22	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【下顎前歯部の排列】 ①症例1を参考に下顎中切歯・下顎側切歯・下顎犬歯の人工歯排列を行うことができる。 ②上下の正中線に合わせて人工歯排列することができる。	60~64
						GIO:全部床義歯の人工歯排列と 歯肉形成ができるようになるため、 「下顎前歯部の排列」を修得する。		
						国試出題基準:5-C-a, b, c, d		
25	5月9日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-23	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【上顎臼歯部の排列】 ①症例2を参考に上顎小白歯・上顎大白歯の人工歯排列を行うことができる。 ②咬合平面を参考に前後の調節彎曲を付与することができる。 ③咬合平面を参考に側方的調節彎曲を付与することができる。	65~71
						GIO:全部床義歯の人工歯排列と 歯肉形成ができるようになるため、 「上顎臼歯部の排列」を修得する。		
						国試出題基準:5-D-a, b, c, d		
26	5月10日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-24	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【下顎臼歯部の排列】 ①症例2を参考に下顎小白歯・下顎大白歯の人工歯排列を行うことができる。 ②咬頭嵌合位で上顎臼歯と咬合させることができる。 ③排列時に早期接触部位があり排列が困難な場合は咬合面の削合を行うことができる。	65~71
						GIO:全部床義歯の人工歯排列と 歯肉形成ができるようになるため、 下顎臼歯部の人工歯排列を身につける。		
						国試出題基準:5-D-a, b, c, d		
27	5月11日 5月12日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-25	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【咬頭嵌合位の削合】 ①咬合紙を使用して咬頭嵌合位での接触部位を特定することができる。 ②不正な印記部を削合することができる。 ③前歯部と臼歯部が均等に咬合するように調整することができる。 ④削合時に排列の誤りがあれば排列の修正を行うことができる。 ⑤下顎前歯を咬合接触させるため上顎前歯舌側にセントリックストップを付与することができる。	91~99
						GIO:全部床義歯の人工歯排列と 歯肉形成ができるようになるため、 「咬頭嵌合位の選択削合」を修得する。		
						国試出題基準:7-B-a, b, c, d		
28	5月13日 5月15日	石橋 洋一 山田 誠	6	実習	8-26	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【偏心咬合位の選択削合】(側方運動) ①側方運動において作業側の数歯と平衡側が1か所あたりに削合することができる。 ②調節ネジを3mm、2mm、1mmと動かし、作業側と平衡側が接触するように削合することができる。 【偏心咬合位の選択削合】(前方運動) ③前方運動において前歯部と最後方の臼歯部があたるように削合することができる。 ④調節ネジを3mm、2mm、1mmと動かし、前歯部と臼歯部が接触するように削合することができる。	91~99
						GIO:全部床義歯の人工歯排列と 歯肉形成ができるようになるため、 「偏心咬合位の選択削合」を修得する。		
						国試出題基準:7-B-a, b, c, d		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
29	5月15日 5月16日 5月17日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-27	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【唇側面の歯肉形成】 ①症例1を参考に審美的かつ機能的な唇側 面の歯肉形成を行うことができる。 ②埋没・重合を行った後にエラーとなる箇所 がないか点検と修正を行うことができる。 【頬側面の歯肉形成】 ③症例2を参考に機能的な頬側面の歯肉形 成を行うことができる。 ④埋没・重合を行った後にエラーとなる箇所 がないか点検と修正を行うことができる。	76~79
						GIO:全部床義歯の歯肉形成がで きるようになるため、「唇側面の歯肉 形成」と「頬側面の歯肉形成」を修 得する。		
						国試出題基準:7-B-a, b, c, d		
30	5月17日 5月18日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-28	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【舌側面の歯肉形成】 ①症例1を参考に機能的な舌側面の歯肉形 成を行うことができる。 ②下顎に舌房が確保された形態を付与す ることができる。	76~79
						GIO:全部床義歯の歯肉形成がで きるようになるため、「舌側面の歯肉 形成」を修得する。		
						国試出題基準:5-E-a		
31	5月18日 5月19日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-29	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【口蓋部の歯肉形成】 ①症例1を参考に口蓋部の歯肉形成をす ることができる。 ②S字状隆起を付与することができる。	76~79
						GIO:全部床義歯の歯肉形成がで きるようになるため、「口蓋部の歯肉 形成」を修得する。		
						国試出題基準:5-E-a		
32	5月21日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-30	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	【床縁の形成】 ①義歯床縁をコルベン状に形成すること ができる。 ②小帯部を避けて吸着しそうな形状を付 与することができる。 ③義歯内面にワックスを流して浮き上ら ないよう作業することができる。 【仕上げ】 ④歯ブラシを使用して表面仕上げをす ることができる。 ⑤トーチを使用して表面仕上げをす ることができる。 ⑥綿花を使用して表面仕上げをす ることができる。	76~79
						GIO:全部床義歯の歯肉形成がで きるようになるため、「床縁の形成」と 「仕上げ」を修得する。		
						国試出題基準:5-E-a, b		
33	5月22日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	8-31	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	①修正部位の指示を受けメモを取ること ができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方 に注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができ る。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コッ ツやツボのノウハウを文字やイラストで まとめることができる。	
						GIO:上下顎人工歯排列・歯肉形 成の形を正しく理解するため、教員 から作品のチェックと修正方法を聴 き修正点を見つける。		
						国試出題基準:5-C-a, b		
34	5月22日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-31	症例③ 上下顎人工歯排列と 歯肉形成(上顎法)	①教員の道具の扱い方を参考に修正を 試みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べ ることができる。 ③上手くいかないときは再度質問す ることができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むこ とができる。	
						GIO:上下顎人工歯排列・歯肉形 成の形を正しく理解するため、教員 から伝えられたところを修正する。		
						国試出題基準:5-E-a, b, c		
35	5月24日	石橋 洋一	1	演習	8-32	17章 部分床義歯の人工歯排列、 削合、歯肉形成	【審美性の回復】 ①人工歯の形態と色調を決定する要素を2 つ列挙することができる。 ②部分床義歯の正中部の調整方法を挙げ ることができる。 ③部分床義歯の前歯部人工歯排列で残 存歯と調和のとれた歯軸傾斜の与え方 を挙げることができる。 ④前歯部人工歯排列の前後的位置のポ イントを挙げることができる。 ⑤切縁、歯頸部の上下的位置のポイン トを挙げることができる。 ⑥審美性を向上させる人工歯の形態修 正のポイントを挙げることができる。 ⑦前歯部人工歯排列の手順を3つ列挙 することができる。 【発音の回復】 ⑧発音の回復を促す人工歯排列のポ イントを挙げることができる。	201 ~ 204
						GIO:部分床義歯の人工歯排列、 削合、歯肉形成を知るため、「前 歯部排列」の「審美性の回復」と 「発音の回復」について理解す る。		
						国試出題基準:16-A, B-a, b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
36	5月24日	石橋 洋一	2	演習	8-33	17章 部分床義歯の人工歯排列、 削合、歯肉形成	【白歯部排列】 ①部分床義歯に与える白歯部人工歯排列の原則を3つ列挙することができる。 【対合歯との関係】 ②対合歯との関係で対合歯が義歯の場合に考慮するポイントを挙げることができる。 ③対合歯が天然歯の場合に考慮するポイントを挙げることができる。 ④対合歯との間隙が少ない場合に注意するポイントを挙げることができる。 【支台装置との関係】 ⑤支台装置が欠損側に設定されている場合の対処法を3つ列挙することができる。	204 205
						GIO:部分床義歯の人工歯排列、 削合、歯肉形成を知るため、「白歯部排列」の「対合歯との関係」と「支台装置との関係」について理解する。		
						国試出題基準:13-C		
37	5月25日 5月26日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-34	症例④ 人工歯排列と削合および 歯肉形成(部分床)	【前歯部の人工歯排列】 ①正中線を考慮して人工歯排列することができる。 ②残存歯を考慮して人工歯排列することができる。 ③上顎中切歯と側切歯の前後的位置を変化させ立体感をつくることができる。 ④歯列弓や咬合平面と調和した位置に切縁を設定することができる。 ⑤歯槽部や隣在歯の間隙など排列が困難な場合は形態修正をすることができる。	201 204
						GIO:部分床義歯の人工歯排列と 削合および歯肉形成ができるようになるため、「前歯部の人工歯排列」を修得する。		
						国試出題基準:13-B		
38	5月29日 5月30日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-35	症例④ 人工歯排列と削合および 歯肉形成(部分床)	【人工歯基底面の削除】 ①咬合紙を用いて人工歯基底面の接触している部位を特定することができる。 ②支台装置が人工歯基底面に接触している場所を削除することができる。 【白歯部の人工歯排列】 ③隣在歯と咬合平面を参考に上顎白歯の人工歯排列を行うことができる。 ④排列された上顎白歯と咬合せながら下顎白歯の人工歯排列を行うことができる。 ⑤隣在歯や咬合面など排列が困難な場合は形態修正をすることができる。	204 206
						GIO:部分床義歯の人工歯排列と 削合および歯肉形成ができるようになるため、「人工歯基底面の削除」「白歯部の人工歯排列」を修得する。		
						国試出題基準:13-C		
39	5月31日	石橋 洋一	1	演習	8-36	17章 部分床義歯の人工歯排列、 削合、歯肉形成	【選択削合】(白歯部の削合) ①咬頭嵌合位における削合の注意点を述べることができる。 ②偏心咬合位における削合の順番を述べる ことができる。 ③偏心咬合位における削合で咬頭と残す咬頭を挙げることができる。 ④平衡側の早期接触が起こりやすい場所を特定することができる。 ⑤対合歯が天然歯の場合の削合の注意点を述べる ことができる。 【選択削合】(前歯部の削合) ⑥残存歯に調和した削合を行う注意点を述べる ことができる。	206 208
						GIO:部分床義歯の人工歯排列、 削合、歯肉形成を知るため、「選択削合」について理解する。		
						国試出題基準:13-C		
40	5月31日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-37	症例④ 人工歯排列と削合および 歯肉形成(部分床)	【咬頭嵌合位の削合】 ①咬合紙を使用して咬頭嵌合位での選択削合を することができる。 ②残存歯と人工歯が同じ高さで等しく咬合する ように削合することができる。	206 208
						GIO:部分床義歯の人工歯排列と 削合および歯肉形成ができるようになるため、「咬頭嵌合位の削合」を修得する。		
						国試出題基準:13-C		
41	6月1日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-38	症例④ 人工歯排列と削合および 歯肉形成(部分床)	【偏心咬合位の削合】 ①咬合紙を使用して偏心咬合位での選択削合を することができる。 ②偏心咬合位で選択削合をする手順を挙げる 挙げることができる。 ③残存歯と人工歯が同じ高さで等しく咬合する ように削合することができる。	206 208
						GIO:部分床義歯の人工歯排列と 削合および歯肉形成ができるようになるため、「偏心咬合位の削合」を修得する。		
						国試出題基準:13-C		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
42	6月2日	石橋 洋一	2	講義	8-39	17章 部分床義歯の人工歯排列、 削合、歯肉形成	【歯肉形成】 ①部分床義歯の歯肉形成の目的を3つ列挙することができる。 ②部分床義歯の歯肉形成で審美性に影響を与える項目を6つ列挙することができる。 ③発音機能に影響を与える歯肉形成を3つ列挙することができる。 ④良好な清掃性を与える歯肉形成を挙げることができる。 ⑤唇頬側面を歯肉形成する手順を挙げることができる。 ⑥歯頸部の歯肉形成を行うときのナイフの角度を挙げることができる。 ⑦舌側の歯肉形成を行うときのポイントを3つ列挙することができる。 ⑧床縁の歯肉形成を行うときのポイントを2つ列挙することができる。 ⑨義歯床表面の仕上げをするときのポイントを2つ列挙することができる。	208
						GIO:部分床義歯の人工歯排列、 削合、歯肉形成を知るため、「歯肉形成」について理解する。		
						国試出題基準:13-D		
43	6月3日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-40	症例④ 人工歯排列と削合および 歯肉形成(部分床)	【唇頬側面の歯肉形成】 ①支台装置、人工歯および義歯床の間隙をワックスで埋めることができる。 ②指定された角度で歯頸部のワックスをカットすることができる。 ③人工歯に付着した過剰なワックスを除去することができる。 ④歯間乳頭を人工歯の接触点に達するまでの確に形成することができる。 ⑤滑らかで自然感のある歯根部の豊隆を付与することができる。 ⑥清掃性を考慮した唇頬側面の歯肉形成を行うことができる。 【舌側面の歯肉形成】 ⑦人工歯舌側面の歯頸部を人工的に形成することができる。 ⑧中間欠損か遊離端欠損か判断して残存歯の歯頸線の位置を参考にすることができる。 ⑨食物残渣が停滞しないような歯頸部形態を形成することができる。 ⑩清掃性を考慮した舌側面の歯肉形成を行うことができる。	208 211
						GIO:部分床義歯の歯肉形成ができるようになるため、「唇頬側面の歯肉形成」と「舌側面の歯肉形成」を修得する。		
						国試出題基準:13-D		
44	6月5日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-41	症例④ 人工歯排列と削合および 歯肉形成(部分床)	【床縁の形成】 ①義歯床の床縁をコルベン状に形成することができる。 ②中間欠損では床縁を薄くして移行的に仕上げることができる。 【義歯床表面の仕上げ】 ③歯ブラシを使用して表面仕上げをすることができる。 ④トーチを使用して表面仕上げをすることができる。 ⑤綿花を使用して表面仕上げをすることができる。	208 211
						GIO:部分床義歯の歯肉形成ができるようになるため、「床縁の形成」と「義歯床表面の仕上げ」を修得する。		
						国試出題基準:13-D		
45	6月5日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	8-42	症例④ 上下顎人工歯排列 (部分床)と歯肉形成の フィードバック	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うための、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。	
						GIO:上下顎人工歯排列(部分床)と歯肉形成の形を正しく理解するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点を見つける。		
						国試出題基準:13-B, C, D		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
46	6月7日	石橋 洋一 山田 誠	3	実習	8-42	症例④ 上下顎人工歯排列 (部分床)と歯肉形成の フィードバック	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試 みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べること ができる。 ③上手くいかないときは再度質問すること ができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むこと ができる。	
						GIO:上下顎人工歯排列・歯肉形 成の形を正しく理解するため、教員 から伝えられたところを修正する。		
						国試出題基準:13-B, C, D		
47	6月8日	石橋 洋一	2	演習	8-43	8章 全部床義歯の埋没と重合	【埋没の前準備】 ①咬合器再装着を行う理由を説明すること ができる。 ②人工歯の咬合関係に変化が生じる理由を 2つ挙げることもできる。 ③咬合器再装着の方法を2つ列挙すること ができる。 【スプリットキャスト】 ④スプリットキャスト法の特徴を挙げるこ とができる。(令2問43)(令3問45) ⑤テンチの歯型法の特徴を挙げるこ とができる。	81~82
						GIO:全部床義歯の埋没と重合を 知るため、「埋没の前準備」を理解 する。		
						国試出題基準:6-A-a		
48	6月8日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	8-44	症例③ 全部床義歯の埋没と 重合(加熱重合レジソ湿式 重合法)	【テンチの歯型採得】 ①咬合器に器具を適切に取り付けること ができる。 ②咬合平面板に均等量の石膏泥を盛り付 けることができる。 ③インサイザルピンの浮き上りに注意して上 顎歯列の切縁および咬合面の陰型を採 得することができる。	90
						GIO:全部床義歯の咬合器再装着 を行うために、「テンチの歯型採得」 を修得する。		
						国試出題基準:6-A-a		
49	6月12日	石橋 洋一	2	演習	8-45	8章 全部床義歯の埋没と重合	①加熱重合レジソの埋没法を3つ列挙するこ とができる。 ②アメリカ式埋没法のフラスコ埋没を図で示 し特徴を挙げるこ とができる。 ③フランス式埋没法のフラスコ埋没を図で示 し特徴を挙げるこ とができる。 ④通路の構造を図で示し特徴を挙げるこ とができる。 ⑤アメリカ式埋没法とフランス式埋没法のフ ラスコ埋没を図で示し名称を記入するこ とができる。 ⑥アメリカ式、フランス式およびアメリカフラン ス併用式埋没法の利点と欠点を列挙する こ とができる。 ⑦床縁の封鎖から三次埋没までの技工操作 における注意点を列挙するこ とができる。	82~84
						GIO:全部床義歯の埋没と重合を 知るため、「加熱重合レジソの埋 没」を理解する。		
						国試出題基準:6-A-b		
50	6月12日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	8-46	症例③ 全部床義歯の埋没と重合 (加熱重合レジソ湿式重合法)	【蠟義歯の辺縁封鎖】 ①高温操作したパラフィンワックスを運ぶこ と ができる。 ②不要な部分にワックスを流さないように作 業するこ とができる。 ③ワックスを流した後、形態修正を行うこ と ができる。 ④義歯の辺縁をパラフィンワックスで辺縁封 鎖するこ とができる。	82~85
						GIO:全部床義歯の埋没を行うた め、「蠟義歯の辺縁封鎖」を修得 する。		
						国試出題基準:6-A-b		
51	6月13日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	8-47	症例③ 全部床義歯の埋没と重合 (加熱重合レジソ湿式重合法)	【作業用模型の基底面削除】 ①埋没スペースを確保しながら作業用模型 の基底面を削除するこ と ができる。 【一時埋没】 ②作業用模型に吸水させた後、余分な水分 を除去するこ と ができる。 ③石膏の硬化時間以内に下部フラスコに模 型を埋没するこ と ができる。 ④石膏の硬化時間以内に余剰分の石膏を 流水下で整えるこ と ができる。 ⑤一次埋没の際にアンダーカットができてい ないか確認または修正するこ と ができる。	82~85
						GIO:全部床義歯の埋没を行うた め、「作業用模型の基底面削除」お よび「一時埋没」を修得する。		
						国試出題基準:6-A-b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
52	6月14日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	8-48	症例③ 全部床義歯の埋没と重合 (加熱重合レジン湿式重合法) GIO:全部床義歯の埋没を行うため、「通路の付与」と「二次埋没」および「三次埋没」を修得する。	【通路の付与】 ①通路を付ける目的を述べることができる。 ②通路の構造を理解して石膏に通路を形成することができる。 【二次埋没】 ③分離剤を塗布し二次石膏を規定の厚みで盛り上げることができる。 ④石膏の硬化時間以内に切縁と咬頭頂を露出させることができる。 ⑤石膏の硬化時間以内に上部フラスクが密着できているか確認することができる。(令4問44) 【三次埋没】 ⑥上部フラスクを密着させたあと規定量の石膏を流し込むことができる。 ⑦蓋をのせ余剰分の石膏を洗い流しフラスクを閉じることができる。	82~85
						国試出題基準:6-A-b		
53	6月15日	石橋 洋一	3	演習	8-49	8章 全部床義歯の埋没と重合 GIO:全部床義歯の埋没と重合を知るため、「流ろう」、「レジンの填入」について理解する。	【流ろう】 ①流ろうの目的を挙げることができる。 ②ワックスの軟化温度と浸漬時間を挙げることができる。 ③ワックスがしみ込んだ時に起こることを列挙することができる。 【レジンの填入】 ④モノマーとポリマーを混和したときの状態変化と填入時期を挙げることができる。(令3問37)	85
						国試出題基準:6-B-a		
54	6月16日 6月17日	石橋 洋一	4	演習	8-50	8章 全部床義歯の埋没と重合 GIO:全部床義歯の埋没と重合を知るため、「加熱重合法」、「湿式重合法」、「油圧プレスの操作」、「乾式重合法」、「マイクロ波重合法」、「重合の失敗と原因」、「常温重合レジンの重合」と「ポリスルホン樹脂の成形」を修得する。について理解する。	【湿式重合法】 ①加熱重合レジンの湿式重合法を3つ列挙することができる。(令2問42) ②2ステップ法の温度と係留時間を列挙することができる。 ③低温長時間重合法の温度と係留時間を列挙することができる。 ④低温長時間重合法の利点を挙げることができる。 ⑤ヒートショック法の温度と時間を列挙することができる。 【油圧プレスの操作】 ⑥ポリエチレンフィルムを介在させる試適と余剰ノリの除去を説明することができる。 ⑦油圧プレスの機械を理解して操作することができる。 【乾式重合法】 ⑧熱源と現在の使用状況について述べることができる。 【マイクロ波重合法】 ⑨重合に必要なワット数と重合時間を挙げることができる。 ⑩専用フラスクの名称を挙げることができる。 【重合の失敗と原因】 ⑪気泡発生の原因を3つ挙げることができる。 ⑫義歯の変形原因を3つ挙げることができる。 ⑬硬度の低下原因を1つ挙げることができる。 ⑭人工歯の変位と破折の原因を1つ挙げることができる。 【常温重合レジンの重合】 ⑮常温重合レジンが優れている点を1つ挙げることができる。 ⑯流し込み法の手順と注入時期を述べることができる。 ⑰加圧注入法の特徴を挙げることができる。 【ポリスルホン樹脂の成形】 ⑱可塑化から注入までを説明することができる。	86~88
						国試出題基準:6-B-b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
55	6月17日 6月22日 6月23日	石橋 洋一 澤田 圭介	6	実習	8-51	症例③ 全部床義歯の埋没と重合 (加熱重合レジン湿式重合法)	【流ろう】 ①フラスクを70℃で温めてワックスを軟化することができる。 ②軟化したワックスをフラスクから取り出し重量を計ることができる。 ③上下フラスクに残留したワックスを流ろうすることができる。 【分離剤の塗布】 ④余剰水分を除去して上下フラスクの石膏面に分離材を塗布することができる。 【レジンの填入】 ⑤ワックス重量からモノマー量を計量することができる。 ⑥モノマーにポリマーをふりかけ、湿った砂状にすることができる。 ⑦レジンを餅状にすることができる。 ⑧フラスクに餅状のレジンを填入することができる。 ⑨ポリエチレンフィルムを介在させ油圧プレスで圧をかけることができる。 ⑩フラスクを開き、はみ出した余剰レジンを取り除くことができる。 【重合】 ⑪温水に浸漬し、湿式重合法によるレジン重合をすることができる。	85
						GIO:全部床義歯の埋没と重合ができるようになるため、「流ろうと分離剤の塗布」、「レジンの填入」、「重合」を修得する。		
56	6月23日	石橋 洋一	2	演習	8-52	9章 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨	【咬合器再装着の方法と特徴】 ①重合が完了した全部床義歯の咬合関係が変化する理由を挙げることができる。 ②重合が完了した義歯を削合・研磨するまでの技工作業の手順を4段階で説明することができる。 ③削合や研磨が完了して歯科医師に手渡す場合の咬合器再装着の方法を挙げることができる。 ④研磨した義歯を患者に試適した後咬合器再装着を行う方法を挙げることができる。 【スプリットキャスト法】 ⑤スプリットキャスト法の特徴を挙げることができる。 ⑥スプリットキャスト法における削合の順序を説明することができる。 【テンチの歯型法】 ⑦テンチの歯型法の作業手順を5つ列挙することができる。 ⑧フェイスボウトランスファー法の手順を6つ列挙することができる。	89~91
						GIO:全部床義歯の咬合器への再装着を知るため、「咬合器再装着の方法と特徴」について理解する。		
57	6月23日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	8-53	症例③ 咬合器への再装着、削合および研磨	【テンチの歯型法での咬合器再装着】 ①テンチの歯型に完成義歯を適合させることができる。 ②上顎義歯粘膜面に普通石膏を盛り付け上弓に完成義歯を付着することができる。 ③上顎義歯に下顎義歯を仮着し咬合器に上下顎を再装着することができる。	90
GIO:全部床義歯の咬合器再装着ができるようになるため、「テンチの歯型法での咬合器再装着」を修得する。	国試出題基準:7-A-b							
58	6月27日	石橋 洋一	2	演習	8-54	9章 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨	【咬合小面】 ①咬合小面の種類を3つ列挙することができる。 ②前方咬合小面が出現する場所と接触滑走する下顎運動の種類を挙げることができる。 ③後方咬合小面が出現する場所と接触滑走する下顎運動の種類を挙げることができる。 ④平衡咬合小面が出現する場所と接触滑走する下顎運動の種類を挙げることができる。	91~92
						GIO:全部床義歯の削合を知るため、「咬合小面」を修得する。		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
59	6月17日 6月30日 7月1日	石橋 洋一	7	講義	8-55	9章 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨 GIO:全部床義歯の削合を知るため、「選択削合と自動削合」、「咬頭嵌合位における選択削合」、「偏心咬合位における選択削合」、「自動削合」、「人工歯咬合面の形態修正と研磨」を修得する。 国試出題基準:7-B-a, b, c, d	【選択削合と自動削合】 ①人工歯削合の要点を5つ列挙することができる。 ②選択削合の注意点を5つ列挙することができる。 ③人工歯削合の技工操作における注意点を列挙することができる。 【咬頭嵌合位における選択削合】 ④削除する部分と残す部分について述べる ことができる。 ⑤咬頭の高さと溝の深さの兼ね合いについて理解することができる。 【偏心咬合位における選択削合】 ⑥削除する部分と残す部分について述べる ことができる。(令4問49) ⑦咬頭嵌合位の削合と異なる点について述 べる ことができる。 ⑧BULLの法則を図で示し場所を特定するこ とができる。 【自動削合】 ⑨自動削合の注意点を3つ列挙することができる。 【人工歯咬合面の形態修正と研磨】 ⑩削合終了後の人工歯咬合面を形態修正 する方法を挙げることができる。 ⑪削合終了時の人工歯咬合面を研磨する方 法を挙げることができる。	92~93
60	7月1日	石橋 洋一 山田 誠	3	実習	8-56	症例③ 咬合器への再装着、削合および研磨 GIO:全部床義歯の削合ができるようになるため、「咬頭嵌合位における選択削合」を修得する。 国試出題基準:7-B-c, d	【咬頭嵌合位における選択削合】 ①左右歯列の高さが均等になるように削合 することができる。 ②咬合紙で印記された正当な部分と不正な 部分を見分けることができる。 ③咬頭の高さは前後的・側方的調節彎曲に調 和しているか確認・修正することができる。 ④前後的・側方的調節彎曲から突出した咬 頭の高さを調和させることができる。 ⑤隣り合う歯の溝の深さを均等に仕上げるこ とができる。	91
61	7月3日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-57	症例③ 咬合器への再装着、削合および研磨 GIO:全部床義歯の削合ができるようになるため、「偏心咬合位における選択削合」、「自動削合」、「人工歯咬合面の形態修正と研磨」を修得する。 国試出題基準:7-B-c, d	【偏心咬合位における選択削合】 ①調節ネジの段階ごとに作業側と平衡側の 咬合接触が得られるように削合すること ができる。 ②調節ネジの段階ごとに前方位と咬頭嵌合 位の咬合接触が得られるように削合するこ とができる。 ③咬合紙で印記された正当な部分と不正な 部分を見分けることができる。 【自動削合】 ④自動削合を行った場合の注意点を理解す ることができる。 【人工歯咬合面の形態修正と研磨】 ⑤ポイントで小窩・裂溝を形成することが できる。 ⑥削合によって鋭く尖り過ぎた咬合縁をシリ コンポイントで滑らかにすることができる。	91 ~ 102

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
62	7月3日 7月4日	石橋 洋一	4	講義	8-58	9章 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨	【義歯の作業用模型からの分離】 ①作業用模型を破損してはいけない理由を挙げるができる。 【研磨の目的】 ②研磨の目的を5つ列挙することができる。 【研磨の要点】 ③床縁をコルベン状に仕上げる理由を挙げるができる。 ④小帯部や口蓋後縁部の仕上げ方について説明することができる。 ⑤レトロモラーパッド部の仕上げ方について説明することができる。 ⑥粘膜面の研磨に関する注意点を述べることができる。 ⑦義歯に付着した石膏の取り除き方を説明することができる。 ⑧粗研磨と中研磨に使用する器具を列挙することができる。 ⑨レーズ研磨の摩擦熱への対処法を述べるができる。 【義歯の洗浄と保管】 ①義歯の洗浄方法を述べるができる。 ②最終点検で行うことについて述べるができる。 ③完成義歯を水中で保管する理由を挙げるができる。	98
						GIO:全部床義歯の研磨を知るため、「義歯の作業用模型からの分離」、「研磨の目的」、「研磨の要点」、「義歯の洗浄と保管」について理解する。		
						国試出題基準:7-C		
63	7月4日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-59	症例③ 咬合器への再装着、削合および研磨	【義歯の作業用模型からの分離】 ①作業用模型を極力破損させずに義歯床を取り外すことができる。 ②義歯を破損や傷を付けることなく分離することができる。 ③石膏鉗子やエアチゼルを操作することができる。	99 100
						GIO:全部床義歯の研磨ができるようになるため、「義歯の作業用模型からの分離」を修得する。		
						国試出題基準:7-C		
64	7月4日 7月5日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-60	症例③ 咬合器への再装着、削合および研磨	【石膏の除去】 ①辺縁部に付着した石膏を彫刻刀で取り除くことができる。 ②石膏溶解液で細部の石膏を取り除くことができる。 【石膏の気泡によって生じた突起部の除去】 ③義歯床粘膜面の突出部をバーで取り除くことができる。	100 101
						GIO:全部床義歯の研磨ができるようになるため、「石膏の除去」、「石膏の気泡によって生じた突起部の除去」を修得する。		
						国試出題基準:7-C		
65	7月 5日 7月10日	石橋 洋一 山田 誠	4	実習	8-61	症例③ 咬合器への再装着、削合および研磨	【粗研磨】 ①タングステンカーバイドバーで床縁の形態を整えることができる。 ②タングステンカーバイドで義歯周囲のバリを取り除くことができる。 ③レトロモラーパッドの厚みを所定の厚さに仕上げるができる。 【中研磨】 ④ペーパーコーンやシリコーンポイントで中研磨することができる。	100 101
						GIO:全部床義歯の研磨ができるようになるため、「粗研磨」、「中研磨」を修得する。		
						国試出題基準:7-C		
66	7月10日 7月20日	石橋 洋一 山田 誠	6	実習	8-62	症例③ 咬合器への再装着、削合および研磨	【レーズによる中研磨】 ①摩擦熱による変質、変色、変形を避けるように研磨することができる。 ②研磨材の湿らせ具合を修得する。 ③レーズにブラシを装着して中研磨をすることができる。 【レーズによる仕上げ研磨】 ④レーズにバフを装着して仕上げ研磨をすることができる。 ⑤摩擦熱で焦がさないように注意することができる。 【義歯の洗浄と完成後の保管】 ⑥超音波洗浄器で義歯の洗浄をすることができる。 ⑦完成義歯を水中保管することができる。	101
						GIO:全部床義歯の研磨ができるようになるため、「レーズによる中研磨」、「レーズによる仕上げ研磨」、「義歯の洗浄と完成後の保管」を修得する。		
						国試出題基準:7-C		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
67	7月20日	石橋 洋一 山田 誠	2	演習	8-63	症例③ 上下顎人工歯排列 (重合後～研磨)のフィードバック	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。	
						GIO:上下顎人工歯排列・歯肉形成(重合後～研磨)を正しく理解するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点を見つける。		
						国試出題基準:5-C-a, b		
68	7月20日	石橋 洋一 山田 誠	2	実習	8-63	症例③ 上下顎人工歯排列 (重合後～研磨)のフィードバック	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べることができる。 ③上手くいかないときは再度質問することができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むことができる。	
						GIO:上下顎人工歯排列・歯肉形成(重合後～研磨)を正しく理解するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点を見つける。		
						国試出題基準:5-C-a, b		
77	8月21日	矢野 恭平 石橋 洋一	2	実習	8-64	症例⑤ 人工歯排列と削合および歯肉形成(部分床)	～下顎臼歯部～ 【人工歯基底面の削除】 ①咬合紙を用いて人工歯基底面の接触している部位を特定することができる。 ②支台装置が人工歯基底面に接触している場所を削除することができる。 【人工歯排列】 ③隣在歯と咬合平面を参考に下顎臼歯の人工歯排列を行うことができる。 ④上顎残存歯と咬合せながら下顎臼歯の人工歯排列を行うことができる。 ⑤隣在歯や咬合面など排列が困難な場合は形態修正をすることができる。	205 ～ 206
						GIO:部分床義歯の人工歯排列と削合および歯肉形成ができるようになるため、下顎臼歯部の「人工歯基底面の削除」、「人工歯排列」を修得する。		
						国試出題基準:16-C-a, b		
78	8月21日 8月22日	矢野 恭平 石橋 洋一	4	実習	8-65	症例⑤ 人工歯排列と削合および歯肉形成(部分床)	～上顎臼歯部～ 【人工歯基底面の削除】 ①咬合紙を用いて人工歯基底面の接触している部位を特定することができる。 ②支台装置が人工歯基底面に接触している場所を削除することができる。 【人工歯排列】 ③隣在歯と咬合平面を参考に上顎臼歯の人工歯排列を行うことができる。 ④排列された下顎臼歯と咬合せながら上顎臼歯の人工歯排列を行うことができる。 ⑤隣在歯や咬合面など排列が困難な場合は形態修正をすることができる。	204 ～ 206
						GIO:部分床義歯の人工歯排列と削合および歯肉形成ができるようになるため、上顎臼歯部の「人工歯基底面の削除」、「人工歯排列」を修得する。		
						国試出題基準:16-C-a, b		
79	8月22日	矢野 恭平 石橋 洋一	4	実習	8-66	症例⑤ 人工歯排列と削合および歯肉形成(部分床)	【咬頭嵌合位の削合】 ①咬合紙を使用して咬頭嵌合位での選択削合をすることができる。 ②残存歯と人工歯が同じ高さで等しく咬合するように削合することができる。	206 ～ 208
						GIO:部分床義歯の人工歯排列と削合および歯肉形成ができるようになるため、「咬頭嵌合位の削合」を修得する。		
						国試出題基準:16-C-a, b		
80	8月23日	矢野 恭平 石橋 洋一	4	実習	8-67	症例⑤ 人工歯排列と削合および歯肉形成(部分床)	【偏心咬合位の削合】 ①咬合紙を使用して偏心咬合位での選択削合をすることができる。 ②偏心咬合位で選択削合をする手順を挙げる挙げるることができる。 ③残存歯と人工歯が同じ高さで等しく咬合するように削合することができる。	206 ～ 208
						GIO:部分床義歯の人工歯排列と削合および歯肉形成ができるようになるため、「偏心咬合位の削合」を修得する。		
						国試出題基準:16-C-a, b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
81	8月23日	矢野 恭平 石橋 洋一	2	実習	8-68	症例⑤ 人工歯排列と削合および 歯肉形成(部分床)	【唇側面の歯肉形成】 ①支台装置、人工歯および義歯床の間隙を ワックスで埋めることができる。 ②指定された角度で歯頸部のワックスをカット することができる。 ③人工歯に付着した過剰なワックスを除去す ることができる。 ④歯間乳頭を人工歯の接触点に達するまで 的確に形成することができる。 ⑤滑らかで自然感のある歯根部の豊隆を付 与することができる。 ⑥清掃性を考慮した唇側面の歯肉形成 を行うことができる。	208 ～ 211
						GIO:部分床義歯の人工歯排列と 削合および歯肉形成ができるよう になるため、「唇側面の歯肉形成」 を修得する。		
82	8月24日	矢野 恭平 石橋 洋一	6	実習	8-69	症例⑤ 人工歯排列と削合および 歯肉形成(部分床)	【舌側面の歯肉形成】 ①人工歯舌側面の歯頸部を人工的に形成 することができる。 ②中間欠損か遊離端欠損か判断して残存歯の 歯頸線の位置を参考にすることができる。 ③食物残渣が停滞しないような歯頸部形態 を形成することができる。 ④清掃性を考慮した舌側面の歯肉形成を 行うことができる。 【床縁の形成】 ⑤義歯床縁をコルベン状に形成することが できる。 ⑥小帯部を避けて吸着しそうな形状を付与 することができる。 ⑦義歯内面にワックスを流して浮き上らないよ うに作業することができる。 【仕上げ】 ⑧歯ブラシを使用して表面仕上げをすること ができる。 ⑨トーチを使用して表面仕上げをすること ができる。 ⑩綿花を使用して表面仕上げをすること ができる。	208 ～ 211
						GIO:部分床義歯の人工歯排列と 削合および歯肉形成ができるよう になるため、「舌側面の歯肉形成」, 「床縁の形成」,「義歯床表面の仕 上げ」を修得する。		
83	8月28日 8月29日	矢野 恭平 石橋 洋一	6	講義	8-70	18章 部分床義歯の埋没と重合	【義歯床用レジンの重合法】 ①義歯床用レジンの重合法の種類を挙げる ことができる。 ②加熱重合型の重合方法を挙げることは できる。 ③常温重合型の重合方法を挙げることは できる。 ④射出成型型の重合方法を挙げることは できる。 ⑤義歯床用レジンの填入方法を挙げる ことができる。 【埋没の前準備】 ⑥作業用模型への前準備を4つ列挙する ことができる。 ⑦クラスプへの前準備を2つ列挙する ことができる。 ⑧バーへの前準備を2つ挙げることは できる。 【埋没】 ⑨部分床義歯の埋没法を3つ列挙する ことができる。 ⑩アメリカ式埋没法を図で示し特徴を 挙げることはできる。 ⑪フランス式埋没法を図で示し特徴を 挙げることはできる。 ⑫アメリカ・フランス併用式埋没法を 図で示し特徴を挙げることはできる。 ⑬アメリカ・フランス併用式埋没法の 手順を列挙することができる。 【流ろう】 ⑭流蠟の目的を挙げることはできる。 ⑮流蠟を完全に行うことの利点を挙げる ことができる。 ⑯流ろうの作業工程を列挙する ことができる。 【加熱重合レジンの填入】 ⑰粉末と液の重量比を挙げることは できる。 ⑱加熱重合レジンの填入時期を挙げる ことができる。 ⑲填入方法を列挙することができる。 (令2問52) 【加熱重合レジンの重合】 ⑳湿式重合(2ステップ法)を説明する ことができる。 ㉑重合時の温度を急激に上昇させると起 こる現象を説明することができる。 ㉒重合後に自然法令する目的を説明す ることができる。 【義歯の取り出し】 ㉓フラスクから内部石膏を取り出す方法 を挙げることはできる。 ㉔石膏分割用プライヤーの使用方法を 挙げることはできる。 ㉕義歯を傷つけない取り出し方を挙 げることができる。 ㉖義歯を変形させない取り出し方を 挙げることはできる。	212 ～ 214
						GIO:部分床義歯の埋没と重合を 知るため、「義歯床用レジンの重合 法」と「埋没の前準備」、「埋没」 および「流ろう」と「填入」、「重 合」と「義歯の取り出し」について 理解する。		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
84	8月29日 8月30日	矢野 恭平 石橋 洋一	6	実習	8-71	<p>症例5 上顎部分床義歯の埋没と重合(加熱重合レジンの湿式重合法)</p> <p>GIO:部分床義歯の埋没と重合ができるようになるため、「テンチの歯型」と「蝟義歯の辺縁封鎖」と「作業用模型の削除」を修得する。</p> <p>国試出題基準:18-A</p>	<p>【テンチの歯型採得】</p> <p>①咬合器に器具を適切に取り付けることができる。</p> <p>②咬合平面上に均等な量の石膏泥を盛り付けることができる。</p> <p>③インサイザルピンの浮き上りに注意して上顎歯列の切縁および咬合面の陰型を採得することができる。</p> <p>【蝟義歯の辺縁封鎖】</p> <p>④高温操作したパラフィンワックスを運ぶことができる。</p> <p>⑤不要な部分にワックスを流さないように作業することができる。</p> <p>⑥ワックスを流した後、形態修正を行うことができる。</p> <p>⑦義歯の辺縁をパラフィンワックスで辺縁封鎖することができる。</p> <p>【作業用模型の削除】</p> <p>⑧下部フラスクに一次埋没するため模型基底面を削除することができる。</p> <p>⑨上部フラスクをセットし埋没スペースを確認することができる。</p>	90
85	8月30日	矢野 恭平 石橋 洋一	6	実習	8-72	<p>症例5 上顎部分床義歯の埋没と重合(加熱重合レジンの湿式重合法)</p> <p>GIO:部分床義歯の埋没と重合ができるようになるため、「一時埋没」と「通路の付与」および「二次埋没」と「三次埋没」を修得する。</p> <p>国試出題基準:17-A-a</p>	<p>【一時埋没】</p> <p>①作業用模型に吸水させた後、余分な水分を除去することができる。</p> <p>②石膏の硬化時間以内に下部フラスクに模型、クラスプ、バーを埋没することができる。</p> <p>③石膏の硬化時間以内に余剰分の石膏を流水下で整えることができる。</p> <p>④一次埋没の際にアンダーカットができていないか確認または修正することができる。</p> <p>【通路の付与】</p> <p>⑤通路を付ける目的を述べることができる。</p> <p>⑥通路の構造を理解して石膏に通路を形成することができる。</p> <p>【二次埋没】</p> <p>⑦分離剤を塗布し二次石膏を規定の厚みで盛り上げることができる。</p> <p>⑧石膏の硬化時間以内に切縁と咬頭頂を露出させることができる。</p> <p>⑨石膏の硬化時間以内に上部フラスクが密着できているか確認することができる。(令4問44)</p> <p>【三次埋没】</p> <p>⑩上部フラスクを密着させたあと規定量の石膏を流し込むことができる。</p> <p>⑪蓋をのせ余剰分の石膏を洗い流しフラスクを閉じることができる。</p>	214 217
86	8月31日 9月 2日 9月 4日	矢野 恭平 石橋 洋一	11	実習	8-73	<p>症例5 上顎部分床義歯の埋没と重合(加熱重合レジンの湿式重合法)</p> <p>GIO:部分床義歯の埋没と重合ができるようになるため、「流ろうとレジン分離材の塗布」、「レジンの填入」および「重合」を修得する。</p> <p>国試出題基準:なし</p>	<p>【流ろう】</p> <p>①フラスクを70℃で温めてワックスを軟化することができる。</p> <p>②軟化したワックスをフラスクから取り出し重量を計ることができる。</p> <p>③上下フラスクに残留したワックスを流ろうすることができる。</p> <p>【分離剤の塗布】</p> <p>④余剰水分を除去して上下フラスクの石膏面に分離材を塗布することができる。</p> <p>【レジンの填入】</p> <p>⑤ワックス重量からモノマー量を計量することができる。</p> <p>⑥モノマーにポリマーをふりかけ、湿った砂状にすることができる。</p> <p>⑦レジンを餅状にすることができる。</p> <p>⑧フラスクに餅状のレジンを填入することができる。</p> <p>⑨ポリエチレンフィルムを介在させ油圧プレスで圧をかけることができる。</p> <p>⑩フラスクを開き、はみ出した余剰レジンを取り除くことができる。</p> <p>【重合】</p> <p>⑪温水に浸漬し、湿式重合法によるレジン重合をすることができる。</p>	217 219

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
87	9月4日	矢野 恭平 石橋 洋一	3	講義 演習	8-74	18章 部分床義歯の埋没と重合	【寒天埋没法】 ①流し込みレジン重合法の特徴を3つ挙げることができる。 ②寒天埋没法の埋没手順を挙げることができる。 ③寒天埋没法の流蝦手順を挙げることができる。 ④寒天埋没法のスプルー植立手順を挙げることができる。 ⑤寒天埋没法のレジン注入、重合手順を挙げることができる。 【石膏コア法】 ①石膏コア法で義歯床を製作する手順を挙げることができる。 ②石膏コア法でスプルー線植立をする特徴を2つ挙げることができる。 ③石膏コア法で埋没をする特徴を挙げることができる。 ④石膏コア法で流蝦をする手順を挙げることができる。 ⑤石膏コア法でレジン注入、重合をする手順を挙げることができる。 【シリコンコア法】 ①シリコンコア法で部分床義歯を製作する手順を挙げることができる。 ②シリコンコア法で流蝦をする手順を挙げることができる。 ⑤シリコンコア法でレジン重合をする手順を挙げることができる。	220 ～ 226
						GIO:部分床義歯の重合を知るため、流し込みレジン重合法の「寒天埋没法」と「石膏コア法」および「シリコンコア法」について理解する。		
88	9月5日	矢野 恭平 石橋 洋一	4	実習	8-75	症例5 下顎部分床義歯の埋没と重合 (シリコンコア法による常温重合レジンの流し込み重合法)	【アンダーカットの被覆】 ①作業用模型のアンダーカットを普通石膏で被覆することができる。 ②アンダーカットが生じないように調整することができる。 【スプルー線とバントの植立】 ③蠟義歯の適切な位置にスプルー線を植立することができる。 ④蠟義歯の適切な位置にバントを植立することができる。	224
						GIO:部分床義歯の常温重合レジン流し込み重合法ができるようになるため、「アンダーカットの被覆」と「スプルー線、バントの植立」を修得する。		
89	9月11日	矢野 恭平 石橋 洋一	4	実習	8-76	症例5 下顎部分床義歯の埋没と重合 (シリコンコア法による常温重合レジンの流し込み重合法)	【シリコンコアの製作】 ①蠟義歯をシリコンで被覆しシリコンコアを製作することができる。 【流ろうと人工歯の位置確認】 ②シリコンコアと人工歯を蠟義歯から取り外すことができる。 ③蠟義歯のワックスを取り除き、シリコンコア、作業用模型、人工歯の流ろうをすることができる。 ④シリコンコア内面に人工歯をセットすることができる。 ⑤シリコンコア内面に瞬間接着剤を用いて人工歯を固定することができる。 ⑥シリコンコアと作業用模型を瞬間接着剤を用いて固定することができる。	224
						GIO:部分床義歯の常温重合レジン流し込み重合法ができるようになるため、「シリコンコアの製作」と「流ろうと人工歯の位置確認」を修得する。		
90	9月11日	矢野 恭平 石橋 洋一	2	実習	8-77	症例5 下顎部分床義歯の埋没と重合 (シリコンコア法による常温重合レジンの流し込み重合法)	【レジン注入】 ①常温重合レジンのポリマーとモノマーを混和しスプルー線から注入することができる。 【重合】 ②加圧重合器で30分間重合することができる。	224 ～ 226
						GIO:部分床義歯の常温重合レジン流し込み重合法ができるようになるため、「レジン注入」と「重合」を修得する。		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
91	9月13日	矢野 恭平 石橋 洋一	2	演習	8-78	19章 部分床義歯の咬合調整と研磨	【咬合器再装着法】 ①部分床義歯の咬合器再装着する方法を3つ列挙することができる。 【咬合調整の手順】 ②部分床義歯の咬合調整の手順を挙げることができる。 ③スピルウェイを説明することができる。 【研磨】 ④部分床義歯の研磨の目的を3つ列挙することができる。 ⑤部分床義歯の研磨の手順を挙げることができる。	227 230
						GIO:部分床義歯の咬合調整と研磨を知るため、「咬合器再装着法」と「咬合調整の手順」および「研磨」を理解する。		
						国試出題基準:なし		
92	9月13日	矢野 恭平 石橋 洋一	4	実習	8-79	症例5 咬合器への再装着、削合および研磨	【テンチの歯型法での咬合器再装着】 ①シリコンコアを取り外すことができる。 ②スプルーとベントおよび接着剤をカーボランダムディスクで取り除くことができる。 ③テンチの歯型を使用し上顎部分床義歯を咬合器に再装着することができる。 ④上顎に合わせて下顎を装着することができる。 【咬頭嵌合位での選択削合】 ⑤咬合紙を用いて咬頭嵌合位における選択削合をすることができる。	90、 206 208
						GIO:部分床義歯の咬合調整ができるようになるため、「テンチの歯型法での咬合器再装着」と「咬頭嵌合位での選択削合」を修得する。		
						国試出題基準:7-A-b		
93	9月13日 9月19日	矢野 恭平 石橋 洋一	6	実習	8-80	症例5 咬合器への再装着、削合および研磨	【偏心咬合位での選択削合】 ①咬合紙を用いて偏心位における選択削合をすることができる。 【人工歯咬合面の形態修正】 ②削合終了後の人工歯咬合面を形態修正することができる。 ③削合終了後の人工歯咬合面を研磨することができる。 ④スピルウェイを付与することができる。 ⑤作業用模型から部分床義歯を取り外すことができる。	206 208、 227 228
						GIO:部分床義歯の咬合調整ができるようになるため、「偏心咬合位での選択削合」と「人工歯咬合面の形態修正と研磨」を修得する。		
						国試出題基準:なし		
94	9月20日	矢野 恭平 石橋 洋一	4	実習	8-81	症例5 咬合器への再装着、削合および研磨	【石膏の除去】 ①アンダーカット部を修正した石膏を彫刻刀などを用いて除去することができる。 【突出部の除去】 ②スプルー部やベント、バリをカーバイドバーで修正することができる。 ③部分床義歯の表面に付着した突起部をバーで削除することができる。	228 229
						GIO:部分床義歯の研磨ができるようになるため、「石膏の除去」と「突出部の除去」を修得する。		
						国試出題基準:なし		
95	9月20日 9月21日	矢野 恭平 石橋 洋一	6	実習	8-82	症例5 咬合器への再装着、削合および研磨	【粗研磨】 ①タングステンカーバイドバーで床縁の形態を整えることができる。 ②クラスプと義歯移行部の処理をすることができる。 【中研磨】 ②ペーパーコーンやシリコンポイントで中研磨することができる。 【レーズによる中研磨】 ③摩擦熱による変質、変色、変形を避けるように研磨することができる。 ④研磨材の湿らせ具合を修得する。 ⑤レーズにブラシを装着して中研磨をすることができる。	228 229
						GIO:部分床義歯の研磨ができるようになるため、「粗研磨」と「中研磨」および「レーズによる中研磨」を修得する。		
						国試出題基準:なし		
96	9月21日	矢野 恭平 石橋 洋一	4	実習	8-83	症例5 咬合器への再装着、削合および研磨	【レーズによる仕上げ研磨】 ①レーズにバフを装着して仕上げ研磨をすることができる。 ②摩擦熱で焦がさないように注意することができる。 【義歯の洗浄と完成後の保管】 ③超音波洗浄器で義歯の洗浄をすることができる。 ④完成義歯を水中保管することができる。	230
						GIO:部分床義歯の研磨ができるようになるため、「レーズによる仕上げ研磨」と「義歯の洗浄と完成後の保管」を修得する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
97	9月22日	矢野 恭平 石橋 洋一	2	演習	8-84	症例5 上下顎人工歯排列部分床 (人工歯排列～研磨)の フィードバック	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に 注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コツやツボ のノウハウを文字やイラストでまとめること ができる。	
						GIO:上下顎部分床義歯製作(人工 歯排列～研磨)を正しく理解する ため、教員から作品のチェックと修 正方法を聴き修正点を見つける。		
						国試出題基準:5-C-a, b		
98	9月22日	矢野 恭平 石橋 洋一	2	演習	8-84	症例5 上下顎人工歯排列部分床 (人工歯排列～研磨)の フィードバック	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試 みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べるこ とができる。 ③上手いかわらないときは再度質問するこ とができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むことが できる。	
						GIO:上下顎部分床義歯製作(人工 歯排列～研磨)を正しく理解する ため、教員から伝えられたところを 修正する。		
						国試出題基準:5-E-a, b, c		
99	9月25日 9月26日	矢野 恭平 石橋 洋一	2	講義 演習	8-85	症例5 上下顎人工歯排列部分床 (人工歯排列～研磨)の フィードバック	【破折・破損の原因】 ①義歯が破折をする原因を表にして説明す ることができる。 ②義歯床および人工歯の破折・破損の原因 を6つ挙げることができる。 ③技工作業の不備による義歯床および人工 歯の破折・破損の原因を5つ挙げること ができる。 ④人工歯脱離の原因を3つ挙げることが できる。 ⑤技工作業の不備による人工歯脱離の原 因を2つ挙げることができる。 ⑥支台装置の破損の原因を3つ挙げること ができる。 ⑦支台装置の破損で技工作業の不備によ る原因を4つ挙げることができる。 【義歯破折・破損のメカニズム】 ⑧義歯床破折のメカニズムを挙げること ができる。 ⑨歯が破折をするメカニズムを挙げること ができる。 【義歯床の修理】 ⑩義歯床を修理する方法を挙げることが できる。 ⑪常温重合レジンで修理手順を挙げること ができる。 【人工歯の修理】 ⑫人工歯の離脱した場合の修理手順を挙 げることができる。 ⑬人工歯が義歯床用レジンごと離脱した場 合の修理手順を挙げることができる。	232 ～ 240
						GIO:上下顎部分床義歯製作(人工 歯排列～研磨)を正しく理解する ため、教員から作品のチェックと修 正方法を聴き修正点を見つける。		
						国試出題基準:18-A		
100	9月27日 9月28日	矢野 恭平 石橋 洋一	1	演習	8-86	20章 修理	【支台装置の修理】 ①支台装置の修理手順を挙げることが できる。 【人工歯の追加】 ②義歯に人工歯の追加する方法を挙げ ることができる。	240 ～ 241
						GIO:部分床義歯の修理を知るた め、「支台装置の修理」と「人工歯 の追加」を理解する。		
						国試出題基準:18-A		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
101	9月27日 9月28日	矢野 恭平 石橋 洋一	3	講義	8-86	21章 リベースおよびリライン	【リベース】 ①リベースとリラインの目的を説明することができる。 ②リベースとリラインの適応症を区別することができる。 ③リベースの利点を挙げるすることができる。 ④リベースの欠点を挙げるすることができる。 ⑤リベースが適応されるケースを3つ挙げる ことができる。 ⑥リベースとリラインの方法を挙げるこ とができる。 【リライン】 ⑦リラインを行う方法を2つ列挙するこ とができる。 ⑧直接法でリラインをする方法を挙げるこ とができる。 ⑨間接法でリラインをする方法を挙げるこ とができる。(令3問42) ⑩ライニングジグを用いたリラインの製作手 順を述べるこことができる。(令2問36) ⑪フラスクに埋没してリラインをする方法を 挙げるこことができる。 ⑫フラスクに埋没せずにリラインをする 方法を 挙げるこことができる。	227 ~ 230
						国試出題基準:19-A		

【専門分野】 歯科技工実習	⑳歯科技工実習 全部床義歯の人工歯排列・歯肉形成 *実務経験のある教員による授業科目
-------------------------	--

本学期的学習目標(GIO)
全国歯科技工士教育協議会実技評価試験に合格するため、実習を通して人工歯排列と歯肉形成の手技を身につける。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット8 有床義歯の製作

学年	学期	曜日	時間	教室
2	後期	月 ～ 土	9:00～12:10	博多メディカル専門学校 3階 歯科技工実習室
			9:00～14:30	
			9:00～16:10	
			9:45～16:10	
			11:25～14:30	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	石橋 洋一、澤田 圭介
成績評価	実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	12月5日	石橋 洋一 澤田 圭介	3	実習	8-87	前歯部人工歯排列(下顎法) GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、「上顎前歯部の排列」の手技を身につける。	①正面観において上顎中切歯の切縁位置を咬合平面から1mm上方に排列することができる。 ②正面観において上顎中切歯の切縁位置を咬合平面から0.5mm上方に排列することができる。 ③正面観において上顎犬歯の尖頭を咬合平面に一致させて排列することができる。 ④側面観の排列はユニット8症例①の人工歯排列を参考に排列することができる。 ⑤切縁観の排列はユニット8症例①の人工歯排列を参考に排列することができる。	60～64
						国試出題基準:5-D-a		
2	12月6日	石橋 洋一 澤田 圭介	3	実習	8-87	前歯部人工歯排列(下顎法) フィードバック GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、「下顎前歯部の排列」の手技およびその後のフィードバックで修正方法を身につける。	①正面観において上下顎中切歯の正中を合わせて排列することができる。 ②オーバーバイトを1mm被蓋させて下顎中切歯を排列することができる。 ③オーバージェットを2mm被蓋させて下顎中切歯を排列することができる。 ④修正部位を確認することができる。 ⑤教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑥分からないところを質問することができる。 ⑦教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑧向き不向きより前向きに取り組むことができる。	60～64
						国試出題基準:5-D-a		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	12月7日	石橋 洋一 澤田 圭介	6	実習	8-87	下顎臼歯部人工歯排列(下顎法) フィードバック	①側面観においての臼歯部咬頭頂の位置は68ページの図7-28を参考にして排列することができる。 ②咬合面観においての排列位置は歯槽頂を考慮して排列することができる。 ③左右対称的な放物線を意識して排列することができる。 ④修正部位を確認することができる。 ⑤教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑥分からないところを質問することができる。 ⑦教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑧向き不向きより前向きに取り組むことができる。	68~69
						GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、「下顎臼歯部の排列」の手技およびその後のフィードバックで修正方法を身につける。		
						国試出題基準:5-D-a		
4	12月8日	石橋 洋一 澤田 圭介	8	実習	8-87	上顎臼歯部人工歯排列(下顎法) フィードバック	①側面観において上顎大白歯の近心頬側咬頭を下顎大白歯の頬側溝に一致させることができる。 ②上下第一大臼歯を咬頭対窩の関係で緊密に咬合させることができる。 ③左右対称的な放物線を意識して排列することができる。 ④修正部位を確認することができる。 ⑤教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑥分からないところを質問することができる。 ⑦教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑧向き不向きより前向きに取り組むことができる。	68~69
						GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、「上顎臼歯部の排列」の手技およびその後のフィードバックで修正方法を身につける。		
						国試出題基準:5-D-a		
5	12月11日	石橋 洋一 澤田 圭介	7	実習	8-87	歯肉形成(下顎法) フィードバック	①〈唇側〉天然歯の歯肉を模倣した歯槽部の豊隆や歯肉縁および歯間乳頭を上げることができる。 ②〈舌側〉発音を考慮して自然に近い形態に形成することができる。 ③歯肉の厚みが足りない部位を確認し、適切な量のワックスを盛ることができる。 ④〈頬側〉歯槽部の陥没を回復し清掃性を考慮した形態に上げることができる。 ⑤〈舌側〉舌房を考慮して滑らかな形態に上げることができる。 ⑥修正部位を確認することができる。 ⑦教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑧分からないところを質問することができる。 ⑨教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑩向き不向きより前向きに取り組むことができる。	76~79
						GIO:歯肉形成ができるようになるために、「適切な盛り方や削り方」の手技およびその後のフィードバックで修正方法を身につける。		
						国試出題基準:5-D-a		
6	12月12日	石橋 洋一 澤田 圭介	6	実習	8-87	人工歯排列と歯肉形成	①時間を意識して前歯部人工歯排列することができる。 ②時間を意識して臼歯部人工歯排列することができる。 ③時間を意識して歯肉形成することができる。 ④修正部位を確認することができる。 ⑤教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑥分からないところを質問することができる。 ⑦教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑧向き不向きより前向きに取り組むことができる。	60~69 76~79
						GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、「上顎臼歯部の排列」の手技およびその後のフィードバックで修正方法を身につける。		
						国試出題基準:5-D-a		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
7	12月13日	石橋 洋一 澤田 圭介	8	実習	8-87	人工歯排列と歯肉形成	①時間を意識して前歯部人工歯排列することができる。 ②時間を意識して臼歯部人工歯排列することができる。 ③時間を意識して歯肉形成することができる。 ④修正部位を確認することができる。 ⑤教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑥分からないところを質問することができる。 ⑦教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑧向き不向きより前向きに取り組むことができる。	68~69 76~79
						GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、時間を意識した人工歯排列と歯肉形成を行う。		
						国試出題基準:5-D-a		
8	12月14日	石橋 洋一 澤田 圭介	8	実習	8-87	人工歯排列と歯肉形成	①時間を意識して前歯部人工歯排列することができる。 ②時間を意識して臼歯部人工歯排列することができる。 ③時間を意識して歯肉形成することができる。 ④修正部位を確認することができる。 ⑤教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑥分からないところを質問することができる。 ⑦教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑧向き不向きより前向きに取り組むことができる。	60~69 76~79
						GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、時間を意識した人工歯排列と歯肉形成を行う。		
						国試出題基準:5-D-a		
9	12月15日	石橋 洋一 澤田 圭介	8	実習	8-87	人工歯排列と歯肉形成	①時間を意識して前歯部人工歯排列することができる。 ②時間を意識して臼歯部人工歯排列することができる。 ③時間を意識して歯肉形成することができる。 ④修正部位を確認することができる。 ⑤教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑥分からないところを質問することができる。 ⑦教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑧向き不向きより前向きに取り組むことができる。	60~69 76~79
						GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、時間を意識した人工歯排列と歯肉形成を行う。		
						国試出題基準:5-D-a		
10	12月16日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	8-87	実習準備	①石膏型にパラフィンワックスを注入することができる。 ②パラフィンワックスの硬化後、模型に戻して高さ調整をすることができる。	
						GIO:人工歯排列と歯肉形成の実習が行えるように、ロウ堤の製作を行う。		
						国試出題基準:5-D-a		
11	12月18日	石橋 洋一 澤田 圭介	8	実習	8-87	人工歯排列と歯肉形成	①時間を意識して前歯部人工歯排列することができる。 ②時間を意識して臼歯部人工歯排列することができる。 ③時間を意識して歯肉形成することができる。 ④修正部位を確認することができる。 ⑤教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑥分からないところを質問することができる。 ⑦教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑧向き不向きより前向きに取り組むことができる。	60~69 76~79
						GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、時間を意識した人工歯排列と歯肉形成を行う。		
						国試出題基準:5-D-a		
12	12月19日	石橋 洋一 澤田 圭介	6	実習	8-87	人工歯排列と歯肉形成	①時間を意識して前歯部人工歯排列することができる。 ②時間を意識して臼歯部人工歯排列することができる。 ③時間を意識して歯肉形成することができる。 ④修正部位を確認することができる。 ⑤教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑥分からないところを質問することができる。 ⑦教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑧向き不向きより前向きに取り組むことができる。	60~69 76~79
						GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、時間を意識した人工歯排列と歯肉形成を行う。		
						国試出題基準:5-D-a		
13	12月20日	石橋 洋一 澤田 圭介	8	実習	8-87	人工歯排列と歯肉形成	①時間を意識して前歯部人工歯排列することができる。 ②時間を意識して臼歯部人工歯排列することができる。 ③時間を意識して歯肉形成することができる。 ④修正部位を確認することができる。 ⑤教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ⑥分からないところを質問することができる。 ⑦教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ⑧向き不向きより前向きに取り組むことができる。	60~69 76~79
						GIO:下顎法の人工歯排列ができるようになるために、時間を意識した人工歯排列と歯肉形成を行う。		
						国試出題基準:5-D-a		

【基礎分野】 科学と技術の基盤、人間と生活	① 歯科英語
---------------------------------	---------------

本学期的学習目標(GIO)
国際共用言語である英語を学び、活躍の幅を広げる下地を培うために、日常会話や専門用語を英語で理解する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット9 歯科技工士の使命、臨床見学と就職

学年	学期	曜日	時間	教室
2	前・後期	月・火 水・木	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 302教室、 6階 コンピュータ室
			10:40~12:10	
			14:40~15:25	
			14:40~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科英語	第一版	医歯薬出版株式会社
Dentistry An Illustrated History (配布プリント)			

担当者一覧	澤田 圭介
成績評価	ミニテスト、講義末試験、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	4月17日	澤田 圭介	1	講義	9-5	0.なぜ「英語」が必要か	①英語を学ぶ理由を説明することができる。 ②身の回りにある英単語を15個挙げることができる。 ③歯科技工士免許について日本と外国の違いについて説明することができる。 ④日本と他諸国との対比からデジタルデンティストリーの必要性を説明できる。 ⑤確認テストから自身の英語力を把握することができる。	序論
						GIO:グローバル化する社会に対応していくために、歯科技工士が英語を学ぶ理由について理解する。		
						国家試験出題基準:なし		
2	4月24日	澤田 圭介	2	講義	9-11	1-1. 「あいさつ」	①日本語と英語を用いて(日常会話)あいさつすることができる。 ②状況に応じた英語での挨拶を選択することができる。 ③「JOB」と「WORK」について意味の違いを説明することができる。 ④感謝の気持ちを伝える英語を2つの言い方で表現することができる。 ⑤英語のリスニングから英単語を聞き取ることができる。	2~7
						GIO:コミュニケーションの基本を身につけるために、「挨拶」の英語表現を習得する。		
						国家試験出題基準:なし		
3	5月11日	澤田 圭介	2	講義	9-21	1-2.「国際交流」	①見学申し込みの必要事項を日本語で列挙することができる。 ②自己紹介文を英語で作成できる。 ③年月日の表記について日本語と英語の違いを説明することができる。 ④CAD/CAMの正式な意味を説明することができる。 ⑤日本における歯科技工士数と歯科技工所の規模を説明することができる。	9~12
						GIO:海外での歯科技工所見学を円滑にするために、見学申し込みからの流れを理解する。		
						国家試験出題基準:なし		
4	5月16日	澤田 圭介	1	講義	9-28	1-3.「ショッピング」	①英語で道順を尋ねることができる。 ②ショッピング時に使用される英会話を文章で理解できる。 ③会計の方法を2つ説明できる。 ④CanI?を用いた質問で例文を作ることができる。 ⑤英語のリスニングを聞いて質問文を完成させることができる。	13~17
						GIO:海外旅行を楽しむために、ショッピングでの英会話を想定した文章の意味を日本語で理解する。		
						国家試験出題基準:なし		
5	5月22日	澤田 圭介	2	講義	9-31	1-4.「海外の展示会に行く」	①海外旅行時の入国手順を日本語で説明することができる。 ②入国手続きでの質問例文に答えることができる。 ③ホテルフロントでの質問例文に答えることができる。 ④展示会参加の方法について日本語で説明することができる。 ⑤展示ブースにて英語の質問例文を作成することができる。 ⑥英語のリスニングを聞いて単数複数を区別することができる。	18~29
						GIO:海外での展示会に参加するために、使用される英会話の表現を身につける。		
						国家試験出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
6	5月29日	澤田 圭介	2	講義	9-37	1-5.海外で働く GIO:日本人の活躍を知るために「海外で働く日本人歯科技工士の現状」、「歯科技工所見学」、「見学申し込みからの流れ」を理解する。 国家試験出題基準:なし	①見学申し込みの必要事項を日本語で列挙することができる。 ②教科書内コラム文章を精読することができる。 ③サムライ歯科技工士(図書)から一人個人名を挙げることができる。 ④英語のリスニングを聞いて英文を完成させることができる。	30~41
						2-1.「歯が痛い」 GIO:歯科治療の流れを理解するために、根管治療のケースにおける患者と歯科医師の会話から使用される英単語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①歯科治療の「流れ」を日本語で説明できる。 ②根管治療の流れを説明できる。 ③歯科治療に関係する英単語を和訳できる。 ④英語のリスニングを聞いて歯科用英単語を記入することができる。	
7	6月12日	澤田 圭介	2	講義	9-48	2-2.「入れ歯を入れたい」 GIO:歯科診療の流れを理解するために、患者と歯科医師の会話から使用される英単語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①歯の痛みを緩和する方法を日本語で3種類挙げることができる。 ②3種類(義歯・ブリッジ・インプラント)の特徴について説明できる。 ③英語のリスニングを聞いて単数複数数を区別することができる。 ④英語のリスニングを聞いて英単語を記入することができる。	50~53
						2-3.「歯並びを治したい」 GIO:矯正治療の概要や関連する用語を理解するために、患者と歯科医師の会話から使用される英単語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①矯正治療の期間を説明できる。 ②矯正治療の順番を説明できる。 ③抜歯の理由を説明できる。 ④抜歯後の治療(保定)について説明できる。 ⑤矯正治療の料金を述べることができる。 ⑥英語のリスニングを聞いて歯科用英単語を記入することができる。	
8	6月13日	澤田 圭介	1	講義	9-50	2-4.「歯を白くしたい」 GIO:審美歯科治療の流れを理解するために、歯科医院での英会話から関連する用語や方法の特徴を理解する。 国家試験出題基準:なし	①歯を白くする治療を6つ列挙できる。 ②歯科医院と家庭での漂白方法の違いを説明できる。 ③漂白剤と歯磨剤による効果の違いを説明できる。 ④歯を白くするとはどういうことかを説明することができる。 ⑤ラミネートベニア法と漂白法の違いを説明できる。 ⑥英語のリスニングを聞いて歯科用英単語を記入することができる。	58~63
						2-5.「歯と歯の間に隙間ができた」 GIO:歯周病がもたらす審美の問題を理解するために、歯科医院での英会話から関連する用語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①歯周病がもたらす症状を2つ挙げることができる。 ②歯周病の審査方法を説明できる。 ③ブラケットライアングルを示すことができる。 ④歯周病の原因を説明できる。 ⑤歯周病の予防法を説明することができる。 ⑥2章で使用された歯科関連の英単語を和訳できる。	
9	6月26日	澤田 圭介	2	講義	9-63	3-1.歯の名前、歯の構造、歯式 GIO:歯を示す用語を理解するために、専門用語と一般用語を英単語で理解する。 国家試験出題基準:なし	①歯に関する一般用語と専門用語を英単語で区別することができる。 ②歯の構造について英単語で記入することができる。 ③FDIシステム・Zigmondyシステム・UniversalNumberingシステムを判別できる。 ④同側同名歯を3つの方法で示すことができる。	82~85
						3-2.クラウンの製作(間接法) GIO:クラウンの製作の手順を理解するために、支台歯形成から鑄造研磨までの工程に使用される英単語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①各工程で使用される頻度の高い用語を英単語で理解できる。 ②作業に用いる器具の名称を英単語で選択することができる。 ③模型製作から研磨までの工程順序を正しく並べることができる。 ④工程に関する語句を英単語で認識することができる。	
10	7月4日	澤田 圭介	2	講義	9-74	2-4.「歯を白くしたい」 GIO:審美歯科治療の流れを理解するために、歯科医院での英会話から関連する用語や方法の特徴を理解する。 国家試験出題基準:なし	①歯を白くする治療を6つ列挙できる。 ②歯科医院と家庭での漂白方法の違いを説明できる。 ③漂白剤と歯磨剤による効果の違いを説明できる。 ④歯を白くするとはどういうことかを説明することができる。 ⑤ラミネートベニア法と漂白法の違いを説明できる。 ⑥英語のリスニングを聞いて歯科用英単語を記入することができる。	58~63
						2-5.「歯と歯の間に隙間ができた」 GIO:歯周病がもたらす審美の問題を理解するために、歯科医院での英会話から関連する用語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①歯周病がもたらす症状を2つ挙げることができる。 ②歯周病の審査方法を説明できる。 ③ブラケットライアングルを示すことができる。 ④歯周病の原因を説明できる。 ⑤歯周病の予防法を説明することができる。 ⑥2章で使用された歯科関連の英単語を和訳できる。	
11	7月20日	澤田 圭介	2	講義	9-77	2-5.「歯と歯の間に隙間ができた」 GIO:歯周病がもたらす審美の問題を理解するために、歯科医院での英会話から関連する用語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①歯周病がもたらす症状を2つ挙げることができる。 ②歯周病の審査方法を説明できる。 ③ブラケットライアングルを示すことができる。 ④歯周病の原因を説明できる。 ⑤歯周病の予防法を説明することができる。 ⑥2章で使用された歯科関連の英単語を和訳できる。	64~66
						3-1.歯の名前、歯の構造、歯式 GIO:歯を示す用語を理解するために、専門用語と一般用語を英単語で理解する。 国家試験出題基準:なし	①歯に関する一般用語と専門用語を英単語で区別することができる。 ②歯の構造について英単語で記入することができる。 ③FDIシステム・Zigmondyシステム・UniversalNumberingシステムを判別できる。 ④同側同名歯を3つの方法で示すことができる。	
12	9月5日	澤田 圭介	2	講義	9-81	3-1.歯の名前、歯の構造、歯式 GIO:歯を示す用語を理解するために、専門用語と一般用語を英単語で理解する。 国家試験出題基準:なし	①歯に関する一般用語と専門用語を英単語で区別することができる。 ②歯の構造について英単語で記入することができる。 ③FDIシステム・Zigmondyシステム・UniversalNumberingシステムを判別できる。 ④同側同名歯を3つの方法で示すことができる。	82~85
						3-2.クラウンの製作(間接法) GIO:クラウンの製作の手順を理解するために、支台歯形成から鑄造研磨までの工程に使用される英単語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①各工程で使用される頻度の高い用語を英単語で理解できる。 ②作業に用いる器具の名称を英単語で選択することができる。 ③模型製作から研磨までの工程順序を正しく並べることができる。 ④工程に関する語句を英単語で認識することができる。	
13	9月14日	澤田 圭介	2	講義	9-85	3-2.クラウンの製作(間接法) GIO:クラウンの製作の手順を理解するために、支台歯形成から鑄造研磨までの工程に使用される英単語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①各工程で使用される頻度の高い用語を英単語で理解できる。 ②作業に用いる器具の名称を英単語で選択することができる。 ③模型製作から研磨までの工程順序を正しく並べることができる。 ④工程に関する語句を英単語で認識することができる。	72~77
						3-2.クラウンの製作(間接法) GIO:クラウンの製作の手順を理解するために、支台歯形成から鑄造研磨までの工程に使用される英単語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①各工程で使用される頻度の高い用語を英単語で理解できる。 ②作業に用いる器具の名称を英単語で選択することができる。 ③模型製作から研磨までの工程順序を正しく並べることができる。 ④工程に関する語句を英単語で認識することができる。	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
14	9月25日	澤田 圭介	2	講義	9-90	3-3.陶材焼付金属冠の製作 GIO:陶材焼付金属冠の製作手順を理解するために、色調選択からグレージングまでの工程に使用される英単語を理解する。	①色調選択の注意点を3つ列挙することができる。 ②色の3要素を説明することができる。 ③ワックスパターン製作の注意点を日本語で説明することができる。 ④スプルー植立からメタル調整までに使用する英単語を選択することができる。 ⑤陶材築盛の方法について図を用いて説明できる。 ⑥陶材焼成・形態修正・ステイン・グレイズ処理の注意点を列挙できる。 ⑦ダイギャッシング、グレージングの意味を説明することができる。 ⑧3章で使用された英単語を和訳できる。	78~85
						国家試験出題基準:なし		
15	10月2日	澤田 圭介	1	講義	9-94	3-4.義歯の製作 GIO:義歯の製作手順を理解するために、印象採得から研磨完成までの用語を英単語で理解する。	①印象採得に関する語句を英単語に変換することができる。 ②基礎床と咬合掬に関する語句を英単語に変換することができる。 ③人工歯排列に関する語句を英単語に変換することができる。 ④フラスク埋没に関する語句を英単語に変換することができる。 ⑤レジン填入に関する語句を英単語に変換することができる。 ⑥フラスク割り出しに関する語句を英単語に変換することができる。 ⑦研磨・咬合調整・研磨に関する語句を英単語に変換することができる。 ⑧義歯研磨の工程と使用する研磨器具を関連付けることができる。 ⑨義歯の製作順序を正しく並べることができる。	86~97
						国家試験出題基準:なし		
16	10月16日	澤田 圭介	2	講義	9-101	3-5.歯科技工指示書 GIO:海外での歯科技工指示書を理解するために、アメリカとカナダの歯科技工指示書の内容を理解できる。	①指示書の英語による記載事項の意味を日本語で選択することができる。 ②記載された歯科技工指示書から必要な情報を読み取ることができる。 ③日本での歯科技工指示書記載事項を列挙することができる。	98 101
						国家試験出題基準:なし		
17	10月23日	澤田 圭介	2	講義	9-103	3-6.知っている便利な単語集 GIO:歯科技工で頻出する語句を理解するために、日本語と英単語での表記を理解する。	①歯科技工関係の用語を英単語で選択できる。 ②医科歯科関連の専門学科名を日本語と英語で選択できる。 ③医科歯科関連で用いられる略語とその内容を正しく選択できる。	102 110
						国家試験出題基準:なし		
18	11月20日	澤田 圭介	2	講義	9-110	4-1.E-mail, FAX, 手紙, 封筒の宛名の形式 GIO:英語の文章を和訳するために、インターネットを利用することができる。	①E-mailの入力ルールを正しく理解できる。 ②E-mail使用時の注意点を日本語で説明できる。 ③CCとBCCの使い分けについて説明することができる。 ④FAX通信の形式(フォーマット)を理解できる。 ⑤FAX通信に必要な4つの項目を説明できる。 ⑥Dentistry An Illustrated Historyの内容をネットを活用して日本語に訳することができる。	112 121
						国家試験出題基準:なし		
19	11月27日	澤田 圭介	2	講義	9-111	4-2. 各種文書の作成 4-3. 電話での会話 4.4. インターネットを利用する GIO:①海外への就職・進学に必要な履歴書の作成方法を知るために、書式例に沿って入力する。 GIO:②電話で使用される英会話を理解するために、英語での会話例から正しい返答を選択できる。	個の入力項目について記載できる項目数を挙げることができる。 ②推薦書の内容をネット検索を利用して和訳することができる。 ③Dentistry An Illustrated Historyの内容をネットを活用して日本語に訳することができる。 ④1950年代の歯科の様子を答えることができる。	122 127
						国家試験出題基準:なし		
20	12月4日	澤田 圭介	1	講義	9-112	4-2. 各種文書の作成 4-3. 電話での会話 4.5. インターネットを利用する GIO:①海外への就職・進学に必要な履歴書の作成方法を知るために、書式例に沿って入力する。 GIO:②電話で使用される英会話を理解するために、英語での会話例から正しい返答を選択できる。	①電話で頻出する英語のフレーズを理解できる。 ②インターネットの動画サイトから歯科技工に関連する動画を検索できる。 ③Dentistry An Illustrated Historyの内容をネットを活用して日本語に訳することができる。 ④1950年代の歯科の様子を答えることができる。	128 133
						国家試験出題基準:なし		

【基礎分野】 科学的思考の基盤、人間と生活	③情報リテラシー
---------------------------------	-----------------

本学期的学習目標(GIO)
歯科技工士として必要なコンピュータの知識やプレゼンテーションするためのスライド作成方法を身につけるため、講義や演習および実習を通してコンピュータの基礎知識を理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット9 歯科技工士の使命 臨床見学と就職

学年	学期	曜日	時間	教室
2	前・後期	月 木	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 302教室、 6F コンピュータ室
			9:00~12:10	
			10:40~12:10	
			13:00~14:30	
			14:40~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
奥村晴彦 著	基礎からわかる情報リテラシー	第二版	技術評論社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工造形学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	後藤 和彦、山田 誠、矢野 恭平、澤田 圭介、石橋 洋一、松山 大樹
成績評価	提出物、プレゼンスライド、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	4月18日	矢野 恭平	4	演習	9-7	5章 文書作成	①文書作成に用いるパソコン用のソフトを5つ列挙することができる。 ②Wordを起動することができる。 ③文書を保存することができる。 ④文字フォント、文字サイズなど指定した文書と同じものを作ることができる。	59~80
						GIO:文章の作成方法を知るために、Wordの起動方法や保存方法および入力方法を理解する。		
						国試出題基準:なし		
2	4月25日	澤田 圭介	4	演習	9-13	8章 Webによる情報発信 9章 情報の調べ方・まとめ方	①Webの意味を挙げることができる。 ②Toの意味を挙げることができる。 ③CCの意味を挙げることができる。 ④BCCの意味を挙げることができる。 ⑤URLの意味を挙げることができる。 ⑥社会人としてのマナーをふまえたメールを送ることができる。 ⑦検索サービスを3つ列挙することができる。 ⑧指定された条件でWebサイトを検索することができる。 ⑨URLから公共機関のWebサイトを選び出すことができる。 ⑩OPACの意味を挙げることができる。 ⑪レポート・論文を書く時の注意点を挙げることができる。	119 ~ 134
						GIO:Webによる情報発信・情報の調べ方を知るために、検索サービスの使い方や注意点について理解する。		
						国試出題基準:なし		
3	5月16日	山田 誠	4	演習	9-25	7章 プレゼンテーション	①プレゼンテーションの意味を挙げることができる。 ②PowerPointを起動することができる。 ③PowerPointを使って資料を作成することができる。 ④セカンドスクリーンへの表示ができる。 ⑤PowerPoint以外の選択肢を5つ列挙することができる。 ⑥よいプレゼンテーションのしかたの項目を5つ列挙することができる。	103 ~ 110
						GIO:プレゼンテーションできるようにするために、PowerPointを使った資料作成やスクリーンへの表示方法について理解する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
4	5月17日	松山 大樹	2	演習	9-28	6章 表計算	①Excelを起動することができる。 ②表計算ソフトを用いて表を作ることができる。 ③数値データからグラフを作ることができる。 ④表計算ソフトを保存することができる。	83 109
						GIO:表計算を知るために、Excelの起動方法や数値の計算方法を理解する。		
						国試出題基準:なし		
5	5月24日	松山 大樹	2	演習	9-34	6章 表計算	①Excelを起動することができる。 ②表計算ソフトを用いて表を作ることができる。 ③数値データからグラフを作ることができる。 ④数値データから関数を用いて合計、平均を計算できる。 ⑤データをWordに貼り付けることができる。	83 109
						GIO:表計算を知るために、Excelの起動方法や数値の計算方法を理解する。		
						国試出題基準:なし		
6	5月30日	澤田 圭介	2	講義	9-39	10章 コンピュータとネットワーク	①コンピュータの五大装置を5つ列挙することができる。 ②CPUの意味を挙げることができる。 ③コンピュータの記憶装置を2つ列挙することができる。 ④コンピュータの扱う画像を2つ列挙することができる。	137 143
						GIO:コンピュータとネットワークを知るために、コンピュータのしくみについて理解する。		
						国試出題基準:なし		
7	5月31日	石橋 洋一	2	講義	9-40	12章 情報と法律	①著作物複製の例外事項を3つ列挙することができる。 ②個人情報の定義を挙げることができる。 ③不正アクセスの対処法を挙げることができる。 ④肖像権の例を1つ挙げることができる。	159 166
						GIO:情報と法律を知るために、「著作権」「個人情報」「不正アクセス」「肖像権」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
8	6月7日	矢野 恭平	2	講義	9-45	11章 情報とセキュリティ	①Windowsのセキュリティ対策を6つ列挙することができる。 ②Macのセキュリティ対策を5つ列挙することができる。 ③スマホのセキュリティ対策を5つ列挙することができる。 ④不正ソフトの種類を2つ列挙することができる。	147 158
						GIO:情報とセキュリティを知るために、WindowsやMacおよびスマホのセキュリティ対策や不正ソフトの種類について理解する。		
						国試出題基準:なし		
9	6月13日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-53	九州大学病院見学発表会に向けたプレゼンテーション作成	①グループ協同でスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:九州大学病院見学発表会でグループ発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
10	6月13日	澤田 圭介	2	講義	9-51	コンピューターグラフィックス(歯科技工造形学)	①コンピューターリテラシーの意味を挙げることができる。 ②グラフィックスの意味を挙げることができる。 ③グラフィックスソフトの種類を2つ列挙することができる。 ④モデリングの意味を挙げることができる。 ⑤レンダリングの意味を挙げることができる。 ⑥サーフェスレンダリングの意味を挙げることができる。 ⑦ポリウムレンダリングの意味を挙げることができる。 ⑧スカルプティングの意味を挙げることができる。	64~69
						GIO:CAD/CAMに関連する専門用語を知るために、「リテラシー」「デザインと技法」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
11	6月19日	澤田 圭介 石橋 洋一	2	実習	9-57	九州大学病院見学発表会に向けたプレゼンテーション作成	①グループ協同でスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:九州大学病院見学発表会でグループ発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
12	6月21日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-60	九州大学病院見学発表会に向けたプレゼンテーション作成	①グループ協同でスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:九州大学病院見学発表会でグループ発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
13	6月26日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-65	九州大学病院見学発表会に向けたプレゼンテーション作成	①グループ協同でスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:九州大学病院見学発表会でグループ発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
14	6月28日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-67	九州大学病院見学発表会に向けたプレゼンテーション作成	①グループ協同でスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:九州大学病院見学発表会でグループ発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
15	6月28日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-69	九州大学病院見学発表会に向けたプレゼンテーション作成	①グループ協同でスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:九州大学病院見学発表会でグループ発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
16	6月28日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-70	九州大学病院見学発表会に向けたプレゼンテーション作成	①グループ協同でスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:九州大学病院見学発表会でグループ発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
17	7月24日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	9-78	インターンシップ発表会に向けたプレゼンテーション作成	①パワーポイントでスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会で個人発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
18	9月12日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	9-83	インターンシップ発表会に向けたプレゼンテーション作成	①パワーポイントでスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会で個人発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
19	9月14日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-84	インターンシップ発表会に向けたプレゼンテーション作成	①パワーポイントでスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会で個人発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
20	9月19日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	実習	9-87	インターンシップ発表会に向けたプレゼンテーション作成	①パワーポイントでスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会で個人発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
21	9月20日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-88	インターンシップ発表会に向けたプレゼンテーション作成	①パワーポイントでスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会で個人発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
22	9月26日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-91	インターンシップ発表会に向けたプレゼンテーション作成	①パワーポイントでスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会で個人発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
23	9月28日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-92	インターンシップ発表会に向けたプレゼンテーション作成	①パワーポイントでスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会で個人発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
24	10月3日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-95	インターンシップ発表会に向けたプレゼンテーション作成	①パワーポイントでスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会で個人発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
25	10月5日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-96	インターンシップ発表会に向けたプレゼンテーション作成	①パワーポイントでスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会で個人発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		
26	10月12日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-98	インターンシップ発表会に向けたプレゼンテーション作成	①パワーポイントでスライド作成することができる。 ②発表の文書を作成することができる。 ③教本外の専門用語を6F書庫の専門書で調べることができる。 ④適宜教員のチェックをもらいながら進めることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会で個人発表するために、パワーポイントを用いてプレゼンテーションの準備をする。		
						国試出題基準:なし		

【基礎分野】 科学と技術の基盤、人間と生活	⑤ ビジネス能力
---------------------------------	-----------------

本学期的学習目標(GIO)
社会人として働く上で基本的なビジネスマナーを兼ね備えた歯科技工士になるため、コミュニケーションの基本や報告、連絡、相談のポイント、また仕事の取り組み方について理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット9 歯科技工士の使命

学年	学期	曜日	時間	教室
2	前期	月・火・水	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 302教室
			10:40~12:10	
			13:00~13:45	
			13:00~14:30	

教科書・参考書
ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト

担当者一覧	山田 誠、矢野 恭平、澤田 圭介、石橋 洋一、松山 大樹
成績評価	小テスト、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	5月17日	山田 誠	2	講義	9-30	1編-1 キャリアと仕事へのアプローチ GIO:組織人として働く心構えを身につけるために、「働く意識」「仕事への取り組み方」「会社の基本とルール」を修得する。	①期待される社会人・職業人について説明できる。 ②働く意義についての項目を4つ列挙することができる。 ③就職先を決めるための考え・行動を4つ列挙することができる。 ④学生時代に身につけておくことを6つ列挙することができる。 ⑤働く意識についての項目を3つ列挙することができる。 ⑥仕事への取り組み方についての項目を4つ列挙することができる。 ⑦会社の基本とルールの項目を4つ列挙することができる。 ⑧株式会社の役職を順に述べることができる。 ⑨会社の組織をピラミッド図で表すことができる。	10~21
						国家試験出題基準:なし		
2	5月17日	山田 誠	1	講義	9-31	1編-1 キャリアと仕事へのアプローチ GIO:講義内容の理解度を確認するために、練習問題を解く。	①キャリアと仕事へのアプローチに関する設問から正答を導きだすことができる	10~21
						国家試験出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	5月24日	山田 誠	2	講義	9-35	1編-1 キャリアと仕事へのアプローチ GIO: 職場で良好な人間関係を構築するために、必要とされる基本的な知識を習得する。	①仕事の基本となる8つの意識を列挙することができる。 ②顧客意識についての特徴を表を使って説明できる。 ③品質意識についての特徴を表を使って説明できる。 ④納期意識についての特徴を表を使って説明できる。 ⑤時間意識についての特徴を表を使って説明できる。 ⑥目標意識についての特徴を表を使って説明できる。 ⑦協調意識についての特徴を表を使って説明できる。 ⑧改善意識についての特徴を表を使って説明できる。 ⑨コスト意識についての特徴を表を使って説明できる。 ⑩仕事の基本となる8つの意識の中から最も大切な項目を1つ挙げることができる。 ⑪顧客満足度を高める姿勢・行動を4つ列挙することができる。 ⑫納期を守るためのポイントを表にまとめることができる。 ⑬日々の的確な時間管理のポイントを表にまとめることができる。 ⑭目標を立てる目的を説明できる。 ⑮協調して仕事を進めるための約束ごとを5つ挙げることができる。 ⑯互いに力を合わせることで組織としての力を引き出す効果を挙げることができる。 ⑰改善意識を高めるために取り除く項目を3つ列挙することができる。 ⑱問題意識を改善するための手順を述べる ことができる。 ⑲変化に機敏に対応する力を2つ列挙することができる。 ⑳仕事の効率性や品質を高めるための点検項目を表にまとめることができる。	22~31
						国家試験出題基準:なし		
4	5月24日	山田 誠	1	講義	9-36	1編-2 仕事の基本となる8つの意識 GIO: 講義内容の理解度を確認するために、練習問題を解く。	①仕事の基本となる8つの意識に関する設問から正答を導きだすことができる。	22~31
						国家試験出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
4	5月30日	松山 大樹	2	講義	9-38	1編-5 話し方と聞き方のポイント 社会人として活動するために、 効率の良い仕事の進め方を身につける。 国家試験出題基準:なし	①自分の意志を正確に伝えるためのポイントを6つ列挙することができる。 ②上司への言葉使いの注意点を説明できる。 ③先輩への言葉使いの注意点を説明できる。 ④同僚への言葉使いの注意点を説明できる。 ⑤好ましいことばと好ましくないことばの例を項目ごとに判断できる。 ⑥肯定表現を使うことができる。 ⑦クッション言葉を使うことができる。 ⑧クッション言葉を使うことができる。 ⑨あとよし言葉を使うことができる。 ⑩敬語をマスターするための3つのポイントを挙げるすることができる。 ⑪敬語の種類を3つ挙げるすることができる。 ⑫敬語を使った会話を実践することができる。 ⑬尊敬語への言い換え方を実践することができる。 ⑭謙譲語への言い換え方を実践することができる。 ⑮尊敬語と謙譲語の違いを説明できる。 ⑯相手の話を聞くときのポイントを5つ列挙することができる。 ⑰効果的な質問の仕方を2つ列挙することができる。	54~63
5	5月31日	矢野 恭平	1	講義	9-41	1編-3 コミュニケーションと ビジネスマナーの基本 GIO:社会人として必要な身だしなみや挨拶ができるようになるために、正しい言葉遣いや敬語を使った会話を修得する。 国家試験出題基準:なし	①職場で必要とされるコミュニケーションについて説明できる。 ②目標達成のためチームに求められるものを挙げるすることができる。 ③良好なコミュニケーションを深めるための7項目を表にまとめることができる。 ④円滑なコミュニケーションを図るために必要な項目を3つ列挙することができる。 ⑤ビジネスマナーの基本を3つ挙げることができる。 ⑥身だしなみの基本を3つ列挙することができる。 ⑦社会人として正しい身だしなみの例を図内に記入することができる。 ⑧職場のあいさつ7項目を表にまとめることができる。 ⑨職場でのことばづかいの3項目を表にまとめることができる。 ⑩おじぎの作法について説明することができる。 ⑪3種類のおじぎを実践することができる。 ⑫3種類のお辞儀の姿勢や使用場面、言葉についてを表にまとめることができる。 ⑬就業中のマナーや態度についての項目を10つ列挙することができる。 ⑭健康管理のポイントを6つ列挙することができる。 ⑮出社・退社のルールについて説明できる。 ⑯遅刻・早退のルールについて説明できる。 ⑰残業・休日出勤のルールについて説明できる。 ⑱休憩時間のルールについて説明できる。 ⑲休暇のルールについて説明できる。	32~47

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
6	5月31日	矢野 恭平	1	講義	9-42	1編-3 コミュニケーションと ビジネスマナーの基本	①コミュニケーションとビジネスマナーの基本 に関する設問から正答を導き出すことができ る。	36~47
						GIO:講義内容の理解度を確認 するために、練習問題を解く。		
						国家試験出題基準:なし		
7	6月7日	矢野 恭平	2	講義	9-46	1編-4 指示の受け方と報告・ 連絡・相談	①指示、報告、連絡、相談の関係について図 を用いて説明できる。 ②5W2Hをふまえたメモの取り方が実践できる。 ③報告と連絡のポイントを6つ列挙すること ができる。 ④報告するときの注意点を5つ列挙すること ができる。 ⑤不測の事態が起きた時の対応方法を5つ 列挙できる。 ⑥相談の仕方に関する4つのポイントを説明 できる。 ⑦先輩や上司からの忠告に対する受け方 について説明できる。	48~53
						GIO:職場において業務を遂行 するために、正しい指示の受け 方を理解する。		
						国家試験出題基準:なし		
8	6月7日	矢野 恭平	1	講義	9-47	1編-4 指示の受け方と報告・ 連絡・相談	①指示の受け方と報告に関する設問から正 答を導き出すことができる。	48~53
						GIO:講義内容の理解度を確認 するために、練習問題を解く。		
						国家試験出題基準:なし		
9	6月13日	石橋 洋一	1	講義	9-49	2編-1 仕事への取り組み方 ビジネス文書の基本	①仕事への取り組み方、ビジネス文書の基 本に関する設問から正答を導き出すこと ができる。	84~95 96 113
						GIO:講義内容の理解度を確認 するために、練習問題を解く。		
						国家試験出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
10	6月15日	松山 大樹	1	講義	9-53	1編-6 来客対応と訪問の基本マナー 7 会社関係でのつき合い 社会人として活動するために、効率の良い仕事の進め方を身につける。	①受付の基本的なマナーのポイントを4つ列挙することができる。 ②受付・接客の7大用語を列挙することができる。 ③基本のマナーをふまえたうえで心がまえを6つ列挙することができる。 ④来客案内時の3つの心がまえをふまえて実践することができる。 ⑤応接室への案内マナーを実践することができる。 ⑥自動車の席次図をみて上座と下座の場所を特定することができる。 ⑦面談準備における心がまえを4つ列挙することができる。 ⑧名刺の出し方について順番に述べることができる。 ⑨名刺の受け取り方について順番に述べることができる。 ⑩名刺交換を実践することができる。 ⑪アポイントメントの手順を述べることができる。 ⑫会食を招待するときの手順を述べることができる。 ⑬会食の基本マナーを3つ列挙することができる。 ⑭してはいけない箸づかいを3つ挙げることができる。 ⑮ナプキン、ナイフ、フォークのマナーを説明することができる。 ⑯業務終了後のつき合い方における3つのポイントを列挙することができる。 ⑰酒席のマナーを簡単に説明することができる。 ⑱慶事のマナーを簡単に説明することができる。 ⑲弔事のマナーを簡単に説明することができる。 ⑳焼香の手順を述べることができる。	64~73 74~77
						国家試験出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
11	6月19日	石橋 洋一	2	講義	9-55	<p>11 ビジネス文書の基本</p> <p>社会人として活動するために、ビジネス文書作成の基礎知識を身につける。</p>	<p>①仕事を正確・確実に行うための注意点を4つ列挙することができる。</p> <p>②スケジュールの立て方を手順に沿って述べるすることができる。</p> <p>③定型業務と非定型業務の違いを説明することができる。</p> <p>④定型業務と非定型業務の特徴を表にまとめることができる。</p> <p>⑤仕事を効率的に進めるためのポイントを4つ列挙することができる。</p> <p>⑥PDCAサイクルを自身の課題に応用できる。</p> <p>⑦スケジュール管理のための手帳の有効的な使い方を6つ列挙することができる。</p> <p>⑧情報整理のポイントを4つ列挙することができる。</p> <p>⑨パソコンの一般的な活用法を3つ挙げることができる。</p> <p>⑩パソコンを利用した情報管理の長所と短所を表でまとめることができる。</p> <p>⑪パソコン利用上の留意点(情報セキュリティ)を3つ挙げることができる。</p> <p>⑫電子メールを使ったコミュニケーションの長所と短所を表にまとめることができる。</p> <p>⑬電子メール送信時の注意点を4つ挙げることができる。</p> <p>⑭ビジネス文書の役割を2つ挙げることができる。</p> <p>⑮ビジネス文書作成での基本形式を7つ列挙することができる。</p> <p>⑯社内文書と社外文書の違いを説明できる。</p> <p>⑰社内文書の基本型を使用して文書を作成できる。</p> <p>⑱目的に応じた社内文書を類別できる。</p> <p>⑲社外文書の基本形を使用して文書を作成できる。</p> <p>⑳敬称の付け方を類別できる。</p> <p>㉑時候の挨拶例から適切な語句を選択できる。</p> <p>㉒封筒・葉書を書き方の基本を元に作成することができる。</p> <p>㉓電子メールに適した文書を作成できる。</p>	84~95 96 113
						国家試験出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
12	6月21日	石橋 洋一	2	講義	9-61	2編-3 電話対応 4 統計・データの読み方・まとめ方 社会人として活動するために、 グラフや表から数値情報を理解 する力を身につける。 国家試験出題基準:なし	①電話対応の心がけのポイントを5つ列挙 することができる。 ②電話対応の事前準備における要点を5つ 列挙することができる。 ③電話を受ける際の注意点と話し方につ いてワークを通して実践することができ る。 ④電話をかける際の注意点と話し方につ いてワークを通して実践することができ る。 ⑤電話の取りつき方について説明するこ とができる。 ⑥伝言メモをわかりやすいように簡潔にま とめることができる。 ⑦携帯電話を使用するときの注意点を8つ 列挙することができる。 ⑧表とグラフから数値情報の関連付けが できる。 ⑨表の項目理解から語句の意味を解釈で きる。 ⑩表の数値相互から関連を結論でき る。 ⑪表から読み取れる内容を総合的に把握 することができる。 ⑫折れ線・棒・円・帯グラフ・レーダー チャートを類別できる。	114 ~ 127
13	6月26日	澤田 圭介	2	講義	9-64	2編-3 電話対応 4 統計・データの読み方・まとめ方 GIO: 講義内容の理解度を確 認するために、練習問題を解く。 国家試験出題基準:なし	①電話対応、統計データに関する設問に 対して正しい答えを導きだせる。	114 ~ 127
14	6月29日	澤田 圭介	2	講義	9-68	15 会社を取り巻く環境と経済の基本 社会人として活動するために、 日本経済の変化やビジネスで使 用される用語を理解する。 国家試験出題基準:なし	①メディア(インターネット・テレビ・新聞) の特徴について類別できる。 ②新聞の読み方についてポイント(見出し ・リード文・本文・グラフ・キーワード 欄)ごとに内容を把握することができ る。 ③第二次世界大戦後の日本経済について 年代ごとの特徴を比較できる。 ④変化の時代に求められる人材について 推論できる。 ⑤日本経済の変化に関する設問に 対して正答を導き出せる。	122 ~ 135

【専門基礎分野】 A. 歯科技工と歯科医療	⑥歯科技工管理学 *実務経験のある教員による授業科目
---------------------------------	--------------------------------------

本学期的学習目標(GIO)
医療の概念および法令を遵守した歯科技工士になるため、講義を通して歯科技工士の業務や倫理および関係法令の知識を修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット9 歯科技工士の使命、臨床見学と就職

学年	学期	曜日	時間	教室
2	前・後期	火 水 木 金	9:00~12:10	博多メディカル専門学校 3階 302教室、 歯科技工実習室
			13:00~14:30	
			13:00~15:25	
			14:40~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	山田 順一、邵 仁浩、山田 誠
成績評価	講義末試験、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	4月12日	山田 順一	4	講義	9-1	1章 歯科医療と歯科技工 GIO: 歯科医療と歯科技工の関連を知るために「医療と歯科医療」について理解する。	①医療政策会議報告書で定義される医療を挙げることができる。 ②日本国憲法第25条を挙げることができる。 ③歯科医療が一般の医療と異なる点を挙げることができる。 ④歯の健康と医療人の関係を解釈することができる。 ⑤DOSの原語を表し意味を説明することができる。 ⑥POSの原語を表し意味を説明することができる。 ⑦インフォームドコンセントの意味を説明することができる。(令4問3) ⑧EBMの原語を表し意味を説明することができる。 ⑨NBMの原語を表し意味を説明することができる。 ⑩QOLの原語を表し意味を説明することができる。 ⑪ADLの原語を表し意味を説明することができる。 ⑫医療関係業種を7つ挙げることができる。 ⑬歯科医療のチームを編成する職種を挙げることができる。 ⑭歯科医療の特殊性を5つ挙げることができる。	2~9
						国試出題基準:なし		
2	4月13日	山田 順一	2	講義	9-2	1章 歯科医療と歯科技工 GIO: 歯科医療と歯科技工の関連を知るために「歯科医療の目的」「歯科医療機関の役割」について理解する。	①歯科医療の目的を5つ挙げることができる。 ②医療機関を第一次から第三次に区分することができる。 ③開業歯科医院の役割を挙げることができる。 ④総合病院歯科の役割を挙げることができる。 ⑤大学病院や歯科大学附属病院の役割を挙げることができる。	10~11
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	4月19日	山田 順一	4	講義	9-9	1章 歯科医療と歯科技工	<ul style="list-style-type: none"> ① 歯科医師の業務を挙げることができる。 ② 歯科技工士の業務を挙げることができる。 ③ 歯科衛生士の業務を挙げることができる。 ④ 歯科技工士法で定められている歯科技工を挙げることができる。 ⑤ 補綴装置製作のために理解しなければならない事柄を挙げることができる。 ⑥ 技術・技能を伸ばすために必要な事を挙げることができる。 ⑦ 歯科技工士免許権者が厚生大臣に変更された年を挙げることができる。 ⑧ 国家試験が全国統一された年を挙げることができる。 ⑨ 歯科技工士の要請形態を3つ挙げることができる。 ⑩ 歯科技工士国家試験の学説試験科目を8つ挙げることができる。 ⑪ 歯科技工士国家試験の実施試験科目を3つ挙げることができる。 ⑫ 各国の教育制度を大まかに説明することができる。 	14~25
						GIO: 歯科医療と歯科技工の関連を知るために「歯科医療関係職種」「歯科技工と歯科技工学」について理解する。		
国試出題基準: なし								
4	4月20日	山田 順一	2	講義	9-10	2章 歯科技工士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ① 歯科技工士の業務を挙げることができる。 ② 医の倫理綱領を解釈することができる。 ③ 日本歯科医師会倫理規範(基本精神)を解釈することができる。 ④ ヒポクラテスの誓いを解釈することができる。 ⑤ 日本歯科技工士会の倫理綱領を挙げることができる。 ⑥ 歯科技工士数・歯科技工所数の年次推移をみて解釈することができる。(令2問2) ⑦ 年齢階級別就業歯科技工士数の年次推移をみて解釈することができる。 ⑧ 就業歯科技工士の男女比をみて解釈することができる。 ⑨ 歯科技工士数別にみた歯科技工所数の割合をみて解釈することができる。 ⑩ 就職求人数の年次推移をみて解釈することができる。 ⑪ 国民皆保険制度を大まかに説明することができる。 ⑫ 製作技工に要する費用と製作管理に要する費用の割合を挙げることができる。 ⑬ 保険診療と自費診療の違いを表にまとめることができる。 ⑭ ドイツとアメリカおよびアジア諸国の歯科技工士の現状を表にまとめることができる。 	26~32
						GIO: 歯科医療における歯科技工士の役割を知るために「歯科技工士の業務」「歯科技工士の倫理」「歯科技工士の現状」について理解する。		
国試出題基準: 1-A 1-B								

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
5	6月14日	山田 誠	4	講義	9-52	6章 歯科技工の管理と運営 GIO: 歯科技工の管理と運営を知るために「歯科技工の作業環境」について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 歯科技工所周囲の物理的環境を8つ挙げることができる。 ② 歯科技工所周囲の化学的環境を5つ挙げることができる。 ③ 歯科技工所周囲の生物的環境を3つ挙げることができる。 ④ 椅座位作業の姿勢で着席することができる。 ⑤ 技工機の高さと広さの注意点を挙げるることができる。 ⑥ 立位作業での作業台の高さと姿勢の注意点を挙げるることができる。 ⑦ 歯科技工所に必要な気積を挙げることができる。 ⑧ 歯科技工所の採光と照明の注意事項を挙げることができる。 ⑨ クラウン製作時に発生する粉塵濃度が高いものを挙げることができる。(令3問2) ⑩ 義歯製作時に発生する粉塵濃度が高いものを挙げることができる。 ⑪ 人工換気の設備を4つ挙げることができる。 ⑫ 騒音の定義を挙げることができる。 ⑬ 環境基本法で定められている公害を7つ挙げることができる。 ⑭ 歯科技工所から出る環境汚染の原因を7つ挙げることができる。 ⑮ 歯科技工所の汚染対策を挙げることができる。 	73~77
						国試出題基準: 1-E-h		
6	6月27日	山田 誠	4	講義	9-66	6章 歯科技工の管理と運営 GIO: 歯科技工の管理と運営を知るために「歯科技工業務の運営」について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 良質な補綴装置を提供するために遵守しなければならない点を2つ挙げることができる。 ② 歯科技工の就業形態を3つ挙げることができる。 ③ 歯科技工所を開設する場合に必要な届けを挙げることができる。 ④ 歯科技工所の開設者に必要な能力を挙げることができる。 ⑤ 品質管理を説明することができる。 ⑥ 品質保証を説明することができる。 ⑦ 補綴装置のトレーサビリティを説明することができる。(令4問1) ⑧ 歯科材料・機器に関する法律の目的を説明することができる。 ⑨ 歯科材料・機器に関する法律の規制の対象となるものについて説明することができる。 ⑩ 歯科材料・機器に関する法律の規制の対象とならないものについて説明することができる。 ⑪ 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の目的について説明することができる。 ⑫ 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の対象となるものについて説明することができる。(令2問3) ⑬ 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の対象とならないものについて説明することができる。 	77~89
						1-1-E-h 国試出題基準: 1-4-B-a 1-5-D		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
7	8月25日	邵 仁浩	2	講義	9-78	10章 衛生行政	①法律の概要を説明することができる。 ②日本国憲法第13条を解釈することができる。 ③日本国憲法第25条を解釈することができる。 ④国が制定する命令(法律・政令・症例)の違いを説明することができる。	132 ～ 134
						GIO:医療人として遵守精神を身につけるために、歯科技工士に必要な法律を理解する。		
						国試出題基準:3-A -a		
8	9月1日	邵 仁浩	2	講義	9-80	10章 衛生行政	①衛生行政の概要について説明することができる。 ②歯科に関係する6つの法律について、名称と概要を関連づけることができる。 ③国民皆保険制度について説明することができる。 ④厚生労働省の組織を表でまとめることができる。 ⑤厚生労働省の中で歯科に関わる部局を答えることができる。 ⑥健康局、老健局、保険局で所管する法律と担当業務を説明することができる。	134 ～ 137
						GIO:歯科技工業務を適正に行うために、歯科技工士に必要な法律を理解する。		
						国試出題基準:2-A,B 3-A -a		
9	9月12日	山田 誠	2	講義	9-82	6章 歯科技工の管理と運営	①作業環境の整備から歯科技工士の健康管理について説明することができる。 ②人間工学に基づく作業姿勢から歯科技工士の健康管理について説明することができる。 ③生活習慣の改善から歯科技工士の健康管理について説明することができる。 ④歯科医療と感染の危険性を説明することができる。 ⑤歯科医療において感染の危険が高い2つを挙げることができる。 ⑥感染予防の方法を4つ挙げることができる。 ⑦スタンダードプリコーションの概念について説明することができる。	82～92
						GIO:歯科技工の管理と運営を知るために「歯科技工業務の運営」について理解する。		
						国試出題基準:4-A 4-B		
10	9月15日	邵 仁浩	2	講義	9-86	11章 歯科技工士法	①歯科技工士法の成り立ちについて説明することができる。 ②歯科技工士法の構成を6章に分けて挙げることができる。 ③歯科技工士法の目的を説明することができる。 ④歯科技工の定義を説明することができる。 ⑤歯科技工と歯科医療の違いを説明することができる。 ⑥歯科技工士の定義を説明することができる。 ⑦歯科技工所の定義を説明することができる。 ⑧歯科技工室と歯科技工所の違いを説明することができる。	138 ～ 142
						GIO:歯科技工業務を適正に行うために歯科技工法の「成り立ち」、「構成」、「法律の目的」、「用語の定義」について理解する。		
						国試出題基準:3-A -b,c,d		
11	9月22日	邵 仁浩	2	講義	9-89	11章 歯科技工士法	①歯科技工士免許の資格要件について申請先を挙げることができる。 ②歯科技工士になるため機序を説明することができる。 ③歯科技工士免許の申請に必要な3つの書類を挙げることができる。 ④歯科技工士の欠格事由について3つの事由を説明することができる。(令3問1) ⑤歯科技工士免許を受けるための積極的要件と消極的要件を挙げることができる。	142 ～ 145
						GIO:歯科技工業務を適正に行うために、「免許」について理解する。		
						国試出題基準:3-B-a,b,c		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
12	9月29日	邵 仁浩	2	講義	9-93	11章 歯科技工士法 GIO:歯科技工業務を適正に行うために、「歯科技工士名簿」「免許の登録、交付及び届け出」について理解する。 国試出題基準:3-B-d,e	①歯科技工士名簿の規定について説明することができる。 ②歯科技工士名簿登録の手順について説明することができる。 ③歯科技工士名簿の訂正方法について説明することができる。 ④歯科技工士名簿の訂正期限を挙げることができる。 ⑤歯科技工士免許の交付先変更の経緯について説明することができる。 ⑥業務従事者届の必要事項4つを挙げることができる。 ⑦業務従事者届違反の罰則について説明することができる。 ⑧業務従事者届と就業歯科技工士数の関連について説明することができる。 ⑨免許証再交付の申請手続きについて説明することができる。 ⑩免許証再交付後に失った免許証発見の返納先と期間を説明することができる。	146 ~ 151
13	10月6日	邵 仁浩	2	講義	9-97	11章 歯科技工士法 GIO:歯科技工業務を適正に行うために、「意見の聴取」「免許の取り消し、業務停止」「指定登録機関」について理解する。 国試出題基準:3-B-f	①歯科技工士免許の取り消し・業務停止について説明することができる。 ②聴聞の方法について説明することができる。 ③指定登録機関に係る指定要件を説明することができる。	151 ~ 154
14	10月20日	邵 仁浩	2	講義	9-102	11章 歯科技工士法 GIO:歯科技工業務を適正に行うために、「試験について」理解する。 国試出題基準:3-C-a	①試験の目的について説明することができる。 ②学説試験科目8つ挙げることができる。 ③試験事務担当者の不正行為に対する罰則を挙げることができる。 ④4つの受験資格該当者を挙げることができる。 ⑤試験の無効要件を説明することができる。 ⑥受験手数料規定について説明することができる。	155 ~ 160
15	10月27日	邵 仁浩	2	講義	9-104	11章 歯科技工士法 GIO:歯科技工業務を適正に行うために、「業務」について理解する。 国試出題基準:3-D-a,b,c,d,e	①歯科技工業務の禁止行為を挙げることができる。 ②歯科技工士規定違反の罰則を挙げることができる。 ③歯科技工指示書の記載事項を7つ挙げることができる。(令2問1) ④歯科技工指示書の保存義務について説明することができる。 ⑤歯科技工指示書保存義務違反の罰則を挙げることができる。 ⑥両罰規定が意味する内容を理解することができる。 ⑦歯科医療におけるトレーサビリティと歯科技工指示書の問題点を理解することができる。 ⑧歯科技工士の禁止業務について5つ挙げることができる。 ⑨禁止行為違反の罰則を挙げることができる。 ⑩守秘義務について説明することができる。 ⑪守秘義務違反の罰則を挙げることができる。	160 ~ 165

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
16	10月10日	邵 仁浩	2	講義	9-107	11章 歯科技工士法 GIO: 歯科技工業務を適正に行うために、「歯科技工所」について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 歯科技工所届出事項を7つ挙げることができる。 ② 歯科技工所開設者の届出規定について説明することができる。 ③ 歯科技工所開設届の期日について説明することができる。(令4問2) ④ 歯科技工所開設届の記載事項を3つ挙げることができる。 ⑤ 管理者の規定について説明することができる。 ⑥ 構造設備基準12項を挙げることができる。 ⑦ 歯科技工所使用禁止の規定について説明することができる。 ⑧ 広告の制限項目を4つ挙げることができる。 ⑨ 広告の制限違反の罰則について説明することができる。 	166 ~ 170
						国試出題基準: 3-E-a, b, c, d, e, f 3-E-h		
17	11月17日	邵 仁浩	3	講義	9-109	11章 歯科技工士法 12章 医療法、歯科医師法、 歯科衛生法 GIO: 歯科技工業務を適正に行うために、「雑則」「罰則」「医療法」「歯科医師法」「歯科衛生法」について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 無資格者の歯科技工業務違反行為の罰則を挙げることができる。 ② 不正による免許取得の罰則を挙げることができる。 ③ 試験事務担当者の不正行為の罰則を挙げることができる。 ④ 業務停止命令違反の罰則を挙げることができる。 ⑤ 歯科医業停止命令違反の罰則を挙げることができる。 ⑥ 歯科技工所の使用禁止違反の罰則を挙げることができる。 ⑦ 秘密を守る義務違反の罰則を挙げることができる。 ⑧ 業務従事者届違反の罰則を挙げることができる。 ⑨ 歯科技工指示書規定違反の罰則を挙げることができる。 ⑩ 歯科技工指示書保存義務違反の罰則を挙げることができる。 ⑪ 歯科技工指示書届出義務違反の罰則を挙げることができる。 ⑫ 管理者設置義務違反の罰則を挙げることができる。 ⑬ 広告制限規定違反の罰則を挙げることができる。 ⑭ 報告立入検査規定違反の罰則を挙げることができる。 ⑮ 受験者の不正行為違反の罰則を挙げることができる。 ⑯ 歯科技工に関する違反行為と罰則について関連づけることができる。 ⑰ 歯科5法をすべて挙げることができる。 ⑱ 医療法の目的を説明することができる。(令4問3) ⑲ 病院と診療所の法定定義を挙げることができる。 ⑳ 歯科診療所が標榜できる科名を挙げることができる。(令3問3) 	170 ~ 177
						国試出題基準: 3-E-g, h 5-A 5-B 5-C		

【専門分野】 歯科技工実習	⑳歯科技工実習 歯科技工の基本(2年) *実務経験のある教員による授業科目
-------------------------	---

本学期的学習目標(GIO)
使命感を持った歯科技工士になるため、講義を通して臨床現場に必要な知識を修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット9 歯科技工士の使命、臨床見学と就職

学年	学期	曜日	時間	教室
2	前期	月 ～ 金	9:00～9:45	博多メディカル専門学校 3階 302教室
			9:00～10:30	
			9:45～10:30	
			10:40～11:25	
			11:25～12:10	
			13:00～13:45	
			13:00～14:30	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工実習	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	山田 誠
成績評価	講義末試験、実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	4月14日	山田 誠	1	講義	9-3	3章 感染対策 GIO: 感染対策を知るために、「感染対策の概念」について理解する。	① 歯科診療所から持ち込まれるもので感染リスクのあるものを3つ挙げることができる。 ② 感染症の種類を3つ列挙することができる。 ③ 歯科技工における感染経路を挙げることができる。 ④ ユニバーサルプレコーションの意味を説明することができる。 ⑤ スタンダードプレコーションの意味を説明することができる。 ⑥ 感染予防の為に心がけるべき9つの日常の習慣を列挙することができる。 ⑦ 手洗い(揉み洗い)の動作を実践することができる。	41～42
						国試出題基準: なし		
2	4月17日	山田 誠	2	講義	9-4	3章 感染対策 GIO: 感染対策を知るために「印象体・模型・試適補綴装置などの消毒」について理解する。	① 歯科医院から感染情報を得る手段を挙げることができる。 ② 印象体、模型、試適補綴装置の触れ方を挙げることができる。 ③ バイオフィルムを説明することができる。 ④ 印象体を浸漬する消毒方法を説明することができる。 ⑤ 石膏練和水に薬剤を混ぜる消毒方法を説明することができる。 ⑥ 模型の消毒方法を2つ列挙することができる。 ⑦ 咬合堤、チェックバイトの消毒方法を挙げることができる。 ⑧ 試適後の蠟義歯や補綴装置の消毒方法を挙げることができる。 ⑨ 修理・調整が必要な補綴装置の消毒方法を挙げることができる。	43～48
						国試出題基準: なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	4月17日	山田 誠	1	講義	9-5	3章 感染対策 GIO:感染対策を知るために「完成した補綴装置の消毒・滅菌」「歯科技工所における粉塵対策」について理解する。	①補綴装置の消毒方法を表にまとめることができる。 ②補綴装置の滅菌方法を表にまとめることができる。 ③厚生労働省医政局長により構造設備基準が示されたのはいつか挙げることができる。 ④「塵埃」の読み方を答えることができる。 ⑤塵埃対策として常備を徹底するべきとされるものを5つ挙げることができる。 ⑥吸入性粉塵の沈着部位を図で示し、注意すべき粒径を説明することができる。 ⑦粉塵に対して作業者が管理する方法を3つ挙げることができる。 ⑧フューム・ミスト・フォッグの注意事項を挙げることができる。	48~50
						国試出題基準:なし		
4	4月18日	山田 誠	1	講義	9-7	4章 歯科技工士の任務 GIO:歯科技工士の任務を知るために「歯科技工指示書の見方」について理解する。	①歯科技工士辞書の記載事項を7つ挙げることができる。 ②歯科医師と歯科技工士が情報共有すべき情報を挙げることができる。 ③形態や設計、色(シェード)を伝える手段を挙げることができる。 ④色(シェード)情報伝達の注意点を6つ挙げることができる。 ⑤歯科技工指示書の例をみて内容を解釈することができる。	51~54
						国試出題基準:なし		
5	4月24日	山田 誠	1	講義	9-12	4章 歯科技工士の任務 GIO:歯科技工士の任務を知るために「歯科技工録の記載の仕方」について理解する。	①歯科技工所における歯科補てつ物等の作成等及び品質管理指針の目的を挙げることができる。 ②歯科技工所開設者に求められる事項を2つ挙げることができる。 ③歯科技工録と歯科技工指示書を作成する人を挙げることができる。 ④歯科技工録によって確保できるトレーサビリティを説明することができる。 ⑤歯科技工録の例(歯冠修復物)をみて内容を解釈することができる。 ⑥歯科技工録の例(有床義歯)をみて内容を解釈することができる。	54~56
						国試出題基準:なし		
6	4月25日	山田 誠	2	講義	9-14	4章 歯科技工士の任務 GIO:歯科技工士の任務を知るために「模型から得られる情報」について理解する。	①歯冠修復物を製作する模型から得られる情報を6つ挙げることができる。 ②全部床義歯を製作する模型から得られる情報を3つ挙げることができる。 ③部分床義歯を製作する模型から得られる情報を3つ挙げることができる。	56~57
						国試出題基準:なし		
7	4月26日	山田 誠	1	講義	9-15	4章 歯科技工士の任務 GIO:歯科技工士の任務を知るために「エックス線写真から得られる情報」について理解する。	①エックス線写真で白く映し出されるものを挙げることができる。 ②エックス線写真で黒く映し出されるものを挙げることができる。 ③エックス線写真で把握できる情報を3つ挙げることができる。 ④エックス線写真をみて歯・周囲組織の状態を解釈することができる。 ⑤エックス線写真をみて智歯およびインプラントを解釈することができる。 ⑥パノラマエックス線写真で画像判断する例を挙げることができる。	58~59
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
8	4月26日	山田 誠	2	講義	9-16	4章 歯科技工士の任務 GIO:歯科技工士の任務を知るために「保険診療における用語」について理解する。	①傷病名の保険用語を15種類解釈することができる。 ②検査の保険用語を9種類解釈することができる。 ③処置・手術の保険用語を12種類解釈することができる。 ④歯冠修復・欠損補綴の保険用語を38種類列挙することができる。 ⑤その他の保険用語を3種類解釈することができる。	60~61
						国試出題基準:なし		
9	4月26日	山田 誠	1	講義	9-17	4章 歯科技工士の任務 GIO:歯科技工士の任務を知るために「試適時の情報」について理解する。	①試適で点検する確認・点検する項目を3つ挙げることができる。 ②補綴装置を製作する工程で誤差が生じる可能性があるものを4つ挙げることができる。 ③クラウンやブリッジの試適で確認する項目を4つ挙げることができる。 ④義歯の試適で確認する項目を4つ挙げることができる。 ⑤部分床義歯の試適で確認する場所を挙げることができる。	60
						国試出題基準:なし		
10	5月8日	山田 誠	1	講義	9-18	4章 歯科技工士の任務 GIO:歯科技工士の任務を知るために「修理や調整に対する注意事項」について理解する。	①補綴装置装着後に補綴装置が不適合や破損してしまう原因を挙げることができる。 ②クラウンやブリッジで生じることがある破損の例を挙げることができる。 ③義歯で生じることがある破損の例を挙げることができる。 ④破損の再発を防止するために歯科技工士が配慮することを挙げることができる。 ⑤ウイルスや微生物が付着した補綴装置の取り扱いについて認識することができる。	62
						国試出題基準:なし		
11	5月10日	山田 誠	2	講義	9-19	5章 臨床見学・臨床実習 GIO:臨床見学を通じて将来の歯科技工士像を知るために「臨床見学の目的」「臨床見学の心得」「臨床見学における身だしなみ」「臨床見学時の態度について理解する。	①歯科技工士が医療技術者であるわけを説明することができる。 ②臨床見学の目標を7つ挙げることができる。 ③臨床見学の心得を7つ挙げることができる。 ④臨床見学における身だしなみを理解して見学することができる。 ⑤臨床見学時の態度を理解して見学することができる。	63~65
						国試出題基準:なし		
12	5月10日	山田 誠	1	講義	9-20	5章 臨床見学・臨床実習 GIO:臨床見学を通じて将来の歯科技工士像を知るために「歯科診療所における臨床見学」「歯科技工所における臨床見学」「臨床実習の必要性」について理解する。	①歯科診療所がどういう場所か説明することができる。 ②歯科診療所の見学における着目点を挙げることができる。 ③院内歯科技工所との関連を着目して見学することができる。 ④歯科技工士法第20条を挙げることができる。 ⑤歯科技工所の規模について挙げることができる。 ⑥歯科技工室内でマスクを着用する理由を挙げることができる。 ⑦歯科技工所内の精密機器について注意点を挙げることができる。 ⑧歯科技工教育で臨床実習ができない理由を挙げることができる。 ⑨歯科技工教育で臨床実習を行うために必要な事項を挙げることができる。	65~67
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
13	5月11日	山田 誠	2	講義	9-22	6章 訪問歯科診療における歯科技工士の役割	①平成28年8月1日における高齢者人口を挙げることができる。 ②超高齢社会で求められる歯科医療の役割を挙げることができる。 ③高齢者の自浄作用がうまく働かない原因を挙げることができる。 ④高齢者の齲蝕・粘膜疾患が増加する原因を挙げることができる。 ⑤高齢者の口腔内が乾燥する原因を挙げることができる。	68~70
						GIO:訪問歯科診療における歯科技工士の役割を知るために「訪問歯科診療の概要」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
14	5月16日	山田 誠	1	講義	9-23	6章 訪問歯科診療における歯科技工士の役割	①訪問歯科診療で多い処置を3つ挙げることができる。 ②高齢者医療において必ずしも完全治療や社会復帰が目的でない理由を挙げることができる。 ③高齢者医療において身体面・精神面以外にみなければならない側面を挙げることができる。 ④歯科技工士が訪問歯科診療において連携をとる必要がある職種を7つ挙げることができる。 ⑤症例1コピーデンチャーの製作を解釈することができる。 ⑥症例2義歯新製を解釈することができる。 ⑦症例3口腔ケアと口腔機能リハビリテーションを解釈することができる。 ⑧訪問歯科に必要な機材を挙げることができる。	70~74
						GIO:訪問歯科診療における歯科技工士の役割を知るために「多職種連携による在宅医療の推進」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
15	5月16日	山田 誠	1	講義	9-24	6章 訪問歯科診療における歯科技工士の役割	①歯科技工士法第4章第20条、第20条の2を遵守することができる。 ②訪問歯科診療で歯科技工士が絶対に行ってはならない行為を挙げることができる。	74
						GIO:訪問歯科診療における歯科技工士の役割を知るために「訪問歯科診療時の注意点」について理解する。		
						国試出題基準:なし		

【専門分野】 歯科技工実習	⑳歯科技工実習 臨床見学 *実務経験のある教員による授業科目
-------------------------	--

本学期的学習目標(GIO)
歯科医療従事者に必要な専門知識や技術およびコミュニケーション力を身につけ自分の適性と就職先の視野を広げるために、九州大学病院見学やインターンシップを通して、歯科医療における歯科技工士の役割や職場毎の業務内容を理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット9 歯科技工士の使命、臨床見学と就職

学年	学期	曜日	時間	教室
2	前・後期	火 水 木 金 土	9:00～12:10	博多メディカル専門学校 1階 多目的ホール、 3階 302教室、 九州大学病院、各インターンシップ先、 日本歯科技工学会
			13:00～14:30	
			13:00～16:10	
			14:40～16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工実習	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	高橋 良、柴戸 麻里、山田 誠、矢野 恭平、澤田 圭介、石橋 洋一、松山 大樹
成績評価	プレゼンテーション、レポート、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	5月15日	高橋 良	2	実習	9-26	九州大学病院見学・発表会 オリエンテーション	①適切な身だしなみの例を挙げることができる。 ②病院見学時の態度の例を挙げることができる。 ③欠席・遅刻・早退する場合の対応を挙げることができる。 ④事故や怪我をしたときの対応を挙げることができる。 ⑤器物を破損したときの対応を挙げることができる。 ⑥必要事項をメモすることができる。 ⑦分からないことや疑問に感じたことを質問することができる。 ⑧患者に質問されたときの対応を挙げることができる。	
						GIO:九州大学病院見学をするために、オリエンテーションを通して見学でのマナーや注意点を理解する。		
国試出題基準:なし								
2	5月23日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-32	九州大学病院見学(1日目)	①班毎に分かれて見学することができる。 ②身だしなみを整えて見学することができる。 ③診療の妨げにならないように見学することができる。 ④笑顔・挨拶・良い返事を実践することができる。 ⑤体調管理を整えて見学することができる。 ⑥担当者に確認をとって質問することができる。 ⑦学んだ事や分からない事をメモすることができる。 ⑧聞きながら話を聴くことができる。	
						GIO:歯科医療における歯科技工士の役割を理解するため、九州大学病院(歯周病科、歯内治療科、咬合補綴科、義歯補綴科)を見学する。		
国試出題基準:なし								
3	5月23日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	9-33	九州大学病院見学後の報告会	①見学で学んだ内容をノートおよび紙にまとめることができる。 ②グループで見解を類別することができる。 ③他者の意見を傾聴することができる。 ④グループ内で討議することができる。 ⑤グループで発表することができる。 ⑥気になることや分からないことを質問することができる。	
						GIO:九州大学病院見学の内容を共有するため、グループワークやクラス内で発表する。		
国試出題基準:なし								

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
4	6月6日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	9-43	九州大学病院見学(2日目)	①班毎に分かれて見学することができる。 ②身だしなみを整えて見学することができる。 ③診療の妨げにならないように見学することができる。 ④笑顔・挨拶・良い返事を実践することができる。 ⑤体調管理を整えて見学することができる。 ⑥担当者に確認をとって質問することができる。 ⑦学んだ事や分からない事をメモすることができる。 ⑧傾きながら話を聴くことができる。	
						GIO: 歯科医療における歯科技工士の役割を理解するため、九州大学病院(歯周病科、歯内治療科、咬合補綴科、義歯補綴科)を見学する。		
						国試出題基準:なし		
5	6月6日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	9-44	九州大学病院見学後の報告会	①見学で学んだ内容をノートおよび紙にまとめることができる。 ②グループで見解を類別することができる。 ③他者の意見を傾聴することができる。 ④グループ内で討議することができる。 ⑤グループで発表することができる。 ⑥気になることや分からないことを質問することができる。	
						GIO: 九州大学病院見学の内容を共有するため、グループワークやクラス内で発表する。		
						国試出題基準:なし		
6	6月16日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	9-54	インターンシップ・発表会 オリエンテーション	①行先企業の情報を事前に調べることができる。 ②行先ルートを事前に調べることができる。 ③適切な身だしなみの例を挙げることができる。 ④インターンシップ時の態度の例を挙げることができる。 ⑤欠席・遅刻・早退する場合の対応を挙げることができる。 ⑥事故や怪我をしたときの対応を挙げることができる。 ⑦器物を破損したときの対応を挙げることができる。	
						GIO: インターンシップするために、オリエンテーションを通して見学でのマナーや注意点を理解する。		
						国試出題基準:なし		
7	6月20日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	9-58	九州大学病院見学(3日目)	①班毎に分かれて見学することができる。 ②身だしなみを整えて見学することができる。 ③診療の妨げにならないように見学することができる。 ④笑顔・挨拶・良い返事を実践することができる。 ⑤体調管理を整えて見学することができる。 ⑥担当者に確認をとって質問することができる。 ⑦学んだ事や分からない事をメモすることができる。 ⑧傾きながら話を聴くことができる。	
						GIO: 歯科医療における歯科技工士の役割を理解するため、九州大学病院(歯周病科、歯内治療科、咬合補綴科、義歯補綴科)を見学する。		
						国試出題基準:なし		
8	6月20日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	9-59	九州大学病院見学後の報告会	①見学で学んだ内容をノートおよび紙にまとめることができる。 ②グループで見解を類別することができる。 ③他者の意見を傾聴することができる。 ④グループ内で討議することができる。 ⑤グループで発表することができる。 ⑥気になることや分からないことを質問することができる。	
						GIO: 九州大学病院見学の内容を共有するため、グループワークやクラス内で発表する。		
						国試出題基準:なし		
9	6月21日	柴戸 麻里	4	実習	9-62	インターンシップ・発表会 事前指導	①インターンシップを想定した挨拶・自己紹介ができる。 ②インターンシップでの質問を用意することができる。	
						GIO: インターンシップ先やその後の就職活動での礼儀作法を身につけるため、関連した知識と動作を理解する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
10	6月29日	柴戸 麻里	4	実習	9-71	インターンシップ・発表会 事前指導	①インターンシップを想定した挨拶文を作成することができる。 ②挨拶文をもとに個別発表することができる。 ③他者の発表を正しい姿勢で聞くことができる。	
						GIO:インターンシップ先やその後の就職活動での礼儀作法を身につけるため、関連した知識と動作を理解する。		
						国試出題基準:なし		
11	6月30日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-72	九州大学病院見学・発表会 会場設営と発表会リハーサル	①発表会の会場設営を行うことができる。 ②本番を想定した動線を確認することができる。 ③本番を想定して発表することができる。	
						GIO:九州大学病院見学発表会するために、本番に向けた準備をする。		
						国試出題基準:なし		
12	6月30日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	実習	9-73	九州大学病院見学発表会(本番)	①相手に伝わりやすいように発表することができる。 ②他の班の発表時にも適切な姿勢で聴講することができる。 ③その場に応じた礼儀作法を実践することができる。 ④発表会を通してお世話になった人に感謝の気持ちを伝えることができる。	
						GIO:4回の九州大学病院見学とグループワークの成果を共有するため、グループ発表する。		
						国試出題基準:なし		
13	7月5日	柴戸 麻里	4	実習	9-75	インターンシップ・発表会 事前指導	①インターンシップを想定した見だしなみを例を挙げることができる。 ②インターンシップを想定した礼儀作法の例を挙げることができる。	
						GIO:インターンシップ先やその後の就職活動での礼儀作法を身につけるため、関連した知識と動作を理解する。		
						国試出題基準:なし		
14	7月6日 ~ 7月19日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	9-76	インターンシップ(1日目、2日目)	①公共交通機関でインターンシップ先へ向かうことができる。 ②身だしなみを整えて見学することができる。 ③笑顔・挨拶・良い返事を実践することができる。 ④適切な態度で人と接することができる。 ⑤聞きながら話を聴くことができる。 ⑥体調管理を整えて見学することができる。 ⑦適宜時間を決めてチェックをもらうことができる。 ⑧分からないことや気になることを質問することができる。 ⑨学んだ事や分からない事をメモすることができる。	
						GIO:歯科技工士の業務を理解するために、現場での業務を見学および体験する。		
						国試出題基準:なし		
15	10月12日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	9-99	インターンシップ発表会 (リハーサル・本番)	①発表会の会場設営を行うことができる。 ②本番を想定した動線を確認することができる。 ③本番を想定して発表することができる。 ④相手に伝わりやすいように発表することができる。 ⑤他の班の発表時にも適切な姿勢で聴講することができる。 ⑥その場に応じた礼儀作法を実践することができる。 ⑦発表会を通してお世話になった人に感謝の気持ちを伝えることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会するために、本番に向けた準備をする。GIO:インターンシップ先で学んだ内容とプレゼンテーション力を披露するため、個人発表する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
16	10月13日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	実習	9-100	インターンシップ発表会 (リハーサル・本番)	①発表会の会場設営を行うことができる。 ②本番を想定した動線を確認することができる。 ③本番を想定して発表することができる。 ④相手に伝わりやすいように発表することができる。 ⑤他の班の発表時にも適切な姿勢で聴講することができる。 ⑥その場に応じた礼儀作法を実践することができる。 ⑦発表会を通してお世話になった人に感謝の気持ちを伝えることができる。	
						GIO:インターンシップ発表会するために、本番に向けた準備をする。 GIO:インターンシップ先で学んだ内容とプレゼンテーション力を披露するため、個人発表する。		
						国試出題基準:なし		
17	11月3日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	8	実習	9-105	日本歯科技工学会参加	①身だしなみを整えて見学することができる。 ②笑顔・挨拶・良い返事を実践することができる。 ③体調管理を整えて見学することができる。 ④学んだ事や分からない事をメモすることができる。 ⑤聞きながら話を聴くことができる。	
						GIO:歯科技工に関する見分を広めるために日本歯科技工学会に参加する。		
						国試出題基準:なし		
18	11月4日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	実習	9-106	日本歯科技工学会参加	①身だしなみを整えて見学することができる。 ②笑顔・挨拶・良い返事を実践することができる。 ③体調管理を整えて見学することができる。 ④学んだ事や分からない事をメモすることができる。 ⑤聞きながら話を聴くことができる。	
						GIO:歯科技工に関する見分を広めるために日本歯科技工学会に参加する。		
						国試出題基準:なし		
19	11月13日	山田 誠 石橋 洋一 澤田 圭介	6	実習	9-108	幼稚園手形取り	①身だしなみを整えて応対や作業を行うことができる。 ②笑顔・挨拶・良い返事を実践することができる。 ③担当作業を協力して行うことができる。 ④聞きながら話を聴くことができる。	
						GIO:異なる年齢層とのコミュニケーションを理解するために、幼稚園児や保護者との交流や手形取り作業を共同して行う。		
						国試出題基準:なし		

【専門分野】 B. 歯冠修復技工学	②歯冠修復技工学 クラウンとブリッジの製作 *実務経験のある教員による授業科目
-----------------------------	---

本学期的学習目標(GIO)
単独歯や多数歯欠損歯列への対応ができるようになるため、クラウン・ブリッジのワックスアップ、前装部のレジン築盛、連結部の鑲付けに関する名称や特徴および製作方法について修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット10 クラウンとブリッジの製作

学年	学期	曜日	時間	教室
2	前・後期	月 土	9:00~12:10	博多メディカル専門学校 3階 歯科技工実習室
			9:00~14:30	
			9:00~16:10	
			10:40~12:10	
			10:40~14:30	
			10:40~16:10	
			13:00~14:30	
			13:00~14:30	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 Biological Crown Contour	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	山田 誠、石橋 洋一
成績評価	実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	9月27日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-1	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップを理解するため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。実習前準備として「マージンラインの印記」および「硬化剤の塗布」の方法を修得する。 国試出題基準:5-5-K-b	【マージンラインの印記】 ①歯列と同じ歯型に歯式を記入することができる。 【硬化剤の塗布】 ②マージンラインを赤鉛筆でマークすることができる。 ③硬化剤を薄く塗布しマージンラインを保護することができる。	
						症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップを理解するため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。実習前準備として「作業用模型の咬合器装着」の方法を修得する。 国試出題基準:2-15-C-a	【作業用模型の咬合器装着】 ①上顎作業用模型の正中を咬合平面板の基準点に合わせるすることができる。 ②作業用模型をユーティリティワックスで咬合平面板に固定することができる。 ③普通石膏を使用して上弓に作業用模型を装着することができる。 ④上下顎模型を咬み合わせスティッキーワックスで固定することができる。 ⑤普通石膏を使用して下弓に作業用模型を装着することができる。	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	9月28日 9月29日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-3	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。咬合面回復の前準備として「ワックスコーティングの復位」の方法を修得する。 国試出題基準:5-5-K-b	【下顎左側:ワックスコーティングの本模型への復位】 ①支台歯のマージンラインから1mm程度下にワックス分離剤を塗布することができる。 ②ワックス分離剤を塗布し、ティッシュでのふき取りやエアを吹きかけるなど、適切な量に調整することができる。 ③インレーワックス(青)で支台歯にワックスコーティングすることができる。 ④コーティング時にワックスの厚みを調整することができる。 ⑤ワックスキャップの辺縁を歯型の辺縁と一致させることができる。 ⑥ワックスキャップの応力開放・応力緩和を説明することができる。	
4	9月29日 9月30日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-4	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。咬合面回復の前準備として「隣接面接触点の回復」「辺縁隆線の回復」の方法を修得する。 国試出題基準:5-5-K-b	【下顎左側:隣接面接触点の回復】 ①歯列の正しい位置にワックスキャップを復位することができる。 ②ワックスキャップの隣接面にインレーワックスを盛り上げ隣在歯との接触点を回復することができる。 【辺縁隆線の回復】 ③隣在歯の辺縁隆線の高さを参考に帯状にインレーワックスを盛り上げることができる。	
5	9月30日 10月2日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-5	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。咬合面回復の前準備として「隣接面接触点の回復」「辺縁隆線の回復」の方法を修得する。 国試出題基準:	【上顎左側:ワックスコーティングの本模型への復位】 ①支台歯のマージンラインから1mm程度下にワックス分離剤を塗布することができる。 ②ワックス分離剤を塗布し、ティッシュでのふき取りやエアを吹きかけ、適切な厚みに調整することができる。 ③インレーワックス(青)で支台歯にワックスコーティングすることができる。 ④コーティング時にワックスの厚みを調整することができる。 ⑤ワックスキャップの辺縁を歯型の辺縁と一致させることができる。 ⑥ワックスキャップの応力開放・応力緩和を説明することができる。	
6	10月3日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-6	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。咬合面回復の前準備として「隣接面接触点の回復」「辺縁隆線の回復」の方法を修得する。 国試出題基準:	【上顎左側:隣接面接触点の回復】 ①歯列の正しい位置にワックスキャップを復位することができる。 ②ワックスキャップの隣接面にインレーワックスを盛り上げ隣在歯との接触点を回復することができる。 【辺縁隆線の回復】 ③隣在歯の辺縁隆線の高さを参考に帯状にインレーワックスを盛り上げることができる。	
7	10月4日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-7	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。咬合面回復の前準備として「上下顎咬合面の距離調整」の方法を修得する。 国試出題基準:	【上下顎咬合面の距離調整】 ①上下顎咬合面のスペースをインレーワックスで調整することができる。 ②咬合器を閉じた状態で、支台歯間の距離を目視で確認することができる。 ③盛りすぎた部分をエバンス彫刻刀で削除しスペースを調整することができる。 ④機能咬頭が咬み込む部位を確認することができる。	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
8	10月4日	山田 誠 石橋 洋一	2	実習	10-8	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。咬合面回復の前準備として「上オクルーザルコンパスの刻印」の方法を修得する。 国試出題基準:2-14-B-a,b	【上顎:オクルーザルコンパスの刻印】 ①咬合器を前方運動させることができる。 ②咬合器を作業側側方運動させることができる。 ③咬合器を平衡側側方運動させることができる。 ④上顎第一大臼歯咬合面に下顎前方運動の軌跡を描くことができる。 ⑤上顎第一大臼歯咬合面に作業側運動の軌跡を描くことができる。 ⑥上顎第一大臼歯咬合面に平衡側運動の軌跡を描くことができる。	
9	10月4日 10月5日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-9	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。「下顎側咬頭の回復」の方法を修得する。 国試出題基準:2-14-B-a,b	【下顎側咬頭の回復】 ①下顎の機能咬頭に適切な量のワックスを盛り上げることができる。 ②作業側方向に咬合器を動かして下顎側咬頭がオクルーザルコンパス上を通過しているか確認することができる。 ③カスプトップフォッサ・カスプブリッジの違いを説明することができる。	
10	10月5日 10月7日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-10	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。「上顎側咬頭の回復」「側方運動時の臼歯離開量の確認」の方法を修得する。 国試出題基準:2-14-C-a,b	【上顎側咬頭の回復】 ①上顎の非機能咬頭に適切な量のワックスを盛り上げることができる。 【側方運動時の臼歯離開量の確認】 ②作業側運動時に上下顎側咬頭同士が接触しないように調整することができる。 ③作業側運動を行い、上下顎臼歯離開量を調整することができる。 ④犬歯誘導咬合とグループファンクションの違いを説明することができる。	
11	10月7日	山田 誠 石橋 洋一	2	実習	10-11	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。「上顎舌側咬頭の回復」の方法を修得する。 国試出題基準:2-14-C-a,b	【上顎舌側咬頭の回復】 ①上顎の機能咬頭に適切な量のワックスを盛り上げることができる。 ②平衡側方向に咬合器を動かして上顎側咬頭がオクルーザルコンパス上を通過しているか確認することができる。	
12	10月10日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-12	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。「下顎舌側咬頭の回復」「側方運動で臼歯離開量の確認」の方法を修得する。 国試出題基準:2-14-B-c	【下顎舌側咬頭の回復】 ①下顎の非機能咬頭に適切な量のワックスを盛り上げることができる。 【側方運動で臼歯離開量の確認】 ②作業側運動時に上下顎側咬頭同士が接触しないように調整することができる。 ③平衡側運動時に上下顎側咬頭同士が接触しないように調整することができる。	
13	10月10日	山田 誠 石橋 洋一	2	実習	10-13	症例① 上下顎左側456のワックスアップ GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。セントリックストップを考慮した「咬頭内斜面の調整」の方法を修得する。 国試出題基準:2-14-B-c	【離開量を維持した状態で咬頭内斜面の調整】 ①咬頭の内斜面にワックスが築盛できるように接触部位を削除することができる。 ②咬合面接触点を築盛できるようにワックスの厚みを調整することができる。	

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
14	10月11日	山田 誠 石橋 洋一	2	実習	10-14	症例① 上下顎左側456のワックスアップ	【上顎咬合面にAコンタクトを回復】 ①上顎臼歯咬合面のAコンタクトが接触する部位を特定することができる。 ②咬頭内斜面にワックスを築盛しAコンタクトを付与することができる。	
						GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。セントリックストップを考慮した「Aコンタクトの回復」の方法を修得する。		
						国試出題基準:2-14-B-c		
15	10月11日	山田 誠 石橋 洋一	2	実習	10-15	症例① 上下顎左側456のワックスアップ	【下顎咬合面にBコンタクトを回復】 ①下顎臼歯咬合面のBコンタクトが接触する部位を特定することができる。 ②咬頭内斜面にワックスを築盛しBコンタクトを付与することができる。	
						GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。セントリックストップを考慮した「Bコンタクトの回復」の方法を修得する。		
						国試出題基準:2-14-B-c		
16	10月11日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-16	症例① 上下顎左側456のワックスアップ	【下顎咬合面にCコンタクトを回復】 ①下顎臼歯咬合面のCコンタクトが接触する部位を特定することができる。 ②咬頭内斜面にワックスを築盛しCコンタクトを付与することができる。 【ABCコンタクトの確認】 ③咬合紙で接触点の位置・大きさを確認し調整することができる。	
						GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。セントリックストップを考慮した「Cコンタクトの回復」「ABCコンタクトの確認」の方法を修得する。		
						国試出題基準:2-14-B-c		
17	10月12日	山田 誠 石橋 洋一	4	実習	10-17	症例① 上下顎左側456のワックスアップ	【副隆線の回復】 ①スプーン状のインスツルメントで副隆線を形成することができる。 【副溝の回復】 ②副溝をスプーン状のインスツルメントで形成することができる。	
						GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。細部形成と仕上げを考慮した「副隆線・副溝の回復・形成」の方法を修得する。		
						国試出題基準:		
18	10月16日	山田 誠 石橋 洋一	2	実習	10-18	症例① 上下顎左側456のワックスアップ	【仕上げ】 ①滑沢なワックス表面に仕上げるることができる。 【提出】 ②咬合器に付着したワックスを洗浄し清潔な状態で提出することができる。	
						GIO:機能を考慮したワックスアップをするため、上下顎臼歯部のワックスアップ実習を行う。仕上げの方法を修得する。		
						国試出題基準:		
19	11月28日 11月29日 11月30日 12月1日	山田 誠 石橋 洋一	18	実習	10-19	症例② 歯冠形態の回復トレーニング	①支台歯にワックス分離剤を塗布することができる。 ②支台歯にインレーワックスでワックスコーティングをすることができる。 ③インレーワックスで咬頭を植立することができる。 ④インレーワックスで頬舌側の豊隆を盛り上げることができる。 ⑤インレーワックスで咬合面隆線を盛り上げることができる。 ⑥ワックス表面をインスツルメントで滑沢に仕上げるることができる。 ⑦下顎第一大臼歯の製作を反復練習することができる。	
						GIO:実技評価試験でワックスアップができるようになるためトレーニングをすることができる。		
						国試出題基準:		
20	12月1日 12月2日 12月4日 12月5日	山田 誠 石橋 洋一	14	実習	10-20	症例② 歯冠形態の回復トレーニング	①支台歯にワックス分離剤を塗布することができる。 ②支台歯にインレーワックスでワックスコーティングをすることができる。 ③インレーワックスで咬頭を植立することができる。 ④インレーワックスで頬舌側の豊隆を盛り上げることができる。 ⑤インレーワックスで咬合面隆線を盛り上げることができる。 ⑥ワックス表面をインスツルメントで滑沢に仕上げることができる。 ⑦下顎第一大臼歯の製作を反復練習することができる。	
						GIO:実技評価試験でワックスアップができるようになるためトレーニングをすることができる。		
						国試出題基準:		

【専門分野】 歯科技工実習	②6歯科技工実習 臨床歯科技工 *実務経験のある教員による授業科目
-------------------------	---

本学期的学習目標(GIO)
基本的な歯科技工教育を超えたアドバンスを学習して更なる高みを目指すために、「臨床歯科技工」にまつわる学問的背景を理解し修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット11 臨床歯科技工

学年	学期	曜日	時間	教室
2	後期	月 ～ 土	9:00～12:10	博多メディカル専門学校 3階 302教室、 歯科技工実習室
			9:00～16:10	
			10:40～14:30	
			13:00～16:10	
			14:40～16:10	
			14:40～15:25	
			15:25～16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工実習	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	中川 隆志、森田 圭介、山田 誠、矢野 恭平、澤田 圭介、石橋 洋一、松山 大樹
成績評価	実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	10月16日	矢野 恭平	1	講義	11-1	8章 有床義歯における歯科技工	①即時義歯の特徴を説明することができる。 ②即時義歯の長所を6つ、短所を2つ挙げることができる。 ③作業用模型上の抜歯予定歯の切断方法を図で示し説明することができる。 ④即時義歯の製作手順を説明することができる。	114 ～ 117
						GIO:臨床歯科技工を知るために、「即時義歯」について理解する。		
						国試出題基準:有8-B-c		
2	10月16日	矢野 恭平	2	実習	11-2	症例① 即時義歯	①ワックスパイトを装着することができる。 ②上下顎作業用模型を咬合器に装着することができる。	114 ～ 117
						GIO:即時義歯を製作できるようになるために、「製作手順」や「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:なし		
3	10月17日	矢野 恭平	4	実習	11-3	症例① 即時義歯	①サベイヤーを使用することができる。 ②サベイングを基に床外形線を記入することができる。 ③抜歯予定の歯の隣接歯に石膏ノコを入れることができる。 ④吸収を予定した顎堤にトリミングすることができる。	114 ～ 117
						GIO:即時義歯を製作できるようになるために、「製作手順」や「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
4	10月17日	矢野 恭平	4	実習	11-4	症例① 即時義歯 GIO:即時義歯を製作できるようになるために、「製作手順」や「製作方法」の手技を修得する。	①余分なアンダーカット部をブロックアウトすることができる。 ②鉤脚部にリリーフすることができる。 ③模型にレジン分離材を塗布することができる。 ④パターンレジンをクラスプの形態に盛り上げることができる。 ⑤パターンレジンで形成したクラスプの形態修正をすることができる。 ⑥スプルー線を植立することができる。 ⑦円錐台にスプルー線を植立することができる。 ⑧埋没することができる。	114 ~ 117
						国試出題基準:なし		
5	10月18日	矢野 恭平	2	実習	11-5	症例① 即時義歯 GIO:即時義歯を製作できるようになるために、「製作手順」や「製作方法」の手技を修得する。	①ファーンエスの設定をすることができる。 ②ブローパイプで合金を融解することができる。 ③低融銀合金のキャストタイミングを判断することができる。 ④遠心鑄造器を操作することができる。	114 ~ 117
						国試出題基準:なし		
6	10月18日	矢野 恭平	2	実習	11-6	症例① 即時義歯 GIO:即時義歯を製作できるようになるために、実習を通じて製作手順や製作方法を身につける。	①鑄型から鑄造体を割り出すことができる。 ②サンドブラスターを使用して埋没材を除去することができる。 ③支台歯と鑄造体の適合を確認することができる。 ④適切な研磨を行うことができる。	114 ~ 117
						国試出題基準:なし		
7	10月18日	矢野 恭平	2	実習	11-7	症例① 即時義歯 GIO:即時義歯を製作できるようになるために、「製作手順」や「製作方法」の手技を修得する。	①残存と調和した前歯部人工歯排列をすることができる。 ②歯肉の厚みが足りない部位にパラフィンワックスを盛ることができる。 ③審美性や清掃性を考慮した唇側面の歯肉形成を行うことができる。 ④審美性や清掃性を考慮した舌側面の歯肉形成を行うことができる。 ⑤対合歯と調和するように人工歯を削合することができる。	114 ~ 117
						国試出題基準:なし		
8	10月18日 10月19日	矢野 恭平	4	実習	11-8	症例① 即時義歯 GIO:即時義歯を製作できるようになるために、「製作手順」や「製作方法」の手技を修得する。	①残存と調和した臼歯部人工歯排列をすることができる。 ②歯肉の厚みが足りない部位にパラフィンワックスを盛ることができる。 ③審美性や清掃性を考慮した頬側面の歯肉形成を行うことができる。 ④審美性や清掃性を考慮した舌側面の歯肉形成を行うことができる。 ⑤対合歯と調和するように人工歯を削合することができる。	114 ~ 117
						国試出題基準:なし		
9	10月19日	矢野 恭平	2	実習	11-9	症例① 即時義歯 GIO:即時義歯を製作できるようになるために、「製作手順」や「製作方法」の手技を修得する。	①義歯床辺縁部をパラフィンワックスで封鎖することができる。 ②フラスク埋没するために模型を削除することができる。 ③アメリカ・フランス併用式埋没法でフラスク埋没することができる。	114 ~ 117
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
10	10月19日	矢野 恭平	4	実習	11-10	症例① 即時義歯 GIO:即時義歯を製作できるようになるために、「製作手順」や「製作方法」の手技を修得する。	①フラスク内のワックスを流膿することができる。 ②上下フラスクの石膏面に分離材を塗布することができる。 ③ワックスの重量からモノマー量を計量することができる。 ④モノマーにポリマーを振りかけて湿った砂状にすることができる。 ⑤餅状を判断することができる。 ⑥フラスクに餅状レジンを填入することができる。 ⑦温湯中に浸漬して湿式重合法によるレジン重合をすることができる。	114 ~ 117
						国試出題基準:なし		
11	10月20日	矢野 恭平	2	実習	11-11	症例① 即時義歯 GIO:即時義歯を製作できるようになるために、「製作手順」や「製作方法」の手技を修得する。	①フラスクから義歯を割らないように取り出すことができる。 ②辺縁部に付着した石膏を彫刻刀で取り除くことができる。 ③石膏溶液で細部の石膏を取り除くことができる。 ④タングステンカーバイドバーで義歯床の粗研磨をすることができる。	114 ~ 117
						国試出題基準:なし		
12	10月21日	矢野 恭平	2	実習	11-12	症例① 即時義歯 GIO:即時義歯を製作できるようになるために、「製作手順」や「製作方法」の手技を修得する。	①ペーパーコーンやシリコーンポイントで義歯床の中研磨をすることができる。 ②レーズにブラシを装着して中研磨をすることができる。 ③レーズにバフを装着して仕上げ研磨をすることができる。 ④超音波洗浄機で義歯の洗浄をすることができる。	114 ~ 117
						国試出題基準:なし		
13	10月21日	澤田 圭介	2	講義	11-13	12章 スポーツ歯科における歯科技工 GIO:スポーツ歯科における歯科技工を知るために、「マウスガード」について理解する。	①マウスガードの目的を挙げることができる。 ②マウスガードの種類を表にまとめることができる。 ③マウスガードの製作手順を挙げるができる。 ④マウスガードの使用が義務化されている競技を8つ挙げるができる。 ⑤マウスガードの使用が有効とされている競技を7つ挙げることができる。	170 ~ 175
						国試出題基準:なし		
14	10月23日 10月24日	澤田 圭介	6	実習	11-14	症例② マウスガード(企業連携授業) GIO:スポーツ歯科における歯科技工ができるようになるために、マウスガードの「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。	①上顎の印象採得ができる。 ②印象内面に硬質石膏を注入することができる。 ③作業用模型の気泡を除去することができる。 ④作業用模型をトリミングして模型の調整をすることができる。	170 ~ 175
						国試出題基準:なし		
15	11月25日	澤田 圭介	8	実習	11-15	症例② マウスガード(企業連携授業) GIO:スポーツ歯科における歯科技工ができるようになるために、マウスガードの「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。	①マウスガードの外形線を記入することができる。 ②大きなアンダーカット部をブロックアウトすることができる。 ③アルジネート分離剤を塗布することができる。 ④成型器の操作を説明することができる。 ⑤シートを軟化、圧接することができる。 ⑥圧接したシートから作業用模型を撤去することができる。 ⑦シートを切り出すことができる。 ⑧辺縁部を調整することができる。 ⑨辺縁部を研磨して仕上げるすることができる。	170 ~ 175
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
16	10月26日	澤田 圭介	1	講義	11-16	7章 歯冠修復における歯科技工	①ホワイトニングの方法を2つ挙げるができる。 ②ホワイトニング効果を得るための時間を挙げるができる。 ③カスタムトレーの製作手順を列挙することができる。	107 109
						GIO:歯冠修復分野のアドバンスを知るために、「ホワイトニングのためのカスタムトレー」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
17	11月5日	澤田 圭介	4	実習	11-17	症例③ ホワイトニングのためのカスタムトレー	①上顎の印象採得ができる。 ②印象内面に硬質石膏を注入することができる。	107 109
						GIO:ホワイトニングのカスタムトレーを製作できるようになるために、カスタムトレーの「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:なし		
18	11月8日	澤田 圭介	2	実習	11-18	症例③ ホワイトニングのためのカスタムトレー	①作業用模型に付着した気泡を除去することができる。 ②カスタムトレー製作に適した模型の形状にトリミングすることができる。	107 109
						GIO:ホワイトニングのカスタムトレーを製作できるようになるために、カスタムトレーの「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:なし		
19	10月31日 11月1日	澤田 圭介	6	実習	11-19	症例③ ホワイトニングのためのカスタムトレー	①カスタムトレー用のシートをセットすることができる。 ②シートの軟化を確認することができる。 ③圧接の機械操作を行うことができる。 ④大まかな削除と形態修正を行うことができる。 ⑤細部の形態修正を行うことができる。 ⑥ビニールカバーを取り除き完成させることができる。	107 109
						GIO:ホワイトニングのカスタムトレーを製作できるようになるために、カスタムトレーの「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:なし		
20	10月24日	松山 大樹	1	実習	11-20	症例④ 分割ポスト・コアの製作法(左上6)	①印象材に硬質石膏を注入することができる。 ②印象もしくは作業用模型をみてポストの平行性を判別することができる。	76~79
						GIO:分割ポスト・コアを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:修5-E-c		
21	10月24日	松山 大樹	2	演習	11-21	7章 歯冠修復における歯科技工	①分割支台築造が必要な症例を挙げることができる。 ②分割ポスト・コアの製作方法を3つ列挙することができる。 ③分割ポスト・コアの製作過程を列挙することができる。 ④分割ポスト・コアの製作に必要な器具を挙げるができる。	76~82
						GIO:歯冠修復分野における補綴装置と歯周組織との調和を知るために、「分割ポストの製作法」について理解する。		
						国試出題基準:修5-E-c		
22	11月1日	松山 大樹	2	実習	11-22	症例④ 分割ポスト・コアの製作法(左上6)	①ダウエルピンを適合させてワックスを築盛することができる。 ②撤去と形成を経てワックスパターンを完成することができる。 ③スプルー植立・埋没を行うことができる。	76~79
						GIO:分割ポスト・コアを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:修5-E-c		
23	11月2日	松山 大樹	2	実習	11-23	症例④ 分割ポスト・コアの製作法(左上6)	①ファーネスの設定をすることができる。 ②ブローパイプで合金を融解することができる。 ③低融銀合金のキャストタイミングを判断することができる。 ④遠心鑄造器を操作することができる。	76~79
						GIO:分割ポスト・コアを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:修5-E-c		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
24	11月2日	松山 大樹	4	実習	11-24	症例④ 分割ポスト・コアの製作法(左上6)	① 割り出し・スプルーカットを行うことができる。 ② 適合調整・形態修正に最適な研削道具を選択できる。 ③ 適合調整・形態修正を行うことができる。 ④ 回転数に注意を払い、ステップを形成することができる。 ⑤ 形成後の確認をすることができる。	76~79
						GIO:分割ポスト・コアを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:修5-E-c		
25	11月7日	松山 大樹	2	実習	11-25	症例④ 分割ポスト・コアの製作法(左上6)	① ポスト部のワックスアップを行うことができる。 ② スプルー植立・埋没を行うことができる。	76~79
						GIO:分割ポスト・コアを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:修5-E-c		
26	11月7日	松山 大樹	2	実習	11-26	症例④ 分割ポスト・コアの製作法(左上6)	① ファーネスの設定をすることができる。 ② 低融銀合金のキャストタイミングを判断することができる。 ③ 遠心鑄造器を操作することができる。	76~79
						GIO:分割ポスト・コアを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:修5-E-c		
27	11月8日	松山 大樹	2	実習	11-27	症例④ 分割ポスト・コアの製作法(左上6)	① 割り出し・スプルーカットを行うことができる。 ② 適合調整・形態修正に最適な研削道具を選択できる。 ③ 適合調整・形態修正を行うことができる。 ④ ポストの適合性を獲得することができる。 ⑤ 試適時の把持部の必要性を説明することができる。 ⑥ 把持部の形態修正ができる。	76~79
						GIO:分割ポスト・コアを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法」の手技を修得する。		
						国試出題基準:修5-E-c		
28	11月8日	松山 大樹	2	演習	11-28	症例① 即時義歯 症例② マウスガード 症例④ 分割ポスト・コアの製作法(左上6)	① 修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ② 修正部位を確認することができる。 ③ 教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ④ 分からないことを質問することができる。 ⑤ 次回同じ作業を行うときのため、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。	
						GIO:即時義歯、マウスガード、分割ポストコアの形態を正しく認識するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点を見つける。		
						国試出題基準:修5-E-c		
29	11月8日	松山 大樹	2	実習	11-29	症例① 即時義歯 症例② マウスガード 症例④ 分割ポスト・コアの製作法(左上6)	① 教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ② 修正前と修正後の違いを簡単に述べることができる。 ③ 上手くいかないときは再度質問することができる。 ④ 向き不向きより前向きに取り組むことができる。	
						GIO:即時義歯、マウスガード、分割ポストコアの形態を正しく再現するため、教員から伝えられたところを修正する。		
						国試出題基準:修5-E-c		
30	11月9日	石橋 洋一 澤田 圭介	1	演習	11-30	7章 歯冠修復における歯科技工	① 固定性ブリッジと比較した半固定性ブリッジの特徴を5つ挙げることができる。 ② 半固定性ブリッジの製作法を2つ挙げ製作手順を説明することができる。 ③ 半固定性ブリッジの製作に必要なものを列挙することができる。	82~87
						GIO:歯冠修復分野のアドバンスを知るために、「半固定性ブリッジの製作法」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
31	11月9日	株式会社愛歯 森田 圭介	1	講義	11-31	7章 歯冠修復における歯科技工	① オールセラミッククラウンの製作法を3つ挙げることができる。 ② オールセラミッククラウンに用いられるセラミックスの種類を4つ挙げることができる。 ③ オールセラミッククラウンに応用できる主なCAD/CAMシステムを挙げることができる。 ④ ジルコニア前装用セラミックスの製品名を挙げることができる。 ⑤ CAD/CAMを利用した基本的な製作手順を挙げることができる。 ⑥ シンタリングの意味を挙げることができる。	87~93
						GIO:歯冠修復分野のアドバンスを知るために、「審美修復」について理解する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
32	11月9日	株式会社愛歯 森田 圭介	1	講義	11-32	7章 歯冠修復における歯科技工	①固定性ブリッジと比較した半固定性ブリッジの特徴を5つ挙げるができる。 ②半固定性ブリッジの製作法を2つ挙げ製作手順を説明することができる。 ③半固定性ブリッジの製作に必要なものを列挙することができる。	94 102
						GIO:歯冠修復分野のアドバンスを知るために、「審美修復」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
33	11月9日	株式会社愛歯 森田 圭介	1	講義	11-33	7. 歯冠修復における歯科技工	①ラミネートベニアの製作法を2つ挙げるができる。 ②耐火模型による製作方法を列挙することができる。 ③CAD/CAMによる製作方法を列挙することができる。	102 106
						GIO:歯冠修復分野のアドバンスを知るために、「審美修復」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
34	11月9日	石橋 洋一 澤田 圭介	1	講義	11-34	7章 歯冠修復における歯科技工	①クラウンが脱離する原因と歯科技工との関連を挙げるができる。 ②固定性補綴装置が破折する原因と歯科技工との関連を挙げるができる。 ③補修冠による固定性補綴装置の補修術式を挙げるができる。 ④歯のシェードマッチングについて説明することができる。	110 113
						GIO:臨床歯科技工を知るために、「クラウンの不具合の原因」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
35	11月18日	石橋 洋一 澤田 圭介	1	講義	11-35	8章 有床義歯における歯科技工	①支台装置をクラウンにすることのメリットを挙げるができる。 ②ガイドプレーンの役割を挙げるができる。 ③レストシートの形成で考慮する点を挙げるができる。 ④アンダーカットを設置する場所と理由を挙げるができる。 ⑤サベイングの手順を説明することができる。 ⑥レスト付き二腕鉤を装着するクラウンの製作手順を挙げるができる。 ⑦RPIクラスプを装着するクラウンの製作手順を挙げるができる。 ⑧クラスプを装着する硬質レジン前装冠製作の注意点を挙げるができる。	117 123
						GIO:臨床歯科技工を知るために、「支台歯となる歯に装着するクラウンの製作」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
36	11月14日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	11-36	症例⑤ 支台歯となる歯に装着するクラウンの製作法	①ダウエルピンを用いた歯型可撤式模型の製作工程を挙げるができる。 ②作業用模型をトリミングすることができる。 ③ダウエルピンを植立することができる。 ④回転防止溝を付与することができる。 ⑤台付けすることができる。 ⑥石膏のこぎりで歯型を分割することができる。 ⑦歯型のトリミングをすることができる。 ⑧フィニッシュラインを赤鉛筆でマークすることができる。 ⑨フィニッシュラインに硬化剤を塗布することができる。	117 123
						GIO:支台歯となるクラウンを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法および注意点」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
37	11月14日 11月15日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	11-37	症例⑤ 支台歯となる歯に装着するクラウンの製作法	①維持腕を考慮して頬側の豊隆を形成することができる。 ②拮抗腕を考慮して舌側の豊隆を形成することができる。 ③支持を考慮してレストシートの形成をすることができる。 ④鉤肩部がアンダーカットにならないように形成することができる。 ⑤着脱方向に沿ってガイドプレーンを形成することができる。	117 123
						GIO:支台歯となるクラウンを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法および注意点」について理解する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
38	11月15日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	11-38	症例⑤ 支台歯となる歯に装着するクラウンの製作法	①咬合紙を用いてクラウンにサバイラインを描記できる。 ②クラウンのアンダーカット量を計測することができる。 ③マージン部の再適合をすることができる。 ④スプルー線を植立することができる。 ⑤円錐台に植立することができる。 ⑥埋没することができる。	117 ~ 123
						GIO: 支台歯となるクラウンを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法および注意点」について理解する。		
						国試出題基準: なし		
39	11月15日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	11-39	症例⑤ 支台歯となる歯に装着するクラウンの製作法	①ファーンエスの設定をすることができる。 ②ブローパイプで合金を融解することができる。 ③低融銀合金のキャストタイミングを判断することができる。 ④遠心鑄造器を操作することができる。	117 ~ 123
						GIO: 支台歯となるクラウンを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法および注意点」について理解する。		
						国試出題基準: なし		
40	11月15日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	11-40	症例⑤ 支台歯となる歯に装着するクラウンの製作法	①鑄型から鑄造体を割り出すことができる。 ②サンドブラスターを使用して埋没材を除去することができる。 ③支台歯と鑄造体の適合を確認することができる。 ④適切な研磨を行うことができる。	117 ~ 123
						GIO: 支台歯となるクラウンを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法および注意点」について理解する。		
						国試出題基準: なし		
41	11月16日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	11-41	症例⑤ 支台歯となる歯に装着するクラウンの製作法	①サベイングをすることができる。 ②レスト付き二腕鉤の設計をすることができる。 ③余分なアンダーカットをブロックアウトすることができる。 ④鉤脚部にリリーフをすることができる。 ⑤パターンレジンの操作を行うことができる。 ⑥維持・支持・把持を考慮したクラスプのデザインを行うことができる。 ⑦クラウンとの良好な適合性を得ることができる。 ⑧急速加熱用埋没材で埋没することができる。	117 ~ 123
						GIO: 支台歯となるクラウンを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法および注意点」について理解する。		
						国試出題基準: なし		
42	11月16日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	11-42	症例⑤ 支台歯となる歯に装着するクラウンの製作法	①ファーンエスの設定をすることができる。 ②ブローパイプで合金を融解することができる。 ③低融銀合金のキャストタイミングを判断することができる。 ④遠心鑄造器を操作することができる。	117 ~ 123
						GIO: 支台歯となるクラウンを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法および注意点」について理解する。		
						国試出題基準: なし		
43	11月16日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	11-43	症例⑤ 支台歯となる歯に装着するクラウンの製作法	①鑄型から鑄造体を割り出すことができる。 ②サンドブラスターを使用して埋没材を除去することができる。 ③支台歯と鑄造体の適合を確認することができる。 ④適切な研磨を行うことができる。	117 ~ 123
						GIO: 支台歯となるクラウンを製作できるようになるために、「製作手順」「製作方法および注意点」について理解する。		
						国試出題基準: なし		
44	11月16日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	講義	11-44	8章 有床義歯における歯科技工	①コンビネーションクラスプの形状を説明することができる。 ②コンビネーションクラスプの利点を挙げる ことができる。 ③コンビネーションクラスプの欠点を挙げる ことができる。 ④コンビネーションクラスプの製作方法を3つ 挙げる ことができる。 ⑤コンビネーションクラスプの製作工程を説 明 することができる。	123 ~ 127
						GIO: 臨床歯科技工を知るために、「コンビネーションクラスプの製作」について理解する。		
						国試出題基準: なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
45	11月17日	石橋 洋一 澤田 圭介	3	講義	11-45	8章 有床義歯における歯科技工	①磁性アタッチメントの構造を図で示し、名称を記入することができる。 ②磁石構造体の違いを図で示し、名称を記入することができる。 ③磁石の取り扱い注意点を挙げるすることができる。 ④キーパー付き根面板の製作手順を挙げるすることができる。 ⑤OPアンカーアタッチメントの製作手順を挙げるすることができる。 ⑥義歯装着前の検査を表にまとめることができる。 ⑦義歯装着時の検査を表にまとめることができる。 ⑧義歯装着後の管理を表にまとめることができる。	128 ~ 140
						GIO:臨床歯科技工を知るために、「アタッチメントの製作」「有床義歯の装着と管理」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
46	11月17日	石橋 洋一 澤田 圭介	1	講義	11-46	10章 歯周治療における歯科技工	①歯冠-歯根比について説明することができる。 ②歯周治療後の鼓形空隙について説明することができる。 ③フィニッシュラインの設定する位置を挙げるすることができる。	148 ~ 149
						GIO:歯周治療における歯科技工を知るために「歯周治療後の特徴」を理解する。		
						国試出題基準:なし		
47	11月20日	専任教員	1	講義	11-47	10章 歯周治療における歯科技工	①ポスト先端部の形状を説明することができる。 ②歯冠部とポスト部の長さについて説明することができる。 ③バレルングについて説明することができる。 ④分割支台築造について説明することができる。	149 ~ 151
						GIO:歯周治療における歯科技工を知るために「支台築造」を理解する。		
						国試出題基準:なし		
48	11月20日 11月21日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	講義	11-48	10章 歯周治療における歯科技工	①前歯部の歯冠-歯根比が逆転している場合に考慮する事項を挙げるすることができる。 ②歯肉が退縮し下部鼓形空隙が大きくなった場合の対応を挙げるすることができる。 ③歯周治療を行った場合の辺縁形態を述べるすることができる。 ④カラーレスクラウンの意義を説明することができる。 ⑤歯根露出歯のシェード採得時の注意を挙げるすることができる。 ⑥シリコンガム模型の目的を挙げるすることができる。 ⑦シリコンガム模型の特徴を挙げるすることができる。 ⑧シリコンガム模型の製作手順を挙げるすることができる。 ⑨白歯部の歯冠-歯根比が逆転している場合に考慮する事項を挙げるすることができる。 ⑩白歯クラウンの鼓形空隙の量を挙げるすることができる。 ⑪バレルングの対応を挙げるすることができる。 ⑫セパレーションの対応を挙げるすることができる。 ⑬ヘミセクションの意味を挙げるすることができる。 ⑭トライセクションの意味を挙げるすることができる。 ⑮連結固定の目的を挙げるすることができる。	151 ~ 157
						GIO:歯周治療における歯科技工を知るために、「前歯単独冠の歯冠形態」「白歯単独冠の歯冠形態」「連結固定装置」「可撤性連結固定装置」を理解する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
49	11月21日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	11-49	症例⑥ シリコンガム模型の製作	①ダウエルピンを用いた歯型可撤式模型の歯型分割前まで製作することができる。 ②パテシリコンをムラなく練和することができる。 ③シワなく作業用模型の形状を印象することができる。	152 ~ 153
						GIO:歯周治療における歯科技工ができるようになるためにシリコンガム模型の「製作手順」「製作方法および注意点」の手法を修得する。		
						国試出題基準:なし		
50	11月21日 11月22日	石橋 洋一 澤田 圭介	4	実習	11-50	症例⑥ シリコンガム模型の製作	①歯型可撤式模型の分割をすることができる。 ②歯肉辺縁部のトリミングをすることができる。 ③複印象したパテシリコンに注入口と流出用の穴をあけることができる。 ④ガムシリコンを注入することができる。 ⑤バリを除き着脱が簡単になるように調整することができる。	152 ~ 153
						GIO:歯周治療における歯科技工ができるようになるためにシリコンガム模型の「製作手順」「製作方法および注意点」の手法を修得する。		
						国試出題基準:なし		
51	11月22日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	演習	11-51	症例⑤ 支台歯となる歯に装着するクラウン 症例⑥ シリコンガム模型	①修正部位の指示を受けメモを取ることができる。 ②修正部位を確認することができる。 ③教員による手直しの際に道具の扱い方に注目し模倣することができる。 ④分からないことを質問することができる。 ⑤次回同じ作業を行うときのため、コツやツボのノウハウを文字やイラストでまとめることができる。	
						GIO:支台歯となる歯に装着するクラウン、シリコンガム模型の形態を正しく認識するため、教員から作品のチェックと修正方法を聴き修正点を見つける。		
						国試出題基準:なし		
52	11月24日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	実習	11-52	症例⑤ 支台歯となる歯に装着するクラウン 症例⑥ シリコンガム模型	①教員の道具の扱い方を参考に修正を試みることができる。 ②修正前と修正後の違いを簡単に述べることができる。 ③上手くいかないときは再度質問することができる。 ④向き不向きより前向きに取り組むことができる。	
						GIO:支台歯となる歯に装着するクラウン、シリコンガム模型の形態を正しく再現するため、教員から伝えられたところを修正する。		
						国試出題基準:なし		
53	11月24日	石橋 洋一 澤田 圭介	3	講義	11-52	9章 CAD/CAMシステムと歯科技工	①CAD/CAMシステムで使用可能な材料を挙げ、特徴を表にまとめることができる。 ②CAD/CAMシステムを4つに分類し、特徴を表にまとめることができる。 ③オープン化の意味を説明することができる。 ④CAD/CAMシステムのメリットを5つ挙げることができる。 ⑤光学スキャナーの意味を説明することができる。 ⑥CADソフトウェアの特徴を3つ挙げることができる。 ⑦CAMソフトウェアで行うことを挙げることができる。 ⑧切削加工の特徴を2つに分けて説明することができる。 ⑨付加造形の利点を挙げることができる。 ⑩付加造形の特徴を表にまとめることができる。	141 ~ 147
						GIO:CAD/CAMシステムと歯科技工の関連を知るために、「CAD/CAMシステムの基本」「CAD/CAMシステムの構成要素」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
54	11月24日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	講義	11-53	11章 顎口腔機能治療における歯科技工	①FGPテクニックの意味を説明することができる。 ②FGPテクニックの目的を挙げることができる。 ③FGPテクニックの術式を挙げることができる。 ④FGPテクニックで使用する咬合器を2つ挙げることができる。	158 ~ 160
						GIO:顎口腔機能治療における歯科技工を知るために、「FGPテクニック」について理解する		
						国試出題基準:なし		
55	11月27日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	講義	11-54	11章 顎口腔機能治療における歯科技工	①睡眠時無呼吸症の概要を挙げることができる。 ②OAの意味を挙げることができる。 ③OAの目的を挙げることができる。 ④OAの分類を解釈することができる。 ⑤舌接触補助床の目的を挙げることができる。 ⑥舌接触補助床の製作手順を挙げることができる。	160 ~ 169
						GIO:顎口腔機能治療における歯科技工を知るために、「睡眠時無呼吸症のための口腔内装置」「接触機能療法における歯科技工」について理解する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
56	11月27日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	講義	11-55	13章 顎顔面補綴における歯科技工	①顎顔面補綴の意義と目的を挙げることができる。 ②顎義歯の特徴を挙げることができる。 ③顔面補綴(エピテーゼ)の特徴を挙げることができる。 ④スピーチエイドと軟口蓋挙上装置の特徴を挙げることができる。 ⑤顎補綴装置の製作法を挙げることができる。	176 ~ 181
						GIO:顎顔面補綴を知るために、「顎顔面補綴装置の種類」「顎補綴装置の製作法」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
57	11月28日	石橋 洋一 澤田 圭介	2	講義	11-56	15章 生体補綴における歯科技工	①エピテーゼ材料の具備要件を挙げることができる。 ②エピテーゼの長所を挙げることができる。 ③生体補綴装置の例を挙げることができる。 ④口腔外科で用いる積層造形を解釈することができる。	196 ~ 206
						GIO:生体補綴における歯科技工を知るために、「口腔顎顔面補綴、広範囲欠損症例へのアプローチ」「生体補綴装置における歯科技工の役割」「口腔外科で用いる積層造形模型」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
58	10月6日	中川 隆志	4	講義	11-57	14章 インプラントにおける歯科技工	①インプラント技工の特徴を箇条書きで挙げることができる。 ②インプラント技工とCAD/CAMの関連を挙げることができる。 ③インプラントの低変位性を考慮する理由を挙げることができる。 ④インプラントの前処置に必要な事を挙げることができる。 ⑤「インプラント治療は不可逆的な要素が多い」という意味を説明することができる。	182 ~ 183
						GIO:インプラントにおける歯科技工を知るために、「インプラント技工の特徴」「前処置」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
59	10月13日	中川 隆志	4	講義	11-58	14章 インプラントにおける歯科技工	①インプラント手術とインプラント補綴の設計を行う際に必要なものを2つ挙げることができる。 ②インプラント治療で最も重要な事を挙げなさい。 ③最終補綴装置の設計で考慮する事項を2つ挙げなさい。 ④インプラント体の顎骨内での位置を検査に推奨される方法を挙げなさい。 ⑤インプラント上部構造の歯列と口腔内の位置を検査する方法を挙げなさい。 ⑥STLデータとDICOMデータの関わりを説明することができる。 ⑦ダブルスキャンの意味を説明することができる。 ⑧サージカルガイドプレートの使用目的を挙げることができる。	184 ~ 185
						GIO:インプラントにおける歯科技工を知るために、「検査」「インプラント埋入手術」について理解する。		
						国試出題基準:なし		
60	10月20日	中川 隆志	4	講義	11-59	14章 インプラントにおける歯科技工	①アバットメントレベル印象の意味を挙げることができる。 ②アバットメントレベル印象の目的を挙げることができる。 ③アバットメントレベル印象の特徴を挙げることができる。 ④インプラントレベル印象の意味を挙げることができる。 ⑤インプラントレベル印象の目的を挙げることができる。 ⑥インプラントレベル印象の特徴を挙げることができる。 ⑦オープントレー法の特徴を挙げることができる。 ⑧クローズドトレー法の特徴を挙げることができる。 ⑨咬合採得の方法を症例別に表にまとめることができる。	185 ~ 189
						GIO:インプラントにおける歯科技工を知るために、「印象採得」「咬合採得」について理解する。		
						国試出題基準:なし		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
61	10月27日	中川 隆志	4	講義	11-60	14章 インプラントにおける歯科技工 GIO:インプラントにおける歯科技工を知るために、「作業用模型」「アバットメント」について理解する。	①模型製作の過程を解釈することができる。 ②インプラントアナログの目的を挙げることができる。 ③インプラント周囲の軟組織形態に用いる材料を挙げることができる。 ④アバットメントの種類を4つ挙げることができる。 ⑤アバットメントの材質を4つ挙げることができる。	189 ~ 191
						国試出題基準:なし		
62	11月20日 11月21日	中川 隆志	4	講義	11-61	14章 インプラントにおける歯科技工 GIO:インプラントにおける歯科技工を知るために、「上部構造」について理解する。	①インプラントの上部構造を表で分類することができる。 ②スクリー固定式上部構造の特徴を挙げることができる。(令3問68) ③セグメントタイプの特徴を挙げることができる。 ④ノンセグメントタイプの特徴を挙げることができる。 ⑤セメント固定式上部構造の特徴を挙げることができる。 ⑥可撤性補綴装置の特徴を挙げることができる。	191 ~ 195
						国試出題基準:なし		

【専門基礎分野】

C. 歯科材料・歯科技工機器の特徴と加工技術

⑬歯科理工学 金属・成形・安全性

本学期的学習目標(GIO)

歯科技工士に必要な歯科医療で使用される材料および機械・器具を身につけるために、講義と実習を通して名称や性質および取り扱い方を修得する。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)

ユニット12 金属材料の性質、補綴装置の仕上げ、作業者の安全性

学年	学期	曜日	時間	教室
2	前期	木 土	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 302教室、 歯科理工学検査室、歯科技工実習室
			9:00~11:25	
			9:00~12:10	
			9:00~14:30	
			9:00~16:10	
			13:00~16:10	

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科理工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧 中川 雅晴、澤田 圭介、山田 誠

成績評価 講義末試験、レポート、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	4月11日	中川 雅晴	4	講義	12-1	7章 金属成形 GIO:金属成形を知るために「歯科用合金」「金合金」について理解する。	①歯科用合金の所要性質を4つ挙げることができる。 ②歯科用金属元素の性質を表にまとめることができる。 ③鑄造用合金の所要性質を6つ挙げることができる。 ④加工用合金の所要性質と用途を挙げることができる。 ⑤鍍付け合金の所要性質を3つ挙げることができる。 ⑥金の特徴を挙げることができる。 ⑦タイプ別合金の機械的強さ、伸び、硬さの順位を表にまとめることができる。(令2問28) ⑧カラット別合金を解釈することができる。 ⑨カラットを求める公式を挙げることができる。 ⑩金合金の基本組成を説明することができる。 ⑪金合金の用途を表にまとめることができる。 ⑫金合金の各元素の役割と特徴を表にまとめることができる。 ⑬陶材焼付合金合金の組成の特徴を挙げることができる。	106 ~ 111
						国試出題基準: 7-A-a 7-B-a, b, c		
2	5月21日 6月12日	山田 誠 澤田 圭介	8	実験	12-2-1 12-2-2	実験D 埋没材の硬化膨張 GIO:埋没材の性質を考察するために、異なる条件で製作した埋没材の硬化膨張を計測し、鑄型の製作や鑄造収縮の補償について理解する。	①ダイヤルゲージのメモリを読み取ることができる。 ②硬化膨張に影響する因子を表にまとめることができる。 ③混水比と硬化膨張の関連を説明することができる。 ④コロイダルシリカ溶液と硬化膨張の関連を説明することができる。 ⑤吸水膨張の悪影響について考察することができる。 ⑥硬化膨張率の目安を挙げることができる。	114 ~ 122
						国試出題基準: 7-G-a		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
3	4月20日	中川 雅晴	4	講義	12-3	7章 金属成形	①銀の特徴を挙げることができる。 ②銀合金の種類を3つ挙げ、特徴を表にまとめることができる。 ③铸造用銀合金の組成を表にまとめることができる。(令4問20) ④銀合金の各元素の役割と特徴を表にまとめることができる。 ⑤铸造用銀合金の融点・硬さ・引張強さ、伸びを表にまとめることができる。 ⑥銀合金の用途を表にまとめることができる。 ⑦コバルトクロム合金の特徴を挙げることができる。 ⑧コバルトクロム合金の用途を挙げることができる。 ⑨铸造用コバルトクロム合金の組成と性質を表にまとめることができる。 ⑩ステンレス鋼の組成を挙げることができる。 ⑪ステンレス鋼の用途を挙げることができる。 ⑫チタンの特徴について説明することができる。	111 ~ 114
						GIO:金属成形を知るために「銀合金」「コバルトクロム合金」「チタンおよびチタン合金」「ステンレス鋼」について理解する。 7-C-a, b, c 国試出題基準: 7-D-a, b, c 7-E-a, b, c		
4	4月27日	中川 雅晴	4	講義	12-4	7章 金属成形	①母材の意味を挙げることができる。 ②接合後の条件を3つ挙げることができる。 ③接合の種類を3つ挙げ、特徴を説明することができる。 ④鑲付けの機構を図で示すことができる。 ⑤液滴の鑲材と母材の関係を図で示し、ぬれが良い状態を説明することができる。 ⑥鑲材の所要性質を6つ挙げることができる。 ⑦鑲材の種類と組成を表にまとめることができる。 ⑧鑲付け時のフラックスの働きを4つ挙げることができる。 ⑨フラックスの種類を挙げることができる。 ⑩アンチフラックスの目的と材料を挙げることができる。 ⑪鑲付け用埋没材の種類を挙げることができる。 ⑫鑲付け用埋没材の所要性質を5つ挙げることができる。 ⑬火炎鑲付けの特徴を挙げることができる。 ⑭炉内鑲付けの特徴を挙げることができる。 ⑮埋没鑲付け法で埋没材の量が多すぎた場合に懸念されることを挙げることができる。 ⑯鑲付け間隙を数値で表すことができる。 ⑰埋没鑲付け法の用途を挙げることができる。 ⑱埋没鑲付け法の工夫したやり方を説明することができる。 ⑲自在鑲付け法の用途を挙げることができる。 ⑳自在鑲付け法を図で示すことができる。	147 ~ 152
						GIO:金属成形を知るために「金属の接合(種類)(鑲付け)(鑲付け法)」について理解する。 国試出題基準:7-K-a, b, c, d		
5	5月11日	中川 雅晴	2	講義	12-5	7章 金属成形	①溶接の種類を3つ挙げることができる。 ②レーザー溶接の機構を説明することができる。 ③YAGレーザーの仕組みを解釈することができる。 ④レーザービームの性質を4つ挙げることができる。 ⑤レーザー溶接の特徴を7つ挙げることができる。(令2問30) ⑥スポット溶接の別名を挙げることができる。 ⑦スポット溶接の用途を挙げることができる。 ⑧鑄接の意味を挙げることができる。 ⑨鑄接の機構に影響を与える因子を3つ挙げることができる。	152 ~ 154
						GIO:金属成形を知るために「金属の接合(溶接)」について理解する。 国試出題基準:7-K-c, d		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
6	5月19日 5月26日	澤田 圭介 山田 誠	8	実験	12-7-1 12-7-2	実験F 埋没材の熱膨張	①ダイヤルゲージのメモリを読み取ることができる。 ②熱膨張に影響する因子を表にまとめることができる。 ③混水比と熱膨張の関連を説明することができる。 ④コロイダルシリカ溶液と熱膨張の関連を説明することができる。 ⑤合金の鑄造収縮率と鑄型の熱膨張率の関係を考察することができる。 ⑥熱膨張率の内外側性窩洞への影響を考察することができる。 ⑦熱膨張率の日安を挙げることができる。 ⑧硬化膨張と熱膨張の総和の日安を挙げることができる。	114 ~ 122
						GIO:埋没材の性質を考察するために、異なる条件で製作した埋没材の試験片の熱膨張率を計測し、鑄型の加熱スケジュールや鑄造収縮の補償について理解する。		
						国試出題基準:7-G-c		
7	5月18日	中川 雅晴	4	講義	12-6	7章 金属成形	①古くから鑄造で作られるものの例を挙げることができる。 ②歯科鑄造のプロセスを6つに分けて挙げることができる。 ③鑄造収縮の種類を3つ挙げることができる。 ④適合性に影響を及ぼす収縮を2つ挙げることができる。 ⑤最も適合性に影響を及ぼす収縮を1つ挙げることができる。 ⑥埋没材の別名を挙げることができる。 ⑦埋没材の所要性質を9つ挙げることができる。 ⑧埋没材の所要性質を解釈することができる。 ⑨シリカの化学式を書くことができる。 ⑩シリカの同素変態の名称を挙げることができる。 ⑪クリストパライト α からクリストパライト β に変態する温度を挙げることができる。 ⑫石英 α から石英 β に変態する温度を挙げることができる。 ⑬シリカよりも高温で安定した酸化物を4つ挙げることができる。 ⑭埋没材に結合材を配合する理由を挙げることができる。 ⑮埋没材に α 半水石膏が用いられる理由を挙げることができる。 ⑯石膏を加熱した時に起こる状況を説明することができる。 ⑰石膏系埋没材の最高昇温温度とその理由を挙げることができる。 ⑱リン酸二水素アンモニウムと酸化マグネシウムの化学式を書くことができる。 ⑲リン酸塩系埋没材の練和に用いる水溶液を挙げることができる。 ⑳リン酸塩系埋没材を加熱したときに発生するガスの名称を挙げることができる。 ㉑石膏系埋没材の組成を表にまとめることができる。 ㉒石膏系埋没材を2つに分類し相違点を説明することができる。 ㉓急速加熱型石膏系埋没材の特徴を挙げることができる。 ㉔リン酸塩系埋没材に含まれるシリカを挙げることができる。 ㉕リン酸塩系埋没材の用途を挙げることができる。 ㉖リングレス鑄造が可能な埋没材を挙げることができる。 ㉗チタン用埋没材にシリカを用いることができない理由を挙げることができる。	114 ~ 122
						GIO:金属成形を知るために「鑄造(鑄造理論)(埋没材)」について理解する。		
						国試出題基準:7-F 7-G-a, b, c		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
7	5月18日	中川 雅晴	4	講義	12-6	<p>7章 金属成形</p> <p>GIO:金属成形を知るために「铸造(铸造理論)(埋没材)」について理解する。</p>	<p>㉘チタン用埋没材の耐火材に用いることができる物質を4つ挙げるができる。</p> <p>㉙石膏系埋没材の硬化膨張が石膏単独の時よりも大きくなる理由を挙げるができる。</p> <p>㉚リン酸塩系埋没材にコロイダルシリカを加えた時の膨張を説明することができる。</p> <p>㉛埋没材の吸水膨張を例に挙げて説明することができる。</p> <p>㉜石膏系埋没材の加熱膨張がシリカの膨張+石膏の収縮であることを説明することができる。</p> <p>㉝クリストバライトと石英のαからβ、βからαになるときの変化を説明することができる。</p> <p>㉞石膏系埋没材の寸法変化をグラフに示すことができる。</p> <p>㉟リン酸塩系埋没材が2段階で急激に膨張する理由を挙げるができる。</p> <p>㊱埋没材の通気性が悪い時に起こるエラーを挙げるができる。</p> <p>㊲埋没材の通気性に影響する原因を挙げるができる。</p> <p>㊳通気性が悪い埋没材を挙げるができる。</p> <p>㊴高温時の埋没材に強度が必要な理由を挙げるができる。</p> <p>㊵リングレス鑄造の意味と特徴を挙げることができる。</p> <p>㊶チタン用埋没材の耐火材を挙げるができる。(令3問26)</p>	114 122
						<p>7-F 7-G-a, b, c</p>		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
8	5月26日	中川 雅晴	2 2	講義	12-8 12-9	7章 金属成形	①ワックスパターンの製作方法を3つ挙げ、寸法変化の特徴を表にまとめることができる。 ②熱収縮や外力による内部応力の発生を少なくする方法を考察することができる。 ③スプルーの役割を挙げることができる。 ④スプルー線の所要性質を5つ挙げることができる。 ⑤スプルー線に使用する材質を3つ挙げることができる。 ⑥円錐台の役割を挙げることができる。 ⑦铸造リングの役割を挙げることができる。 ⑧リングライナーの役割を挙げることができる。(令4問26) ⑨リングライナーの使用方法を説明することができる。 ⑩界面活性剤を塗布する目的を挙げることができる。(令2問29) ⑪界面活性剤を塗布する注意点を説明することができる。 ⑫湯だまりを付与する目的を説明することができる。 ⑬湯だまりの押し湯効果を発揮させるための注意点を挙げることができる。 ⑭エアメントを付与する目的を説明することができる。 ⑮ダイレクトベント(オープンベント)を図で示し特徴を説明することができる。 ⑯ブラインドベントを図で示し特徴を説明することができる。 ⑰鑄型を加熱する目的を3つ挙げることができる。 ⑱鑄型を1日以上放置する時の注意点を挙げることができる。 ⑲加熱速度の注意点を温度別に挙げることができる。 ⑳鑄造リングの加熱スケジュールを表にまとめることができる。 ㉑石膏系埋没材の加熱温度の注意点を挙げることができる。 ㉒リン酸塩系埋没材の加熱温度の注意点を挙げることができる。 ㉓鑄型温度の決定で考慮する事項を4つ挙げることができる。 ㉔鑄型温度の低下によって起こるエラーを説明することができる。 ㉕低融合金の鑄造において鑄型温度を注意する理由を挙げることができる。 ㉖鑄型の再加熱によって起こるエラーを説明することができる。	122 129
						GIO:金属成形を知るために「埋没操作」「鑄型の加熱」について理解する。		
9	6月2日	澤田 圭介 山田 誠	4	実験	12-11	実験O 顕微鏡観察	①液相から固相の凝固過程を解釈することができる。 ②金属材料の機械的性質を考察することができる。 ③金属材料の物理的性質を考察することができる。 ④金属材料の化学的性質を考察することができる。 ⑤金属材料の生物学的性質を考察することができる。 ⑥純金属と合金の相違点を挙げることができる。 ⑦結晶粒と結晶粒界をスケッチし凝固過程との関係を説明することができる。 ⑧樹枝状晶をスケッチし結晶核の生成から凝固停止までの過程を説明することができる。	109 111
						GIO:金属の性質を考察するために、結晶粒、結晶粒界、デンドライト結晶の顕微鏡観察を通じて、合金の基礎について理解する。		
						国試出題基準:7-G-a,b,c		
						国試出題基準:1-A~D		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
10	6月1日	中川 雅晴	4	講義	12-10	7章 金属成形 GIO:金属成形を知るために「铸造操作(铸造体の処理)」「铸造欠陥」について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ①融解熱源の特徴を表にまとめることができる。 ②可燃性ガス融解の欠点を挙げるができる。 ③還元雰囲気や不活性雰囲気を作りやすい融解方法を挙げるができる。 ④電気抵抗融解の特徴を挙げるができる。 ⑤高周波誘導融解の特徴を挙げるができる。 ⑥アーク融解の欠点を挙げるができる。 ⑦ブローパイプ炎を図で示し、名称を記入することができる。 ⑧融解に還元炎を用いる理由を説明することができる。 ⑨合金の酸化を抑制する方法を6つ挙げるができる。 ⑩フラックスの成分を使用合金別に挙げることができる。 ⑪铸造時のフラックスの効果を3つ挙げることができる。 ⑫铸造圧の種類を4つ挙げるができる。 ⑬铸込み方法の主な特徴を表にまとめることができる。 ⑭铸込み温度が低すぎる場合に起こるエラーを挙げるができる。 ⑮铸込み温度が高すぎる場合に起こるエラーを挙げるができる。 ⑯理想的な铸込み温度を説明することができる。 ⑰合金と熱源の組合せで注意することを挙げるができる。 ⑱铸込み方法による铸造器の分類を表にまとめることができる。 ⑲遠心铸造機の圧力を数字で表すことができる。 ⑳加圧铸造機の加圧に用いるものを2つ挙げるができる。 ㉑加圧铸造機の圧力を数字で表すことができる。 ㉒吸引铸造機の特徴を挙げるができる。 	129 ~ 135
						国試出題基準:7-H-a, b, c		
11	6月2日	澤田 圭介 山田 誠	8	実験	12-11	実験R 加工硬化 GIO:金属の性質を考察するために、加工に伴う硬さを計測し、加工度と機械的性質の関連について理解する。つぎに加工を施した試験体を塩浴で再結晶させたときの硬さを測定し、加工硬化と再結晶の関連について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ①ビッカース硬さ試験機の計測を通じて硬さの概念を理解する。 ②代表的な歯科材料を硬さの順に並び替えることができる。 ③圧延ローラーを用いて、銅板を0.5%~30%の厚みに調整することができる。 ④塩浴に各種算時間の浸漬を施し、その程度の硬さを計測することができる。 ⑤グループ毎のデータを集計し、平均化させることができる。 ⑥銅板初期の硬さ、加工硬化後の硬さ、再結晶後の硬さを理解することができる。 ⑦引張強さや硬さおよび伸びと加工度の関連を考察することができる。 	145 ~ 147
						国試出題基準:7-J-a, b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
12	6月8日	中川 雅晴	3	講義	12-12	7章 金属成形 GIO:金属成形を知るために「 铸造操作(铸造体の処理) 」「 铸造欠陥 」について理解する。 国試出題基準:7-I-a, b	①铸造体を铸型から割り出す作業を4つ挙げることができる。 ②铸型の正しい冷却法を挙げることができる。 ③铸型から铸造体の割り出しの注意点を挙げることができる。 ④埋没材の除去方法を挙げることができる。 ⑤铸造体の酸化膜の除去方法を説明することができる。 ⑥金合金の酸洗いに用いる溶液を挙げることができる。 ⑦金銀パラジウム合金の酸洗いに用いる溶液を挙げることができる。 ⑧铸巢の意味を挙げることができる。(令3問20) ⑨引け巢の発生部位と原因および対処法を挙げることができる。(令3問20)(令4問19) ⑩ブローホールの発生部位と原因および対処法を挙げることができる。(令3問20) ⑪なめられ、湯境いの発生部位と原因および対処法を挙げることができる。 ⑫背圧多孔の発生部位と原因および対処法を挙げることができる。	115 ~ 116
13	6月16日	中川 雅晴	2	講義	12-14	7章 金属成形 GIO:金属成形を知るために「 適合不良 」について理解する。 国試出題基準:7-I-a, b	①铸肌あれの発生部位と原因および対処法を挙げることができる。 ②ホットスポットの発生部位と原因および対処法を挙げることができる。 ③突起、バリの発生部位と原因および対処法を挙げることができる。 ④偏析の発生部位と原因および対処法を挙げることができる。 ⑤適合不良に与える主要因を表にまとめることができる。 ⑥铸型が変形する理由を挙げることができる。 ⑦铸造体の残留応力に影響を及ぼす因子を挙げることができる。 ⑧铸造体が変形する場面を挙げることができる。	155 ~ 156

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
14	6月15日 6月22日	中川 雅晴	1 2	講義	12-15	7章 金属成形 GIO:金属成形を知るために「金属の加工」について理解する。金属の接合を知るために3つの接合方法について理解する。	①弾性変形を模式図で示し、意味を理解することができる。 ②塑性変形を模式図に示し、意味を理解することができる。 ③塑性変形を利用した加工の例を挙げることができる。 ④加工すると増加する性質を2つ挙げることができる。 ⑤加工すると減少する性質を1つ挙げることができる。(令3問32) ⑥焼きなましの意味を説明することができる。 ⑦焼きなまし行った金属内部に起こる現象を説明することができる。 ⑧再結晶と加工度の関連を説明することができる。 ⑨金属の接合方法を3種類列挙し、特徴を説明することができる。 ⑩鋼材の所要性質を6つ列挙することができる。 ⑪鋼材の基本組成と添加元素を表にまとめることができる。 ⑫フラックスの働きを4つ列挙することができる。 ⑬フラックスとアンチフラックスの成分名を挙げることができる。 ⑭鋼付け用埋没材の所要性質を5つ列挙することができる。 ⑮埋没鋼付け法と自在鋼付け法の特徴をそれぞれ説明することができる。 ⑯レーザー溶接の特徴を7つ列挙することができる。 ⑰スポット溶接の用途と溶接のメカニズムを説明することができる。(令2問30) ⑱鋼接の利点と欠点を挙げることができる。 ⑲鋼接の機構に影響を与える因子を3つ挙げることができる。	145 ~ 154
						国試出題基準: 7-J-a, b 7-K-a, b, c, d		
15	5月22日	中川 雅晴	2	講義	12-16	7章 金属成形 GIO:金属の性質を知るために「合金の熱処理」について理解する。	①軟化熱処理の目的を挙げることができる。 ②軟化熱処理後に変化する機械的性質を挙げることができる。 ③銀銅二元合金と金銅二元合金が単一相になる温度を挙げることができる。 ④銀銅二元合金の硬化熱処理に伴う状態変化を図で示すことができる。 ⑤金銅二元合金の硬化熱処理に伴う状態変化を図で示すことができる。 ⑥硬化熱処理後に変化する機械的性質を挙げることができる。 ⑦硬化熱処理が可能な合金を6つ挙げることができる。(令4問27)	155 ~ 156
						国試出題基準: 7-L-a, b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
16	6月29日	中川 雅晴	4	講義	12-17	9章 補綴装置と修復物の仕上げ GIO:補綴装置と修復物の仕上げを知るために「意義と目的」「成形体の仕上げ」「機械研磨」「化学研磨」「圧延による表面仕上げ」「材料添加による表面仕上げ」について理解する。	①補綴装置と修復物の仕上げの審美的意義を挙げることができる。 ②補綴装置と修復物の仕上げの生物学的意義を挙げることができる。 ③補綴装置と修復物の仕上げの口腔衛生的意義を挙げることができる。 ④補綴装置と修復物の仕上げの化学的意義を挙げることができる。 ⑤成形体の仕上げ方法を3つ挙げることができる。 ⑥切削の意味を挙げることができる。 ⑦研削の意味を挙げることができる。 ⑧研磨の意味を挙げることができる。 ⑨切削に用いられる工具の名称を2つ挙げることができる。 ⑩砥粒を固定した研削研磨材の名称を挙げることができる。 ⑪砥粒がペースト状もしくは半固形状の場合の特徴を挙げることができる。 ⑫砥粒の材質(7つ)について構成を挙げることができる。(令4問21) ⑬サンドブラスターで使用する砥粒の材質を4つ挙げることができる。 ⑭サンドブラスターで使用する砥粒の粒径を挙げることができる。 ⑮バレル研磨の利点と欠点を挙げることができる。 ⑯砥粒の材質を7つ挙げ特徴を表にまとめることができる。 ⑰電解研磨の機構を解釈することができる。 ⑱電解研磨の利点と欠点を挙げることができる。 ⑲金属表面に機械的圧延を行ったときに現れる相を4つ挙げることができる。 ⑳レジンの表面硬化材の特徴を挙げることができる。 ㉑陶材の表面仕上げの特徴を挙げることができる。 ㉒材料に応じた研磨器具の選択ができる。(令3問31) ㉓金属のイオン化傾向を説明することができる。	164 ~ 174
						国試出題基準: 8-A 8-B-a,b		
16	7月15日 7月21日 7月22日	澤田 圭介 山田 誠	12	実験	12-18-1 12-18-2 12-18-3	実験U ロウ付 GIO:鑲付けを考察するために、鑲付け面積の異なる試験体の破壊試験を通じて金属の接合方法について理解する。	①3種類の金属試験体を同条件で埋没固定することができる。 ②鑲付けの火炎が効率よく加わるように埋没材の形態修正することができる。 ③サンドブラスターで酸化被膜を取り除くことができる。 ④所定の厚みに鑲付け間隙を調整することができる。 ⑤荷重を付加したときのダイヤルゲージの目盛りを読み取ることができる。 ⑥鑲付け部に咬合圧が加わる関連について考察することができる。 ⑦ブリッジに必要な鑲付け面積を求めることができる。	148 ~ 152
						国試出題基準: 7-K-a, b, c, d		
17	7月24日 7月25日	澤田 圭介 山田 誠	8	実験	12-19-1 12-19-2	実験Q 時効硬化 GIO:金属の性質を考察するために、軟化熱処理と硬化熱処理に伴う硬さを計測し、合金の熱処理について理解する。	①リングフェーンで軟化熱処理を行うことができる。 ②エメリー研磨台および回転研磨台で試験片表面を仕上げるすることができる。 ③マイクロビッカース硬度計の機構を解釈することができる。 ④塩浴装置で積算時間毎の熱処理を行うことができる。 ⑤塩浴装置で火傷に注意を払うことができる。 ⑥グループごとにデータを集計し熱処理温度および時間との関連を考察することができる。	127 ~ 129
						国試出題基準: 7-L-a, b		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
18	8月26日 9月2日 9月16日	澤田 圭介 山田 誠	12	実験	12-20-1 12-20-2 12-20-3	実験V 鑄造欠陥	①鑄巢の発生部位と原因および対処法を挙げることができる。(令3問20) ②なめられの発生部位と原因および対処法を挙げることができる。 ③湯境いの発生部位と原因および対処法を挙げることができる。 ④鑄肌あれの発生部位と原因および対処法を挙げることができる。 ⑤ホットスポットの発生部位と原因および対処法を挙げることができる。 ⑥バリの発生部位と原因および対処法を挙げることができる。	114 ~ 115
						GIO:鑄造体の性質を考察するために、鑄造欠陥が発生する条件で試験体を埋没・鑄造し、ミスの無い埋没法と鑄造法について理解する。		
						国試出題基準:7-I-a, b		
19	8月31日	中川 雅晴	2	講義	12-21	9章 補綴装置と修復物の仕上げ	①研磨効率に影響する因子を4つ挙げることができる。 ②マイクロモーターの用途と特徴を挙げることができる。 ③エアタービンの用途と特徴を挙げることができる。 ④電気エンジンの用途と特徴を挙げることができる。 ⑤レーズの用途と特徴を挙げることができる。 ⑥モデルトリマーの用途と特徴を挙げることができる。 ⑦超音波洗浄器の用途と特徴を挙げることができる。 ⑧スチームクリーナーの用途と特徴を挙げることができる。 ⑨キャビテーション効果の意味を挙げることができる。 ⑩レジン床義歯の研磨工程と使用研磨材例を表にまとめることができる。(令2問31) ⑪歯冠用コンポジットレジンの研磨工程と使用研磨材例を表にまとめることができる。 ⑫陶材焼付金属冠の研磨工程と使用研磨材例を表にまとめることができる。 ⑬金属冠(鑄造冠)の研磨工程と使用研磨材例を表にまとめることができる。(令3問31) ⑭コバルトクロム合金鑄造床の研磨工程と使用研磨材例を表にまとめることができる。	174 ~ 180
						GIO:補綴装置と修復物の仕上げを知るために「研磨効率」「切削、研削、研磨に用いられる器具」「各種補綴装置と修復物の研磨方法」について理解する。		
						国試出題基準:8-C-a, b, c		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
20	9月14日	中川 雅晴	4	講義	12-22	10章 新しい加工技術 11章 補綴装置と修復物の安定性 GIO:臨床歯科技工の学習に繋げるために「新しい加工技術」「補綴装置と修復物の安定性」について理解する。	①光学印象の意味を挙げることができる。 ②STLデータの意味を挙げることができる。 ③CAMによる3次元加工法を2つ挙げることができる。(令2問32) ④切削加工に用いられる材料と用途を表にまとめることができる。(令3問28) ⑤3Dプリンターに用いられる材料と成形法を表にまとめることができる。(令4問28) ⑥レジンの機体的性質の安定性を挙げることができる。 ⑦レジンの物理・化学的性質の安定性を挙げることができる。 ⑧レジンの生物学的性質の安定性を挙げることができる。 ⑨セラミックスの機械的性質の安定性を挙げることができる。 ⑩セラミックスの物理・化学的性質の安定性を挙げることができる。 ⑪金属をイオン化傾向の大きなものから順に並べることができる。 ⑫腐食の分類を4つ挙げ、特徴を説明することができる。 ⑬口腔内腐食の特徴を挙げることができる。 ⑭腐食を抑制する方法を2つ挙げることができる。	181 ~ 195
						国試出題基準:9- A-a		

【専門基礎分野】 B. 歯・口腔の構造と機能	⑧歯の解剖学 乳歯と永久歯の形態学
----------------------------------	--------------------------

本学期的学習目標(GIO)
国家試験に合格するため歯型彫刻で歯冠形態を表現する力を身につける。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット13 国家試験対策

学年	学期	曜日	時間	教室
2	後期	月~金	9:00~10:30	博多メディカル専門学校 3階 302教室、 歯科技工実習室
			9:00~12:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	山田 誠、矢野 恭平、澤田 圭介、松山 大樹
成績評価	実習物、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	1月10日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	4	演習	13	前歯の石膏彫刻 GIO: 時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。 国試出題基準: 歯科技工実技	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 ~ 183

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
2	1月11日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	2	実習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		
3	1月12日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	4	演習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏彫刻で部位ごとにかかる時間の配分を挙げることができる。 ②石膏棒に隣接面の最外形を設計するときの注意点を挙げることができる。 ③切り出しナイフで隣接面の最外形を削除するときのポイントを挙げることができる。 ④唇舌側面の最外形を設計するときのポイントを挙げることができる。 ⑤唇舌側面の最外形を削除するときのポイントをあげることができる。 ⑥舌側面の縮小するときのポイントを挙げることができる。 ⑦唇側面の縮小するときのポイントを挙げることができる。 ⑧舌側面窩を形成するときのポイントを挙げることができる。 ⑨辺縁隆線を形成するときのポイントを挙げることができる。 ⑩歯型部を形成するときのポイントを挙げることができる。 ⑪仕上げをするときのポイントを挙げることができる。	162 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		
4	1月15日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	4	実習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
5	1月16日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	4	実習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 ~ 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		
6	1月17日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	2	実習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 ~ 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		
7	1月18日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	2	実習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 ~ 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
8	1月19日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	2	実習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 ~ 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		
9	1月22日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	4	実習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 ~ 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		
10	1月23日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	4	実習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 ~ 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
11	1月24日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	2	実習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 ~ 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		
12	1月25日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	2	演習	13	白歯の石膏彫刻	①石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ②切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ③鉛筆で唇舌側面の最外形を設計することができる。 ④切り出しナイフで唇舌側面の最外形を削除することができる。 ⑤デザインナイフで舌側面の縮小をすることができる。 ⑥デザインナイフで唇側面の縮小をすることができる。 ⑦エバンスで舌側面窩を形成することができる。 ⑧エバンスで辺縁隆線を形成することができる。 ⑨エバンスで歯型部を形成することができる。 ⑩エバンスで仕上げをすることができる。	162 ~ 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
13	1月26日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	2	実習	13	前歯の石膏彫刻	①石膏彫刻で部位ごとにかかる時間の配分を挙げることができる。 ②石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ③切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ④頬舌側面の最外形を設計することができる。 ⑤頬舌側面の最外形を削除することができる。 ⑥頬側面傾斜のための設計をすることができる。 ⑦頬側面傾斜のための削除をすることができる。 ⑧隣接面縮小のための設計をすることができる。 ⑨隣接面縮小のための削除をすることができる。 ⑩頬側面縮小のための設計をすることができる。 ⑪頬側面縮小のための削除をすることができる。 ⑫咬頭頂を形成することができる。 ⑬辺縁隆線を形成することができる。 ⑭副溝を形成することができる。 ⑮裂溝を形成することができる。	162 ~ 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
14	1月29日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	4	演習	13	臼歯の石膏彫刻	①石膏彫刻で部位ごとにかかる時間の配分を挙げることができる。 ②石膏棒に隣接面の最外形を設計するときの注意点を挙げることができる。 ③切り出しナイフで隣接面の最外形を削除するときのポイントを挙げることができる。 ④頬舌側面の最外形を設計するときのポイントを挙げることができる。 ⑤頬舌側面の最外形を削除するときのポイントをあげることができる。 ⑥頬側面傾斜のための設計をするポイントを挙げることができる。 ⑦頬側面傾斜のための削除をするポイントを挙げることができる。 ⑧隣接面縮小のための設計をするポイントを挙げることができる。 ⑨隣接面縮小のための削除をするポイントを挙げることができる。 ⑩頬側面縮小のための設計をするポイントを挙げることができる。 ⑪頬側面縮小のための削除をするポイントを挙げることができる。 ⑫咬頭頂を形成するポイントを挙げることができる。 ⑬辺縁隆線を形成するポイントを挙げることができる。 ⑭副溝を形成するポイントを挙げることができる。 ⑮裂溝を形成するポイントを挙げることができる。	162 ~ 183
						GIO:時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。		
						国試出題基準:歯科技工実技		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
15	1月30日	山田 誠 矢野 恭平 澤田 圭介 松山 大樹	4	実習	13	前歯の石膏彫刻 GIO: 時間内に歯型彫刻ができるようになるため、「設計」「ナイフの動かし方」の手技を身につける。	①石膏彫刻で部位ごとにかかる時間の配分を上げることができる。 ②石膏棒に隣接面の最外形を設計することができる。 ③切り出しナイフで隣接面の最外形を削除することができる。 ④頬舌側面の最外形を設計することができる。 ⑤頬舌側面の最外形を削除することができる。 ⑥頬側面傾斜のための設計をすることができる。 ⑦頬側面傾斜のための削除をすることができる。 ⑧隣接面縮小のための設計をすることができる。 ⑨隣接面縮小のための削除をすることができる。 ⑩頬側面縮小のための設計をすることができる。 ⑪頬側面縮小のための削除をすることができる。 ⑫咬頭頂を形成することができる。 ⑬辺縁隆線を形成することができる。 ⑭副溝を形成することができる。 ⑮裂溝を形成することができる。	162 ~ 183
						国試出題基準: 歯科技工実技		

【専門分野】 A. 有床義歯補綴治療における歯科技工(有床義歯技工学)	⑱有床義歯技工学 総合
---	--------------------

本学期的学習目標(GIO)
国家試験に合格するため、2年間の有床義歯技工学を復習し試験問題が解けるだけの力を身につける。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット13 国家試験対策

学年	学期	曜日	時間	教室
2	後期	月~木	10:40~14:30	博多メディカル専門学校 3階 302教室、 歯科技工実習室
			13:00~14:30	
			14:30~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	矢野 恭平、澤田 圭介、石橋 洋一、松山 大樹
成績評価	ミニテスト、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	1月11日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	2章 有床義歯技工に関する生体の基礎知識 3章 全部床義歯の特性 GIO: 有床義歯技工に関する生体の基礎知識と全部歯技術の特性を知るため、「形態的基礎知識」「機能的基礎知識」「審美的基礎知識」「有床義歯技工に伴う生物学的事項」と全部床義歯の「構成要素」「種類」「維持、安定、支持」を理解する。 国試出題基準: 1-A、2-A、2-B	①有床義歯の基準平面を3つ列挙することができる。 ②基準平面を図示し特定することができる。 ③有床義歯の審美的性に関与する項目を3つ列挙することができる。 ④全部床義歯の構成要素を挙げることができる。 ⑤全部床義歯の維持、安定、支持に関与する項目を挙げることができる。	11~23
2	1月12日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	5章 全部床義歯の印象採得に伴う技工操作 6章 全部床義歯の咬合採得に伴う技工操作 GIO: 全部床義歯の印象採得と咬合採得に伴う技工操作を知るため、「無歯顎」「無歯顎の印象とトレー」「精密印象と作業用模型」と「作業用模型の処理」「咬合床」「咬合器」「咬合器の調節」について理解する。 1-C-c 国試出題基準: 3-ABC 4-ABC	①全部床義歯の研究用模型を製作する目的を挙げることができる。 ②全部床義歯の個人トレーを製作する目的を挙げることができる。 ③全部床義歯の作業用模型を製作する目的を挙げることができる。 ④全部床義歯の咬合床を構成する項目を挙げることができる。 ⑤作業用模型の咬合器装着方法を2つ挙げることができる。	28~55
3	1月15日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	7章 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 GIO: 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を知るため、人工歯の「種類と選択」「排列方法」「歯肉形成」の方法を理解する。 国試出題基準: 5-ABCDE	①全部床義歯の人工歯の種類を挙げることができる。 ②全部床義歯の人工歯選択の指標を挙げることができる。 ③前歯部人工歯の基本的な排列法を挙げることができる。 ④臼歯部人工歯の基本的な排列法を挙げることができる。 ⑤歯肉形成の目的を挙げることができる。 ⑥歯肉形成の方法を挙げることができる。	56~80

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
4	1月17日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	8章 全部床義歯の埋没と重合	①全部床義歯の埋没法をの種類を挙げることができる。 ②全部床義歯の埋没の方法を挙げることができる。 ③義歯床用レジンの填入方法を挙げることができる。 ④義歯床用レジンの重合方法をあげることができる。	81~88
						GIO: 全部床義歯の蠟義歯埋没とレジン重合を知るため、埋没の「種類と方法」、義歯床用レジンの「填入方法および重合方法」を理解する。		
						国試出題基準: 6-AB		
5	1月18日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	9章 全部床義歯の咬合再装着 および削合、研磨 10章 部分床義歯の特性	①義歯を咬合器に再装着する方法を2つ挙げることができる。 ②人工歯削合の目的を挙げることができる。 ③人工歯削合の方法を挙げることができる。 ④義歯床を研磨する目的を挙げることができる。 ⑤部分床義歯の構成要素を挙げることができる。	89 109
						GIO: 部分床義歯の特性を知るため、「咬合器装着の方法」、「人工歯の削合」、「研磨の目的および構成要素」を理解する。		
						国試出題基準: 7-ABC		
6	1月22日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	12章 部分床義歯の構成要素 13章 部分床義歯の印象採得に伴う 技工操作	①支台装置の種類を挙げることができる。 ②支台装置の特徴を挙げることができる。 ③レストの種類を挙げることができる。 ④レストの目的を挙げることができる。 ⑤補助支台装置の種類を挙げることができる。 ⑥補助支台装置の目的を挙げることができる。 ⑦部分床義歯の個人トレー製作方法を挙げることができる。 ⑧部分床義歯の作業用模型の製作方法を挙げることができる。	115 165
						GIO: 部分床義歯の構成要素と印象採得に伴う技工操作を知るため、「支台装置」「連結子の分類」「個人トレー」「作業用模型の製作」について理解する。		
						8-ABC 9-ABCDE 10-AB 11-ABC 国試出題基準:		
7	1月24日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	14章 部分床義歯の咬合採得に伴う 技工操作 15章 クラスプの製作	①部分床義歯の咬合床の目的を挙げることができる。 ②部分床義歯の製作法を挙げることができる。 ③サバイヤーの使用目的を挙げることができる。 ④サバイヤーの種類を挙げることができる。 ⑤クラスプの製作法を挙げることができる。	168 193
						GIO: 部分床義歯の咬合採得やクラスプの使用法を知るため、「咬合床の目的」「サバイヤーの使用法」「クラスプの製作法」を理解する。		
						国試出題基準: 9-A,12-A		
8	1月25日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	12章-1節(アタッチメント、テレス コープ義歯) 16章 バーの製作	①アタッチメントの構造を挙げることができる。 ②アタッチメントの種類を挙げることができる。 ③テレスコープ義歯の構造を挙げることができる。 ④テレスコープ義歯の特徴を挙げることができる。 ⑤鋳造バーの製作方法を挙げることができる。 ⑥屈曲バーの製作方法を挙げることができる。	138 200
						GIO: アタッチメント、テレスコープ義歯、バーの用途を知るため、「構造」「特徴」「製作方法」を理解する。		
						国試出題基準: 9-DE		
9	1月29日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	17章 部分床義歯の人工歯排列、 削合、歯肉形成	①部分床義歯の人工歯を選択する基準を挙げることができる。 ②部分床義歯の前歯部人工歯排列の基準を挙げることができる。 ③部分床義歯の臼歯部人工歯排列の基準を挙げることができる。 ④部分床義歯の歯肉形成における留意点を挙げることができる。	201 211
						GIO: 部分床義歯の人工歯排列と歯肉形成の留意点を知るため、前歯部、臼歯部の「人工歯排列時の基準」を理解する。		
						国試出題基準: 13-ABCD		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
10	1月30日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	<p>18章 部分床義歯の埋没と重合 20章 修理 21章 リベースおよびリライン 22章 オーバーデンチャー 23章 金属床義歯 24章 その他の有床義歯</p> <p>GIO:義歯の修理や粘膜面の調整法、金属床義歯の特徴を知るため、「破折、破損の原因」、リベース・リラインの「目的」「金属床義歯」の利点、欠点を理解する。</p>	<p>①義歯が破折や破損を起こす原因を挙げることができる。</p> <p>②義歯破折のメカニズムを説明することができる。</p> <p>③義歯破折時の修理方法を説明することができる。</p> <p>④義歯装着後の時間経過に伴って起こる不具合を挙げることができる。</p> <p>⑤義歯製作上のミスが起こる原因を挙げることができる。</p> <p>⑥常温重合レジンを用いた義歯の修理手順を説明することができる。</p> <p>⑦人工歯の離脱あるいは大部分が破損した場合の修理手順を挙げることができる。</p> <p>⑧人工歯が義歯床用レジンごと離脱した場合の修理手順を挙げることができる。</p> <p>⑨支台装置の修理手順を挙げることができる。</p> <p>⑩人工歯を増歯する方法を説明することができる。</p> <p>⑪義歯にリベースやリラインを施す目的を挙げることができる。</p> <p>⑫リベースが適応する症例を挙げることができる。</p> <p>⑬リラインの方法、作業手順を挙げることができる。(令2問36)(令3問42)</p> <p>⑭間接法を用いたリラインの方法を挙げることができる。</p> <p>⑮フラスクに埋没する方法でリラインした場合の長所、短所を挙げることができる。</p> <p>⑯フラスクに埋没しない方法でリラインした場合の長所、短所を挙げることができる。(令4問38)</p> <p>⑰オーバーデンチャーの形態的分類をすることができる。</p> <p>⑱コンプリートオーバーデンチャーの特徴を挙げることができる。</p> <p>⑲パースシャルオーバーデンチャーの特徴を挙げることができる。</p> <p>⑳オーバーデンチャーの意義を8つ列挙することができる。</p> <p>㉑オーバーデンチャーの問題点を挙げることができる。</p> <p>㉒オーバーデンチャーに用いられる支台装置を挙げることができる。</p> <p>㉓インプラントオーバーデンチャーの特徴を挙げることができる。</p> <p>㉔インプラントオーバーデンチャーに用いられるアタッチメントを説明することができる。</p> <p>㉕金属床義歯の特徴を挙げることができる。</p> <p>㉖金属床義歯の利点を7つ列挙することができる。</p> <p>㉗金属床義歯の欠点を5つ列挙することができる。</p> <p>㉘金属床義歯のフレームに使用される合金の種類と特徴を挙げることができる。</p> <p>㉙金属床義歯のフィニッシュラインの役割を挙げることができる。(令4問40)</p> <p>㉚全部床義歯の金属口蓋床の特徴を挙げることができる。</p> <p>㉛部分床義歯のフレームワークの製作方法を挙げることができる。</p> <p>㉜フレームワーク製作に必要な技工操作を挙げることができる。</p> <p>㉝ピーディングの目的を挙げることができる。(令3問48)</p> <p>㉞ノンクラスデンチャーの利点を3つ挙げることができる。(令2問44)</p> <p>㉟ノンクラスデンチャーの欠点を4つ挙げることができる。</p>	232 ~ 265
						国試出題基準: 15-AB, 16-ABC		

【専門分野】 B. 歯冠修復治療における歯科技工(歯冠修復技工学)	②歯冠修復技工学 総合
---	--------------------

本学期的学習目標(GIO)
国家試験に合格するため、2年間の歯冠修復技工学を復習し試験問題が解けるだけの力を身につける。

本科目のカリキュラムマップ(ユニット)
ユニット13 国家試験対策

学年	学期	曜日	時間	教室
2	後期	月~木	10:40~12:10	博多メディカル専門学校 3階 302教室、 歯科技工実習室
			9:00~14:30	
			9:00~16:10	

教科書・参考書			
著者・編集	書名	版	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	第一版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧	矢野 恭平、澤田 圭介、石橋 洋一、松山 大樹
成績評価	ミニテスト、出席点

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
1	1月11日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	講義 演習	13	1章 歯冠修復技工学概要 2章 クラウンの概要と種類	①歯冠修復技工学の意義を3つ挙げることができる。 ②歯冠修復技工学の目的を挙げることができる。 ③臨床的価値を3つ挙げることができる。 ④クラウンの特徴を挙げることができる。 ⑤部分被覆冠の用途を挙げることができる。 ⑥部分被覆冠の種類を挙げることができる。 ⑦全部金属冠の用途を挙げることができる。 ⑧全部金属冠の種類を挙げることができる。	1~10
						GIO:歯冠修復技工学の概要を知るため、部分被覆冠の「種類」と「用途」、全部金属冠の「種類」と「用途」を理解する。		
						国試出題基準: 1-AB 2-ABCD		
2	1月12日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	3章 ブリッジの概要と種類	①ブリッジの利点を5つ挙げることができる。 ②ブリッジの欠点を5つ挙げることができる。(令2問53) ③ブリッジの構成要素を挙げることができる。 ④ブリッジの種類を挙げることができる。	11~15
						GIO:ブリッジの特徴を知るため、ブリッジの「概要」「特徴」「構成要素」を理解する。		
						国試出題基準: 3-ABCD		
3	1月15日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	4章 クラウン・ブリッジの具備条件	①クラウン・ブリッジの生物学的要件を5つ挙げることができる。(令2問62) ②クラウンブリッジ構造力学的要件を3つ挙げることができる。	17~33
						GIO:クラウン・ブリッジの具備条件を知るため、「生物学的要件」、「構造力学的要件」を理解する。		
						国試出題基準: 4-AB		
4	1月16日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	4章 クラウン・ブリッジの具備条件	①クラウン・ブリッジの化学的要件を2つ挙げることができる。 ②クラウン・ブリッジの審美的要件を5つ挙げることができる。	33~40
						GIO:クラウン・ブリッジの具備条件を知るため、「化学的要件」、「審美的要件」を理解する。		
						国試出題基準: 4-CD		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
5	1月17日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	講義 演習	13	5章 クラウンとブリッジの製作	①クラウン・ブリッジの製作工程を挙げることができる。 ②クラウン・ブリッジの技工操作で使用する印象材の種類を挙げることができる。 ③クラウン・ブリッジの技工操作で使用する印象材の特徴を挙げることができる。 ④印象採得後の印象材の取り扱いについて注意事項を5つ挙げることができる。 ⑤研究用模型の使用目的を4つ挙げることができる。	41~47
						GIO:クラウンとブリッジの製作を知るため、「臨床ステップの概要」「印象採得」「研究用模型」について理解する。		
						国試出題基準:5-ABC		
6	1月18日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	講義 演習	13	5章 クラウンとブリッジの製作	①印象用トレーの種類を3つ挙げることができる。 ②個人トレーの製作目的を挙げることができる。 ③個人トレーの製作法を挙げることができる。 ④支台築造の意義を挙げることができる。 ⑤支台築造の目的を挙げることができる。 ⑥支台築造の使用材料を挙げることができる。 ⑦前歯部ポストコアの各部の名称を挙げることができる。 ⑧メタルコアの製作法を挙げることができる。 ⑨ファイバー補強レジンコアの製作法を挙げることができる。	48~57
						GIO:クラウンとブリッジの製作を知るため、「印象用トレー」「支台築造」について理解する。		
						国試出題基準: 5-DE		
7	1月19日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	講義 演習	13	5章 クラウンとブリッジの製作	①プロビジョナルレストレーションの目的を8つ挙げることができる。 ②プロビジョナルレストレーションの種類を挙げることができる。 ③プロビジョナルレストレーションの使用材料を挙げることができる。 ④プロビジョナルレストレーションの製作法を挙げることができる。 ⑤シェードマッチングの要件を挙げることができる。 ⑥シェードマッチングの方法を挙げることができる。	58~64
						GIO:クラウンとブリッジの製作を知るため、「プロビジョナルレストレーション」「色調選択」について理解する。		
						国試出題基準: 5-FG		
8	1月22日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	5章 クラウンとブリッジの製作	①作業用模型を製作する目的を挙げることができる。 ②作業用模型の構成を挙げることができる。 ③作業用模型の要件を挙げることができる。 ④作業用模型の種類を挙げることができる。(令2問65) ⑤作業用模型の製作方法を挙げることができる。 ⑥歯型の辺縁形態を挙げることができる。 ⑦咬合器の装着方法を挙げることができる。(令2問66) ⑧前歯部クラウンの咬合を説明することができる。 ⑨前歯部クラウンの形態を説明することができる。 ⑩臼歯部クラウンの咬合を説明することができる。 ⑪臼歯部クラウンの形態を説明することができる。 ⑫ワックスアップ法の種類を挙げることができる。 ⑬ワックスアップ法の特徴を挙げることができる。	64~83
						GIO:クラウンとブリッジの製作を知るため、「作業用模型」「咬合器への装着」「クラウンに与える咬合」「ワックスパターン形成」について理解する。		
						5-H-abcde 国試出題基準: 5-J-ab 5-K-ab		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
9	1月23日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	5章 クラウンとブリッジの製作	①クラウン・ブリッジの研磨の意義を挙げることができる。 ②クラウン・ブリッジの研磨の目的を挙げることができる。 ③クラウン・ブリッジの研磨の手順を挙げることができる。 ④レジン前装冠のメタルフレームに付与する形態を挙げることができる。(令2問55) ⑤レジン前装冠のメタルフレームとレジン材料の接着方法を挙げることができる。	96 111
						GIO:クラウンとブリッジの製作を知るため、「研磨」「レジン前装冠」について理解する。		
						国試出題基準: 5-LMOPRS		
10	1月24日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	講義 演習	13	5章 クラウンとブリッジの製作	①陶材焼付金属冠の築盛方法を挙げることができる。 ②陶材焼付金属冠のコンデンスの意義を挙げることができる。 ③陶材焼付金属冠の陶材焼成の方法を挙げることができる。(令2問70)	96 111
						GIO:クラウンとブリッジの製作を知るため「陶材の築盛・焼成」について理解する。		
						国試出題基準: 5-LMOPRS		
11	1月25日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	講義 演習	13	8章 ブリッジ	①ブリッジのボンテックの要件を挙げることができる。 ②ブリッジのボンテックの構造を挙げることができる。 ③ブリッジのボンテックの種類を挙げることができる。(令2問56) ④ブリッジのボンテックの形態を挙げることができる。(令2問58) ⑤ブリッジのボンテックの適用部位を挙げることができる。 ⑥ブリッジの連結法の種類を挙げることができる。 ⑦ワンピースキャスト法による白歯部全部金属ブリッジの製作手順を列挙することができる。 ⑧接着ブリッジ製作の意義、特徴、適用用途を挙げることができる。 ⑨接着ブリッジに使用する作業用模型を挙げることができる。 ⑩接着ブリッジのワックスパターン形成時に留意すべきことを挙げることができる。(令3問57) ⑪接着ブリッジの窓開け後の維持方法を挙げることができる。 ⑫接着ブリッジのワックスパターンを連結する際に使用する材料を挙げることができる。 ⑬接着ブリッジのフレームワークに使用する合金を挙げることができる。 ⑭接着ブリッジのフレームワークの硬化熱処理方法を挙げることができる。 ⑮ブリッジの鑲付け法の種類を挙げることができる。	147 164
						GIO:ブリッジの特徴を知るため、ボンテックの「要件」「構造」「種類」「形態」「連結法」「ロウ付け法」について理解する。		
						国試出題基準: 8-BCDE		

回	授業日	担当者	時間	授業形式	ユニット	授業名/学習目標(GIO) 国家試験出題基準	行動目標(SBOs)	教本
12	1月26日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	4	講義 演習	13	9章 インプラント	①インプラントを埋入する目的を挙げることができる。 ②インプラントの種類を挙げることができる。 ③インプラント手術で使用する器具を挙げることができる。(令4問60)	165 ~ 171
						GIO:インプラントの特徴を知るため、インプラントの「埋入目的」「種類」について理解する。		
						国試出題基準:9-ABCD		
13	1月29日	矢野 恭平 澤田 圭介 石橋 洋一 松山 大樹	2	講義 演習	13	10章 CAD/CAMシステム	①CAD/CAMシステムの構成を挙げることができる。 ②CAD/CAMシステムの利点を3つ挙げることができる。 ③CAD/CAMシステムの欠点を1つ挙げることができる。 ④CAD/CAMシステムに使用される材料を表でまとめることができる。(令2問61) ⑤CAD/CAMシステムの製作過程を説明することができる。(令4問54)	172 ~ 175
						GIO:CAD/CAMシステムの特徴を知るため「構成」や「利点・欠点」「材料」について理解する。		
						国試出題基準: 10-A,B,C		

「実務経験のある教員」一覧表

科目名	名前	所属	
㉓小児歯科技工学	大浦 清範	法人有限会社 オーケイ・ ラボセンター	昭和42年4月～52年3月 一般歯科医院にて歯科技工業務に従事 平成4年11月 歯科技工所開業
㉔歯科技工実習 臨床歯科技工	中川 隆志	cloud.9 DENTAL LABORATORY	平成17年3月～平成25年5月 一般歯科医院にて歯科技工士業務に従事 平成25年9月 歯科技工所開業
	森田 圭介	株式会社愛歯 熊本本社	平成17年4月 歯科技工所にて歯科技工業務に従事
②造形美術概論 ⑥歯科技工管理学 ⑭有床義歯技工学 総論 ⑮有床義歯技工学 印象採得と咬合 採得に伴う技工作業 ⑯有床義歯技工学 クラスプとバーの製作 ⑰有床義歯技工学 有床義歯の製作 ⑲歯冠修復技工学 クラウン ⑳歯冠修復技工学 ブリッジ ㉑歯冠修復技工学 クラウンと ブリッジの製作 ㉓小児歯科技工学 ㉔矯正歯科技工学 ㉕歯科技工実習 歯科技工の基本 ㉔歯科技工実習 臨床歯科技工 ㉗歯科技工実習 全部床義歯の 人工歯排列・歯肉形成 ㉘歯科技工実習 臨床見学	山田 誠	博多メディカル専門学校	平成10年4月～平成12年9月 歯科技工所にて歯科技工士業務に従事
	矢野 恭平	博多メディカル専門学校	平成11年4月～平成16年3月 歯科技工所にて歯科技工士業務に従事
	澤田 圭介	博多メディカル専門学校	平成15年4月～平成22年9月 歯科技工所にて歯科技工士業務に従事
	石橋 洋一	博多メディカル専門学校	平成17年4月～平成20年5月 歯科技工所にて歯科技工士業務に従事 平成20年11月～平成22年10月 一般歯科医院にて歯科技工士業務に従事
	松山 大樹	博多メディカル専門学校	平成18年4月～平成22年12月 歯科技工所にて歯科技工士業務に従事
	大峰 礼子	博多メディカル専門学校	昭和63年4月～平成10年8月 一般歯科医院にて歯科衛生士業務に従事
	中村 幸実	博多メディカル専門学校	平成29年4月～令和2年3月 一般歯科医院にて歯科衛生士業務に従事
⑥歯科技工管理学			

学校法人博多学園

博多メヂカル専門学校

歯科技工士科

〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目32番1号

TEL (092)651-8024 FAX (092)651-8008